RZ550e / RZ500e / RZ350e

マルチメディア取扱説明書

基本操作	マルチメディアシステムの基本操作	1
各種設定および登録	さまざまな機能に関する設定や登録など	2
スマートフォンや通信機器の接続	Bluetooth®や Wi-Fi® を使用するには	3
ナビゲーション	地図画面を使用するには 地図を検索するには ルート案内させるには	4
オーディオシステム	ラジオを聴くには 音楽を楽しむには	5
ハンズフリー電話	携帯電話をハンズフリーで使用するには	6
G-Link	G-Link を利用するには	7
駐車支援システム	車両周囲の状況を確認するには	8
ETC の利用	ETC2.0 システムを利用するには ETC2.0 ユニットを使用するには	9
ドライブレコーダー	走行中や駐車中の映像を録画するには	10
付録	参考情報 認証・商標についての情報	11
さくいん	アルファベット順で検索 五十音順で検索	

はじめに

知っておいていただきたいこと 7
本書の見方 9
イラスト目次 11

1 基本操作

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

ディスプレイと操作スイッチ ... 14
マルチメディア画面の概要 16
メインメニュー 19
ステータスアイコンの見方 21
タッチスクリーンの操作 23
画面の基本操作 26
文字や数字の入力 28

1-2. ナビゲーションの基本操作

地図画面表示 30
車の現在地の表示 32
地図のスケール（縮尺）の切りかえ 33
地図の向きの切りかえ 34
地図の動かし方 35

1-3. オーディオの基本操作

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する 36
オーディオのソースを変更する 38
USB 機器を接続する 40
HDMI 機器を接続する 41

1-4. エージェント（音声対話サービス）

音声で操作する 42
音声操作を開始する 44
音声コマンドを発話する 47
キーボードで情報を検索する ... 51

2 各種設定および登録

2-1. マルチメディアシステムの初期設定

ドライバーを登録する 54

2-2. 各種設定

各種設定を変更する 58

2-3. ドライバー設定

ドライバーの切りかえや登録をする 60
ドライバーの特定方法を設定する 62

2-4. 共通設定

マルチメディアシステムの共通設定を変更する 65

2-5. 画面設定

画面表示の設定を変更する 67

2-6. 音声操作設定

音声操作の設定を変更する 69

2-7. 車両設定

セキュリティ設定を変更する ... 71
ソフトウェア情報の確認や更新をする 73

2-8. ナビゲーション設定

ナビゲーションの設定 76
地図表示設定をする 77
ルート設定をする 79
案内設定 82
その他設定 83
走行支援の設定 88

2-9. サウンド＆メディア設定

サウンドやメディアの設定を変更する 92
画面モードを切りかえる 96
画質を調整する 97
各ソースの音を調整する 98

2-10. Wi-Fi®設定

Wi-Fi Hotspot を設定する 99

2-11. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する ... 101

3 スマートフォンや通信機器の接続

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項 106
Bluetooth®の仕様、対応プロファイル 109
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する .. 110
Bluetooth®機器の登録を削除する 113
Bluetooth®機器との接続 114
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する 117
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する 118

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 . 119
Wi-Fi Hotspot に接続する..... 121

3-3. Apple CarPlay/Android Auto の使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項..... 123
未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する .. 126
登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する .. 129
Android Auto を使用する 132
Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に 133

4 ナビゲーション

4-1. ナビゲーションシステムについて

コネクティッドナビ（車載ナビ装着車） 138

4-2. 地図の情報について

地点情報を表示する..... 139
地図オプション画面..... 140
施設記号を表示する..... 141
地図表示設定 143
地図記号・地図表示について . 144
高速略図（ハイウェイモード）について 148

4-3. VICS・交通情報

VICS・交通情報を使う 150
VICS・交通情報について 151
タイムスタンプの情報表示 152
渋滞や規制情報の音声案内 153
VICS 記号の内容を表示する .. 154
VICS・交通情報を表示する道路を設定する 155
VICS・交通情報を表示する種類を設定する 156
VICS 図形情報や文字情報を表示する 157
緊急情報の表示 158
気象、災害情報のエリア表示 . 159
割込情報（光ビーコン）の表示 160
割込情報（ETC2.0 サービス）の表示 161
自動割込を設定する..... 164
自動割込表示時間を調整する . 165
ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする..... 166
ETC2.0 の個人・プライバシー情報消去について..... 167
TSPS サービスについて 168
新旧ルートを比較して表示する 172
VICS 放送局を選択する 173
VICS 記号や表示について 174
VICS について..... 177
みちびき災害危機通報サービスの表示 188
交通ナビ関連情報を表示する . 189

4-4. 目的地に設定する場所の検索

目的地検索について……190
目的地検索画面の見方……191
検索結果リスト画面の見方……196
経由地を追加する……197
電話帳から目的地を検索する……198
スマートフォンから目的地を設定する……199

4-5. 目的地の設定

全ルート図表示画面の見方……201
目的地案内のデモを見る……203
ルート情報を表示する……204
ルートオプションを変更する……205
他の経路に変更する……206
出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する……207
目的地の詳細情報を表示する……208
通過する地点を設定する……209
経由地を編集する……210

4-6. ルート案内

ルート案内画面の見方……211
さまざまなレーン表示画面……212
ルートを再探索する……215

4-7. 地図データの更新

地図を更新する……216
地図データ情報……218

5 オーディオシステム

5-1. ラジオの操作

ラジオを聴く……222
交通情報を聴く……225
ラジオ用アンテナの取り扱い……226

5-2. 地上デジタルテレビの視聴

地上デジタルテレビの視聴についての留意事項……227
地上デジタルテレビを視聴する……230
地上デジタルテレビ視聴時の設定を変更する……236
地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い……237

5-3. USB メモリーの操作

USB メモリーの再生についての留意事項……238
USB メモリーの音楽ファイルを再生する……240
USB メモリーの動画ファイルを再生する……243

5-4. iPod/iPhone の操作

iPod/iPhone の再生についての留意事項……246
iPod/iPhone を再生する……247

5-5. Apple CarPlay の操作

Apple CarPlay の再生についての留意事項……250
Apple CarPlay を再生する……251

5-6. Android Auto の操作

Android Auto の再生についての留意事項……254
Android Auto を再生する……255

5-7. Bluetooth®オーディオの操作

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項……257
Bluetooth®オーディオを再生する……258

5-8. HDMI の操作

HDMI の再生についての留意事項……261
HDMI を再生する……262

5-9. Miracast®の操作

Miracast®の再生についての留意事項……264
Miracast®対応機器を接続する……266
Miracast®を再生する……267

6 ハンズフリー電話

6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

ハンズフリー電話についての留意事項 270
ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に 274

6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） 277
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） 279

6-3. 電話のかけ方

履歴から電話をかける 281
ワンタッチダイヤルから電話をかける 282
連絡先から電話をかける 283
キーパッドから電話をかける 284
交通情報から電話をかける 285
110 番／119 番にかける 286
ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける 287

6-4. 電話の受け方

電話に出る 288
着信を拒否する 290

6-5. 通話中の操作

通話画面で操作する 291
割込着信の電話に出る 293
通話中に別の通話相手へ電話をかける 294
グループ通話をする 295
電話を切る 296

6-6. ハンズフリー電話の変更

ハンズフリー電話を切りかえる 297

6-7. 連絡先データの編集

連絡先データの転送 298
ワンタッチダイヤルを登録する 302
連絡先に新規データを追加する 304

7 G-Link

7-1. G-Link のサービス概要

G-Link とは 308
データ通信に関する留意事項 309

7-2. G-Link の利用手続き

G-Link を契約する 312
G-Link を利用する 313
G-Link を解約する 316

7-3. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネットについて 318
各部の名称とはたらき 320
安全のために 321
ヘルプネットをお使いになる前に 323
緊急通報をする 324
保守点検をする 328
表示灯について 331
緊急通報できない場合について 333
故障とお考えになる前に 335

7-4. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービスについて 336

7-5. Web ブラウザ

Web ブラウザ機能（インターネット）について 337
Web ブラウザ画面を表示する 338
Web ブラウザ画面を操作する 339

8 駐車支援システム

8-1. パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニターの機能とはたらき 344

シフトポジションが P のときの表示モード 349
シフトポジションが D、N のときの表示モード 351
シフトポジションが R のときの表示モード 359
ドアミラー格納時の画面 367
画面を拡大表示する 368
床下透過映像を表示する 369
GPS 連動 View 表示機能 371
移動物警報 373
パノラミックビューモニターの設定を変更する 375
パノラミックビューモニターの注意点 377
故障とお考えになる前に 393

9 ETC の利用

9-1. ETC のサービス概要
ETC2.0 サービスについて 396
ETC サービスについて 398
9-2. ETC の操作
ETC2.0 ユニットの使い方 401
クリーニングについて 409
9-3. ETC の情報表示
ETC 画面の操作 410
ETC の設定 412
9-4. エラーコードについて
統一エラーコード一覧について 413
9-5. 道路事業者からのお願い
道路事業者からのお願い 416
9-6. お問合せ先一覧
お問合せ先一覧 422
9-7. ETC2.0 ユニットのフリー／オープンソースソフトウェア情報
ETC2.0 ユニットのフリー／オープンソースソフトウェア情報 424

10 ドライブレコーダー

10-1. ドライブレコーダー
ドライブレコーダー（前後方）について 426
手動録画を開始する 433
録画映像を再生する 434
録画映像の画質を調整する 436
録画映像を外部メディアに転送する 437
複数の録画映像をまとめて選択する 439
ドライブレコーダーの設定を変更する 440
ドライブレコーダーアプリ 441
故障とお考えになる前に 443

11 付録

11-1. 付録
メディア／データについての情報 448
認証・商標についての情報 458
さくいん 459

知っておいていただきたいこと

マルチメディア取扱説明書

- 本書は、マルチメディアシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の「取扱説明書」と併せてお読みください。
- レクサス販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- 本書では、ナビゲーション機能が組み込まれているマルチメディアシステムを車載ナビ、センター通信型のナビケーション機能をコネクティッドナビと説明しています。

  詳細は、「コネクティッドナビ（車載ナビ装着車）」(→P.138)をご覧ください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書では、システムのソフトウェアバージョン Ver.2258 までの情報を記載しています。最新情報については、下記 URL から確認することができます。ご使用前には必ずソフトウェアバージョンにあった最新情報をお読みください。本機のソフトウェアバージョンの確認方法は、「ソフトウェア情報の確認や更新をする」(→P.73)をご覧ください。

URL	QR コード
https://lexus.jp/total_care/maintenance/update/	

- 本書の画面と実際の画面は、装備、契約の有無、地図データの作成時期などによって異なります。
- 本書に記載されている会社名や商品などは、各社の商標および登録商標です。

データの補償に関する免責事項について

マルチメディアシステムは各種データを内蔵メモリーに保存します。マルチメディアシステムの故障、修理、誤作動、不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化、消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接または間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、回転数や冷却水温度などの故障診断に有用な情報を G-Link システム内に常時記録します。

補機バッテリーの取りはずしについて

マルチメディアシステムはパワースイッチを OFF にするごとに、各種データをマルチメディアシステムに保存しています。各種データの保存が終わる前に補機バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。

安全にお使いいただくため

安全のため、次の内容にしたがってお使いください。

ナビゲーションは、目的地に到着するまでのサポートをするものです。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。

安全運転をさまたげるような使い方はしないでください。運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。

運転中は、音声案内に従い、安全な状況でのみ少しのあいだだけ画面を見るようにしてください。ただし、音声案内にすべてを頼るのではなく、あくまでも参考としてください。正常に自車位置を特定できない場合、音声案内が誤っていたり、遅れたり、音声案内されないことがあります。

システム内のデータは不完全な場合があります。運転規制（左折禁止や通行止め）などの道路状況はひんぱんに変更されます。そのため、指示に従う前に、指示の内容が安全かつ合法であるか確認してください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転中は運転者がシステムを操作しないでください。道路や交通への注意が不十分な場合、事故を引き起こす可能性があります。
- 運転中は、必ず交通規制を遵守し道路状況に注意してください。道路の交通標識が変更された場合、一方通行指示などの情報がルート案内に反映されない場合があります。

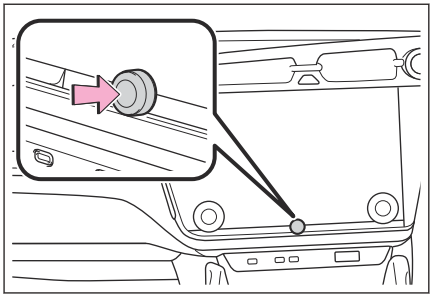
本書の見方

本書で使用している記号について説明します。

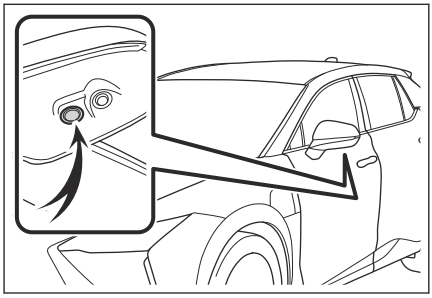
本文の記号について

記号	意味
	警告：お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意：お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
1 2 3…	操作や作業の手順を示しています。
	知識：機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



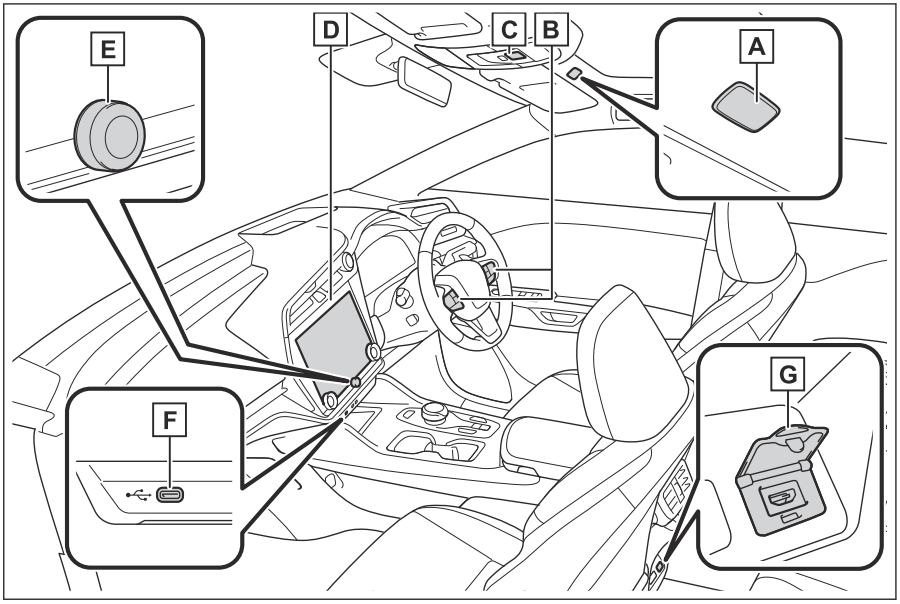
記号	意味
	押す、まわすなどの操作を示しています。



記号	意味
	説明の対象となるものや場所を示しています。

イラスト目次

インストルメントパネル



A マイク P.43

B ステアリングスイッチ

オーディオを操作する P.38

音声操作システムを使用する P.44

電話をかける P.277,279

C ヘルプネットスイッチ P.320

D ディスプレイ P.14

E [⏻ VOL]ノブ P.36

F USB Type-C 端子 P.40

G HDMI 端子 P.41

1 基本操作

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

ディスプレイと操作スイッチ ... 14
マルチメディア画面の概要 16
メインメニュー 19
ステータスアイコンの見方 21
タッチスクリーンの操作 23
画面の基本操作 26
文字や数字の入力 28

1-2. ナビゲーションの基本操作

地図画面表示 30
車の現在地の表示 32
地図のスケール（縮尺）の切りかえ 33
地図の向きの切りかえ 34
地図の動かし方 35

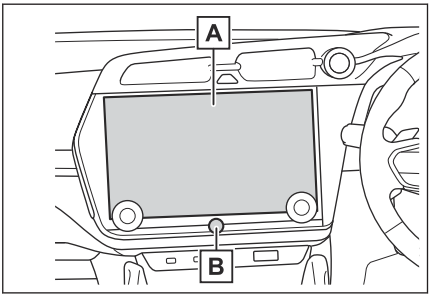
1-3. オーディオの基本操作

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する 36
オーディオのソースを変更する 38
USB 機器を接続する 40
HDMI 機器を接続する 41

1-4. エージェント（音声対話サービス）

音声で操作する 42
音声操作を開始する 44
音声コマンドを発話する 47
キーボードで情報を検索する ... 51

ディスプレイと操作スイッチ



A ディスプレイ

タッチスクリーンを指で直接ふれて操作します。

B [⏻ VOL] ノブ

オーディオの ON/OFF や音量を調整できます。(→P.36)

知識

- 液晶画面は、周囲環境や見る方向により画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面にあたると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作をせず、停車させてから操作をしてください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

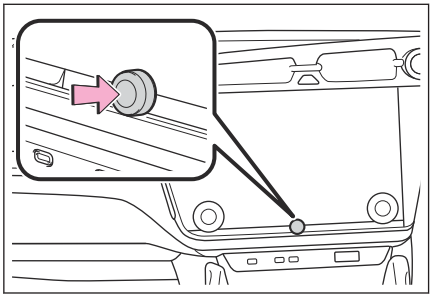
⚠ 注意

EV システムが停止した状態で長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。

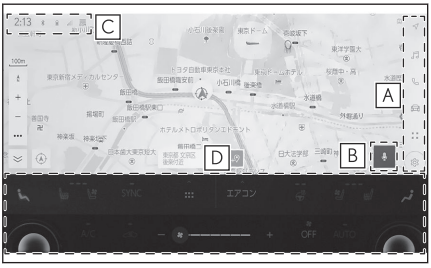
システムを再起動する

システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動できます。

- [⏻ VOL] ノブを 3 秒以上押し続けます。



マルチメディア画面の概要



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B マイクボタン

音声操作画面が表示され、音声でナビゲーションやオーディオなどさまざまな機能を操作できます。

C ステータスアイコン

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。

D エアコン操作ボタン

エアコンや各種車両機能の操作ができます。*1

知識

地図画面で[ ]、映像コンテンツ視聴時に[ ]にタッチして映像を拡大表示してより大きく表示できます。



関連リンク

メインメニュー (P.19)
ステータスアイコンの見方 (P.21)
音声操作を開始する (P.44)

2 画面表示の操作

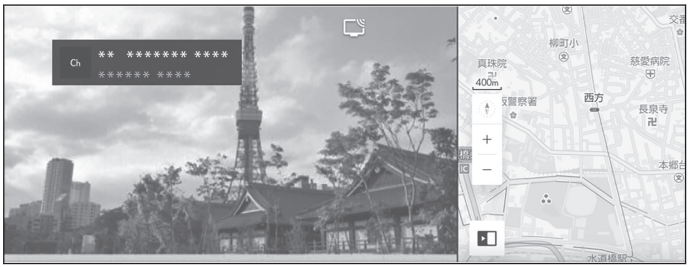
動画や地図表示中に[ ]にタッチすると、2 画面表示にすることができます。

*1: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。



動画表示中は地図との 2 画面表示、地図表示中はオーディオまたは地図との 2 画面表示ができます。

▶ **動画 2 画面表示**



▶ **地図 2 画面表示（地図）**



▶ **地図 2 画面表示（オーディオ）**



● [ ]にタッチすると、2 画面表示を終了します。

- 地図を 2 画面表示させているときに[ ]にタッチして、右側のオーディオ画面と地図画面を切りかえます。
- 地図を 2 画面表示にしてオーディオ画面を表示させているとき、オーディオ画面の[<]／[>]にタッチして、オーディオソースを切りかえます。

知識

動画 2 画面表示中にステアリングスイッチの操作などでオーディオソースが動画以外に変わると 2 画面表示は終了します。

メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。



：Apple CarPlay

Apple CarPlay 画面を表示します。(→P.126)

：Android Auto™

Android Auto 画面を表示します。(→P.132)

：ナビゲーション

地図画面を表示します。目的地検索などナビゲーションに関する操作を行うことができます。(→P.30, 138)

：オーディオ

オーディオ操作画面を表示します。お好みのオーディオソースを選択して再生できます。(→P.38, 221)

：電話

電話画面を表示します。Bluetooth®接続した携帯電話を使用してハンズフリー通話を行うことができます。(→P.269)

：車両連携

車両情報画面を表示します。車両情報の表示や車両装備の設定を行うことができます。*1(→P.410, 434)

：コネクティッド

アプリケーション画面を表示します。

：設定

設定画面を表示します。マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。(→P.58)

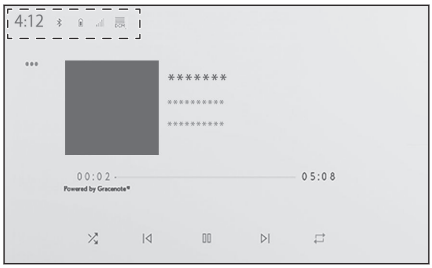
*1：詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

知識

Apple CarPlay/Android Auto のアイコンは、対応機器を接続して機能を有効にすると表示されます。

ステータスアイコンの見方

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。



4:12

現在の時刻が表示されます。時計にタッチすると、日付や時刻の設定画面を表示できます。

Bluetooth®接続されている携帯電話の接続状態が表示されます。アイコンにタッチすると、Bluetooth®機器の設定画面を表示できます。

接続されている携帯電話の受信レベルが表示されます。

接続されている携帯電話の電池残量が表示されます。

有効期限内の ETC カードが挿入されている場合に表示されます。

通信モジュール（DCM）の受信状態が表示されます。

Wi-Fi Hotspot の受信状態が表示されます。★

クリアランスソナーが作動している場合に表示されます。

ワイヤレス充電器が搭載されている場合に表示されます。

/ /

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ドライブレコーダーの作動状況が表示されます。(→P.426)

知識

- 携帯電話の電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- Wi-Fi®の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。
- 次のような場所や状態で携帯電話を使用すると、Bluetooth®接続ができないことがあります。
  - 携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、グローブボックスやコンソールボックスの中にあるとき
  - 携帯電話が金属製のものに接していたり、覆われていたりするとき
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth®接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

関連リンク

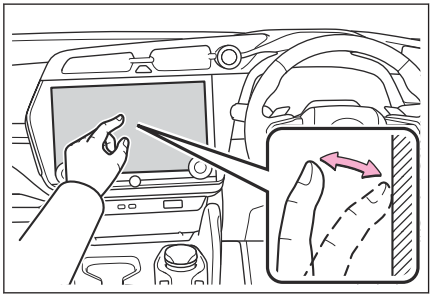
マルチメディアシステムの共通設定を変更する (P.65)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)

タッチスクリーンの操作

画面を指で直接ふれて操作します。

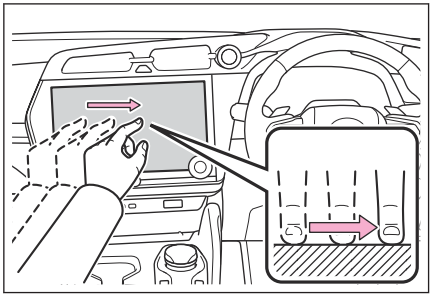
■ タッチ

画面を指で軽くタッチします。画面内の項目を選択できます。



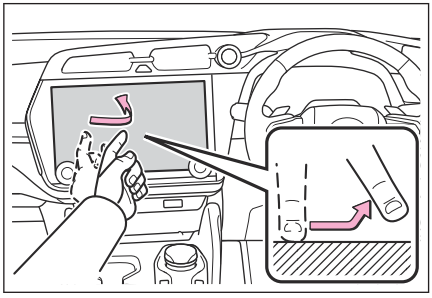
■ ドラッグ

画面にふれたまま指を動かします。リスト画面や地図画面を指を動かした分だけスクロールできます。



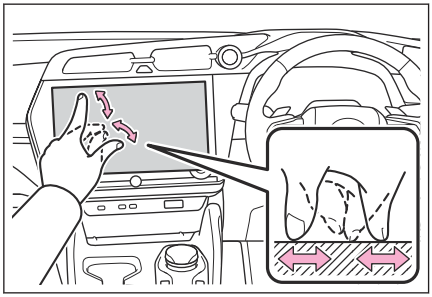
■ フリック

画面にふれた指先を素早く払います。リスト画面や地図画面を大きくスクロールできます。



■ ピンチイン／ピンチアウト

画面にふれた 2 本の指を広げたり近づけたりします。地図の拡大や縮小を行うことができます。



知識

- 一部の機能において、長押し（画面にタッチし続ける）やダブルタップ（画面に素早く 2 回タッチする）が必要な操作があります。
- 画面をタッチするときの感度レベルを変更できます。
- 画面のボタンにタッチしたときの応答音出力の有無を変更できます。
- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。
- 走行中は操作が制限されます。

関連リンク

マルチメディアシステムの共通設定を変更する (P.65)

タッチスクリーン操作上の留意事項

知識

- タッチスクリーン操作の反応がないときは、一度画面から手を離して再度操作をしてください。
- 次の場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
  - 手袋などを装着しているとき
  - 爪で操作したとき
  - 他の指や手のひらが画面にふれているとき
  - 画面に汚れや水分が付着しているとき
  - 画面にフィルムなどを貼ったり、塗装などをしたとき
  - 近くにテレビ塔や発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など、強い電波やノイズを発生する場所があるとき
  - 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき、または車内で充電しているとき

- 画面に次のような金属製のものが接していたり、覆われていたりしている場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
  - アルミ箔などの金属の貼られたカード
  - アルミ箔を使用したタバコの箱
  - 財布やかばんの金属部品
  - 小銭
  - CD/DVD などのメディア、USB Type-C ケーブルなど
- 画面に手がふれた状態でシステムを起動すると、タッチスクリーン操作が反応しないことがあります。画面から手を離し再度操作をしてください。それでも反応しない場合は、パワースイッチを OFF にし、再度システムを起動してください。
- Apple CarPlay のマップアプリはピンチイン／ピンチアウト機能に対応していません。

⚠ 注意

- 画面保護のため、指を軽く画面にふれてタッチスクリーンを操作してください。
- 指以外のものでタッチスクリーンを操作しないでください。
- 画面の汚れは、メガネ用クリーニングクロスなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- ベンジンやアルカリ性溶液などを使用して画面を清掃しないでください。画面が損傷するおそれがあります。
- 条件によって画面表面が熱くなることがあります。長時間ふれ続けると低温やけどを起こす可能性があります。

画面の基本操作

設定画面や楽曲検索など、複数の候補がある場合にリスト画面が表示されます。リストをスクロールして希望の項目を選択します。



A メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

B サブメニュー

項目がリストで表示されます。ドラッグまたはフリック操作でリストをスクロールできます。

C 詳細エリア

サブメニューで選択した項目の詳細情報が表示されます。

D 戻るボタン／画面タイトル

画面タイトルが階層表示されます。[<]にタッチすると 1 つ上の階層に戻ることができます。

知識

走行中は操作が制限されます。

■ リストの検索

インデックスの文字にタッチすると、リストの中から希望の項目を表示できます。

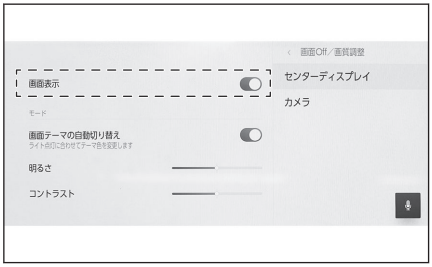


■ 設定の ON/OFF 切りかえ

項目にタッチすると、設定の ON/OFF が切りかわります。

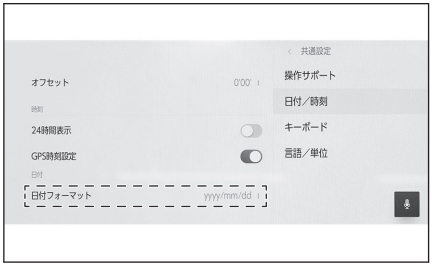
 : ON

 : OFF



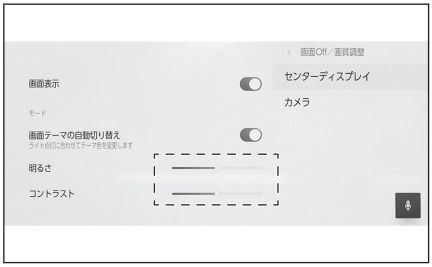
■ 複数オプションの設定項目

[⋮]が付いた項目にタッチすると、複数のオプションから項目を選択できます。



■ レベル調整

スライダーをドラッグして項目のレベルを調整できます。



関連リンク

メインメニュー (P.19)

文字や数字の入力

キーボードを使用して、文字や数字を入力できます。文字を入力すると、あとに続く文字を予測して変換候補が表示されます。

▶ **画面例（日本語入力）**



▶ **画面例（英字入力）**



／ ：キーボードを終了して前の画面にもどります。

／ ：カーソルを移動します。

：表示されている以外の予測変換候補を表示します。

：1 つ前の文字を消去します。

：キーボードの種類を切りかえます。

：大文字と小文字を切りかえます。

[**検索**]：入力した文字を確定して検索を実行します。

：キーボードを閉じます。

123：数字や記号の入力モードに切りかえます。

ABC：英字の入力モードに切りかえます。

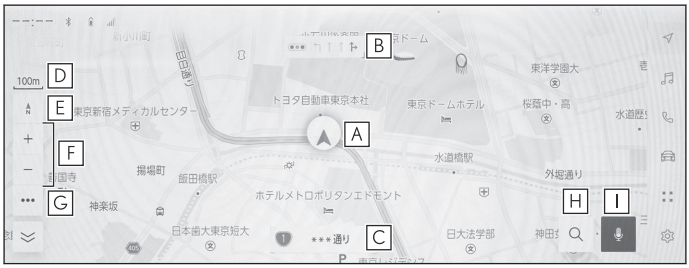
知識

- 機能により、表示されるキーボードの種類が異なります。

- [ ]を長押しすると、キーボードの種類を直接選ぶことができます。
- [ ]をダブルタップすると、入力する文字を大文字に固定することができます。

地図画面表示

地図画面上に表示される情報の説明および役割を説明します。地図画面を表示するには、メインメニューの[ ]にタッチします。



A 自車位置マーク

現在位置と車が向いている方角を表示します。

B レーン（車線）表示

通過および分岐する交差点の車線を表示します。（地図データに情報のある交差点のみ）

目的地案内中は走行を推奨する車線がハイライト表示されます。

C 名称表示

走行している道路の名称を表示します。（地図データに情報のある地点のみ）

D スケール表示

表示させている地図の縮尺を表示します。

E 方位マーク

地図の方角を表示します。タッチすると地図の向きが切りかわります。

地図向きの切り替えについては、地図の向きの切り替えをご覧ください。

F 拡大／縮小ボタン

地図の表示を拡大／縮小します。

G 表示設定ボタン

表示変更画面を表示し、周辺施設の表示設定などを変更できます。

H 目的地ボタン

目的地の検索画面を表示します。

I マイクボタン

音声操作画面を表示します。

知識

本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、VICS 非表示の画面を使用しています。

関連リンク

車の現在地の表示 (P.32)
地図の向きの切りかえ (P.34)
地図表示設定 (P.143)
目的地検索について (P.190)
音声で操作する (P.42)

車の現在地の表示

現在地は自車位置マーク[ ]で表示されます。



地図画面をスクロールしたときは[ ]、またはメインメニューの[ ]にタッチすると、現在地地点に戻ります。

知識

- 走行中は表示される道路が制限されます。（幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。
- 新車時、および補機バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク[ ]が表示されている（自車位置マーク[ ]がずれている）ことがあります。ただし、地図の自車位置マーク[ ]がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。
- 地図色によって自車位置マーク[ ]の形状は変わります。
- 地図データに情報がないときは、路線名／路線番号は表示されません。

関連リンク

現在地を修正する (P.85)

地図のスケール（縮尺）の切りかえ

地図の拡大／縮小ができます。

地図画面上の[＋]（拡大）または[－]（縮小）にタッチします。



● 画面のピンチイン／ピンチアウト操作や特殊なタッチ操作でも縮尺を切りかえることができます。
  - ダブルタップで拡大：画面に素早く 2 回タッチ
  - タッチで縮小：画面に 2 本指を揃えてタッチ

● [＋]／[－]を長押しすると無段階に縮尺が切りかわります。

市街図の表示

地図を拡大したときに、市街図を表示させることができます。

スケール表示が 50m のとき[＋]にタッチします。

市街図表示を解除するときは、[－]にタッチ、または画面のピンチイン操作をします。

知識

● 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。
● 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。

地図の向きの切りかえ

車の進行方向に合わせて地図の向きを切りかえることができます。お好みに合わせて変更してください。

地図画面上の[ ]にタッチするごとに、ノースアップ表示、 ヘディングアップ表示または 3D 表示に切りかわります。

- ノースアップ表示[ ]

  車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。

- ヘディングアップ表示[ ]

  車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

- 3D 表示[ ]

  地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切りかえているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

知識

- 3D 表示の角度を調整することができます。
- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、目的地の設定で呼び出した地図や全ルート図表示画面などの現在地画面以外の地図にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に復帰します。

関連リンク

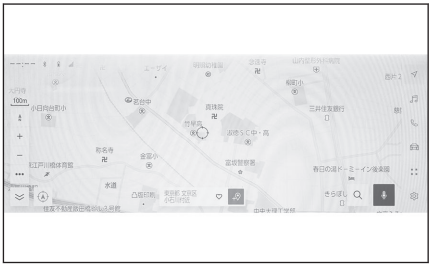
俯角設定 (P.78)

地図の動かし方

タッチした地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。

地図上の地点にタッチします。

- タッチした地点が画面の中心になるように移動します。



- タッチした地点に施設情報がある場合は詳細が表示されます。
- 地図をスクロールして任意の地点で[ ]にタッチすると、新規目的地／経由地として設定することができます。
- 地図をスクロールして任意の地点で[ ]にタッチすると、お気に入りに登録することができます。
- [ ]または[ ]にタッチすると、現在地に戻ります。

知識

画面のフリック操作やドラッグ操作で地図を移動させることもできます。

関連リンク

タッチスクリーンの操作 (P.23)
地図の向きの切りかえ (P.34)
地点情報を表示する (P.139)

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する

オーディオを使用しないときに OFF にしたり、適度な音量に調整できます。

パワースイッチが ACC*1 または ON のときに使用できます。

知識

■ ACC カスタマイズが OFF のとき

パワースイッチが OFF の状態でも、節電機能が働くまでの一定時間はマルチメディアシステムが使用できます。マルチメディアシステムの電源を OFF にしたいときは次のいずれかの操作を行ってください。

- オーディオコントロールノブを押す
- 運転席のドアを開ける

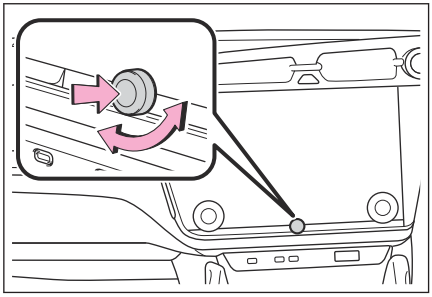
注意

- EV システムが停止した状態でマルチメディアシステムを長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。
- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

■ オーディオコントロールノブで操作する

[⏻ VOL]ノブ

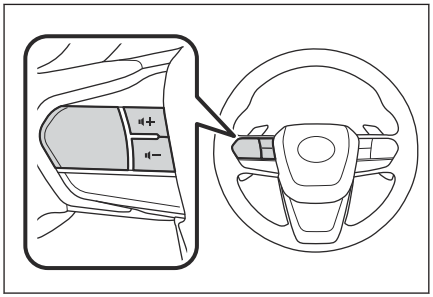
押すごとに ON/OFF が切りかわります。まわすと音量が切りかわります。



*1 : カスタマイズメニューから ACC カスタマイズの ON/OFF を切り替えることができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

■ ステアリングスイッチで操作する

▶ A タイプ



Audio power スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

押すごとに ON/OFF が切りかわります。

[🔊+]スイッチ

音量を大きくします。

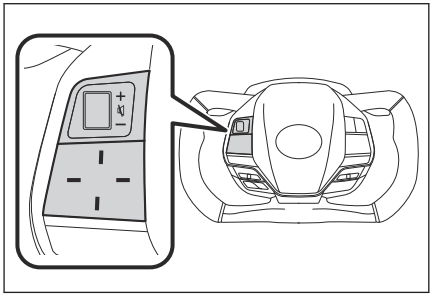
押し続けると、連続して調整できます。

[🔊−]スイッチ

音量を小さくします。

押し続けると、連続して調整できます。

▶ B タイプ



Volume スイッチ

音量を調整します

押すと消音します。再度押すと解除します。

Audio power スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

押すごとに ON/OFF が切りかわります。

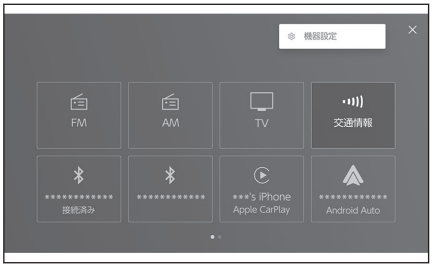
オーディオのソースを変更する

ラジオや USB などのソースを変更できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **希望のソースにタッチします。**



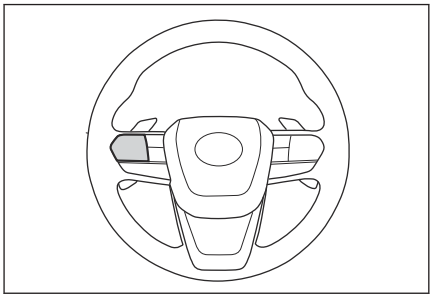
知識

- 次のときは、ボタンが操作できません。
  - USB Type-C 端子に機器が接続されていないとき（USB モード）
  - HDMI 端子に機器が接続されていないとき（HDMI モード）
- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。
- Apple CarPlay の接続方法によっては、次の機能は利用できません。
  - iPod
  - USB オーディオまたは USB ビデオ
  - Bluetooth®オーディオ
  - Miracast®
  - Android Auto
- Android Auto 接続中は、次の機能は利用できません。
  - iPod
  - USB オーディオまたは USB ビデオ
  - Apple CarPlay

ステアリングスイッチでソースを変更する

ステアリングスイッチでソースの変更ができます。

▶ A タイプ



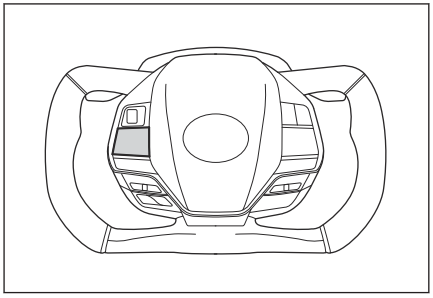
Mode スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ソースが順番に切りかわります。

押し続けると一時停止または消音します。再度押し続けると解除します。

▶ B タイプ



Mode スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ソースが順番に切りかわります。

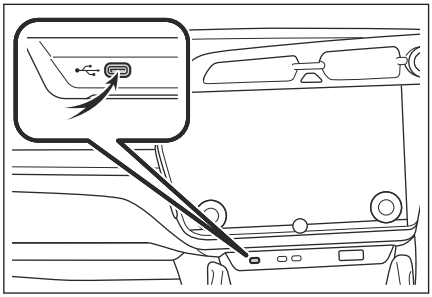
押し続けると一時停止または消音します。再度押し続けると解除します。

USB 機器を接続する

スマートフォンやポータブルプレーヤーなどの機器を接続できます。

● **USB Type-C ケーブルを端子に接続します。**

USB メモリーを接続するときは USB Type-C 端子に直接接続してください。



知識

- お使いの機器によっては、視聴できない場合があります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。*1
- USB Type-C ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。(アクセサリーソケットについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください)

注意

- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体もしくは接続機器が破損するおそれがあります。
- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

*1 : USB メモリー、iPod/iPhone のみ
動作を保証しているわけではありません。

HDMI 機器を接続する

HDMI 出力に対応した機器を接続できます。

● **HDMI ケーブルを HDMI 端子に接続します。**

知識

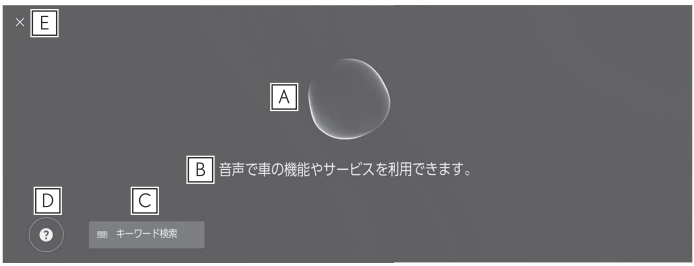
- お使いの機器によっては、視聴できない場合があります。
- HDMI ケーブルおよび接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリーソケットについては、別冊「取扱説明書」を参照してください）

注意

- 接続中に外部機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。

音声で操作する

エージェント（音声対話サービス）を使用して、ナビゲーションやオーディオ、ハンズフリー電話といったさまざまな機能を音声で操作できます。G-Link をご利用の場合は、クラウド上のコンテンツを活用した情報検索を行うこともできます。



A 音声認識ステータスが表示されます。

[ ]: 発話待ち

[ ]: 聞き取り中

[ ]: 音声認識処理中

B 音声操作システムの応答や認識結果がテキストで表示されます。

C キーボード画面を表示します。

キーボードを使用してさまざまな情報を検索できます。

D 音声操作の発話例がリストで表示されます。

音声操作でよく使用される発話の一例を、機能ごとに確認できます。

E 音声操作画面を閉じます。

知識

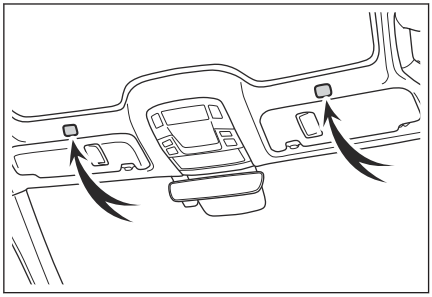
- 画面に G-Link の接続状況が表示されることがあります。
  [**オンラインサービスはご利用できません**]: G-Link 契約がない。
  [**インターネットに接続していません**]: インターネットに接続されていない。
- 運転中は、音声操作画面が画面下に表示されます。

関連リンク

キーボードで情報を検索する (P.51)

マイク位置

マイクは運転席側と助手席側にそれぞれ設置されています。



対応言語

エージェント（音声対話サービス）の対応言語は日本語のみです。

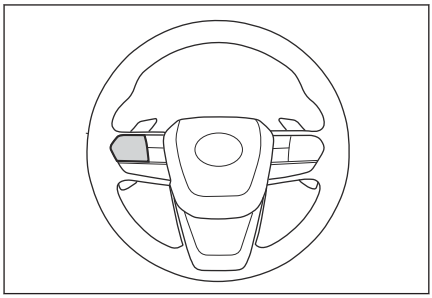
音声操作を開始する

次のいずれかの操作で音声操作をはじめることができます。

■ トークスイッチを押す

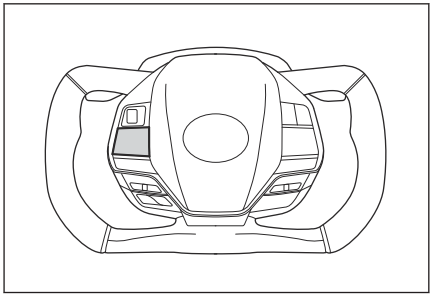
ステアリングの[ ]スイッチ（トークスイッチ）を押します。

▶ **A タイプ**



スイッチの位置は車両やマルチメディアシステムの状態によってかわります。

▶ **B タイプ**



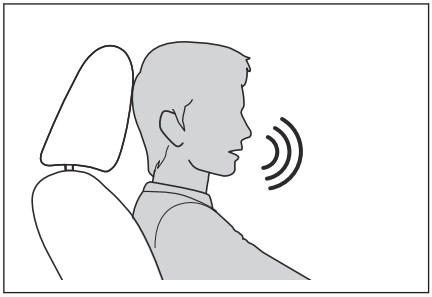
スイッチの位置は車両やマルチメディアシステムの状態によってかわります。

■ 起動ワードを発話する

「Hey Lexus」と発話します。

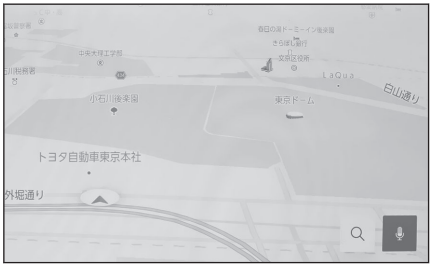
- 起動ワードは設定画面で変更できます。
- 起動ワードと音声コマンドを続けて一度に発話できます。

  例：「Hey Lexus、 近くの喫茶店に行きたい」



■ マイクボタンにタッチする

画面の[ ]にタッチします。



知識

- 起動ワードでエージェント（音声対話サービス）を起動することで、運転席または助手席から音声操作を行うことができます。その際、エージェントを起動させた席以外からの音声コマンドは認識されません。
- 助手席からの音声操作は、一部の機能を利用することができません。
- トークスイッチまたはマイクボタンでエージェント（音声対話サービス）を起動した場合は、運転席からのみ音声操作を行うことができます。
- エージェント（音声対話サービス）は、正しく発話しないと認識されないことがあります。次の点にご留意の上、ご使用ください。
  - ハッキリした声で発話してください。
  - 騒音（風切り音や外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、窓を閉めてください。
  - エアコンの送風音が大きいときは、正しく認識されないことがあるため、風量を下げてください。
  - 音楽が大音量で再生されているときは、正しく認識されないことがあるため、音量を下げてください。
  - 複数人で同時に話すと認識されないことがあります。
- 音声ガイドの途中でも音声コマンドを発話できます。
- 音声ガイドの ON/OFF は音声操作設定画面で変更できます。
- エージェント（音声対話サービス）の音声ガイドの音量は次の方法で調整できます。
  - 音声ガイド中に[VOL]ノブもしくはステアリングスイッチの[+] / [-]スイッチを操作する
  - [**音声＆オーディオ**]設定画面の[**システム音量**]

関連リンク

音声操作の設定を変更する (P.69)
音声操作システムの起動ワードを変更する (P.69)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)

音声操作を終了する

次のいずれかの操作で音声操作を終了します。

- **「キャンセル」と発話します。**
- **音声操作画面の[]にタッチします。**
- **ステアリングの[]スイッチ（トークスイッチ）を押し続けます。**

音声コマンドを発話する

音声操作画面が表示されたら音声コマンドを発話してください。システムは自然な発話を認識できます。



知識

- 方言や言い方の違いなどにより正しく認識されないことがあります。
- 地名や施設を検索するときに、エージェント（音声対話サービス）が通称や略称を認識しない場合は、正式名称でお話しください。
- 何をどうしたいかがわかるように発話すると、エージェント（音声対話サービス）が発話を認識しやすくなります。たとえば目的地を名称で検索する場合、名称のみを発話するのではなく、「近くの喫茶店に行きたい」のように名称と動詞を含めて発話してください。

機能一覧

音声で操作ができる主な機能と発話例の一覧です。

使用できる機能は、車両や搭載されるシステムによって異なる場合があります。

■ 共通コマンド

動作	発話例
最初からやり直す	「最初からやり直す」
音声操作を終了する	「キャンセル」
音声操作のヒントを聞く	「ヘルプ」
前の画面に戻る	「戻る」
リストの番号を選択する	「1 番目」
リストを次のページ／前のページに送る	「次のページ」「前のページ」

■ 目的地検索

目的地を施設の名称やジャンル、住所から設定することができます。

動作	発話例
目的地を名称で検索する	「<施設のカテゴリ／施設名称>を探して」「近くの<施設のカテゴリ>に行きたい」
クラウド情報を利用して施設を検索する*1	「駐車場があるコンビニを探して」
目的地を住所で検索する	「<住所>に行きたい」
自宅を目的地に設定する	「自宅へ戻る」

■ ナビゲーション操作

地図の操作や目的地の削除などができます。

動作	発話例
地図のタイプを変更する	「地図を 3D に変更」
地図を拡大／縮小する	「地図を拡大して」「地図を縮小して」
地図を表示する	「地図を見せて」
目的地までの所要時間を聞く	「所要時間を教えて」
目的地を削除する	「目的地を消して」
目的地の履歴を表示する	「目的地の履歴を見せて」
ETC 料金を聞く	「ETC の料金を教えて」

■ オーディオ操作

ラジオ、USB メモリー、Bluetooth®オーディオなどの操作ができます。
メディアに登録されているアーティスト名、アルバム名、曲名で指定できます。
TV 局名やラジオ局名から指定することもできます。

動作	発話例
オーディオの音量を上げる／下げる	「音量を上げて」「音量を下げて」
オーディオをミュートする	「ミュートして」
次の曲／前の曲を再生する	「次の曲を再生」「前の曲を再生」
楽曲を指定して再生する*2	「<アーティスト名>の曲を再生」「<アルバム名>をかけて」「<楽曲名>を再生して」
ラジオを選局する	「FM<周波数>に合わせて」「<放送局名>に変えて」
テレビのチャンネルを選局する	「チャンネルを<TV 局名>に変えて」

*1：G-Link 契約が必要になります。
*2：USB 接続した機器に登録されている楽曲が再生できます。

動作	発話例
オーディオソースを切りかえる	「<オーディオソース>に切りかえて」

■ ハンズフリー電話操作

車両に接続されている Bluetooth®携帯電話で電話をかけることができます。

連絡先に登録されている名前、電話種別を指定できるほか、電話番号からかけることもできます。

動作	発話例
電話帳の連絡先に電話をかける*1	「<連絡先>に電話」
電話番号でかける*1	「<電話番号>にかけて」
発信／着信履歴を表示する*1	「電話履歴を表示」
Bluetooth®接続画面を表示する	「Bluetooth 設定画面を表示して」

■ 情報検索サービス*2

G-Link のサービスを利用して情報を検索することができます。

動作	発話例
天気情報を聞く	「明日の東京の天気を教えて」
株価情報を聞く	「トヨタの株価を教えて」
ニュースを聞く	「スポーツのニュースを教えて」

■ エアコン操作

エアコンの温度や風量を操作できます。

動作	発話例
エアコンを ON/OFF する	「エアコンをつけて」「エアコンを切って」
エアコンの温度を変更する	「温度を上げて」「温度を下げて」「温度 25℃にして」
エアコンの風量を変更する	「風量を上げて」「風量を下げて」「風量を 3 にして」

■ 車両機器操作*2

窓の開閉など、車両装備の操作ができます。

動作	発話例
窓を開閉する	「全部の席の窓を開けて」「全部の席の窓を閉めて」 「運転席の窓を開けて」「運転席の窓を閉めて」
フロントワイパーを動かす*1	「ワイパーを動かして」

*1：助手席からの発話は認識されません。

*2：G-Link 契約が必要になります。

動作	発話例
シートポジションを記憶する／メモリから呼び出す*1	「ポジションメモリ 1 番を再生して」「ポジションメモリ 1 番に記憶して」
イルミネーションの色を変更する	「イルミネーションを赤色にして」
ヘッドアップディスプレイを操作する*1	「ヘッドアップディスプレイを ON にして」
オドメータを表示する*1	「オドメーターを表示して」
トリップメーター A を表示する*1	「トリップ A を表示して」
カメラ映像を表示する*1	「サイドカメラ映像を表示して」「ワイドフロントビューを表示して」「ムービングビューを表示して」
カメラ映像を切りかえる*1	「カメラ画像を切りかえて」
クルーズコントロールの設定を変更する*1	「クルーズコントロールを時速 100 キロに設定して」「車間距離を 4 に設定して」

■ 車両情報

航続可能距離などの情報を確認することができます。

動作	発話例
航続可能距離を聞く	「走行可能距離を教えて」
平均車速を聞く	「平均車速を教えて」

■ 通知表示中の音声応答

電話着信の通知に対して、音声で応答操作を行うことができます。音声応答に関する設定は、音声設定画面で変更できます。

――関連リンク――

音声操作の設定を変更する (P.69)

*1: 助手席からの発話は認識されません。

キーボードで情報を検索する

キーボードを使ってさまざまな情報を検索できます。G-Link をご利用の場合は、クラウド上のコンテンツを活用した目的地検索を行うこともできます。

1 [ ]にタッチします。



検索履歴がある場合には履歴画面が表示され、履歴から選択できます。

2 **検索したいジャンルを選択します。**



[**目的地**]：住所／施設名／電話番号／エリア／通り名／交差点などを検索できます。

[**オーディオ**]：アルバム／アーティスト／曲名／プレイリスト／ジャンル／放送局名などを検索できます。

[**電話**]：電話帳に登録されている名称／電話番号などを検索できます。

[**設定**]：オーディオ／電話などの設定項目を検索できます。

3 **検索キーワードを入力し、[検索]にタッチします。**



4 **検索結果のリストが表示されたら、希望の項目にタッチします。**

知識

- 走行中は操作が制限されます。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、検索を利用できません。

2 各種設定および登録

2-1. マルチメディアシステムの初期設定

ドライバーを登録する……54

2-2. 各種設定

各種設定を変更する……58

2-3. ドライバー設定

ドライバーの切りかえや登録をする……60

ドライバーの特定方法を設定する……62

2-4. 共通設定

マルチメディアシステムの共通設定を変更する……65

2-5. 画面設定

画面表示の設定を変更する……67

2-6. 音声操作設定

音声操作の設定を変更する……69

2-7. 車両設定

セキュリティ設定を変更する…71

ソフトウェア情報の確認や更新をする……73

2-8. ナビゲーション設定

ナビゲーションの設定……76

地図表示設定をする……77

ルート設定をする……79

案内設定……82

その他設定……83

走行支援の設定……88

2-9. サウンド＆メディア設定

サウンドやメディアの設定を変更する……92

画面モードを切りかえる……96

画質を調整する……97

各ソースの音を調整する……98

2-10. Wi-Fi®設定

Wi-Fi Hotspot を設定する……99

2-11. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する …101

ドライバーを登録する

マルチメディアシステムの初期設定として、オーナードライバーの登録を行い、ドライバー設定機能を有効にします。

ドライバー設定機能を利用することで、車両やマルチメディアのさまざまな設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存できます。家族や友人など複数のドライバーで車両を利用する場合に、他のドライバーの設定を変更することなく車両を利用することができます。

ドライバー設定を利用しない場合は、ゲストドライバーモードで車両を使用できます。

ご利用には G-Link 契約が必要です。

ドライバー設定について

車両やマルチメディアのさまざまな設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存し、乗車時に呼び出すことができます。

- オーナードライバーを含む計 3 名までのマイセッティングを車両に登録できます。
- マイセッティングには次のような設定情報が保存されます。
  - 一部のマルチメディア設定： 対象項目は各種設定画面に表示されている項目*1(→P.58)
  - 一部の車両設定：ドライビングポジション、メーターなど（センターに情報は保存されません。）
- 車両設定を変更すると、現在の設定情報が自動的に保存されます。
- マイセッティングを登録することにより、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。
- ドライバーを特定するための機器を登録することで、乗車の際、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。登録する機器は、スマートキーやスマートフォンなどから選択できます。

■ TOYOTA アカウントの連携

- ドライバー設定のご利用にはお車と連携された TOYOTA アカウントが必要です。
- スマートフォンアプリ「My LEXUS」を使用して TOYOTA アカウントでログインすることで、G-Link（コネクティッドナビ）または G-Link（コネクティッドナビ（車載ナビ有））を契約している車両であれば、センターから同じマイセッティングを呼び出すことができます。
- 登録したドライバー名は、スマートフォンアプリ「My LEXUS」で確認や変更ができます。

*1：ただし、一部項目は対象外です。詳細はレクサス販売店にお問い合わせください。

- オーナーとして登録されているドライバーは、車両に登録されたすべてのマイセッティングを削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナーのマイセッティングを削除できません。
- 同じマイセッティングを別の車両で同時に使用できません。
- 一部のマルチメディア設定を変更すると、センターに保存されているマイセッティングが自動更新され、更新を知らせる画面が表示されます。
- 一部のマルチメディア設定はセンターに保存され、ドライバーを削除してもセンターに保存されたマイセッティングは削除されません。TOYOTA アカウントを削除した場合は、センターに保存されたマイセッティングの情報は削除されます。

関連リンク

ドライバーの特定方法を設定する (P.62)

オーナードライバーを登録してドライバー設定機能を有効にする

ドライバー設定のご利用にはお車と連携された TOYOTA アカウントが必要です。

1 **パワースイッチを ACC または ON にしたときに、言語選択画面が表示されたら希望の言語にタッチします。**

ドライバー登録を行う際の表示言語を選択します。ドライバー登録完了後、システム言語はデフォルト言語に戻ります。



2 **スマートフォンアプリ「My LEXUS」を使ってドライバーを登録する場合は、[登録する] にタッチします。**

- スマートフォンアプリ「My LEXUS」を持っていない場合は、[**アプリのダウンロード**]にタッチして、画面の QR コードからアプリをダウンロードしてください。
- ドライバーを登録しない場合は、[**今は登録しない**]にタッチします。画面の[**次回から登録画面を表示しない**]をタッチすると、次回からドライバー登録画面が表示されなくなります。



3 **スマートフォンアプリ「My LEXUS」を起動し、説明にしたがって画面の QR コードをスキャン、または認証コードを入力してドライバーを登録します。**

4 **[確認しました]にタッチします。**

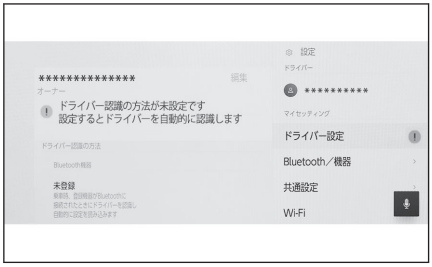
- センターに保持しているドライバー設定を使用するか、車両の設定を使用するかを選択する画面が表示される場合があります。表示された場合は、どちらの設定を使用するかを選択します。
- 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。

5 **ドライバー登録後、ドライバーを認識するための機器登録を行います。設定を続ける場合は[続ける]にタッチします。**

機器の登録はあとから行うこともできます。

6 **ドライバー設定画面で機器を登録します。ドライバーを特定するための機器を登録することで、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。**

- スマートキーやスマートフォンなど、希望の機器をマイセッティングに登録できます。
- 複数の機器をマイセッティングに登録できます。



知識

ドライバーを登録しなかった場合でも、ドライバー設定画面で登録を再開できます。

関連リンク

ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
ドライバーの特定方法を設定する (P.62)

マイセッティングを自動的に呼び出す

スマートキーやスマートフォンなど、ドライバーを認識する機器を携帯して乗車することで、マイセッティングを自動的に呼び出すことができます。

- パワースイッチを ACC または ON にしたときに、車両はマイセッティングに登録された機器の検出を開始します。登録された機器が検出されると、機器に割り当てられているマイセッティングが自動的に呼び出されます。
- マイセッティングが割り当てられた機器が検出されない場合は、ゲストドライバーモードで車両の利用を開始します。
- [**設定**]にタッチするとドライバー設定画面が表示され、マイセッティングの切りかえなどを行うことができます。
- ドライバーを特定する機器は、スマートキーやスマートフォンなどから選択できます。

知識

- マイセッティングが割り当てられた複数の機器が検出された場合は、先に検出された機器情報に基づいてドライバーを認識します。その後、信頼度の高い機器が検出

された場合、検出結果を更新してマイセッティングの切りかえボタンを表示します。

- マイセッティングが割り当てられた機器のうち、Bluetooth®機器は最後に運転したドライバーの Bluetooth®機器のみ検出されます。また、Bluetooth®機器はご使用の条件によっては、ドライバーの特定が遅くなる場合や、運転開始までにドライバーを特定できない場合があるため、Bluetooth®機器のほかにスマートキーなども合わせて登録することをおすすめします。

関連リンク

ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
ドライバーの特定方法を設定する (P.62)

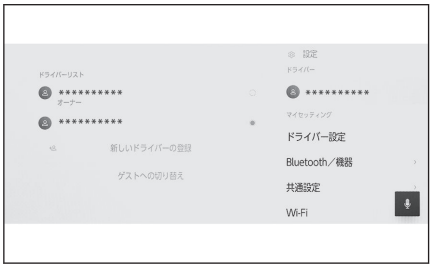
マイセッティングを切りかえる

車両に登録されているマイセッティングのリストから、利用するマイセッティングを選択することができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ ]（ドライバー名称／車両名称）または[ ][ゲスト]にタッチします。**

3 **「ドライバーリスト」から切りかえるマイセッティング名を選択します。**



4 **パスワードを入力します。**

- ドライバー設定画面で[**パスワードによる設定ロック**]を ON にしている場合に、パスワードの入力が必要になります。
- TOYOTA アカウント作成時に設定したパスワードを入力してください。
- マイセッティングの切りかえが完了するとメッセージが表示されます。

知識

マルチメディアシステムが他のドライバーに設定されている機器を検知した場合、ポップアップが表示されます。[**はい**]にタッチするとマイセッティングを切りかえることができます。

各種設定を変更する

マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
「ドライバー」	
[ ]（ドライバー名または車種名） [ ][**ゲスト**]	現在のドライバー名が表示されます。タッチすると、マイセッティングの切りかえや登録を行うことができます。(→P.60)
「マイセッティング」	
[**ドライバー設定**]	ドライバーを認識するための機器を登録できます。(→P.62)
[**Bluetooth／機器**]	Bluetooth®機器の登録や編集を行うことができます。(→P.101)
[**共通設定**]	時刻設定や表示言語など、マルチメディアの基本設定を変更できます。(→P.65)
[**Wi-Fi**]	Wi-Fi®の接続や詳細設定を行うことができます。(→P.99)
[**画面 Off／画質調整**]	画面のコントラストや明るさなどを調整できます。(→P.67)
[**音声＆オーディオ**]	システムサウンドやオーディオソースに関する設定を変更できます。(→P.92)
[**ナビゲーション**]	地図表示やルート案内などに関する設定を変更できます。(→P.76)
[**ETC**]	ETC カードの抜き忘れや有効期限の通知設定を変更できます。(→P.412)

設定項目	内容
[VICS/ETC2.0/TSPS]	VICS や ETC.2.0 の情報表示、音声案内などの通知設定を変更できます。(→P.157, 160, 161)
[**音声操作**]	音声認識機能に関する設定を変更できます。(→P.69)
「車両」	
[**車両カスタマイズ**]	メーターやステアリングスイッチなど車両装備に関する設定を変更できます。(1)(→P.88)
[**運転支援**](1)	クリアランスソナーなど運転支援に関する機能の設定を変更できます。
[**セキュリティ**]	セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。(→P.71)
[**ソフトウェア更新**]	ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。(→P.73)

(1) 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

知識

走行中は安全のため、操作ができない項目があります。

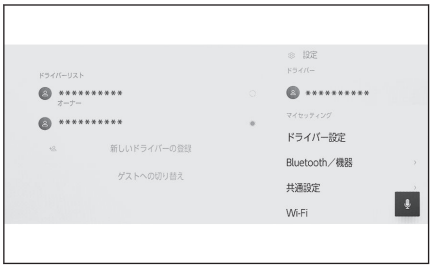
ドライバーの切りかえや登録をする

ドライバーの切りかえや登録を行います。ドライバーを登録することで、ドライビングポジションやマルチメディア設定など、車両の個人設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ ]（ドライバー名称／車両名称）または[ ][ゲスト]にタッチします。**

3 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
「ドライバーリスト」	車両に登録されているドライバーがリストで表示されます。 希望のドライバー名にタッチして、利用するマイセッティングを切りかえることができます。ドライバー設定画面で[**パスワードによる設定ロック**]を ON にしている場合は、パスワードの入力が必要です。 [**編集**]にタッチして、登録済みのドライバーを削除できます。
[ ][**新しいドライバーの登録**]	新しいドライバーを登録します。センターに保存された一部のマルチメディア設定が反映されます。一部の車両設定は初期設定の値となります。
[**ゲストへの切り替え**]	ゲスト用のドライバー設定に切りかえます。ドライバー設定画面で[**パスワードによる設定ロック**]を ON にして使用することをおすすめします。(→P.62) ゲストドライバー設定を使用することで、マイセッティングに保存されない個人設定を行うことができます。他人に車両を預ける場合は、[**ゲストへの切り替え**]にタッチすることで機器の個人特定が無効になり、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。 検索履歴や個人設定以外のマイセッティングは、ゲストのマイセッティングに引き継がれます。

知識

走行中は安全のため、操作を行うことができません。

新しいドライバーを登録する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[ ]（ドライバー名称／車両名称）または[ ][ゲスト]にタッチします。

3 スマートフォンアプリ「My LEXUS」を使ってドライバーを登録する場合は、[新しいドライバーの登録]にタッチします。

- スマートフォンアプリ「My LEXUS」を持っていない場合は、[**アプリのダウンロード**]にタッチして、画面の QR コードからアプリをダウンロードしてください。
- ドライバーを登録しない場合は、[**今は登録しない**]にタッチします。

4 スマートフォンアプリ「My LEXUS」を起動し、説明にしたがって画面の QR コードをスキャン、または認証コードを入力してドライバーを登録します。

5 [確認しました]にタッチします。

- センターに保持しているドライバー設定を使用するか、車両の設定を使用するかを選択する画面が表示される場合があります。表示された場合は、どちらの設定を使用するかを選択します。
- 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。

6 ドライバー登録後、ドライバーを特定するための機器登録を行います。設定を続ける場合は[続ける]にタッチします。

機器の登録はあとから行うこともできます。

7 ドライバー設定画面で機器を登録します。ドライバーを認識するための機器を登録することで、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。

- スマートキーやスマートフォンなど、希望の機器をマイセッティングに登録できます。
- 複数の機器をマイセッティングに登録できます。

ドライバーの特定方法を設定する

ドライバーを認識するための機器の設定や、登録しているマイセッティングの削除などができます。パワースイッチを ACC または ON にしたときに、登録した機器が検出されると、機器に割り当てられているマイセッティングが自動的に呼び出されます。登録する機器は、スマートキーやスマートフォンなどから選択できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。**

3 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
ドライバー名	ドライバー名が表示されます。 [**編集**]にタッチして、ドライバー名を変更できます。
「ドライバー認識の方法」	
「顔認証」(1)	顔認証でドライバーの認識を行い、ドライバー設定を呼び出します。[**顔情報の登録**]にタッチして登録をします。(→P.63) 登録済みの顔情報を削除する場合は、[**顔情報の消去**]にタッチします。
「キー」	
[**キー登録**](1)	登録したいキーをすべて車内に置いた後、登録操作を行ってください。他のドライバーに割り当てられているキーは登録できません。スマートエントリーシステムが OFF の場合、ドア解錠時に使用したキーをドライバーに割り当てます。

設定項目	内容
[**デジタルキー登録**]★,(1)(2)	登録したいデジタルキーを車内に置いた後、登録操作を行ってください。他のドライバーに割り当てられているデジタルキーは登録できません。車両がキーを先に検出した場合はデジタルキーの検出が停止されるため、キーとデジタルキーを併用される場合はキーも登録することを推奨します。
「Bluetooth 機器」	スマートフォンなどの Bluetooth®機器でドライバーの認識を行い、マイセッティングを呼び出します。[**機器登録**]にタッチして登録をします。(→P.117)
[**パスワードによる設定ロック**]	手動でマイセッティングを切りかえるときに、パスワードによるロックを設定します。
[**設定の初期化**]	現在選択されている一部のマルチメディア設定を初期化します。
[**ドライバー削除**]	現在選択されているマイセッティングを削除します。 オーナーとして登録されているマイセッティングを削除すると、車両に登録されたすべてのマイセッティングが削除されます。

(1) 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。
(2) G-Link 契約とデジタルキーのオプション契約が必要です。

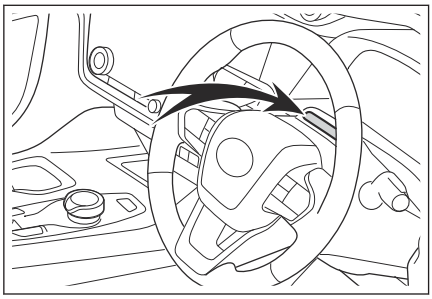
顔認証の登録をする

顔認証でドライバーを認識するための登録を行います。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。**
3 **[顔情報の登録]にタッチします。**
4 **利用規約を確認し、[同意する]にタッチします。**

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

5 **ドライバーモニター用カメラに向かって正面を向き、顔だけが映るようにして[開始]にタッチします。**



6 **システムが顔のスキャンを開始します。**

- 登録が完了するとメッセージが表示されます。
- エラー表示が出た場合は、画面に従って再度登録してください。

マルチメディアシステムの共通設定を変更する

時刻設定や表示言語など、マルチメディアシステムの基本設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[共通設定]にタッチします。
3 各項目を設定します。



● [操作サポート]

設定項目	内容
[アニメーション軽減]	画面が切りかわるときのアニメーション表示を軽減できます。
[タッチ音]	画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF を設定できます。
[タッチ感度]	スクリーンのタッチ感度を調整できます。

● [日付／時刻]

設定項目	内容
[オフセット]	時計を進めたり遅らせたりできます。
「時刻」	
[24 時間表示]	時刻の表示を 24 時間表示または 12 時間表示に切りかえることができます。
[GPS 時刻設定]	GPS 情報を利用して時刻を自動で設定します。OFF にすると、手動で時刻を設定できます。
[手動時刻設定]	[GPS 時刻設定]を OFF にしたときに、手動で時刻を設定できます。
「日付」	
[日付フォーマット]	日付の表示形式を切りかえることができます。

● [キーボード]

設定項目	内容
「検索履歴」	
[**キーボード入力結果の学習**]	キーボードの入力結果を学習できます。
[**文字学習履歴の削除**]	キーボードの文字学習履歴を削除できます。
[**検索履歴の削除**]	キーボードの検索履歴を削除できます。

● [**言語／単位**]

設定項目	内容
[**言語**]	言語を切りかえることができます。画面に表示する言語とシステム音声の言語が同時に切りかわります。
「単位」	
[**単位の自動設定**]	距離やタイヤ空気圧などの表示単位を自動で設定できます。
[**トリップインフォメーション単位**]	[**単位の自動設定**]を OFF にしたとき、トリップインフォメーションの単位を手動で設定できます。
[**タイヤ空気圧**]	[**単位の自動設定**]を OFF にしたとき、タイヤ空気圧の表示単位を手動で設定できます。

知識

- 言語設定を変更した場合、すべての表示および音声案内が選択した言語に変更されるわけではありません。また、変更することによって、いくつかの案内が行われない場合があります。
- Apple CarPlay/Android Auto の言語は接続している機器側で設定してください。

画面表示の設定を変更する

画面のコントラストや明るさなどを調整できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[画面 Off／画質調整]にタッチします。
3 各項目を選択します。



● [センターディスプレイ]

設定項目	内容
[**画面表示**]	画面表示の ON/OFF を設定できます。OFF にすると、画面を消して音声だけを再生します。 画面を再度表示させるには、画面にタッチして、画面中央のボタンをタッチします。
「モード」	
[**画面テーマの自動切り替え**](1)	ヘッドランプの点灯や消灯に応じて、昼間モードと夜間モードを自動で切りかえることができます。
[**昼間モード（ライト）**]	[**画面テーマの自動切り替え**]を OFF にしたとき、手動で昼間モードに切りかえることができます。
[**夜間モード（ダーク）**]	[**画面テーマの自動切り替え**]を OFF にしたとき、手動で夜間モードに切りかえることができます。
[**明るさ**]	画面の明るさを調節できます。
[**コントラスト**]	画面のコントラストの強弱を調整できます。

(1) ヘッドランプの AUTO 機能利用時は外光の強さによってランプの点灯／消灯が切り替わるため、場所によっては昼画モード／夜画モードが自動で切りかわらないことがあります。

● [**カメラ**]

設定項目	内容
「カメラ画面」	
[**明るさ**]	画面の明るさを調節できます。
[**コントラスト**]	画面のコントラストの強弱を調整できます。

知識

- オーディオの画質調整方法は、「画質を調整する」(→P.97)をご覧ください。
- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。
- 画面表示について
  - 画面表示 OFF のとき、画面をタッチすることでエアコン操作が可能になります。
  - 画面表示が OFF のときに画面をタッチすると、画面中央に解除ボタンが表示されます。画面を表示させる場合は、解除ボタンをタッチしてしてください。3 秒間操作がない場合は、再び画面表示が OFF になります。
  - 画面表示が OFF の場合でも、ステアリングのトークスイッチを押したり、シフトポジションを R にしたときなど、一時的に画面を表示することがあります。

音声操作の設定を変更する

音声認識機能に関する設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[音声操作]にタッチします。
3 各項目を設定します。

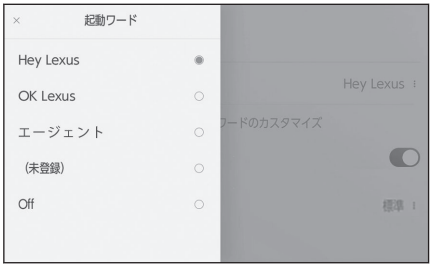


設定項目	内容
「エージェント」	
[**起動ワード**]	音声操作を開始するための起動ワードを変更できます。(→P.69)
[**起動ワードのカスタマイズ**]	音声操作を開始するための任意の起動ワードを設定できます。
[**マイクボタン**]	[ ]の表示設定を ON/OFF できます。
[**マイク感度**]	エージェント（音声対話サービス）での音声の拾いやすさを変更できます。
「音声ガイド」	
[**音声ガイド再生**]	音声ガイダンスの ON/OFF を設定できます。
[**音声ガイド設定**]	エージェントの音声を選択できます。
「通知」	
[**通知表示中の発話受付**]	電話着信の通知に対して、音声で応答操作を行うことができます。

音声操作システムの起動ワードを変更する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[音声操作]にタッチします。
3 [起動ワード]にタッチします。

4 **リストから希望の起動ワードを選択します。**



知識

- 任意の起動ワードを選択したい場合は、事前に[**起動ワードのカスタマイズ**]にタッチして、キーボードで任意のワードを設定しておく必要があります。
- 任意の起動ワードは短すぎるとエージェント（音声対話サービス）が認識できません。3 音節以上のワードを設定してください。

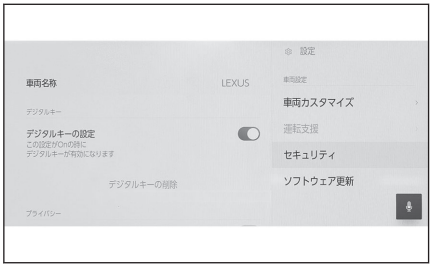
セキュリティ設定を変更する

セキュリティやプライバシーに関する設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[セキュリティ]にタッチします。

3 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**車両名称**]	システム名称(車両名称)を表示します。 外部機器から Bluetooth®機器を検索したときに表示される機器名称です。タッチして名称を変更できます。
「デジタルキー」★,(1)(2)	
[**デジタルキーの設定**]	デジタルキーの使用を有効にできます。
[**デジタルキーの削除**]	登録済みのデジタルキーを削除できます。 デジタルキーを削除する際は、DCM の通信が良好な場所で操作を行ってください。デジタルキーの削除に失敗した場合は、1 分ほど待ってから再度操作を行ってください。
「プライバシー」	
[**セキュリティロック**]	個人情報保護のための、パスワードによるセキュリティロックを有効にできます。設定を ON にすると、補機バッテリーの交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から取り外した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要になります。
[**セキュリティロックのパスワードを初期化**]	設定したセキュリティロックのパスワードを初期化できます。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

設定項目	内容
[**全ての情報を初期化**]	システムの全データを初期化して工場出荷状態にもどすことができます。

(1) 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。
(2) G-Link 契約とデジタルキーのオプション契約が必要です。

知識

- 全ての情報を初期化したあとは、しばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。
- システムを初期化した場合、データを初期化前の状態に戻すことはできません。

関連リンク

システムを再起動する (P.14)

セキュリティロックを設定する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[セキュリティ]にタッチします。
3 [セキュリティロック]にタッチします。
4 [OK]にタッチします。
5 4～15 文字の英数字で任意のパスワードを設定します。
6 パスワードを再度入力します。
メッセージが表示されセキュリティロックが有効にかわります。

知識

- パスワード設定後、補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要になります。設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを一定回数間違えて入力すると、パスワード入力ができなくなります。その場合はレクサス販売店によるロック解除を行ってください。
- セキュリティ確保のため、パスワードを設定する際は、同じパスワードを使い回したり辞書に存在する言葉を使用したりしないでください。

ソフトウェア情報の確認や更新をする

ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。より快適にご利用いただくため、マルチメディアシステムの機能や操作性向上を目的にソフトウェアの更新をします。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **サブメニューの[ソフトウェア更新]にタッチします。**
3 **各項目を選択します。**



設定項目	内容
「ソフトウェア更新」	
[**更新ソフトウェアがあります**]	[**詳細**]にタッチすると、ソフトウェアの更新情報を確認できます。更新対象の有無や更新内容を確認後、更新データのダウンロードとソフトウェア更新を行うことができます。 更新データがない場合は[**ソフトウェアは最新です**]が表示されます。
[**機種情報**]	現在のソフトウェアのバージョンなどを確認できます。
[**ソフトウェア更新**]	ソフトウェアの更新を行うことができます。 更新データがない場合は表示されません。
[**履歴**]	ソフトウェアの更新履歴を確認できます。 更新履歴がない場合は表示されません。
[**ライセンス情報**]	ソフトウェアのライセンス情報を確認できます。
[**更新通知**]	ソフトウェア更新通知の ON/OFF を設定できます。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新は、通信モジュール（DCM）を使って更新を行います。

知識

- 地図データは本サービスの更新対象ではありません。
- ソフトウェア更新中は一部の操作ができないことがあります。
- ご不明点についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンにもどすことはできません。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新中もマルチメディアシステムの操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性があります。できるだけ操作しないようにしてください。
- ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車㈱の配信サーバーに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車㈱は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。

通信モジュール（DCM）を使って更新する

マルチメディアシステムは定期的に配信サーバーへアクセスし、更新ソフトウェアの有無を確認します。

1. ソフトウェア更新通知内のボタンにタッチします。
2. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。
   - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。（約 10 ～ 15 分間）
   - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にしたときは、次回パワースイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。
   - 更新が完了するとメッセージが表示されます。
   - システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[**はい**]にタッチするとシステムが再起動します。
   - ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で[**履歴**]にタッチします。

■ 手動でソフトウェアの更新をする場合

1. メインメニューの[⚙]にタッチします。
2. サブメニューの[**ソフトウェア更新**]にタッチします。
3. 「更新ソフトウェアがあります」の[**詳細**]にタッチします。
4. 画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。
   - 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。（約 10 ～ 15 分間）
   - ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にパワースイッチを OFF にした

ときは、次回パワースイッチを ACC または ON にしたときにインストールを再開します。

- 更新が完了するとメッセージが表示されます。
- システム再起動が必要な場合、メッセージが表示されます。[**はい**]にタッチするとシステムが再起動します。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で[**履歴**]にタッチします。

知識

- 配信サーバーに重要な更新データがある場合、メッセージが表示されます。[OK]にタッチして更新するデータをダウンロードすることができます。
- ソフトウェアアップデートに失敗した場合、前のバージョンでシステムを起動します。
- ソフトウェア更新の内容によっては、通信モジュール（DCM）を使った更新ができない場合があります。その場合は、レクサス販売店にお問い合わせください。

ナビゲーションの設定

ナビゲーションの設定では、地図の色や文字サイズなど、ナビの各種設定を変更することができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。**

3 **各項目を設定します。**

- 地図表示設定
- ルート設定
- 案内設定
- 地図更新設定
- その他設定

関連リンク

地図表示設定をする (P.77)
ルート設定をする (P.79)
案内設定 (P.82)
その他設定 (P.83)
地図データの更新 (P.216)

地図表示設定をする

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [地図表示]にタッチします。
4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**県境案内**]	県境イラスト表示の ON/OFF 設定をします。
[**地図表示カスタマイズ**]	地図表示カスタマイズの設定をします。
「交通情報」	
[**道路種別の表示**]	交通情報の表示範囲の設定をします。 希望する表示範囲の道路にタッチしたあと、[**OK**]にタッチします。
「リアルタイム情報」	
[**渋滞表示**]	現況情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[**空き道表示**]	現況情報を利用した、すいている道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[**規制情報**]	規制情報がある道路の表示の ON/OFF 設定をします。
[**駐車場**]	駐車場情報の表示の ON/OFF 設定をします。
[**充電ステーション**]	充電ステーション情報の表示を ON/OFF します。
[**施設アイコン表示設定**]	周辺施設アイコンの設定をします。
[**3D ビュー俯角設定**]	地図 3D 表示時の俯角設定をします。

県境案内を設定する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [県境案内]にタッチします。

知識

- 同じ都道府県においても、進入経路によって県境イラストが異なる可能性があります。
- 県境沿いを走行する場合は、実際の県境より遅く通知されることがあります。

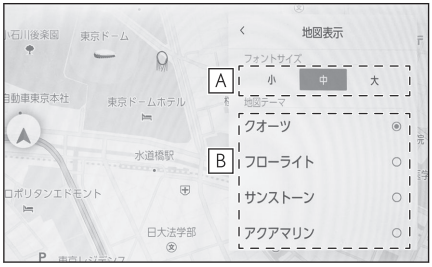
地図表示カスタマイズの設定

地図の色や文字サイズを変更することができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [地図表示カスタマイズ]にタッチします。
4 各項目を設定します。

A 地図上に表示される文字サイズを変更します。
B 地図色を変更します。

5 [OK]にタッチします。



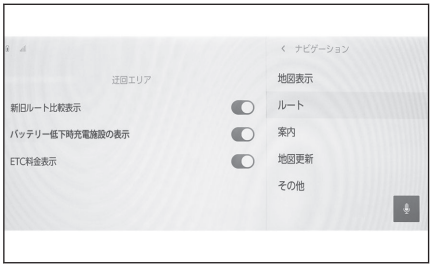
俯角設定

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [3D ビュー俯角設定]にタッチします。
4 [ ]（角度を上げる）または[ ]（角度を下げる）にタッチします。
5 [OK]にタッチします。

ルート設定をする

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [ルート]にタッチします。
4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[迂回エリア]	迂回エリアの登録と編集を行います。
[新旧ルート比較表示]	新旧ルート比較表示の ON/OFF 設定をします。
[バッテリー低下時充電施設の表示]	バッテリー残量が低下した際に、充電ステーションリストを表示します。
[ETC 料金表示]	全ルート図表示画面の料金案内を ETC 料金表示に切りかえます。 OFF にすると ETC を使用しない料金表示になります。

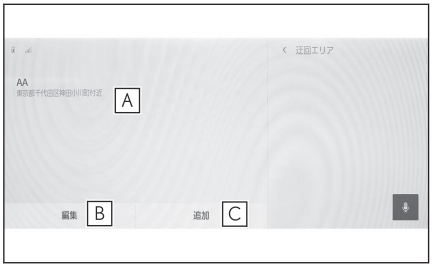
迂回エリアの設定

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回エリアとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探索します。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [ルート]にタッチします。
4 [迂回エリア]にタッチします。

5 **各項目を設定します。**

A 登録した迂回エリアのリストが表示されます。タッチするとタッチした迂回エリアを編集できます。
B 登録した迂回エリアリストの削除を行います。
C 迂回エリアを登録します。



迂回エリアを登録する

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。**
3 **[ルート]にタッチします。**
4 **[迂回エリア]にタッチします。**
5 **[追加]にタッチします。**
6 **迂回エリアを地図画面からスクロールして検索します。**
7 **[完了]にタッチします。**
迂回範囲が黄色の四角で表示されます。
8 **迂回範囲を[ ]（広くする）、または [ ]（狭くする）にタッチして設定し[完了]にタッチします。**
9 **編集画面で各項目を設定後、[OK]にタッチします。**

知識

- 迂回エリアを通らないと目的地に行けないようなときは、迂回エリアを通るルートが探索されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、[ ]（迂回メモリ地点）に切り替えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。

迂回エリアを編集する

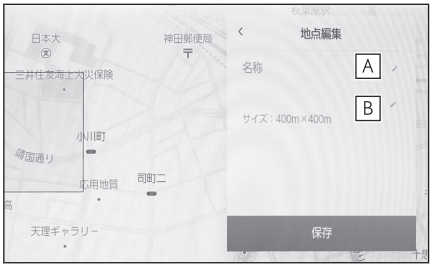
1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。**
3 **[ルート]にタッチします。**
4 **[迂回エリア]にタッチします。**
5 **修正したい迂回エリアにタッチします。**

6 **設定したい項目にタッチします。**

A 迂回エリアの名称を変更します。

B 迂回エリアと迂回範囲を変更します。

7 **[保存]にタッチします。**



迂回エリアを削除する

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。**

3 **[ルート]にタッチします。**

4 **[迂回エリア]にタッチします。**

5 **[編集]にタッチします。**

6 **削除したい迂回エリアの[ ]にタッチします。**

- [**全削除**]：すべての迂回エリアを削除します。
- [**キャンセル**]：迂回エリアの削除を中止します。

7 **[完了]にタッチします。**

案内設定

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [案内]にタッチします。
4 各項目を設定します。



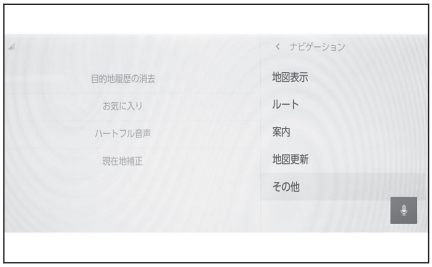
設定項目	内容
[**交差点拡大図**]	交差点拡大図の ON/OFF 設定をします。
[**オートマップズーム**]	オートマップズームの ON/OFF 設定をします。
[**渋滞・規制音声案内**]	渋滞･規制音声案内の ON/OFF 設定をします。
[**駐車場提案**]	駐車場提案の ON/OFF 設定をします。目的地に設定した駐車場が満車である場合に付近の駐車場を提案します。

関連リンク

さまざまなレーン表示画面 (P.212)
渋滞や規制情報の音声案内 (P.153)

その他設定

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [その他]にタッチします。
4 各項目を設定します。

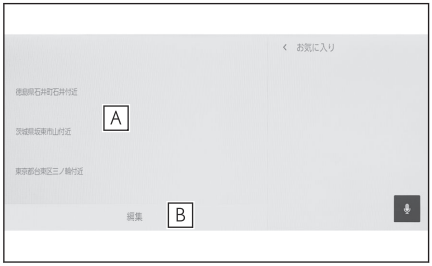


設定項目	内容
[**目的地履歴の消去**]	削除したい目的地にタッチしたあと[OK]にタッチします。すべて削除する場合は[**全削除**]にタッチします。
[**お気に入り**]	お気に入りを編集します。
[**ハートフル音声**]	ハートフル音声を設定します。
[**現在地補正**]	自車位置を修正します。

お気に入り設定

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [その他]にタッチします。
4 [お気に入り]にタッチします。
5 各項目を設定します。

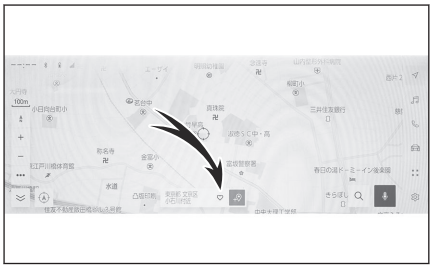
A 登録したお気に入りのリストが表示されます。タッチするとタッチしたお気に入りを編集できます。
B 登録したお気に入りリストの削除を行います。



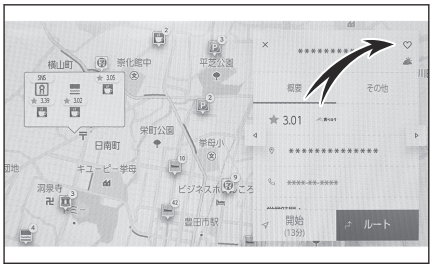
お気に入りリストの登録

お気に入りの登録は地図スクロール時や地点情報画面で[♡]をタッチすることで登録できます。

▶ **地図スクロール時**



▶ **地点情報画面**



知識

お気に入りの保存件数は最大 400 件です。

関連リンク

地点情報を表示する (P.139)
全ルート図表示画面の見方 (P.201)

お気に入りリストの編集

1 メインメニューの[⚙]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [その他]にタッチします。
4 [お気に入り]にタッチします。
5 編集したいお気に入りにタッチします。

6 **各項目を設定します。**



A お気に入りの名称を編集します。
B 電話番号を編集します。
C この地点を自宅として登録します。
D この地点をよく行く地点として登録します。
E 地図上に表示するアイコンを変更します。よく行く地点のアイコンも変更されます。

7 **[保存]にタッチします。**

知識

- よく行く地点は最大 5 件まで検索画面の下にタブで表示されます。
- 地図画面上のお気に入りアイコンをタッチした後に、[**お気に入り地点編集**]を選択すると、編集画面を表示することができます。

お気に入りリストの削除

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。**
3 **[その他]にタッチします。**
4 **[お気に入り]にタッチします。**
5 **[編集]にタッチします。**
6 **削除したいお気に入りの[ ]にタッチします。**
   - [**全削除**]：すべてのお気に入りを削除します。
   - [**キャンセル**]：お気に入りの削除を中止します。
7 **[完了]にタッチします。**

現在地を修正する

運転中、自車位置マークは GPS 信号によって自動的に修正されます。 GPS の受信状態が悪く、自車位置マークが自動的に修正されない場合は、手動で調整できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。**
3 **[その他]にタッチします。**
4 **[現在地補正]にタッチします。**
5 **地図を目的の場所まで移動して、[OK]にタッチします。**

6 矢印にタッチして自車位置マークの方向を調整して、 [OK]にタッチします。

ハートフル音声を設定する

自宅到着時の「お疲れ様でした」や日付・曜日の案内などの音声を出力させることができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。
3 [その他]にタッチします。
4 [ハートフル音声]にタッチします。
5 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**自宅到着案内**]	自宅到着案内の ON/OFF 設定をします。
[**日付案内**]	日付案内の ON/OFF 設定をします。
[**記念日案内**]	記念日案内の ON/OFF 設定をします。
[**記念日リスト**]	記念日の設定を行います。

知識

- 言語設定が日本語以外のときは、ハートフル音声設定はできません。
- 他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

記念日を追加する

1 [記念日リスト]にタッチします。
2 [追加]にタッチします。
3 各項目を設定します。
4 [OK]にタッチします。

知識

- 記念日は 1 日 1 回のみ、最初にマルチメディアシステムを立ち上げたときに発話されます。
- 記念日は当日に設定しても発話されないことがあります。

記念日を編集する

1 [記念日リスト]にタッチします。
2 編集したい記念日にタッチします。
3 各項目を設定します。
4 [OK]にタッチします。

記念日を削除する

1 [記念日リスト]にタッチします。
2 [編集]にタッチします。
3 削除したい記念日の[⊖]タッチします。
4 [OK]にタッチします。

走行支援の設定

走行支援の設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

⚠ 警告

走行支援設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識／標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

一時停止案内を設定する

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（[]）と音声で案内します。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[車両カスタマイズ]にタッチします。

3 [走行支援の設定]にタッチします。

4 [一時停止案内]を設定します。

知識

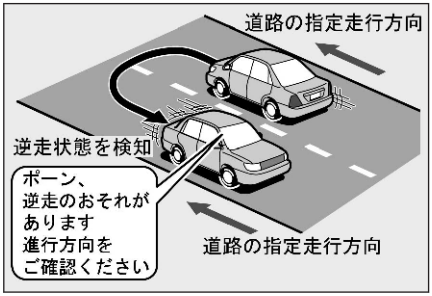
- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 一時停止交差点が連続するとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 信号機付き交差点に変わったなど、地図データと実際の道路状態が変わったとき

逆走注意案内を設定する

サービス対象道路にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内します。

サービス対象道路は、都市間高速道路／都市高速道路／一部の有料道路の本線および IC/JCT/SA/PA 施設です。





1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[車両カスタマイズ]にタッチします。

3 [走行支援の設定]にタッチします。

4 [逆走注意案内]を設定します。

知識

- 以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。
  - サービス対象道路以外を走行している場合
  - 一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など、「本線、または本線につながる区間での U ターン、SA/PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合
  - ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
  - ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
  - 地図データに情報のない道路を走行している場合
  - 急激な回転をした場合
  - 自車位置補正、方位補正が行われた直後
  - 料金所付近を走行している場合

- 本線への合流区間が短い場合
- スマート IC 付き SA/PA、その他特定の SA/PA である場合

● 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。

- 自車位置を逆走対象道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合
- 自車位置マーク[ ]の位置が正しくない場合
- 料金所手前などの U ターンが禁止されている場所で、逆走とはならない U ターンを行った場合
- SA/PA 内での一方通行違反など、交通規制に従わない走行を行った場合
- 重大事故発生時など警察および道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

道路形状案内を設定する

注意する地点の案内がある場所に近づくと、案内マークと音声でお知らせします。

知識

● 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。

● 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。

- 目的地案内開始直後
- 再探索直後
- 目的地周辺

● 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。

● 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。

● 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

踏切案内を設定する

踏切に近づくと、案内マーク（[ ]）と音声で案内します。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **サブメニューの[車両カスタマイズ]にタッチします。**
3 **[走行支援の設定]にタッチします。**
4 **[踏切案内]を設定します。**

合流案内を設定する

合流道路に近づくと、案内マーク（[ ]、[ ]）と音声で案内します。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[車両カスタマイズ]にタッチします。
3 [走行支援の設定]にタッチします。
4 [合流案内]を設定します。

レーン案内を設定する

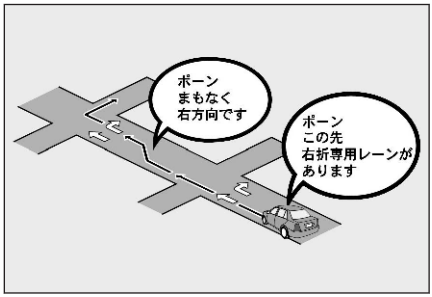
一般道を走行中に右折（左折）専用レーンのある交差点に近づくと、音声で案内します。また、高速道路を走行中にレーン数減少地点に近づくと、案内マーク（[ ]、[ ]）と音声で案内します。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[車両カスタマイズ]にタッチします。
3 [走行支援の設定]にタッチします。
4 [レーン案内]を設定します。

知識

- 右折（左折）専用レーンでは、案内マークは表示されません。
- 右折（左折）専用レーン案内の例：

  一般道を走行中、直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折（左折）専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。



事故多発地点案内を設定する

交通事故が多発している地点を案内します。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[車両カスタマイズ]にタッチします。
3 [走行支援の設定]にタッチします。
4 [事故多発地点案内]を設定します。

知識

高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（[ ]：黄色）が表示され、音声で案内します。

サウンドやメディアの設定を変更する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[音声＆オーディオ]にタッチします。

3 各項目を設定します。



● [**音設定**]>[**レベル**]

設定項目	内容
[**ASL**]	車両の速度と連動して、自動的にオーディオの音量が調整されます。

● [**音設定**]>[**音声設定**]

設定項目	内容
[**システム音量**]	システム音声の音量を調整できます。
[**ナビ案内音量**]	ナビゲーション音声案内の音量を調整できます。
[**通話中のナビ音声案内**]	通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。
[**車速感応ボリューム**]	高速道路を走行時に、音声ガイダンスの音量を自動的に上げることができます。
[**運転支援時の音量**]	運転支援システムの音量ボリュームを調整できます。
[**メッセージの自動読み上げ**]	自動読み上げの ON/OFF を設定できます。

● [**音設定**]>[**起動時のサウンドの種類**]

設定項目	内容
[**サウンドの種類**]	マルチメディアシステムを起動したときのサウンドを変更できます。
[**サウンドの音量**]	マルチメディアシステムを起動したときのサウンドの音量を変更できます。

● [**音設定**]>[**音響設定**]

設定項目	内容
[**サラウンド**]	臨場感のある音質にします。

● [**ソース共通**] > [**共通設定**]

設定項目	内容
[**カバーアート表示**]	音楽アルバムなどのカバーアートを表示します。
[**ブレーキホールド中の動画視聴**]	パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドが作動しているときに動画を視聴できます。

● [**AM/FM**] > [**AM/FM**]

設定項目	内容
[**Auto.P 設定**]	オートプリセットの設定方法を切りかえます。 • [**エリアデータベース**]に設定していると、放送局データベースの情報を利用して、放送局をプリセットに登録します。 • [**受信放送局**]に設定していると、現在地から受信可能な放送局をプリセットに登録します。
[**AM ラジオからワイド FM を利用**]	AM とワイド FM を同時に放送している地域で、AM 放送を FM 補完中継局で受信できます。

● [**DTV**] > [**設定**]

設定項目	内容
[**Auto.P 設定**]	オートプリセットの設定方法を切りかえます。 • [**エリアデータベース**]に設定すると、放送局データベースの情報を利用して、放送局をプリセットに登録します。 • [**受信放送局**]に設定すると、現在地から受信可能な放送局をプリセットに登録します。
[**地デジ・ワンセグ受信設定**]	地上デジタルテレビの受信設定を変更できます。 • [**ワンセグ自動切り替え**]に設定すると、地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切りかえます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切りかわります。 • [**地デジ固定**]に設定すると、地上デジタルテレビ放送に固定します。 • [**ワンセグ固定**]に設定すると、ワンセグ放送に固定します。
[**系列局検索**]	受信エリアからはずれたときに、中継局または系列局を自動的に検索して受信します。
[**イベントリレーの受信**]	視聴中の番組から異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動的に切りかわります。たとえば、野球の延長放送が視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動的に切りかわります。

● [**DTV**] > [**居住地域設定**]

設定項目	内容
[**都道府県住所**]	データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは設定してください。 以下 2 つを設定してください。 • 居住地域の都道府県設定：居住地域の都道府県を設定できます。初期設定は東京都です。 • [**居住地域の郵便番号設定**]：郵便番号を入力して設定できます。
[**居住地域をナビの自宅設定と連動**]	居住地域の設定をナビの自宅と連動させます。

● [DTV] > [**TV 局データの自動更新**]

設定項目	内容
[**TV 局データの自動更新**]	TV 局データの更新方法を設定できます。 • [**自動**]にすると、TV 局データを自動更新します。 • [**手動**]のときは、[**データのバージョン**]にタッチしてから[**TV 局データ更新**]にタッチすると更新します。
[**データのバージョン**]	放送局データの最新バージョン、最新更新日、マルチメディアシステムの放送局データのバージョンを表示します。

● [DTV] > [**機器 ID 表示**]

設定項目	内容
[**オリジナル RMP メーカー ID**]	オリジナル RMP メーカー ID が表示されます。
[**管理局 RMP メーカー ID**]	[‹]／[›]にタッチすると管理局名が切りかわり、その放送局の局管理 RMP メーカー ID を表示します。

知識

● システム音声案内中に[⏻ VOL]ノブ をまわすと、音声案内の音量を調節できます。

● 地デジ、ワンセグの受信に関する留意事項

- 放送が切りかわるとき、一時的に画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
- 自動で切りかわった番組の映像や音声が、視聴していた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局を視聴している場合、[**ワンセグ自動切り替え**]にしていても、ワンセグ放送に切りかわりません。

- 同じ中継局／系列局を探し出し、受信するまでの約 10 秒間は受信できません。

● イベントリレーの受信に関する留意事項

- 地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切りかわらない場合があります。
- 受信電波の弱い地域では放送局が切りかわらない場合があります。
- 山を境に放送区域がかわるところでは、トンネルを出ても放送局が切りかわらない場合があります。
- 視聴している放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、ひんぱんに切りかわることがあります。

画面モードを切りかえる

通常の映像とワイド映像を切りかえることができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[オーディオ選択]にタッチします。**
3 **画面モードを切りかえたいソースにタッチします。**
4 **[ ]にタッチします。**
5 **[画面設定]にタッチします。**
映像モードのときに、ボタンが表示されます。
6 **[ワイド設定]にタッチします。**
7 **希望のモードを選択します。**



[**ノーマル**]：入力映像をよこ 4：たて 3 の割合で表示します。
[**ワイド 1**]：入力映像を画面に合わせて拡大して表示します。
[**ワイド 2**]：入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

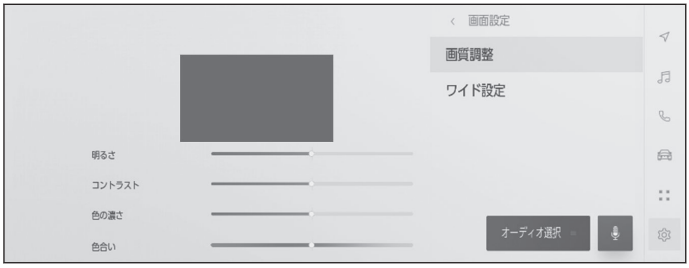
知識

- 映像モードによって設定できるモードは異なります。
- 動画の見え方に違和感が生じないよう黒帯をつけて動画表示領域を制限する場合があります。

画質を調整する

映像のコントラストや明るさなどを調整できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[オーディオ選択]にタッチします。**
3 **画質を調整したいソースにタッチします。**
4 **[ ]にタッチします。**
5 **[画面設定]にタッチします。**
映像モードのときに、ボタンが表示されます。
6 **[画質調整]にタッチします。**
7 **各項目を設定します。**



「明るさ」：明るさを調整できます。
「コントラスト」：コントラストを調整できます。
「色の濃さ」：色の濃さを調整できます。
「色合い」：色合いを調整できます。

知識

映像モードによって設定できる項目は異なります。

各ソースの音を調整する

各ソースの音質や音量バランスを調整できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

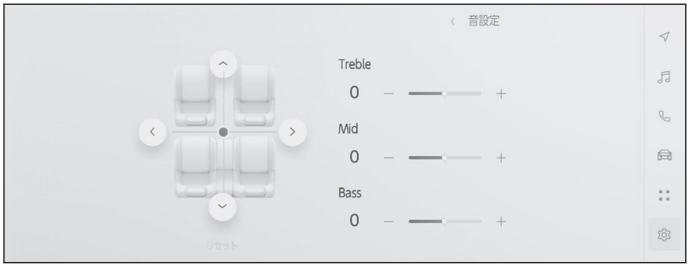
3 **音を調整したいソースにタッチします。**

4 **[ ]にタッチします。**

ソースによっては手順 6 に進みます。

5 **[音設定]にタッチします。**

6 **各項目を設定します。**



「Treble」：高音の強さを調整できます。

「Mid」：中音の強さを調整できます。

「Bass」：低音の強さを調整できます。

フェーダーとバランス：[ ]を移動するとフェーダーやバランスを調整できます。

[**リセット**]にタッチすると中心にもどします。

知識
Treble/Mid/Bass の設定は、各ソースごとに独立して調整できます。

Wi-Fi Hotspot を設定する

Wi-Fi Hotspot 機能によりアクセスポイントの設定を変更できます。

この機能を使用するには、G-Link の契約と車内 Wi-Fi オプションの契約が必要です。

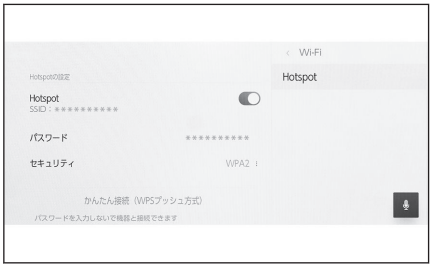
知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。
- 同時に接続可能な Wi-Fi®機器は最大で 5 台です。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。**

3 **各項目を設定します。**



- 「Hotspot の設定」

設定項目	内容
[**Hotspot**]	Wi-Fi Hotspot 機能の ON/OFF を設定できます。
[**パスワード**]*1	アクセスポイントのパスワードを変更できます。
[**セキュリティ**]*1	アクセスポイントのセキュリティ方式を変更できます。
[**かんたん接続（WPS プッシュ方式）**]*1	簡単設定によるアクセスポイントへの接続を受付します。 • 接続台数が上限の場合、選択できません。 • 受付時間を過ぎると接続できません。 • WPS でサポートされている機器のみ接続できます。

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

知識

- 設定変更時には、Wi-Fi Hotspot 機能を再起動する必要があるため、Wi-Fi®接続されている機器はすべて切断されます。

*1 : [**Hotspot**]が ON のときに表示されます。

- 第 3 者による不正利用を防ぐため、次のようなパスワードを設定することを推奨します。
  - 13 文字以上とする
  - アルファベット、数字を混在させる
  - 定期的に変更する
  - パスワードを書いた紙を人目の付くところに保管しない
  - 他のパスワードの使いまわし、似たパスワードを使わない
  - 車両名やナンバー、辞書などに存在する言葉を使用しない
  - 辞書にある言葉を他の文字に置きかえた場合に、推測できるものは使用しない（例：cat→c@t）
- 直近 3 日間（当日は含みません）で 6 GB 以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。Apple CarPlay をご利用の場合は、USB Type-C ケーブル接続にてご利用ください。

関連リンク

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 (P.119)
Wi-Fi Hotspot に接続する (P.121)
G-Link とは (P.308)

Bluetooth®機器を設定する

登録した Bluetooth®機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

知識

- 設定内容は個別の Bluetooth®機器ごとの設定になります。
- Bluetooth®オーディオ再生中にハンズフリー電話を選択した場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要になります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®機器を選択できません。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては設定を選択できません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。**

3 **サブメニューから、設定する Bluetooth®機器にタッチします。**

Bluetooth®機器が 1 台以上登録されていないと表示されません。

4 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
[**電話**]	ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[**オーディオ**]	オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。*1*2
[**Apple CarPlay**]	Apple CarPlay 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示／非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

設定項目	内容
[**Android Auto**]	Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。*1*2 Android Auto を使用中に[**Android Auto**]設定を OFF にすると、[**電話**]設定が ON になります。
[**サブ機器として設定**]	サブ機器に設定できます。 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていない場合に使用できます。 サブ機器に設定するには、[**サブ機器として設定**]にタッチします。 Bluetooth®機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。
[**サブ機器設定の解除**]	サブ機器から解除できます。
[**切断**]	マルチメディアと Bluetooth®機器との接続を切断できます。 接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できるとは限りません。
[**削除**]	Bluetooth®機器の登録を削除できます。

●「音量」

設定項目	内容
[**着信音量**]	着信音量を調整できます。*3
[**受話音量**]	受話音量を調整できます。*3

●「共通設定」

設定項目	内容
[**着信音**]	ハンズフリー電話の着信音を次のように設定できます。 • 携帯電話で設定されている着信音をマルチメディアの着信音として設定します。 • 既存の着信音を設定します。 • 着信相手の名前を読み上げる設定にします。
[**連絡先の並び替え**]	連絡先に登録してある名称の表示を次のように変更できます。 • 名／姓の順に変更できます。

*1: Bluetooth®機器がこの機能を実行できる場合にのみ表示されます。該当の機能を ON/OFF すると、関連した機能が表示／非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。その逆も同様です。

*2: OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

*3: 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することがあります。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

設定項目	内容
[連絡先の並び替え]	• 姓／名の順に変更できます。
[通話履歴の削除]	ハンズフリー電話の履歴データを削除できます。 [自動転送]設定が OFF の携帯電話を接続している場合に表示されます。

● 「連絡先」

設定項目	内容
[自動転送]	連絡先、履歴をマルチメディアシステムへ自動転送する機能を ON/OFF に設定できます。 設定を OFF から ON に切りかえた場合、電話帳の自動転送が始まります。
[連絡先の画像表示]	連絡先画像の表示設定を ON/OFF できます。 [自動転送]設定が ON でなければ、連絡先の画像をマルチメディアにダウンロードできません。

関連リンク

Bluetooth®機器使用上の留意事項 (P.106)
Bluetooth®の仕様、対応プロファイル (P.109)
ハンズフリー電話についての留意事項 (P.270)
Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 (P.257)
Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 (P.123)
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する (P.117)
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する (P.118)
ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)

3 スマートフォンや通信機器の接続

3-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項 106

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル 109

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する .. 110

Bluetooth®機器の登録を削除する 113

Bluetooth®機器との接続 114

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する 117

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する 118

3-2. Wi-Fi®ネットワークへの接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 . 119

Wi-Fi Hotspot に接続する..... 121

3-3. Apple CarPlay/Android Auto の使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項..... 123

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する .. 126

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する .. 129

Android Auto を使用する 132

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に 133

Bluetooth®機器使用上の留意事項

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムで使用するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- この車両は、2.4GHz 周波数帯の Bluetooth®通信を使用しています。Bluetooth®を利用する環境によって、通信速度が遅くなったり Bluetooth®接続が切断される場合があります。
- Bluetooth®と同じ 2.4GHz 帯無線通信を使用する Wi-Fi®と同時使用する場合には、相互に影響を与える可能性があります。
- Bluetooth®と Wi-Fi®が相互に干渉することで、互いに画像の乱れや音飛び、通信速度の低下などの現象が発生することがあります。

  Bluetooth®機器を接続した状態であれば干渉による影響が軽減されるため、Bluetooth®機器を登録している場合は、登録機器と接続すると問題が改善する可能性があります。（Bluetooth®機器が接続されているかどうかは、マルチメディアシステム画面のステータスアイコンで確認できます）
- Bluetooth®携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。また、Wi-Fi Hotspot も併用できません。
- 同じ 2.4GHz 帯の無線通信を行う Wi-Fi®機能（Wi-Fi Hotspot、Miracast®）と Bluetooth®機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。この場合は、Wi-Fi®機能を OFF に設定にすると快適に利用できます。
- Bluetooth®機器は、Bluetooth®接続により電池が早く消耗します。
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業／科学／医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。

- Bluetooth®接続している携帯電話で Miracast®を使用している場合は、Bluetooth®オーディオの音が出ないことがあります。Miracast®を切断すると Bluetooth®オーディオの音が出るようになることがあります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®接続が切断されます。緊急通報終了後に切断された Bluetooth®機器が再接続されます。

⚠ 警告

- 携帯電話をハンズフリー電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

⚠ 注意

- Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

電波がおよぼす影響について

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Bluetooth®オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth®オーディオとハンズフリー電話とで異なる Bluetooth®対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のような場合があります。
  - 携帯電話の Bluetooth®接続が切断されることがあります。
  - ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
  - ハンズフリー電話の動作が遅くなることがあります。
- Bluetooth®オーディオを再生中にハンズフリー電話で使用する通信機器の選択を変更した場合、再生される音声が途切れることがあります。
- 連絡先データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）

- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。
- 携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または Web サイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。

関連リンク

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 (P.119)
Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 (P.257)
ハンズフリー電話についての留意事項 (P.270)
Miracast®の再生についての留意事項 (P.264)
ステータスアイコンの見方 (P.21)

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル

マルチメディアシステムは次の仕様、対応プロファイルをサポートしています。すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

■ 対応 Bluetooth®仕様

Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0

■ 対応プロファイル

- HFP（Hands Free Profile）サポートしているバージョン：Ver. 1.8
  ハンズフリーを行うためのプロファイル
- PBAP（Phone Book Access Profile）サポートしているバージョン：Ver. 1.2.3
  連絡先データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル
- OPP（Object Push Profile）サポートしているバージョン：Ver. 1.2.1
  連絡先データの転送を行うためのプロファイル
- SPP（Serial Port Profile）サポートしているバージョン：Ver. 1.2
  - Bluetooth®搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル
  - スマートフォン連携を行うためのプロファイル
- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）サポートしているバージョン：Ver. 1.3.2
  オーディオを転送するためのプロファイル
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）サポートしているバージョン：Ver. 1.6.2
  オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する

ハンズフリー電話や Bluetooth®オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機をマルチメディアシステムに登録する必要があります。登録完了後は、マルチメディアシステムを起動するたびに自動で Bluetooth®接続されます。

Apple CarPlay/Android Auto を USB で接続したときは、自動的に機器登録されます。

Bluetooth®機器が 1 台も接続されていない場合、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けることでも登録画面を表示できます。

知識

- 携帯電話を、ハンズフリー電話と Bluetooth®オーディオとして登録できます。
- Bluetooth®機器は、5 台まで登録できますが、ハンズフリー電話として使用できるのは最大 2 台までです。（ハンズフリー電話を 2 台接続するには、ドライバーの特定が必要です。）
- Bluetooth®機器側の操作は、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の Bluetooth®機器を使用する場合は、Bluetooth®機器の数だけ登録を繰り返してください。
- PIN コードとは、Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに登録するために使用される確認コードです。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除して使用してください。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続が切断されます。
- Miracast®を利用中に Bluetooth®機器を登録をすると、Miracast®の音が途切れることがあります。
- 走行中は安全のため、機器を登録できません。
- Bluetooth®機器の登録がうまくいかない場合、Bluetooth®機器を再起動してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。**

1 台も機器登録をしていない場合は、手順 4 へ進んでください。

3 **[機器の新規登録]にタッチします。**

機器がマルチメディアシステムに接続中のとき、機器を切断するための確認画面が表示される場合があります。登録をするためには、接続を切断してください。

4 **[見つからなかった場合]にタッチします。**



5 **メインエリアから登録する機器にタッチします。**

- 機器名ではなく、Bluetooth®アドレスで表示される場合があります。
- メインエリアに登録したい機器が表示されない場合は、Bluetooth®機器からの登録を試してください。
- Bluetooth®機器の機種により、特定の画面を Bluetooth®機器で表示させないと、追加機器のリストに表示されない場合があります。詳しくは Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

6 **表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。**

- 登録する機種によっては Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されます。
- Apple CarPlay 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

関連リンク

ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 (P.123)

Bluetooth®機器から登録する

マルチメディアシステムで Bluetooth®機器を検索しても見つからない場合に、Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを検索して登録します。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。**

1 台も機器登録をしていない場合は、手順 4 へ進んでください。

3 **[機器の新規登録]にタッチします。**

機器がマルチメディアシステムに接続中のとき、機器を切断するための確認画面が表示される場合があります。登録をするためには、接続を切断してください。

4 **使用する Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを登録します。**



- Bluetooth®機器の操作手順にしたがってください。
- Bluetooth®機器からの登録操作は、必ずこの Bluetooth®接続画面を表示させて行ってください。

5 **表示されている PIN コードが、Bluetooth®機器に表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。**

- 登録する機種によっては Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されます。
- Apple CarPlay 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、サブメニューに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

関連リンク

ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 (P.123)

Bluetooth®機器の登録を削除する

登録したBluetooth®機器を削除できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。**

3 **サブメニューから削除するBluetooth®機器にタッチします。**

4 **[削除]にタッチします。**

他のユーザーがメイン機器に設定している機器の場合、削除できません。

5 **[削除]にタッチします。**



知識

- 緊急通報中は、携帯電話の登録を削除できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては削除できない場合があります。

関連リンク

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する (P.117)
ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)

Bluetooth®機器との接続

Bluetooth®機器との接続は、マルチメディアシステムのさまざまな機能を利用する上で必要になります。接続方法は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知識

- Bluetooth®機器側の操作については、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- Bluetooth®機器の Bluetooth®接続機能が ON になっていないと接続できません。
- Bluetooth®機器の接続が完了すると、接続完了のメッセージが画面上部に表示されます。
- Bluetooth®機器接続中は、Bluetooth®接続中のステータスアイコンが表示されます。
- 携帯電話の機種によってはパワースイッチが ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- Miracast®利用中に Bluetooth®機器を接続すると、Miracast®の音が途切れることがあります。

■ Bluetooth®接続の再接続について

パワースイッチが ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth®接続が切断された場合は、接続処理を自動的に行います。

■ Bluetooth®機器の接続数について

- ドライバーが設定されているとき

  最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。（ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます）

- ドライバーが設定されていないとき

  最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。（ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます）

知識

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

● Apple CarPlay が接続されている場合は、Bluetooth®接続の再接続ができない場合があります。

関連リンク

ステータスアイコンの見方 (P.21)
ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
Bluetooth®機器を手動で接続する (P.115)

Bluetooth®機器を自動で接続する

パワースイッチを OFF から ON にするたびに、マルチメディアシステムは決められた優先順位で Bluetooth®機器に自動で接続します。*1

● ドライバーが設定されているとき

メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい順に自動で接続します。

最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

● ドライバーが設定されていないとき

接続履歴の新しい順に自動で接続します。

最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます)

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

知識

Bluetooth®機器の機種により Bluetooth®機器の操作が必要な場合があります。

関連リンク

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する (P.117)
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する (P.118)
ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)

Bluetooth®機器を手動で接続する

自動接続ができなかったときや別の Bluetooth®機器に接続したいときに、登録済みの Bluetooth®機器と接続できます。

*1 : [**切断**]ボタンなどで手動で切断した機器は自動接続の対象にはなりません。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

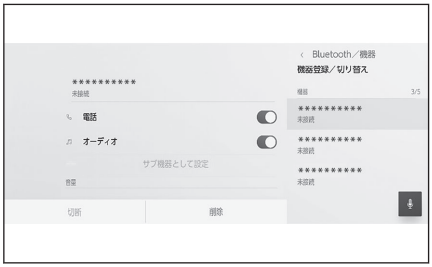
2 サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。

登録済みの Bluetooth®機器がない場合、メインエリアに機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を登録してください。

3 サブメニューから接続する Bluetooth®機器にタッチします。

サブメニューに接続する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器を登録してください。

4 メインエリアの接続したい機能（電話、オーディオなど）を ON にします。



知識

Bluetooth®機器の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

関連リンク

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する (P.110)

Bluetooth®機器を切断する

すでに接続している Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから切断できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。

3 サブメニューから切断する Bluetooth®機器にタッチします。

4 メインエリアの[切断]にタッチします。



Bluetooth®機器をメイン機器に設定する

Bluetooth®機器をメイン機器に設定することで、自動接続のときに最優先で接続できます。

- HFP に対応した Bluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- メイン機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

知識

他のドライバーにメイン機器として設定されている Bluetooth®機器をメイン機器にすることはできません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。**

3 **メインエリアの[機器登録]または[機器変更]にタッチします。**

メイン機器に設定可能な Bluetooth®機器が接続されていない場合は、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器を検索し、マルチメディアシステムに新規登録してください。新規登録したときに、メイン機器に設定できます。



4 **メイン機器にする Bluetooth®機器を選択します。**

現在接続している Bluetooth®機器を切断し、メイン機器とサブ機器に接続します。

関連リンク

Bluetooth®機器を自動で接続する (P.115)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)
ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する (P.110)

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する

Bluetooth®機器をサブ機器に設定することで、接続したときにサブ機器として認識されます。

- ドライバーのメイン機器とサブ機器を、同じ Bluetooth®機器にすることはできません。
- HFP に対応した Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- サブ機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。**

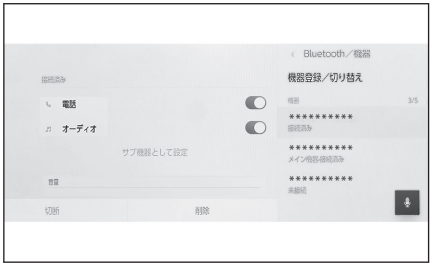
登録済みの Bluetooth®機器がない場合、機器検索画面が表示されます。Bluetooth®機器の登録を行ってください。

3 **サブ機器に設定する Bluetooth®機器にタッチします。**

設定する Bluetooth®機器が見当たらない場合は、Bluetooth®機器の登録を行ってください。

4 **メインエリアから[サブ機器として設定]にタッチします。**

サブ機器としてすでに設定されている場合、[**サブ機器設定の解除**]にかわります。



関連リンク

Bluetooth®機器を自動で接続する (P.115)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)
ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)

Wi-Fi®機器使用上の留意事項

マルチメディアシステムの Wi-Fi®を利用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 40m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

電波がおよぼす影響について

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Wi-Fi®と Bluetooth®を同時に使用するとき

この車両は、Bluetooth®と同じ周波数の 2.4GHz Wi-Fi®を使用しています。Wi-Fi®と Bluetooth®の両方を同時に使用すると、相互に干渉が発生し、通信速度の低下や接続の問題が発生する可能性があります。

■ Wi-Fi®について知っておいていただきたいこと

知識

- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- DCM が通信圏外となった場合は、Wi-Fi Hotspot 機能による通信は切断されます。
- 接続されている機器が Wi-Fi®圏外になった場合、接続は切断されます。
- Wi-Fi Hotspot に接続している Bluetooth®機器を使用すると、通信速度が低下する場合があります。

- Wi-Fi Hotspot を利用する環境によって、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- 車両がラジオアンテナ、ラジオ局、またはその他の強い電波や電気ノイズの発生源の近くにある場合、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- お客様のご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり本サービスをご利用いただけないことがあります。
- マルチメディアシステムは、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解または改造すると、法律により罰せられることがあります。

対応 Wi-Fi®通信方式

IEEE 802.11b/g/n（2.4GHz）

対応セキュリティ方式

- WPA2™
- WPA3™

関連リンク

Miracast®の再生についての留意事項 (P.264)
Bluetooth®機器使用上の留意事項 (P.106)
ステータスアイコンの見方 (P.21)
Wi-Fi Hotspot を設定する (P.99)
G-Link とは (P.308)
Web ブラウザ機能（インターネット）について (P.337)

Wi-Fi Hotspot に接続する

Wi-Fi Hotspot 機能を使って Wi-Fi®のアクセスポイントを設定し、Wi-Fi®機器で接続できます。

この機能を使用するには、G-Link の契約と車内 Wi-Fi オプションの契約が必要です。詳細についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。Apple CarPlay をご利用の場合は、USB Type-C ケーブル接続にてご利用ください。
- 同時に接続可能な Wi-Fi®機器は最大で 5 台です。
- 直近 3 日間（当日は含みません）で 6 GB 以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。

1 **Wi-Fi®機器の Wi-Fi®機能を ON にします。**

2 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

3 **サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。**

4 **メインエリアの[Hotspot]を ON にします。**

マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。



5 **Wi-Fi®機器からマルチメディアシステムの Wi-Fi Hotspot に接続します。**

- Wi-Fi®機器からの接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書を参照してください。
- ネットワーク名はメインエリアの Hotspot 下部に表示されます。
- ネットワークのパスワードはメインエリアに表示されます。パスワードが長い場合、省略されて表示される場合があります。画面にタッチしてパスワード編集画面で確認してください。

関連リンク

Wi-Fi Hotspot を設定する (P.99)
G-Link とは (P.308)
Web ブラウザ機能（インターネット）について (P.337)

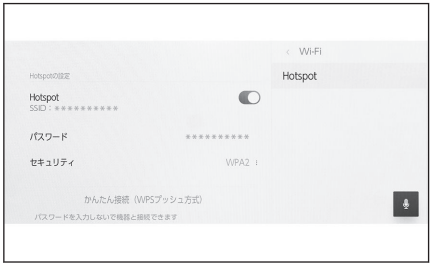
Wi-Fi Hotspot に簡単設定で接続する

Wi-Fi®機器が Wi-Fi Protected Setup™と互換性がある場合、 より簡単に接続できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。

3 メインエリアの[Hotspot]を ON にします。



マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。

4 メインエリアの[かんたん接続(WPS プッシュ方式)]にタッチします。

マルチメディアシステムが簡単設定による受付を開始します。

- 運転中は選択できません。
- 接続台数が上限の場合、選択できません。

5 Wi-Fi®機器を操作して接続します。

- Wi-Fi®機器の簡単設定による接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 受付時間を過ぎると、接続失敗のメッセージが表示されます。

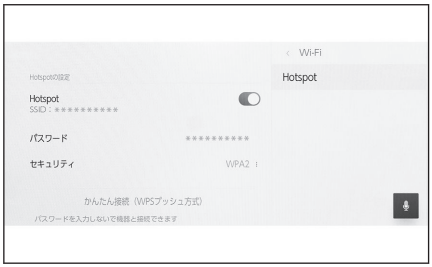
Wi-Fi Hotspot を切断する

Wi-Fi Hotspot 機能を OFF にすることで、Wi-Fi Hotspot を切断できます。

1 メインメニューの にタッチします。

2 サブメニューの[Wi-Fi]にタッチします。

3 メインエリアの[Hotspot]を OFF にします。



Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項

Apple CarPlay/Android Auto では、地図、電話、音楽などの一部のアプリケーションをマルチメディアシステムで使用できます。Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、対応アプリケーションが表示されます。Apple CarPlay/Android Auto を使用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

車内で Android Auto を使用するには、Google Play ストア™から Android Auto をインストールしてください。

■ 対応機器

- Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone。(iOS Ver.13.3 以降)

  対応機器については、https://www.apple.com/jp/ios/carplay/でご確認ください。*1
- Android Auto をサポートする Android™機器。

  対応機器については、https://www.android.com/auto/ でご確認ください。*1

知識

- USB 接続の場合は、電話メーカーが提供するデータ通信用の USB Type-C ケーブルを使用してください。
- Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、システムの一部のボタン機能がかわります。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続すると、Bluetooth®オーディオや電話などの一部機能が Apple CarPlay/Android Auto によって管理されます。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、Wi-Fi Hotspot は同時に使用できません。Apple CarPlay をご利用の場合は、USB Type-C ケーブル接続にてご利用ください。
- Miracast®使用中に Apple CarPlay/Android Auto を開始すると Miracast®が終了することがあります。
- [**音声＆オーディオ**]設定画面で案内音量を変更できます。オーディオシステムの音量調整でも変更できます。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に、もう一台の Apple CarPlay/Android Auto を使用することはできません。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Apple CarPlay/Android Auto は、Apple 社／Google 社によって開発されたアプリケーションです。接続されている機器のオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア、または Apple CarPlay/Android Auto の仕様の変更により、その機能およびサービスは予告なしに終了または変更されることがあります。

*1: 動作を保証しているわけではありません。

- Apple CarPlay または Android Auto でサポートされているアプリケーションについては、それぞれの Web サイトをご覧ください。
- Apple CarPlay/Android Auto を使用しているあいだ、場所や車速などの車両およびユーザー情報は、それぞれのアプリケーション発行元および携帯電話サービスプロバイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードして使用することにより、それらの利用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送信され、料金が発生する可能性があります。データ通信料金については、携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アプリケーションによっては、音楽の再生など一部の機能が制限される場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止することがあります。詳しくは、各機能の Web サイトをご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステムでルート案内中に、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリを使用して新たにルート案内を開始した場合、車両のナビゲーションシステムのルート案内は終了します。Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリでルート案内中に、車両のナビゲーションシステムを使用して新たにルート案内を開始した場合、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリのルート案内は終了します。
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- USB 接続の場合は、USB Type-C ケーブルを抜くと、Apple CarPlay/Android Auto の動作が終了します。このとき音声出力は停止し、マルチメディアシステムの画面にかわります。
- Android Auto を切断しても、電話接続は継続するため、ハンズフリー電話を使用することができます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体を操作しないでください。

⚠ 注意

- スマートフォンを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンが故障するおそれがあります。
- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたは端子が損傷する可能性があります。
- USB Type-C 端子に異物を入れないでください。スマートフォンや端子が破損するおそれがあります。

関連リンク

サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する (P.36)
iPod/iPhone の再生についての留意事項 (P.246)
Apple CarPlay の再生についての留意事項 (P.250)
Android Auto の再生についての留意事項 (P.254)
Miracast®の再生についての留意事項 (P.264)
Bluetooth®機器使用上の留意事項 (P.106)
Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項 (P.257)

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

未登録のスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。登録済みスマートフォンの場合は、手順が異なります。

関連リンク

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する (P.129)

Apple CarPlay を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。

1 **スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。**

2 **スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。**

- Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

3 **Apple CarPlay を操作します。**



アプリケーションにタッチすることで、Apple CarPlay でサポートされている iPhone アプリケーションを使用できます。

メインメニューを表示するには、[ ]にタッチします。

メインメニューを非表示にするには、[ ]にタッチします。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Apple CarPlay のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[ ]にタッチします。

[ ]／[ ]

画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。Siri のウェイクワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。
- USB 接続で登録した時に、スマートフォン側でワイヤレス接続を使用する設定にした場合、次回からワイヤレス接続できるようになります。

関連リンク

USB 機器を接続する (P.40)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する

Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

1 **スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。**

2 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

3 **サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。**

- マルチメディアシステムに登録済みのスマートフォンがない場合、機器検索画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。

4 **[機器の新規登録]にタッチします。**

5 **[見つからなかった場合]にタッチします。**

6 **登録するスマートフォンを選択します。**

7 **表示されている PIN コードが、スマートフォンに表示される PIN コードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。**

- 画面の案内に従って操作してください。

8 **Apple CarPlay 設定が表示されたら、[はい]にタッチしてください。**

- Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。

9 Apple CarPlay を操作します。



アプリケーションにタッチすることで、Apple CarPlay でサポートされている iPhone アプリケーションを使用できます。

メインメニューを表示するには、[ ]にタッチします。

メインメニューを非表示にするには、[ ]にタッチします。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Apple CarPlay のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[ ]にタッチします。

[ ]／[ ]

画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。Siri のウェイクワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。また、Wi-Fi Hotspot も併用できません。

登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する

登録済みスマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。 登録していないスマートフォンの場合は、手順が異なります。

関連リンク

未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する (P.126)

Apple CarPlay を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。

1 **スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。**

2 **スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。**

- Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
  - メインメニューの[ ]をタッチしてください。
  - メインメニューに[ ]が表示されていない場合は、Apple CarPlay を使用するスマートフォンを選択し、[**Apple CarPlay**]を ON にします。

3 **Apple CarPlay を操作します。**



アプリケーションにタッチすることで、Apple CarPlay でサポートされている iPhone アプリケーションを使用できます。

メインメニューを表示するには、[ ]にタッチします。

メインメニューを非表示にするには、[ ]にタッチします。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Apple CarPlay のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[ ]にタッチします。

[ ]／[ ]

画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。Siri のウェイクワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。

関連リンク

USB 機器を接続する (P.40)

Bluetooth®機器を設定する (P.101)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する

Apple CarPlay は、車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムにワイヤレスで接続できます。

- スマートフォンがマルチメディアシステムに登録されているかご確認ください。

1 **スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。**

2 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

3 **サブメニューの[Bluetooth／機器]にタッチします。**

4 **Apple CarPlay を使用するスマートフォンを選択し、[Apple CarPlay]を ON にします。**

- Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[ ]をタッチしてください。

5 **Apple CarPlay を操作します。**



アプリケーションにタッチすることで、Apple CarPlay でサポートされている iPhone アプリケーションを使用できます。

メインメニューを表示するには、[ ]にタッチします。

メインメニューを非表示にするには、[ ]にタッチします。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Apple CarPlay のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[ ]にタッチします。

[ ]／[ ]

画面表示を切りかえます。

タッチし続けると Siri が起動します。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。Siri のウェイクワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。また、接続するデバイスの iOS バージョンが 14.3 以降である必要があります。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、マルチメディアシステムで Bluetooth®機能が使用できません。また、Wi-Fi Hotspot も併用できません。

関連リンク

Bluetooth®機器を設定する (P.101)

Android Auto を使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

1 **接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。**

2 **スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。**

- Android Auto のホーム画面が表示されます。
- 接続するスマートフォンによっては、もとの画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。
- 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
  - メインメニューの[ ]にタッチします。
  - メインメニューに[ ]が表示されていない場合は、Android Auto を使用するスマートフォンを選択し、[**Android Auto**]を ON にします。

3 **Android Auto を操作します。**



アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[ ]にタッチします。

[ ]

Google Assistant™を起動します。

知識

Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Google Assistant™を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。

関連リンク

USB 機器を接続する (P.40)

Bluetooth®機器を設定する (P.101)

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に

Apple CarPlay/Android Auto でお困りの際は、まず次の表を確認してください。

症状	処置
Apple CarPlay/Android Auto が起動しない。	接続するスマートフォンが Apple CarPlay/Android Auto をサポートしているか確認してください。 スマートフォン側で Apple CarPlay/Android Auto が有効になっているか確認してください。 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされているか確認してください。 詳細については、次の URL をご覧ください。 ● Apple CarPlay：https://www.apple.com/jp/ios/carplay/ ● Android Auto：https://www.android.com/auto/
	登録済みスマートフォンの Apple CarPlay/Android Auto 機能がマルチメディアシステムで ON になっているか確認してください。
	USB 接続の場合、使用している USB Type-C ケーブルがスマートフォンと USB Type-C 端子にしっかりと接続されているか確認してください。USB ハブは使用せずに、直接 USB Type-C 端子にスマートフォンを接続してください。 Apple CarPlay と Android Auto の接続に正しい USB Type-C 端子が使用されていることを確認してください。充電専用の USB Type-C 端子はスマートフォンアプリではご利用いただけません。 ワイヤレス充電に使用されるワイヤレス充電器では、ワイヤレス Apple CarPlay の接続は開始されません。 Apple CarPlay のワイヤレス接続の場合、次のことをご確認ください。 ● スマートフォンでマルチメディアシステムに Bluetooth®接続できているかご確認ください。 ● スマートフォンが Wi-Fi®を使用できる設定になっているかご確認ください。 Apple CarPlay の場合：使用している Lightning ケーブルが Apple 認証されているものか確認してください。 Siri が有効になっているか確認してください。

症状	処置
Apple CarPlay/Android Auto が起動しない。	充電専用の USB Type-C ケーブルではスマートフォン連携機能はご利用になれません。 データ転送が可能なケーブルをご利用ください。一部ケーブルには対応できないものがあります。 USB Type-C ケーブルに関する推奨要件は下記となります。 ● iPhone：Apple 純正の USB Type-C ケーブルもしくは、Apple の MFi 認証取得済み USB Type-C ケーブルを使用してください。 ● Android：1.8m 以下の長さのケーブルを使用し、延長ケーブルは使用しないでください。 ● USB マーク のあるケーブルを使用してください。 これまで動作していたスマートフォン連携機能が動作しなくなった場合は、USB Type-C ケーブルを交換すると問題が解決する場合があります。
	上記をすべて確認したあとに、Apple CarPlay/Android Auto を接続してください。
スマートフォンで YouTube を再生したときに、動画が表示されない。	Apple CarPlay/Android Auto は、YouTube 動画を表示することはできません。
音声が出力されない。	マルチメディアシステムがミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。マルチメディアシステム側の音量を上げてください。
	Apple がサポートするアプリが Apple CarPlay に使用されている、または Google™がサポートするアプリが Android Auto に使用されていることを確認してください。Web ブラウザから音楽を再生すると、音声が出力されないか、適切な音声が出力されない場合があります。
画面がちらつく、音声にノイズが入る。	マルチメディアシステムとの接続に使用している USB Type-C ケーブルが損傷していないか確認してください。USB Type-C ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。
	USB Type-C ケーブルを別のケーブルに交換してください。
Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない。	Apple CarPlay 地図アプリはピンチアウト／ピンチイン操作することはできません。

症状	処置
Apple CarPlay の画面がディスプレイの中央に表示され、画面全体に表示されない。	iOS Ver.10 以降で画面全体表示がサポートされています。最新の iOS にアップデートしてください。
Apple CarPlay の Apple Music や Spotify などの Music アプリで音楽再生中に、iPhone 側で Apple CarPlay 非対応アプリ(1)を起動し音声出力した際、マルチメディアシステムでボリュームを変更すると、非対応アプリの音声が終了し、もとの Music アプリの音楽再生に戻る。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。
FM などマルチメディアシステムのオーディオ再生中に、Apple CarPlay 非対応アプリ(1)の割り込み音声出力が発生した場合、もとのオーディオに戻らない。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。お客様自身でオーディオソースを変更してください。もしくは、Apple CarPlay 非対応アプリ(1)の使用をお控えください。一部のナビアプリは iOS12 から対応となっています。最新の iOS、アプリに更新してください。
Apple CarPlay を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印とターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本機能はマルチインフォメーションディスプレイの仕様、または使用している地図アプリによっては表示されない場合があります。
Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印が表示されない。	
Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイおよびマルチメディアシステム画面に、ターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。
Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない。	通話を終了してください。 スマートフォンを USB Type-C ケーブルからはずし、ハンズフリー電話を使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
	マルチメディアシステムの音量を上げて、ハンズフリー電話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。他のスマートフォンにかえた場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
Android Auto を終了したあと、電話が接続されていた。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。

(1) Apple CarPlay 非対応アプリとは、Apple CarPlay 画面のアプリ一覧に表示されないが iPhone 上にインストールされたアプリのこと。

関連リンク

Bluetooth®機器を設定する (P.101)
USB 機器を接続する (P.40)
オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する (P.36)
Bluetooth®機器との接続 (P.114)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
タッチスクリーン操作上の留意事項 (P.24)

4 ナビゲーション

4-1. ナビゲーションシステムについて

コネクティッドナビ（車載ナビ装着車）……138

4-2. 地図の情報について

地点情報を表示する……139
地図オプション画面……140
施設記号を表示する……141
地図表示設定……143
地図記号・地図表示について……144
高速略図（ハイウェイモード）について……148

4-3. VICS・交通情報

VICS・交通情報を使う……150
VICS・交通情報について……151
タイムスタンプの情報表示……152
渋滞や規制情報の音声案内……153
VICS 記号の内容を表示する……154
VICS・交通情報を表示する道路を設定する……155
VICS・交通情報を表示する種類を設定する……156
VICS 図形情報や文字情報を表示する……157
緊急情報の表示……158
気象、災害情報のエリア表示……159
割込情報（光ビーコン）の表示160
割込情報（ETC2.0 サービス）の表示……161
自動割込を設定する……164
自動割込表示時間を調整する……165
ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする……166
ETC2.0 の個人・プライバシー情報消去について……167
TSPS サービスについて……168
新旧ルートを比較して表示する……172
VICS 放送局を選択する……173
VICS 記号や表示について……174
VICS について……177
みちびき災害危機通報サービスの表示……188
交通ナビ関連情報を表示する……189

4-4. 目的地に設定する場所の検索

目的地検索について……190
目的地検索画面の見方……191
検索結果リスト画面の見方……196
経由地を追加する……197
電話帳から目的地を検索する……198
スマートフォンから目的地を設定する……199

4-5. 目的地の設定

全ルート図表示画面の見方……201
目的地案内のデモを見る……203
ルート情報を表示する……204
ルートオプションを変更する……205
他の経路に変更する……206
出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する……207
目的地の詳細情報を表示する……208
通過する地点を設定する……209
経由地を編集する……210

4-6. ルート案内

ルート案内画面の見方……211
さまざまなレーン表示画面……212
ルートを再探索する……215

4-7. 地図データの更新

地図を更新する……216
地図データ情報……218

コネクティッドナビ（車載ナビ装着車）

G-Link センターから最新の地図データと目的地情報を取得して画面に表示し、ナビゲーションを行うセンター通信型のナビゲーションサービスです。ご利用には G-Link 契約が必要です。初度登録日より 3 年間無料（4 年目以降有料）です。

- 現在地周辺の最新地図を G-Link センターから取得して表示します。ルート案内時にはルート沿いの最新地図も取得します。
- G-Link センターからプローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した最適なルートを配信します。
- ルート案内中も G-Link センターで定期的なタイミングで最適ルート探索を行い、より短時間で目的地に到着できるルートがあれば、新しいルートを提案します。
- 車載機にナビ地図を持っているため、G-Link センターと通信できないエリアでは車載ナビの地図表示、ルート探索を行います。通信環境の良いエリアに入ると、自動的に G-Link センターと通信を開始してコネクティッドナビによる地図表示、ルート探索を行います。

知識

- 目的地をセットすると、自動的に G-Link センターでルート探索を行います。G-Link センターから配信されるルートには[ ]が表示されます。
- G-Link 契約がない場合も、車載ナビによる地図表示、ルート案内を利用できます。
- 車載ナビの地図は初度登録から 3 年間は自動で更新されます。

関連リンク

G-Link の利用手続き (P.312)

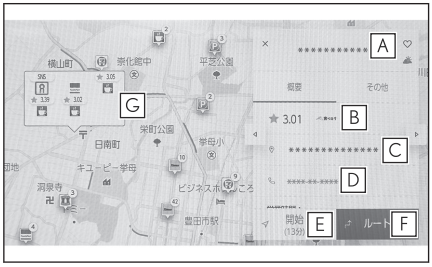
地点情報を表示する

地図画面上の地点や施設の情報を確認することができます。

1 **施設にタッチ、または希望の地点を長押しします。**

希望の地点を短押ししたときは、タッチした地点の住所が表示されます。[♡]にタッチすると、その地点をお気に入りに登録できます。

2 **希望の項目にタッチします。**



A お気に入りに登録するためにタッチします。

B インターネットから取得した評価などの情報が表示されます。

C タッチした地点の住所や営業時間などの詳細な情報が表示されます。

D 施設に登録された電話番号に電話をかけるためにタッチします。

E 地点を目的地としてルート案内を開始します。

F 地点を目的地として全ルート図表示画面が表示されます。すでに目的地を設定している場合、経由地として追加することもできます。

G 同じ地点に複数の施設が重なっている場合に施設の一覧が表示されます。

タッチすると、その施設の情報表示に切りかわります。情報表示の[◁][▷]で切りかえることもできます。

関連リンク

施設記号を表示する (P.141)

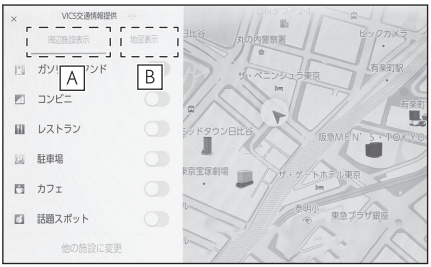
地図オプション画面

施設記号や交通情報など地図画面上の表示を設定することができます。

1 **地図画面上の[•••]にタッチします。**



2 **[周辺施設表示]または[地図表示]にタッチします。**



A 地図上に表示する施設記号を設定することができます。

B 地図上に表示する情報を設定することができます。

関連リンク

施設記号を表示する (P.141)
地図表示設定 (P.143)

施設記号を表示する

レストランなどの施設記号を地図上に表示することができます。

1 **地図画面上の[•••]にタッチします。**

2 **[周辺施設表示]にタッチします。**

3 **地図上に表示させたい施設にタッチします。**

表示されている以外のジャンルを設定するときは[**他の施設に変更**]にタッチします。



知識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 800m スケールより広域の地図には表示されません。
- 表示することができる施設は、自車位置マーク[ ]または[ ] から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- 800m スケールより詳細の地図には、表示施設が密集していると設定したジャンル単位で集約されます。(道路を見やすくするため)

  アイコンの右上に集約された件数[ ]が表示され、タッチすることで集約された表示施設の確認を行うことができます。
- ナビゲーション設定からも表示施設の設定を行うことができます。
- 駐車場の施設記号の上部には料金が表示されます。*1
  - 駐車時間を設定することで現在の時刻からの駐車時間を考慮した料金が表示されます。
  - 駐車時間の設定は 1 時間～24 時間まで 1 時間単位で設定できます。
  - 駐車料金情報がない場合は表示されません。
  - 駐車料金は予告なく変更となる場合があります。現地看板などをご確認のうえご利用ください。
  - 駐車料金が 1 万円以上の場合、「1 万円～」と表示されます。
- 充電ステーションを表示する場合、[**急速のみ**]などの中から絞り込んで表示することができます。ただし、地図データによって、情報取得ができず、絞り込みができない場合があります。(デフォルトは[**急速のみ**]に設定されています。)

*1 : G-Link 契約が必要です。(初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。)

> ⚠ **注意**
>
> 一部の駐車場では、利用する際に事前に専用サイトにて予約が必要になります。

関連リンク

地図表示設定をする (P.77)

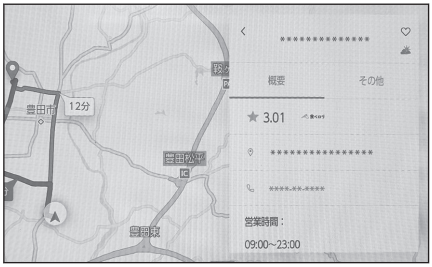
施設記号表示の設定について

1 **地図画面上の[•••]にタッチします。**
2 **[周辺施設表示]にタッチします。**
3 **[他の施設に変更]にタッチします。**
4 **入れかえたい登録済みの施設にタッチします。**
5 **新しく登録する施設にタッチします。**

話題スポット

周辺施設表示で[**話題スポット**]の表示を ON にすると、地図上に新しくオープンした施設などを表示することができます。

地図画面上のアイコンにタッチすると詳細が表示されます。営業時間などを確認できます。*1



*1：G-Link 契約が必要です。（初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。）

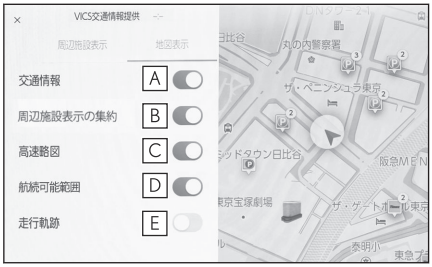
地図表示設定

交通情報などの地図上に表示する情報を設定することができます。

1 **地図画面上の[•••]にタッチします。**

2 **[地図表示]にタッチします。**

3 **各項目を設定します。**



A 交通情報の表示／非表示を切りかえることができます。

B 周辺施設表示の集約を ON（する）／OFF（しない）を切りかえることができます。

ON（する）を選択すると、同一施設ジャンルを集約して表示します。施設の詳細な位置を見やすくしたい場合、OFF（しない）を選択してください。

C 高速略図の表示／非表示を切りかえることができます。

D 航続可能範囲の表示／非表示を切りかえることができます。

メータに表示されている航続可能距離を地図上に同心円で表示します。同心円内でも道路形状や混雑などの使用状況によっては到達できない可能性があります。

E 走行した経路（軌跡）の表示／非表示を切りかえることができます。

非表示に切りかえるときは、蓄積情報を消去するか確認のポップアップが表示されます。

関連リンク

高速略図（ハイウェイモード）について (P.148)

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。

1 **地図画面上の[•••]にタッチします。**

2 **[地図表示]にタッチします。**

3 **[走行軌跡]にタッチします。**

知識

- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 1/2500 図～1/512 万図で表示することができます。

地図記号・地図表示について

- 選択した地図色によって、道路の表示色および記号のデザインが異なります。
- VICS・交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色が異なります。

表示	内容
（橙色）	高速道路 （都市高速道路・有料道路を含む）
（淡黄）	国道
（白色）	主要道・都道府県道・一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間（各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
（青色）	水域
	都道府県界
（緑色）	緑地
（薄茶色）	駅舎・敷地

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				駅
				学校
				銀行等金融機関
				デパート
				ホテル
				競技場
				スキー場

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				ゴルフ場
				キャンプ場
				温泉
				海水浴場
				スケート場
				ヨットハーバー
				駐車場
				国の機関
				郵便局
				公園、緑地
				消防署
				市役所
				町村役場
				都道府県庁
				警察署
				病院
				港湾
				空港
				フェリー発着場
				道の駅
				城

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				神社
				仏閣
				教会
				名所・観光地
				幼稚園
				工場
				変電所
				ビル
				灯台
				山岳
				霊園・墓地
				その他の施設
				SA（サービスエリア）
				PA（パーキングエリア）
				IC（インターチェンジ）
				交差点
				スマート IC
				踏切
				事故多発地点
				開かずの踏切[*1]

*1：列車がひんぱんに通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

地図色				内容
サンストーン／アクアマリン	クォーツ(昼)	クォーツ(夜)／フローライト	トパーズ	
				県庁所在地
				市町村 東京 23 区
				東京 23 区以外の区
				レクサス販売店

知識

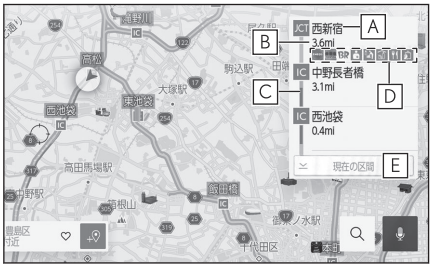
- 地図データに収録されている開かずの踏切データは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

関連リンク

地図表示カスタマイズの設定 (P.78)

高速略図（ハイウェイモード）について

高速道路に入ると、自動的にハイウェイモード表示に切りかわります。目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路に入っても、自動的にハイウェイモード表示に切りかわります。



A 施設の名称を表示

B 現在地からの距離を表示

C VICS／交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、黄色（混雑）、黒色（通行止め）を表示

「VICS／交通情報の表示設定」で、[**一般道のみ**]に設定しているときでも、VICS／交通情報を表示できます。

D 施設にある設備を表示

- 設備の数が多い場合は表示されない設備もあります。

E 表示区間を切りかえているときにタッチすると、自車が走行している区間に戻る

[空]：駐車場の混雑状況が表示されます。空き状態は[**空**]、混雑状態は[**混**]、満車状態は[**満**]と表示されます。

[ ][ ]：工事や路上障害物などによる交通規制がある場合に表示されます。

[立ち寄る]：道の駅を経由地に追加します。

関連リンク

地図表示設定 (P.143)

設備のマークについて

記号	内容
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	コンビニ
	オストメイトトイレ
	インフォメーション
	トイレ

記号	内容
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	郵便ポスト
	ハイウェイ温泉・銭湯
	FAX サービス
	キャッシュコーナー
	仮眠休憩施設
	休憩所
	ハイウェイオアシス
	レストラン
	コインシャワー
	充電ステーション

知識

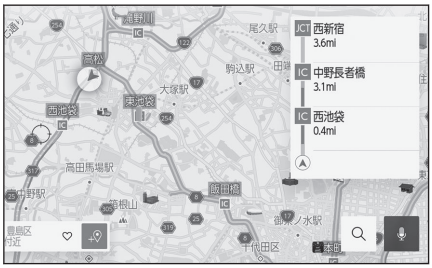
- 反対車線の情報は表示されません。
- ガソリンスタンドなど固有のロゴマークが出ることがあります。
- SA・PA に入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

VICS・交通情報を使う

地図上に VICS 記号や交通情報を表示することができます。

● 赤色：渋滞、 橙色：混雑、 緑色：空き道

交通情報の表示／非表示の切り替えは地図表示設定画面で行います。



関連リンク

地図表示設定 (P.143)

VICS・交通情報について

- VICS・交通情報は表示されない地点があります。また、地図更新などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される VICS・交通情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。
- 1/16 万図より広域な地図では、交通情報は表示されません。

■ 現況 VICS 情報について

VICS センターから提供される現況の情報です。

知識

現況情報は、1/16 万図以上の詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。

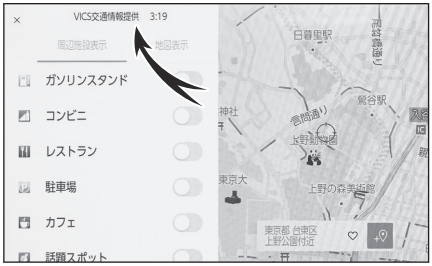
■ 現況プローブ交通情報について

G-Link センターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。

G-Link 契約期間内、かつ G-Link センターに接続されているときは現況交通情報も表示されます。

タイムスタンプの情報表示

地図表示設定から、現況情報の提供時刻を表示することができます。



■ 時刻表示

- 現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[- - : - -]の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が[- - : - -]になります。
- パワースイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは、[- - : - -]の表示になります。

■ 文字表示

現況 VICS 情報を受信すると[**VICS 交通情報提供**]が黒色に点灯し、現況交通情報のみを受信すると[**VICS 交通情報提供**]は薄墨色になります。

知識

- 現況 VICS 情報と現況交通情報の両方が受信されていないときは、タイムスタンプ全体が薄墨色になります。
- パワースイッチを ACC または ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは[**VICS 交通情報提供**]が薄墨色になります。

関連リンク

地図オプション画面 (P.140)

渋滞や規制情報の音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 1km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例：

- VICS 表示がある地点：「およそ 1km 先渋滞があります」
- VICS 記号のある地点：「およそ 1km 先電気工事のため車線規制中です」

知識

- 渋滞と規制音声自動発声の出力 ON/OFF を設定できます。
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

VICS 渋滞・規制音声の自動発声を設定する

現況情報の音声案内 ON/OFF を選択できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[ナビゲーション]にタッチします。**

3 **[案内]にタッチします。**

4 **[渋滞・規制音声案内]にタッチします。**

タッチするごとに、ON/OFF が切りかわります。

VICS 記号の内容を表示する

地図画面上に表示される記号にタッチし、道路の種類／状況や施設情報、規制情報を表示することができます。

● **地図上の規制情報、または施設情報の記号にタッチします。**

知識
VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報を表示する道路を設定する

地図画面上の交通情報を表示する道路を設定することができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[ナビゲーション]にタッチします。**

3 **[地図表示]にタッチします。**

4 **交通情報の[道路種別の表示]にタッチします。**

タッチするごとに表示する／しないが切りかわります。

5 **[OK]にタッチします。**

> **知識**
>
> ハイウェイモードでは、[**一般道**]に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

関連リンク

高速略図（ハイウェイモード）について (P.148)

VICS・交通情報を表示する種類を設定する

地図画面上に表示する交通情報などの種類を設定することができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [ナビゲーション]にタッチします。
3 [地図表示]にタッチします。
4 表示するリアルタイム情報にタッチします。
- [渋滞表示]
- [空き道表示]
- [規制情報]
- [駐車場]
- [充電ステーション]

タッチするごとに表示する／しないが切りかわります。

VICS 図形情報や文字情報を表示する

図形情報や文字情報を表示することができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。**
3 **[FM VICS]にタッチします。**
4 **[FM 図形]、または[FM 文字]にタッチします。**
5 **情報の番号([1]/[2]/[3]...)にタッチします。**
6 **[<]／[>]または[自動送り]にタッチします。**

- 前回情報を表示させたときに[**自動送り**]にタッチしていると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
- 情報のページを送るときは、[<]／[>]にタッチします。
- [**自動送り**]にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。走行中は自動送りできません。
- 情報の自動送りを中止するときは、[**停止**]にタッチします。
- 自動送り中に[<]／[>]にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- 文字情報または図形情報に切りかえるときは、[**文字**]または[**図形**]にタッチします。
- [**目次**]にタッチすると、手順 5 の画面に戻ります。

緊急情報の表示

緊急情報[*1] を受信すると自動的に表示します。

緊急情報を切りかえるときは、[<]／[>]にタッチします。



関連リンク

自動割込表示時間を調整する (P.165)

緊急情報を地図画面から再表示する

一度表示した緊急情報を地図画面から再表示することができます。

- **地図上部の[確認]にタッチします。**

緊急情報を情報画面から再表示する

一度表示した緊急情報を情報画面から再表示することができます。

1. メインメニューの[ ]にタッチします。
2. [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
3. [FM VICS]にタッチします。
4. [FM 緊急]にタッチします。

*1: 気象、津波、火山噴火（地震を除く）の特別警報

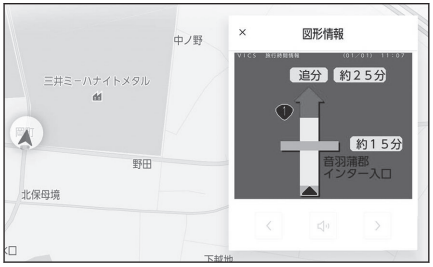
気象、災害情報のエリア表示

気象、災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。



割込情報（光ビーコン）の表示

割込情報の表示設定をすると、光ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。



割込情報を切りかえるときは、図形情報上の[◀]／[▶]にタッチします。

- 割込情報が複数ページある場合は、ページ送りできます。
- [×]にタッチする、または約 5 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。表示時間は調整することができます。

知識

表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

関連リンク

自動割込を設定する (P.164)
自動割込表示時間を調整する (P.165)

VICS 呼出の割込情報を再表示する

割込情報の表示を OFF に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
3 [VICS]にタッチします。
4 VICS 呼出の[割込情報]にタッチします。
5 [◀]／[▶]にタッチして、割込情報を切りかえます。

知識

提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

割込情報（ETC2.0 サービス）の表示

ETC2.0 サービスでは、以下のサービスが受けられます。

- 安全運転支援（注意警戒情報）案内サービス
- 道路交通情報提供サービス

知識

- ETC2.0 サービスについては、P.396 をご覧ください。
- 以下の割込情報の音量は、「システム音量」の設定で調整することができます。
  - 安全運転支援案内サービス
  - 道路交通情報提供サービス

関連リンク

ETC2.0 サービスについて (P.396)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)

安全運転支援（注意警戒情報）案内サービス

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報を高速道路などに設置された ITS スポットから受信して、音声と画面で案内します。代表例として以下のような前方障害物情報が提供されます。

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報をカーブへの進入前に音声や画面表示で案内します。



知識

- [×]にタッチする、または約 5 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。表示時間は調整することができます。
- 以下のようなときは、ITS スポットから情報提供がなかったり、誤った情報が出ることがあります。
  - アンテナ付近に障害物があるとき
  - 大型車と並んで走行しているとき
  - 他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
  - 低速度で走行しているとき

- 自車位置が正確に特定できないとき
- ITS スポット、車両検知センサーやカメラなどの路側システムが稼動していないとき
- ITS スポットを通過する ETC2.0 ユニット装着車両が多いとき
- アンテナの近くに電波を発する電子機器が設置され、無線通信が干渉しているとき

● 実際の音声や画面表示は ITS スポットから提供されるものと異なることがあります。

● その他の ITS スポットからの情報提供については、P.179 をご覧ください。

関連リンク

VICS、ETC2.0（ITS スポット）、TSPS の問い合わせ先について (P.179)

道路交通情報提供サービス

代表例として以下のような情報が提供されます。

■ 前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を画面表示と音声、または音声のみで案内します。

■ 長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。

「現在の○○高速上り方向の情報をお知らせします。・・・・・」

[**はい**]にタッチすると、情報を読み上げます。

読上げ中、[✕]にタッチすると、読上げを中止します。

知識

● 読上げ情報は、2 回読上げると終了します。

● 再度読上げ情報を聞くときは、P.163 をご覧ください。

● 長文読上げサービスの音量は、オーディオの[⏻ VOL]ノブで調整することができます。

■ 施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

関連リンク

割込情報（ETC2.0 サービス）を再表示する (P.163)
自動割込を設定する (P.164)

割込情報（ETC2.0 サービス）を再表示する

割込情報の表示を OFF に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
3 [ETC2.0]にタッチします。
4 [◀]／[▶]にタッチして、割込情報を切りかえます。

知識

提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

自動割込を設定する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。**

3 **各項目を設定します。**

タッチするごとに、ON/OFF が切りかわります。

- [**VICS 注意警戒情報**]：VICS 注意警戒情報を表示します。
- [**VICS 文字情報**]：VICS 文字情報を表示します。
- [**VICS 図形情報**]：VICS 図形情報を表示します。
- [**ETC2.0 表示情報**]：ETC2.0 道路交通情報を表示します。
- [**ETC2.0 注意警戒情報**]：ETC2.0 安全運転支援（注意警戒情報）案内を表示します。
- [**VICS/ETC2.0 表示時間**]：VICS および ETC2.0 割込情報の表示時間を設定します。
- [**VICS 割込音**]：VICS 割込情報の表示時にブザー音を出力します。
- [**ETC2.0 割込音**]：ETC2.0 割込情報の表示時にブザー音を出力します。
- [**ETC2.0 音声案内**]：長文読上げ情報以外の音声情報の発話を設定します。

知識

- 自動割込情報を OFF に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- ETC2.0 サービスにより提供される自動割込は、注意警戒情報と ETC2.0 表示情報の設定項目で ON/OFF を設定できます。各々の設定項目は割り込み画面上部の情報種別と同じです。
- ETC2.0 音声案内の音量は、[ ]>[**音声＆オーディオ**]>[**システム音量**]で設定できる音量設定値に従います。また、[**システム音量**]を消音にすると、ETC2.0 音声案内を ON に設定していても、ETC2.0 音声案内は出力されません。
- ETC2.0 音声案内を ON に設定した場合でも、割り込み画面下の[ ]にタッチすると、音声案内を中止できます。音声案内を中止する操作に連動して、ETC2.0 音声案内も OFF に設定されます。
- VICS/ETC2.0 表示時間については、P.165 をご覧ください。

関連リンク

自動割込表示時間を調整する (P.165)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)

自動割込表示時間を調整する

割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。
3 [VICS/ETC2.0 表示時間]にタッチします。
4 希望の割り込み表示時間にタッチします。
5 [OK]にタッチします。

知識

- 音声案内中は表示時間が経過しても表示は消えません。音声案内終了後に消えます。
- 初期状態では[5 秒]に設定されています。

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする

走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ETC2.0 ユニットを通じて、ITS スポットへ送ることができます。詳しくは、「道路管理者からのお知らせとお願い」をご覧ください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。**

3 **[走行履歴のアップリンク]の[ETC2.0]にタッチします。**

タッチするごとに、ON/OFF が切りかわります。

知識

- 初期状態では ON に設定されています。
- 本設定が OFF の場合、走行履歴などの情報を利用したサービスを受けられないことがあります。

ETC2.0 の個人・プライバシー情報消去について

ETC2.0 ユニットおよびマルチメディアシステムには、以下の ETC2.0 サービスに関連する個人・プライバシー情報が保存され、消去することができます。

機器	個人・プライバシー情報
ETC2.0 ユニット	故障診断に必要な位置情報
マルチメディアシステム	ETC2.0 走行情報

関連リンク

セキュリティ設定を変更する (P.71)

個人・プライバシー情報の消去方法

ETC2.0 ユニットの個人・プライバシー情報はレクサス販売店にて消去することが可能です。

マルチメディアシステムの個人・プライバシー情報の消去については[ ]>[**セキュリティ**]>[**全ての情報を初期化**]をご覧ください。

知識

- お車を手放すときに消去しなかった個人・プライバシー情報の漏洩については、弊社は一切の責任を負いません。
- 消去される個人・プライバシー情報には、ETC カード履歴およびセットアップ情報は含まれません。

TSPS サービスについて

TSPS（Traffic Signal Prediction Systems）を使用する

TSPS（Traffic Signal Prediction Systems：信号情報活用運転支援システム）は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。信号の交通管制情報を、道路上に設置された光ビーコンから受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに判断・操作を行うための客観的な情報を提供します。

- TSPS は警察庁が推進しているプロジェクトです。2014 年からサービスが始まり、2020 年時点で全国 47 都道府県で展開されております。
- 本サービスの対象交差点などの TSPS に関するお問い合わせについては、VICS、ETC2.0（ITS スポット）、TSPS の問い合わせ先についてをご覧ください。
- TSPS に関する規格は、UTMS 協会によって策定されています。また、本製品はそれらに基づいて作られています。

⚠ 警告

TSPS 運転支援機能はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・信号表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

以下のようなときは、TSPS 機能が作動しない場合があります。

- ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)の上に物を置いたり、窓が汚れたりして、TSPS 用路側装置との通信が遮られたとき
- TSPS 用路側装置に木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
- 雨天時など、ワイパーが作動して TSPS 用路側装置の通信が遮られたとき
- TSPS 用路側装置や ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)に太陽光などが差し込んだとき
- TSPS 用路側装置の通信エリアに駐停車車両があり、通信できないとき
- TSPS 用路側装置の通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
- TSPS 用路側装置や感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障などに よって、通信ができないとき、または誤った情報が ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)に提供されたとき
- TSPS 用路側装置通過時の速度が著しく速いとき
- TSPS 用路側装置の近くに他の光ビーコンが設置されているとき
- TSPS 用路側装置の向きが変わってしまっているとき（台風など）
- 車両始動直後に TSPS 用路側装置を通過したとき
- ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)に故障などがあり、受信した情報を正しく処理できないとき

- ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)または車両を改造をしたとき
- システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
- サービス対象地点の地図データがないとき
- ナビゲーションのソフトウェアや地図データなどを更新中のとき

関連リンク

VICS、ETC2.0（ITS スポット）、TSPS の問い合わせ先について (P.179)

TSPS の表示設定を変更する

1 [ ]>[VICS/ETC2.0/TSPS]の順にタッチします。

2 下記の TSPS 設定項目にタッチします。

タッチするごとに、ON/OFF が切りかわります。

- [**表示設定　TSPS 信号待ち発進準備案内**]：TSPS サービス信号待ち発進準備案内を表示します。
- [**音声／音設定　TSPS 信号待ち発進準備案内音声**]：TSPS サービス信号待ち発進準備案内の発話を設定します。

知識

走行履歴のアップリンク[**光ビーコン**]が OFF の場合、本設定を切りかえることはできません。

光ビーコン走行情報のアップリンクの設定をする

走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)を通じて、TSPS 用路側装置へ送ることができます。

1 [ ]>[VICS/ETC2.0/TSPS]の順にタッチします。

2 走行履歴のアップリンク[光ビーコン]にタッチします。

タッチするごとに、ON/OFF が切りかわります。

注意

- 初期状態では ON に設定されています。
- 本設定が OFF の場合、TSPS サービスは受けられません。

TSPS サービス　信号待ち発進準備案内

- 案内マークについて
  - 案内マークは運転支援の対象区間内で表示されます。
  - 表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。



● 赤信号残時間表示について

- 赤信号で停車したとき、信号待ち時間の目安をナビゲーション画面に表示します。
- 信号待ち時間が短くなると、まもなく信号がかわることを示すマークを表示します。
- [90秒+]：待ち時間が 90 秒より長い場合
- [37秒]：待ち時間が 90 秒以下の場合
- [ ]：まもなく信号がかわる場合

知識

- サービス使用前に走行履歴のアップリンク「光ビーコン」を ON かつ信号待ち発準備案内を ON に設定したときに作動します。
- サービス使用前に TSPS 信号待ち発進準備案内音声を OFF することで案内音声を停止できます。
- TSPS 用路側装置から送信される信号情報には信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると、信号待ち発進準備案内ができなくなります。
- 以下のようなときは、案内マークが表示されないことがあります。
  - 交差点付近の側道や駐車場など、TSPS 用路側装置が設置された道路と並行する場所に停車しているとき
  - 運転支援の対象区間から離れているとき
- 以下のようなときは、赤信号残時間表示が表示されないことがあります。
  - 停車していないとき
  - 停車時点で交差点から大きく離れているとき
  - 停車時点で赤信号の待ち時間が少ないとき
  - 信号機の制御方式（押しボタン式、感応式など）により、TSPS 用路側装置から送信される信号情報が不確定なとき
  - TSPS 用路側装置から停車した交差点の信号情報が配信されていないとき
  - 信号情報の有効時間を過ぎてしまったとき
- 以下のようなとき、実際の信号表示と異なる場合があります。
  - GPS などナビシステムの誤差があるとき

- TSPS 用路側装置から送信される情報に誤差があるとき
- TSPS 用路側装置から送信される信号情報によっては、黄信号および矢印信号も赤残秒数に含まれる場所があります。

関連リンク

TSPS の表示設定を変更する (P.169)
光ビーコン走行情報のアップリンクの設定をする (P.169)

新旧ルートを比較して表示する

ビーコンまたは G-Link センターなどから提供される現況情報が受信され、渋滞および規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

[**新しいルートを表示**]にタッチします。

比較画面を表示中に操作しなかったとき、または新ルートと元ルートの分岐点を通過したときは、元ルートで案内します。

新旧ルート比較表示を ON に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。



VICS 放送局を選択する

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。通常は、自動で受信するように設定してください。自動で受信されないときのみ手動で放送局、または放送エリアを選択してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[VICS/ETC2.0/TSPS]にタッチします。**

3 **VICS の[自動]もしくは、受信状況の[周波数]/[都道府県]にタッチします。**

- [**自動**]を ON にすると、現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、移動すると自動的に放送局が切りかわります。
- [**自動**]を OFF にし、[**都道府県**]にタッチし、受信させる放送局のある都道府県名にタッチすると、選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。

  受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切りかわります。
- [**自動**]を OFF にし、[**周波数**]にタッチし、放送局の周波数を選択すると、選んだ周波数の放送局が受信されます。

  放送局の電波が受信されると、**「受信中」**が表示されます。

  受信状態が変わっても自動的に放送局は切りかわりません。

知識

新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

VICS 記号や表示について

記号*1	道路の種類／状況
（黒色）*2	通行止めの区間
（赤色）	渋滞している道路
（橙色）	混雑している道路
（緑色）	空き道

記号	施設情報
（青色）	駐車場／臨時駐車場（空車）
（燈色）	駐車場／臨時駐車場（混雑）
（赤色）	駐車場／臨時駐車場（満車）
（黒色）	駐車場／臨時駐車場（不明）
（赤色）	駐車場／臨時駐車場（閉鎖）
（青色）	SA・PA（空車）
（燈色）	SA・PA（混雑）
（赤色）	SA・PA （満車）
（黒色）	SA・PA（不明）
（赤色）	SA・PA （閉鎖）
（青色）	充電ステーション（空車）
（燈色）	充電ステーション（混雑）
（赤色）	充電ステーション（満車）
（黒色）	充電ステーション（不明）
（赤色）	充電ステーション（閉鎖）

*1: 選択した地図色によって、表示色が異なります。
*2: 夜画のときは白色で表示されます。

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め

記号	規制情報
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント
	気象速報
	災害速報

知識

表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

関連リンク

地図表示カスタマイズの設定 (P.78)

VICS について

知っておいていただきたいこと

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された[VICS]のロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。（提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。）
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は 経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

■ FM 多重放送特有の事項について

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
  - トンネルの中にいるとき
  - 高層ビルの谷間にいるとき
  - 高架道路の下にいるとき
  - 盆地にいるとき
  - 大型車とすれちがったとき

「VICSWIDE」について

マルチメディアシステムは「VICSWIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）・光ビーコンの 3 つのメディアを受信することができます。

- 3 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。
- 電波ビーコン（2.4GHz）は、マルチメディアシステムでは受信しません。

■ FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

■ 電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、主に高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に ETC2.0 サービス情報の提供が行われます。また、ITS スポットにて受信した情報をナビゲーションに蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

■ 光ビーコン

光ビーコンは、主に一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送のホームページで案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

FM 放送局から遠い場所などでは受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■ 交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

■ 駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権について

1　お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2　お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS、ETC2.0（ITS スポット）、TSPS の問い合わせ先について

■ レクサス販売店への問い合わせについて

以下の内容は、レクサス販売店にご相談ください。

ナビゲーションシステム、ETC2.0 ユニットの調子・機能・使用方法・表示・その他に関するもの

■ VICS センターへの問い合わせについて

以下の内容は、VICS センターにご相談ください。

VICS、ETC2.0、TSPS サービスで提供される情報、およびご利用可能な場所に関するもの

■ VICS センター

電話番号（受け付け時間…9：30～17：45、土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

0570 ― 00 ― 8831（全国共通・PHS、IP 電話などを除く）

FAX 番号（受け付け時間…24 時間）

03 ― 3562 ― 1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。http://www.vics.or.jp/

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

道路管理者からのお知らせとお願い

車載器の ID 付きプローブ情報の利用および取り扱い方針

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社および広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビから収集する車載器の ID 付きプローブ情報の利用や取り扱いの方針について、次のとおり定めます。

車載器の ID 付きプローブ情報を提供いただくことで、経路情報を活用したサービスを提供することが可能となり、渋滞などを迂回する経路を走行したドライバーを優遇することなどが期待されます。

1．車載器の ID 付きプローブ情報

（1）ここで「車載器の ID 付きプローブ情報」とは、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴など「プローブ情報」に車両を特定するための「車載器の ID」を付与した情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）*1 と通信を行うことにより ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

（2）「車載器の ID 付きプローブ情報」として収集される情報は次のとおりです。*2

- ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番など）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番など））
- 車両に関する情報*3
- 走行位置の履歴*4
- 急な車両の動きの履歴*4

2.車載器の ID 付きプローブ情報の利用目的

*1：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

*2：ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

*3：車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報です。車両を特定するための車載器の ID に関する情報や自動車登録番号、車両番号が含まれます。ただし自動車登録番号、車両番号については 4 桁の一連番号は含まれません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

*4：走行開始地点や走行終了地点は収集されません。

（1）渋滞などを迂回する経路を走行したドライバーを優遇するなどの経路情報を活用したサービスが実用化した場合、道路管理者は車載器の ID 付きプローブ情報を当該サービスの提供に利用します。

（2）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を、経路情報を活用したサービスの有効性検証などのために利用する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）または（2）の目的以外で車載器の ID 付きプローブ情報を利用しません。

3.車載器の ID 付きプローブ情報の収集

（1）道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット*1 によって、車載器の ID 付きプローブ情報を収集する場合があります。

（2）ETC2.0 対応カーナビと連動する ETC2.0 車載器の利用者は、設定により 1.（2）で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択できる場合があります。*2

（3）ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により道路管理者への（2）で示す車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択をした場合、2.（1）の経路情報を活用したサービスによる優遇は受けられません。*3

4.車載器の ID 付きプローブ情報の第三者への提供

（1）道路管理者は、2.（1）および（2）の目的のため、収集した車載器の ID 付きプローブ情報を個別の車両を特定できないよう統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学などの研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

（2）道路管理者は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポットなどの関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、車載器の ID 付きプローブ情報またはこれらを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーなどに提供する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）および（2）以外で車載器の ID 付きプローブ情報を第三者に提供しません。

5.車載器の ID 付きプローブ情報の取り扱い等

*1: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

*2: ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者へ車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択は行えません。また、ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、道路管理者からのお知らせとお願いとして周知している「プローブ情報の利用および取り扱いについて」におけるプローブ情報の収集についても同様に、設定により道路管理者への情報の提供を拒否する選択は行えません。「プローブ情報の利用および取り扱いについて」は ETC2.0 車載器の説明書または道路管理者 Web サイトなどに掲載されています。ETC2.0 車載器を取得する前に、車載器の説明書などによりあらかじめ確認し、取得する ETC2.0 車載器を選択してください。

*3: カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは経路情報を活用したサービスによる優遇が受けられません。

（1）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を安全に管理し、情報の漏えいなどの防止に努めます。

（2）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報が不要となった時点で、当該車載器の ID 付きプローブ情報を消去します。

（3）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報の提供先における情報の安全管理および提供した情報が不要となった時点で情報を消去することについて、提供先を適切に指導します。

6.問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111（代）

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月現在

プローブ情報の利用および取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社および広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイトなどに掲載します。

1．プローブ情報

（1）ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）*1 と無線通信を行うことにより ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

なお、このプローブ情報から車両または個人を特定することはできません。

プローブ情報として収集する情報は次のとおりです。 *2

*1：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

*2：ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

- ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番など）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番など））
- 車両に関する情報*1
- 走行位置の履歴 *2
- 急な車両の動きの履歴 *2

2．プローブ情報の利用目的

（1）道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。*3

（2）道路管理者は、（1）の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3．プローブ情報の収集

（1）道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット*4 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

（2）ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により、1.（1）で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができる場合があります*5*6。選択の方法は ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビの取扱説明書をご覧ください。

（3）ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの 履歴を提供することで、これを利用したさまざまな追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4．プローブ情報の第三者への提供

（1）道路管理者は、2.（1）の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学などの研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

*1: 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です 。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号または車両番号の 4 桁の一連番号は含まれないため、車両または個人を特定することはできません （例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

*2: 走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

*3: たとえば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

*4: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

*5: カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能のないカーナビゲーションは該当しません。

*6: ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者への（2）で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。

（2）道路管理者は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポットなどの関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報またはこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）および（2）以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5. プローブ情報の取り扱い

（1 ）道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えいなどの防止に努めます。

（2） 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

（3 ）道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム 推進室

03-5253-8111（代）

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月改定

2014 年 10 月改定

2010 年 10 月現在

知識

マルチメディアシステムでのプローブ情報の選択の可否を設定する方法は、「ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする」をご覧ください。

関連リンク

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする (P.166)

VICS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を甲が所有しまたは管理することに同意する。

2 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）　VICS サービス当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）　VICS サービス契約当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）　加入者当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）　VICS デスクランブラー FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類など

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）　文字表示型サービス文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）　簡易図形表示型サービス簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）　地図重畳型サービス車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台ごとに 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立など）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込みおよび承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡または承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡または地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）　加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）　加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条または第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこのかぎりではありません。

（利用の中止）

第 15 条　当センターは、放送設備の保守上または工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、このかぎりではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信または再配分することはできません。

（免責）

第 17 条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合など、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面などにより、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］

視聴料金 330 円（税込み）ただし、車載機購入価格に含まれております。

みちびき災害危機通報サービスの表示

地震や津波発生時の災害情報を、準天頂衛星システム(みちびき)経由で受信します。自車の現在地およびルート沿い（目的地設定時）が警報の対象エリア内であるとき、警告音もしくは音声による通知とともに災害情報が表示されます。



- 災害情報が複数ページある場合は、[◀]／[▶]にタッチしてページを切りかえることができます。
- [×]にタッチすると、表示を閉じます。地図画面上の左上の[ ]をタッチすることで再表示できます。
- [**詳細情報**]にタッチすると、災害の詳細情報が表示されます。運転中は選択できません。
- 受信した災害情報に更新があった場合は更新通知が表示されます。

交通ナビ関連情報を表示する

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。また、登録されているお気に入りや設定されている目的地に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[交通情報]にタッチします。**

3 **希望の項目にタッチします。**



A JAF もしくは都道府県名、施設名称にタッチします。

JAF の情報を表示します。

B 都道府県名、施設名称にタッチします。

交通情報センターの情報を表示します

C 任意のお気に入り情報にタッチします。

お気に入りの情報を表示します。

電話番号が登録されている場合は、名称／電話番号が表示されます。

D 任意の目的地にタッチします。

目的地の情報を表示します。

電話番号が登録されている場合は、名称／電話番号が表示されます。

知識

事前に Bluetooth®接続が必要になります。

目的地検索について

目的地検索画面から目的地を検索し、設定できます。

1 **地図画面上の[🔍]にタッチします。**

2 **目的地検索画面が表示されます。目的地の検索方法にタッチします。**



3 **検索結果リスト画面が表示されます。リストから目的地に設定したい項目にタッチします。**

- すでに目的地が設定されているときは、[**新規目的地**]（新しく目的地を設定）、または[**経由地追加**]にタッチします。
- G-Link 契約時は、G-Link センター上のコンテンツを活用した目的地検索を行うこともできます。

関連リンク

経由地を編集する (P.210)
キーボードで情報を検索する (P.51)

目的地検索画面の見方



A 施設名、住所、電話番号などを入力して検索します。

B カーソルを移動します。

- 続けてタッチすると、連続してカーソルが移動します。
- 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。
- 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
- 変換範囲のみ変換するときは、希望の候補にタッチできます。変換範囲（文節）が間違っているときは、[◁]・[▷]にタッチして変換範囲を修正できます。

C お気に入り登録されている地点のリストを表示します。

お気に入り地点を登録しているときのみ使用できます。

D 目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点のリストを表示します。

目的地履歴が存在するときのみ使用できます。

E 住所で検索します。

F 電話番号で検索します。

G マップコードで検索します。

H スマートフォンからあらかじめ送信されたおでかけプランの地点のリストを表示します。

I 名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。[**開始**]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

J 任意のタブによく行く地点を登録できます。よく行く地点に登録するとタブにアイコンが表示されます。

よく行く地点を目的地としてルート探索を開始します。

K 自宅を目的地としてルート探索を開始します。

自宅を登録していない場合は、[ ]にタッチし、登録します。

文字入力で目的地を検索する

施設の名称や住所、電話番号を入力して目的地を検索できます。

ラーメン、花見などのフリーワードでも検索ができます。

1 **地図画面上の[ ]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[施設名、住所、電話番号で検索]にタッチします。**

3 **施設名、住所、電話番号などを入力し、[検索]にタッチします。**

- 文字を入力するごとに、検索される目的地候補が表示されます。
- 入力された文字列に対して、過去の検索入力文字列や目的地履歴、お気に入り、文字列の一致条件から、ユーザーがこれから入力しようとする文字列を予測して入力文字列の候補として表示します。
- ユーザーが入力ミスによる検索ワードで検索した結果、該当する検索結果が存在しないとき、正しいと思われる検索ワードを表示します。
- ユーザーが入力した検索ワードに対する検索結果一覧に対して、付加価値の情報をもつ施設がわかるように情報が表示される場合があります。たとえば、「レストラン」と入力すると、お店の評価などがリスト上に表示されたりします。*1
- 入力した文字数が上限を超えた場合、超えた分の文字は切り捨てられます。
- 自宅が登録済みの場合、「じたく」などのワードで検索することができます。

自宅を登録する

1 **地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[🏠]にタッチします。**

3 **地図を登録したい場所に移動し、[この地点を登録]にタッチします。**

> **知識**
>
> [**住所から検索**]をタッチすると、住所検索から自宅を登録することが可能です。

自宅を目的地に設定する

1 **地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[🏠]にタッチします。**

[**開始**]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

よく行く地点を登録する

1 **地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **「よく行く地点」の任意のタブにタッチします。**

3 **履歴や住所などから登録したい地点を表示します。**

4 **[この地点を登録]にタッチします。**

> **知識**
>
> - よく行く地点に登録するとタブにアイコンが表示されます。
> - よく行く地点の保存件数は最大 5 件です。
> - 登録したよく行く地点はお気に入りにも登録されます。

*1 : G-Link 契約が必要です。（初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。）

● お気に入りを削除すると、よく行く地点の登録も削除されます。よく行く地点の登録を削除してもお気に入りは削除されません。

お気に入り地点を目的地に設定する

1 **地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **希望のお気に入り地点にタッチします。**

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

[**開始**]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

知識

お気に入り登録した地点の名称を文字入力して検索することも可能です。

履歴で目的地を検索する

1 **地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[履歴]にタッチします。**

3 **目的地履歴から希望の目的地にタッチします。**

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

[**開始**]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

住所で目的地を検索する

1 **地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[住所]にタッチします。**

3 **都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順にタッチします。**

[**〇〇主要部**]にタッチすると、広域図が表示されます。

4 **[番地指定]にタッチします。**

5 **[検索]にタッチします。**

電話番号で目的地を検索する

1 **地図画面上の[🔍]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[電話番号]にタッチします。**

3 **電話番号を入力し、[検索] にタッチします。**

- 市外局番から入力します。
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称にタッチします。
- 検索できなかったとき、その旨を知らせるメッセージが表示されます。

知識

- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。

マップコードで目的地を検索する

1 **地図画面上の[ ]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**
2 **[マップコード]にタッチします。**
3 **マップコードを入力し、[検索]にタッチします。**

おでかけプランで目的地を検索する

スマートフォンアプリ「My LEXUS」のナビ連携機能におでかけプラン（目的地、出発時間等）を設定しておくことで、乗車後に車載ナビでおでかけプランがある旨の通知を受けます。登録されたおでかけプランを選択することで目的地設定が可能となります。

G-Link 契約が必要です。（初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。）

この機能を使用するには、ドライバー登録する必要があります。

1 **地図画面上の[ ]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**
2 **[おでかけプラン]にタッチします。**
3 **希望のおでかけプランにタッチします。**

名称部分をタッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

[**開始**]にタッチすると、すぐにルート案内が始まります。

知識

車載ナビで設定した目的地情報をスマートフォンアプリ「My LEXUS」のナビ連携機能に引き継ぐことも可能です。

関連リンク

ドライバーを登録する (P.54)

moviLink について

moviLink の入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

- URL：
  https://www.toyotaconnected.co.jp/movilink/
- QR コード：



検索結果リスト画面の見方

目的地を検索したとき、検索結果が複数あった場合、検索結果リストが表示されます。



A 前の画面に戻ります。

B 検索で入力した文字を表示します。

C 検索オプションを表示します。

D 検索結果リストが表示されます。リストをタッチすると、そのリストを目的地とした全ルート図表示画面が表示されます。

- 施設内にある目的地候補も併せて表示されます。

E 検索結果リストの施設が地図上に表示されます。現在リストに表示している施設は強調して表示されます。ピンをタッチすると詳細な情報が表示されます。

- 充電ステーションの検索結果もリストで表示されます。
- 地図をスクロールしたあと、[**このエリアを検索**]にタッチすると、スクロールしたエリア内で目的地を検索することができます。

知識

リストを長押しすると、そのリストを目的地とした位置微修正画面が表示されます。任意の場所に地図を移動して目的地の位置を修正できます。[**ルート**]をタッチすると、修正後の地点を目的地とした全ルート図表示画面が表示されます。地図エリアのピン以外の地点を長押しした場合も同様に、その地点を中心とした目的地の位置微修正画面が表示されます。

関連リンク

地図の動かし方 (P.35)
全ルート図表示画面の見方 (P.201)

検索オプションについて

検索結果リストの表示範囲や並び順を変更することができます。

1 **検索結果リスト画面で[ ]にタッチします。**

2 **検索オプションを設定します。**

3 **設定が完了したら[完了]にタッチします。**

経由地を追加する

目的地をすでに設定しているとき、新たな目的地を経由地として追加することができます。

● **目的地を設定している状態で目的地を検索します。**

目的地を設定しようとするとメッセージが表示されます。

- [**新規目的地**]：現在設定している目的地を削除し、新たに目的地までのルート探索を開始します。
- [**経由地追加**]：指定した地点を経由地として含んだ目的地までのルート探索を開始します。

知識

- 地図画面上で任意の地点にタッチして、経由地を追加することもできます。
- 経由地と合わせて目的地は 10 か所まで追加できます。
- 追加した経由地は一番手前の目的地として追加されます。順番を変更する場合は、経由地編集で変更してください。

関連リンク

目的地検索について (P.190)
経由地を編集する (P.210)

電話帳から目的地を検索する

接続しているスマートフォンの電話帳に住所が登録されている場合、電話帳から目的地を設定することができます。

- この機能を使用するには、スマートフォンをマルチメディアシステムに登録する必要があります。
- 登録されている住所が地図データにない場合は設定できません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[連絡先]にタッチします。**
3 **連絡先を選択します。**
4 **住所を選択します。**

スマートフォンから目的地を設定する

NaviCon について

NaviCon[*1] は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。



NaviCon（iOS 版／ Android 版）は無料でご利用いただけます。

入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

NaviCon サポートサイト：https://navicon.com/

▶ **マルチメディアシステムとの接続方法**

接続方法	iOS デバイス	Android デバイス
Bluetooth® （無線）	○	○
USB （有線）	△(1)	×

(1) ハンズフリー接続が必要

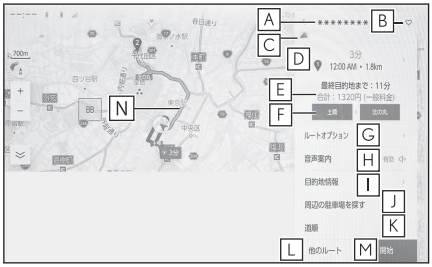
*1 : NaviCon は株式会社ミックウェアの登録商標です。

▶ マルチメディアシステムの対応機能

目的地設定	複数地点設定	地図操作	友達マップ連携
○	○	×	×

全ルート図表示画面の見方

目的地を設定すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面で、希望ルートの選択やルート情報を確認することができます。



A 目的地の名称または住所が表示されます。

B 目的地をお気に入り地点として登録します。

C 目的地の現在の天気が表示されます。*1

D 出発地点から目的地までの距離と所要時間、到着予想時刻を表示します。

複数目的地を設定している場合、タッチすると各目的地の到着予想時刻リストが表示されます。

E 目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示します。

デフォルトは ETC 料金が表示されます。設定を OFF にすると ETC を使用しない料金表示に切りかわります。

F 最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を左に、最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を右に表示します。入口および出口名を選択することで IC を変更することができます。

ETC 料金は通過予想時間を考慮して割引を計算した料金が表示されますが、実際には運転状況や交通状況により割引が適応されない場合があります。

G ルートオプションを表示します。

H 音声案内のミュート設定をします。

I 目的地の詳細情報を表示します。

J 目的地設定した地点周辺の駐車場リストを表示します。

- 駐車場の料金が表示されます。*1
  - 駐車時間を設定すると、現在の時刻からの駐車時間を考慮した駐車料金が表示されます。
  - 駐車時間の設定は 1 時間～24 時間までの 1 時間単位で設定できます。
  - 駐車料金情報がない場合は表示されません。
  - 料金は予告なく変更となる場合があります。実際の駐車場看板をご確認ください。
  - 駐車時料金が 1 万円以上かかる場合、「1 万円～」と表示されます。

K ルート情報を表示します。

L 条件の異なるルートに変更できます。

M 目的地案内を開始します。長押しすると目的地案内のデモを開始します。

*1：G-Link 契約が必要です。（初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。）

- 施設を目的地に設定した場合は、営業時間などが表示される場合があります。
  - 目的地への到着予想時刻が定休日や営業時間外のとき、案内を開始するか確認されます。
  - 目的地の営業時間・定休日は実際と異なる場合があります。
- 目的地が高速道路や有料道路上に近い、橋やトンネル、線路などに近いとき、高速道路上やその周辺に変更するかを確認する通知が表示されます。
- 航続可能距離が目的地まで到達できない可能性がある場合、充電ステーションへの経由を推奨する通知が表示されます。航続可能距離はエアコンなどの使用状況により変化するため、目安として使用し早めの充電を心掛けください。

  [**追加**]にタッチするとルート周辺の充電ステーションリストが表示されます。

N 選択中のルートとは別のルートをタッチすることで希望のルートに変更できます。

- 推奨ルート、時間優先ルート、一般道路優先ルートの 3 つのルートから選択できます。デフォルトは推奨ルートが選択されています。
  - センターへの接続状況などにより、提案されるルートが異なる場合があります。
- []マークと料金が表示されているルートは有料道路を含むルートです。有料道路を通らないルートは[**有料道路なし**]と表示されます。ただし、3 つのルート全てが有料道路を通らない場合は[**有料道路なし**]は表示されません。

関連リンク

ルート設定をする (P.79)
目的地案内のデモを見る (P.203)
ルート情報を表示する (P.204)
ルートオプションを変更する (P.205)
他の経路に変更する (P.206)
出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する (P.207)
目的地の詳細情報を表示する (P.208)
経由地を編集する (P.210)

目的地案内のデモを見る

目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

● **全ルート図表示画面で[開始]を長押しします。**

デモを終了するときは、 [ ]または[**終了**] にタッチ、または走行します。

ルート情報を表示する

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 **全ルート図表示画面で[道順]にタッチします。**

2 **目的地までのルート情報が表示されます。**

現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自車位置マーク[ ]が表示されます。



ルートオプションを変更する

ETC 専用料金所を利用しないなど、ルート探索する際の条件を変更できます。

1 **全ルート図表示画面で[ルートオプション] にタッチします。**

2 **設定したい条件の項目を変更します。**



A 特定の道路を避ける・避けないを切りかえます。

B 設定されている経由地の順番を変更します。

C ルート上の通過点の追加や削除、編集をします。

関連リンク

通過する地点を設定する (P.209)
経由地を編集する (P.210)

他の経路に変更する

条件の異なるいくつかのルートから、希望のルートを選択できます。

1 **全ルート図表示画面で[他のルート]にタッチします。**

2 **希望のルートにタッチしたあと[決定]にタッチします。**

知識

- ニーズや状況を踏まえたルート探索パターンは追加されたり無くなることがあります。*1
- 全ルート図表示画面の地図画面で選択中のルートとは別のルートをタッチすることで希望のルートに変更可能です。

*1：G-Link 契約が必要です。（初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。）

出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

1 **全ルート図表示画面を表示します。**

2 **[IC 名称表示]にタッチします。**

選択した IC 周辺の IC 名称が表示されます。



3 **指定したい IC 名称にタッチします。**



知識

[**名称検索**]で名称を検索すると、検索結果の周辺が表示されるため、そこから指定したい IC 名称にタッチします。

目的地の詳細情報を表示する

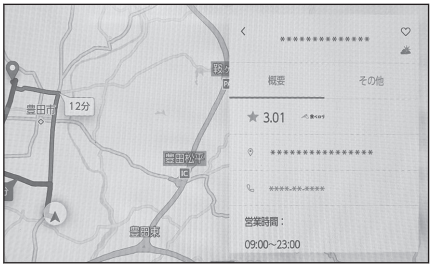
目的地の詳細情報を確認することができます。

● **全ルート図表示画面で[目的地情報]にタッチします。**

[**概要**]：地点の住所や電話番号、施設の場合は営業時間や定休日などの情報を表示します。

[**評価**]：口コミの詳細を表示します。

[**その他**]：施設やキャンペーン情報などを表示します。



知識

G-Link 未契約の場合、[**概要**][**評価**][**その他**]は表示されません。G-Link 契約時でも施設によっては表示されません。

名称、住所、電話番号のみ表示されます。

通過する地点を設定する

目的地を設定したあと、ルート上の通過する地点を設定することができます。

1 **通過点設定画面で[ ]にタッチします。**



2 **通過点として追加したい地点を地図上で指定して、[完了]にタッチします。**

[ ]: タッチした経由地を削除することができます。

関連リンク

ルートオプションを変更する (P.205)

経由地を編集する

ルート上に設定している経由地の順番の変更、および削除ができます。

1 **経由地にタッチすると[上に移動][下に移動]が表示され、経由地の順番を入れかえることができます。**

[⊖]: タッチした経由地を削除することができます。



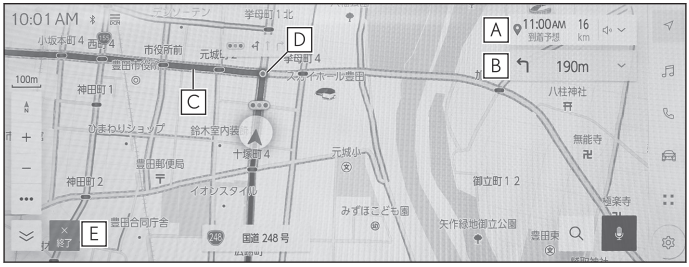
2 **[OK]にタッチします。**

関連リンク

ルートオプションを変更する (P.205)

ルート案内画面の見方

ルート案内中は、ポイントとなる地点(交差点や分岐点など)で音声や画面で案内します。



A 自車位置から目的地までの距離と到着予想時刻が表示されます。

ルートからはずれた場合は、到着予想時刻は表示されず、目的地までの直線距離が表示されます。

タッチすると、全ルート図表示画面が表示されます。

B 次に分岐する交差点までの距離と分岐方向が表示されます。

タッチすると、目的地までのターンリストが表示されます。

C 目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

ルート上に混雑や渋滞があった場合はルート色が変化します。(赤色:渋滞、黄色:混雑、黒色:通行止め) *1

ルートの表示色の設定については「地図表示設定をする」をご覧ください。

D 目的地案内中、直近の通過および分岐する交差点に表示されます。

E 案内を終了します。複数目的地を設定している場合は、[**案内終了**]にタッチすることですべての目的地設定を削除し案内を終了、[**次の目的地を削除**]にタッチすることで次の目的地設定のみを削除し案内は継続されます。

- 緊急情報を受信したとき、案内画面上に通知が表示されます。
- ナビが逆走状態を検知したとき、逆走注意の案内が表示されます。
- ルート探索ができなかったときは、画面上に通知が表示されます。
- 居住者規制エリアに目的地設定した場合、ルート上に×印が表示されます。

関連リンク

地図表示設定をする (P.77)
さまざまなレーン表示画面 (P.212)
逆走注意案内を設定する (P.89)

*1:地図色によって表示色は異なります。

さまざまなレーン表示画面

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、交差点拡大図に切りかわります。

交差点拡大図

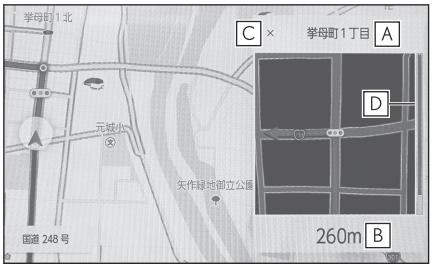
分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点手前では、交差点拡大図が表示されます。

A 通過・分岐する道路の名称を表示します。

B 現在位置からの距離を表示します。

C 交差点拡大図を閉じます。

D 交差点に近づくとともにゲージが短くなります。

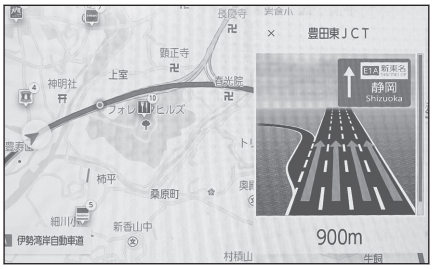


知識

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は表示されません。
- 交差点拡大図は実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図上の残距離とマルチインフォメーションディスプレイ表示上の残距離は異なることがあります。
- ナビ画面上とマルチインフォメーションディスプレイ上の交差点拡大図の表示は異なります。

立体的な拡大図

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。



拡大図を解除するときは[×]にタッチします。

- 拡大図には下記の種類があります。
  - 都市高速 IC 入口
  - 高速分岐
  - 高速分岐渋滞案内

    高速道路の分岐付近で渋滞が発生しているとき、渋滞情報と画像でお知らせします。
  - 立体交差点
  - リアル交差点

    都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示されます。
  - 側道案内

知識

地図データに情報のある地点で表示されます。

都市高速レーン案内サービス

都市高速において、特殊なレーン移動が必要な旨を音声により案内します。

■ 都市高速での音声案内例

- 連続車線変更事前注意

  「この先、300m ですぐに右に車線変更が必要です。」
- 車線変更禁止区間

  「およそ 1 km 先○○出口です。車線変更禁止区間にご注意ください。」
- 複数レーン

  「まもなく、○○方面です。右側２車線を走行してください。」

交差点目印・信号機案内サービス

目的地案内中、交差点で曲がる方向をわかりやすくするために、曲がる方向と目印となる施設を音声で案内します。

■ 交差点での音声案内例

「まもなく、右方向です。○○が目印です。」

- ○○には目印となる施設の名称が案内されます。案内される施設の名称は、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファーストフード店などです。
- 案内される施設の名称は、情報のある地点のみ案内されます。

ルートを再探索する

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）に、ルートの再探索をすることができます。

1 **地図画面で[∨]にタッチします。**



2 **[ルートオプション]または[他の経路]にタッチします。**

3 **再探索する条件にタッチします。**

4 **[OK]または[決定]にタッチします。**

関連リンク

ルートオプションを変更する (P.205)
他の経路に変更する (P.206)

地図を更新する

地図更新画面の使い方

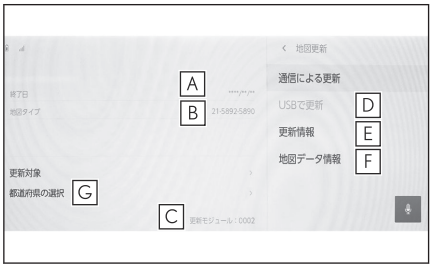
地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [ナビゲーション]にタッチします。

3 [地図更新]にタッチします。

4 各項目を設定します。



A 更新サービス終了日を表示します。

B 地図のタイプを表示します。

C ナビバージョンを表示します。

D USB メモリーで更新します。

E 更新情報画面を表示します。

最新の更新日などの情報を確認できます。

F 使用データ画面を表示します。

マルチメディアシステムに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。

G 更新する都道府県を選択する。

知識

- 地図更新は、初度登録日をサービス利用開始日とし、サービス利用開始日より３年間ご利用いただけます。
- 通信による更新のご利用には、G-Link 契約が必要です。

通信モジュール（DCM）で更新する

自動で更新する

差分データがあると自動でダウンロードし、更新準備まで行います。

1 G-Link センターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされます。

2 次回パワースイッチを ACC または ON 時に地図が更新されます。

地図更新中画面が表示されているあいだは、ナビの操作はできません。

任意で更新する

1 地図更新画面で[都道府県の選択]にタッチします。

2 更新する都道府県を選択し、[実行]にタッチします。

選択できる都道府県は最大３つです。

3 次回パワースイッチを ACC または ON 時に地図が更新されます。
地図更新中画面が表示されているあいだは、ナビの操作はできません。

パソコン（USB メモリー）で更新

地図データを用意する

1 マップオンデマンドのダウンロードサイト（https://mapondemand.jp）からデータをダウンロードします。
QR コード：

2 データを USB メモリーにコピーします。

⚠ 注意

- ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。
- 地図データの入っているフォルダ（diff）には、地図データ以外の情報を入れないでください。

地図を更新する

1 マルチメディアシステムに USB メモリーを接続します。
2 [更新する]にタッチします。
3 データがコピーされます。
4 地図更新の準備をします。
5 次回パワースイッチを ACC または ON 時に地図が更新されます。

知識

- 地図更新情報画面が表示されているあいだは、ナビゲーションの操作はできません。
- 詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイト(https://mapondemand.jp)にてご確認ください。
- USB メモリー内のファイルが極端に多い場合、地図データの認識に時間がかかることがあります。
- コピーが完了したら、USB メモリーを取りはずすことができます。

地図データ情報

地図データベースの情報を見る

地図データは、以下の方法で確認することができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [ナビゲーション]にタッチします。
3 [地図更新]にタッチします。
4 [地図データ情報]にタッチします。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知識

- 地図の作成にあたり、できるかぎり正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。
- 国土地理院の著作権情報については、以下の URL をご覧ください。
  https://www.aisin.com/copyright/21map

地図データベースについて

■ 交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

■ **道路交通規制の優先**

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。

■ **交通事故多発地点**

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータを基に作成してあります。

■ **渋滞考慮探索および周辺迂回路探索**

JARTIC/VICS の情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■ **統計交通情報**

統計交通情報データは、JARTIC/VICS および独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

■ **案内標識**

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ **充電施設**

対象データ：EV ステーションデータ

対象企業：ENECHANGE（株） / （株）e-Mobility Power / トヨタコネクティッド（株）

5 オーディオシステム

5-1. ラジオの操作

ラジオを聴く 222
交通情報を聴く 225
ラジオ用アンテナの取り扱い . 226

5-2. 地上デジタルテレビの視聴

地上デジタルテレビの視聴についての留意事項..... 227
地上デジタルテレビを視聴する 230
地上デジタルテレビ視聴時の設定を変更する 236
地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い 237

5-3. USB メモリーの操作

USB メモリーの再生についての留意事項 238
USB メモリーの音楽ファイルを再生する 240
USB メモリーの動画ファイルを再生する 243

5-4. iPod/iPhone の操作

iPod/iPhone の再生についての留意事項 246
iPod/iPhone を再生する..... 247

5-5. Apple CarPlay の操作

Apple CarPlay の再生についての留意事項 250
Apple CarPlay を再生する 251

5-6. Android Auto の操作

Android Auto の再生についての留意事項 254
Android Auto を再生する 255

5-7. Bluetooth®オーディオの操作

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項..... 257
Bluetooth®オーディオを再生する 258

5-8. HDMI の操作

HDMI の再生についての留意事項 261
HDMI を再生する..... 262

5-9. Miracast®の操作

Miracast®の再生についての留意事項 264
Miracast®対応機器を接続する 266
Miracast®を再生する..... 267

ラジオを聴く

お好みの周波数に切りかえてラジオを受信できます。

知識

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。
- 地域や車の向きなどの条件により、周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。
- AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数や放送局名が異なることがあります。
- ワイド FM とは、AM 放送の難聴解消や災害時の放送継続のために、FM の周波数を使用して AM の番組を放送することです。

  周波数帯は従来アナログ TV で使用されていた V-Low 帯域の一部（90.1MHz～94.9MHz）を使用しています。

  従来の FM 放送局とは、受信状態が異なる場合があります。
- [Auto.P]ボタンについての留意事項
  - AM 放送の場合は 6 局まで、FM 放送の場合は 12 局まで登録できます。受信可能な放送局数が AM 放送は 6 局、FM 放送は 12 局未満の場合、残りのプリセットボタンには何も登録されません。
  - [Auto.P]ボタンによる周波数の登録操作を同じ場所でくり返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに登録される周波数が異なることがあります。
  - 受信状況によっては、同一放送局が複数プリセットされる場合があります。その場合、受信状態の良い放送局を選択してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[AM]または[FM]にタッチします。**

4 **必要に応じて、受信中のラジオを操作します。**

- 画面で操作する



[Auto.P]：現在位置から受信可能な放送局をマニュアルプリセットに自動で登録します。

[«]／[»]：受信感度が良く、現在受信している周波数にいちばん近い周波数を選択します。

長押しすると、押し続けている間、周波数が切りかわり、手を離すと、その位置からいちばん近い周波数を自動で選択します。

[**Tune**]：[‹]／[›]にタッチすると、周波数が切りかわります。

[**ワイド FM**]：ワイド FM に切りかわります。

AM 放送受信時で、その放送局がワイド FM 対応局の場合に切りかえができます。

[♡]：受信している放送局をプリセットに登録します。登録しているときにタッチすると、解除します。

エリアプリセット時は表示されません。

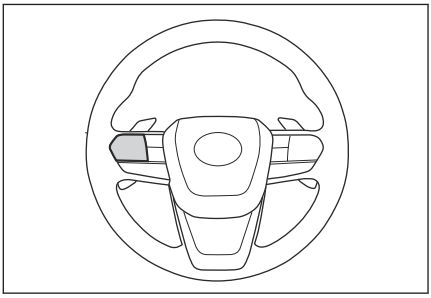
[•••]：設定可能な項目を表示します。

- [**エリア**]：マルチメディアシステムがエリアごとに登録している放送局を表示します。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットボタンに表示されます）
- [**マニュアル**]：マニュアルで登録している放送局を表示します。

サブメニューのプリセットボタン：登録している放送局を受信します。

● ステアリングスイッチで操作する

▶ **A タイプ**



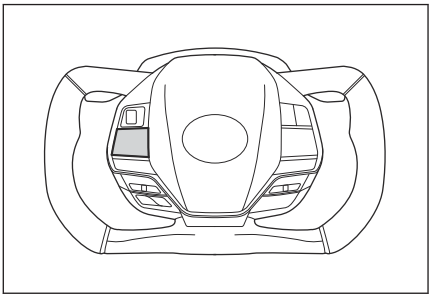
[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

プリセットボタンに登録している順に周波数／放送局が切りかわります。

押し続けると周波数が切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、その位置からちばん近い放送局を自動で選択します。

▶ B タイプ



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

プリセットボタンに登録している順に周波数／放送局が切りかわります。

押し続けると周波数が切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、その位置からちばん近い放送局を自動で選択します。

関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
各ソースの音を調整する (P.98)

交通情報を聴く

AM ラジオ局の道路交通情報を受信できます。

知識

新車時には 1620kHz と 1629kHz がプリセットに記憶されています。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [オーディオ選択]にタッチします。
3 [交通情報]にタッチします。

ラジオ用アンテナの取り扱い

ラジオを受信するためのアンテナは、リヤウインドウガラスに埋め込まれています。

⚠ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためるため使用しないでください。
- リヤウインドウガラスのアンテナ線部に次のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が発生するおそれがあります。
  - 金属を含有するウインドウフィルム
  - その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

地上デジタルテレビの視聴についての留意事項

地上デジタルテレビを視聴するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域の設定はオーディオの設定から行うことができます。
- 地上デジタルテレビ放送の受信は受信する場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態の継続が困難な場合があります。この関係の主な例は次のとおりです。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪化する場合があります。
  - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪化します。
  - 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
- 双方向通信には対応していません。
- 地上デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- B-CAS カードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新 RMP 方式[*1*2] を採用しており、B-CAS カードを付属していません。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはレーダークルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。ただし、レーダークルーズコントロール機能作動時は、周囲の環境によっては視聴できない場合があります。

関連リンク

サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)

*1：新 RMP 方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。一般社団法人地上放送 RMP 管理センター http://www.trmp.or.jp/

*2：放送局が新 RMP に関する情報を更新した際は、更新情報を取得するまでのあいだ（最大 30 秒）地上デジタル放送が視聴できない場合があります。

緊急警報放送（EWS）の役割

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組にもどります。

地上デジタルテレビに関するこんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
「受信制御データが設定されていません」「しばらくお待ちください」	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	受信環境の良い場所で受信できるまでお待ちください。
「このチャンネルは視聴できません」「ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください」	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
「この受信機では視聴できません」「ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください」	放送波が RMP ではない形式になっているため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
「放送を受信できません」	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
「データを受信できません」	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作しなおしてください。
「表示できないデータを受信しました」	マルチメディアシステムで対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

地上デジタルテレビが故障したとお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。

症状	考えられること	処置
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。 受信できる場所に移動してください。
画面上部のチャンネル番号の表示が 13～52 のままで、プリセットボタンにチャンネル番号が表示されない。		
黒い画面が表示され、音が出ない。 地上デジタル放送が受信できない。	チャンネル（放送局）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	チャンネル設定を行ってください。

地上デジタルテレビを視聴する

地上デジタルテレビを視聴して楽しむことができます。

知識

- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728 に割りあてられています。
- 視聴しているチャンネルがワンセグ放送を行っていない場合、ワンセグ放送に切りかえることができません。
- 受信設定を[**ワンセグ自動切り替え**]に設定した場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切りかえても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。
- 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できます。(サブチャンネル放送)

  違うサブチャンネルの番組に切りかえたい場合は、チャンネルを選択したあとに番組を切りかえてください。
- 1 つのチャンネルで、サービス番号が異なっていても、同じ番組が複数放送されている場合があります。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

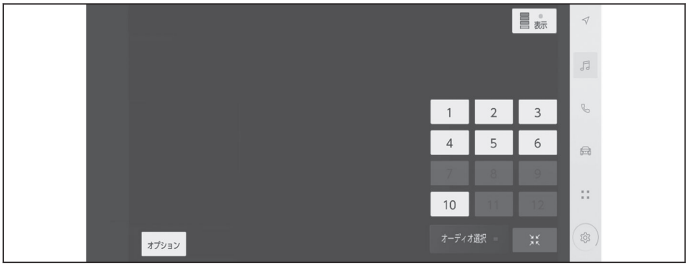
2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[TV]にタッチします。**

4 **必要に応じて、放送中の地上デジタルテレビを操作します。**

- 全画面表示中に操作する

  画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。



プリセットボタン: 登録しているチャンネルを受信します。

[Auto.P]: 長押しすると、現在位置から受信可能なチャンネルをマニュアルプリセットに自動で登録します。

エリアプリセットモードのときは表示されません。

[**オプション**]: 音声や画面表示の切りかえボタンを表示します。

[ ]: 操作画面表示にします。

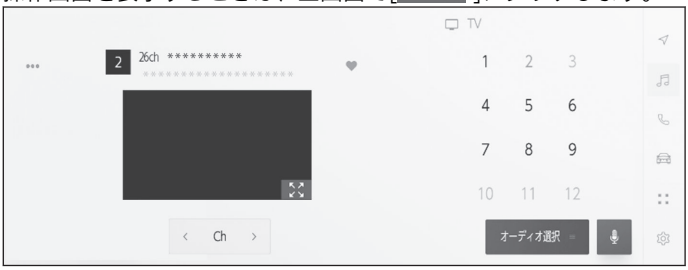
[表示]: データ放送の操作画面を表示します。

知識

[ ]にタッチすると 2 画面表示に切りかえることができます。

● 操作画面で操作する

操作画面を表示するときは、全画面で[ ]にタッチします。



[ ]：受信している番組をマニュアルプリセットボタンに登録します。
登録しているときにタッチすると解除します。

エリアプリセットモードのときは表示されません。

[ ]：設定可能な項目を表示します。

[ ]：全画面表示にします。

[Ch]：[ ]／[ ]にタッチすると、プリセットボタンに登録している順にチャンネルが切りかわります。

[Auto.P]：長押しすると、現在位置から受信可能なチャンネルをマニュアルプリセットに自動で登録します。

エリアプリセットモードのときは表示されません。

サブメニューのプリセットチャンネル：プリセットチャンネルにタッチすると、受信するチャンネルを変更できます。

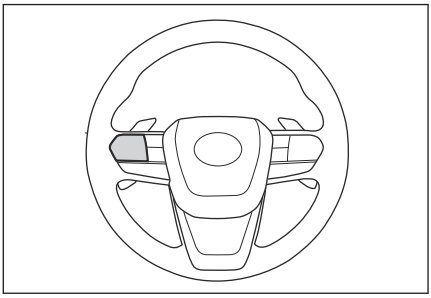
プリセットチャンネルの表示形式は変更できます。

知識

ワンセグ放送を受信しているときは、映像の右下に[ ]が表示されます。

● ステアリングスイッチで操作する

▶A タイプ



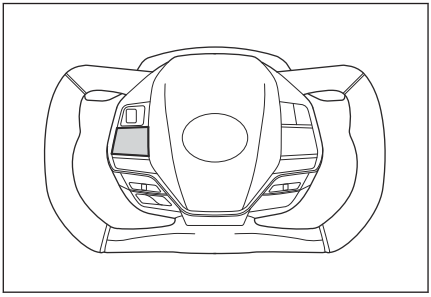
[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

プリセットボタンに登録している順にチャンネルが切りかわります。

押し続けるとチャンネルが切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、現在受信しているチャンネルにいちばん近いチャンネルを自動で選択します。

▶B タイプ



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

プリセットボタンに登録している順にチャンネルが切りかわります。

押し続けるとチャンネルが切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、現在受信しているチャンネルにいちばん近いチャンネルを自動で選択します。

関連リンク

マルチメディア画面の概要 (P.16)
オーディオのソースを変更する (P.38)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
画質を調整する (P.97)
各ソースの音を調整する (P.98)

地上デジタルテレビの音声や画面表示を切りかえる

放送中の地上デジタルテレビに副音声や字幕がある場合、切りかえることができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]>[TV]>[オプション]の順にタッチします。**

3 **必要に応じて、各項目を操作します。**



[**音声**]：地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。

タッチするたびに、音声が切りかわります。

[**字幕**]：地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。

タッチするたびに、日本語、英語、字幕なしの順に字幕が切りかわります。

[**主／副**]：地上デジタルテレビ放送では、音声多重放送をしている場合があります。

タッチするたびに、主音声、副音声、 主／副音声の順に切りかわります。

[**映像**]：地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。

タッチするたびに、映像が切りかわります。

[**文字スーパー**]：地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。

タッチするたびに、日本語、英語、表示なしの順に文字スーパーが切りかわります。

知識

- [**映像**]にタッチすると、映像を切りかえると同時に、音声と字幕も切りかわることがあります。
- 副音声または主音声／副音声にして視聴している場合、受信状態によって主音声と副音声がひんぱんに切りかわることがあります。
- 操作画面のときは、[ ]にタッチしてから[**オプション**]にタッチすると切りかえボタンを表示します。

データ放送の情報を見る

データ放送とは地上デジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、ニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送はカラーボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

知識

- ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、画面に[ ]または[ ]が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順に行ってください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]>[TV]>[表示]>[d]の順にタッチします。**

3 **必要に応じて、データ放送を操作します。**

- カーソルで操作する



[表示]: 全画面表示にします。

[10キー]: 10 キー（テンキー）表示にします。

カラーボタン: カラーボタンでデータ放送を操作します。

[**戻る**]: 1 つ前の画面にもどします。

[**決定**]: カーソルで選択した項目を実行します。

カーソル: カーソルでデータ放送を操作します。

[d]: データ放送を解除します。

- 10 キーで操作する



[表示]: 全画面表示にします。

[10キー]: カーソル表示にします。

カラーボタン：カラーボタンでデータ放送を操作します。

[**戻る**]：1 つ前の画面にもどします。

[**決定**]：10 キーで入力した数字を実行します。

10 キー：数字を入力します。

電子番組表（EPG）を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]>[TV]>[ ]>[ ]>[番組表]の順にタッチします。**

3 **必要に応じて、番組表を操作します。**



[**前日**]／[**翌日**]：別の日の番組情報に切りかえます。

[**表示切り替え**]：番組情報の表示方法を切りかえます。タッチするたびに、複数サービス、1 サービス、プライマリーサービスの順に表示が切りかわります。

- 複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。
- 1 サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
- プライマリーサービスは、4 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。

[**全画面**]：現在受信中の放送画面を全画面で表示します。

[**Ch**]：[ ]／[ ]にタッチすると、チャンネルが切りかわります。

知識

- 放送局にタッチすると選局できます。
- 番組にタッチすると、詳細情報を表示します。表示しきれていない番組がある場合はリストが表示されます。
- 電子番組表は現在から最大 7 日分表示できます。
- 番組表の画面でフリック操作すると、時間帯をかえることができます。

地上デジタルテレビ視聴時の設定を変更する

プリセットのモードや、サブメニューの表示を変更できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[TV]にタッチします。**

4 **にタッチして操作画面にします。**

5 **[ ]にタッチします。**

6 **必要に応じて、各項目を設定します。**



[**サービスリスト**]：サブチャンネル放送をしているときにタッチすると、その番組をサブメニューに表示します。

[**メール**]：マルチメディアシステムからのお知らせを確認できます。

- タイトル別または受信した日時でリストを表示できます。
- メールにタッチすると、詳細を表示します。
- 未読のメールがあるときは、[ ]が表示されます。

[**表示形式**]：サブメニューに表示されるプリセットチャンネルの表示形式を変更できます。

- [**チャンネル**]：1～12 のチャンネル番号で表示します。
- [**放送局リスト**]：放送局名を表示します。

[**プリセットリスト**]：プリセットのモードを変更できます。

- [**エリア**]：マルチメディアシステムがエリアごとに記憶しているチャンネルを表示します。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットボタンに表示されます）
- [**マニュアル**]：マニュアルプリセットモードに切りかわります。プリセットチャンネルを好みに合わせて登録できます。

知識

- プリセットチャンネルは、1～12ch まで登録できます。
- 受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示されます。
- メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、いちばん古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）

地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い

地上デジタルテレビを受信するためのアンテナは、フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスに埋め込まれています。

⚠ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が発生するおそれがあります。
  - 金属を含有するウインドウフィルム
  - その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

USB メモリーの再生についての留意事項

USB メモリーを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

マルチメディアシステムで使用できる USB メモリーについては、「使用できるメディアについての情報」(→P.448)をご覧ください。

知識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB メモリーを接続している状態で、他のソースから USB メモリーに切りかえたときは、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び挿し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響が出ることがあります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはレーダークルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。ただし、レーダークルーズコントロール機能作動時は、周囲の環境によっては視聴できない場合があります。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

⚠ 注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに USB メモリーが故障するおそれがあります。
- 接続中に USB メモリーを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

知識

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

⚠ 注意

ファイルに間違った拡張子をつけないでください。ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

間違いの例：

- MP3 ではないファイルに、「.mp3」の拡張子をつける
- WMA ではないファイルに、「.wma」の拡張子をつける

関連リンク

使用できるメディアについての情報 (P.448)
フォーマットについての情報 (P.448)
USB メモリーから再生できる動画データについての情報 (P.451)
USB メモリーについての情報 (P.454)

USB メモリーの音楽ファイルを再生する

USB Type-C 端子に接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生して、音楽を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USB メモリーを接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **機器名称または[USB]にタッチします。**

USB メモリーに動画ファイルがない場合は手順 5 に進みます。

4 **[ミュージック]にタッチします。**

5 **必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。**

● 画面で操作する



[ ]: ランダム再生をします。

タッチするたびに、全ファイル／トラック、解除、再生中のフォルダ／アルバムの順に切りかわります。

[ ]: 再生中のファイル／トラックの先頭から再生します。 ファイル／トラックの先頭のときは、前のファイル／トラックの先頭から再生します。

長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: 再生を一時停止します。

[ ]: 再生します。

[ ]: ファイル／トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: リピート再生をします。

再生中のファイル／トラック、再生中のフォルダ／アルバム、全ファイル／トラックの順に切りかわります。

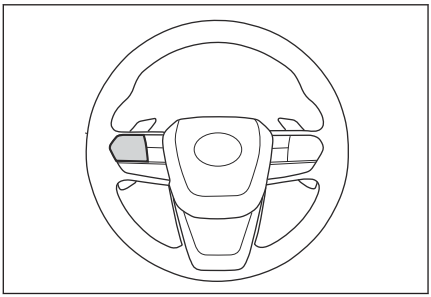
[ ]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのリスト：次の条件から選曲できます。

- [**アーティスト**]：アーティスト名から選曲できます。
- [**アルバム**]：アルバム名から選曲できます。
- [**フォルダ**]：フォルダ名から選曲できます。
- [**曲**]：曲名から選曲できます。
- [**ジャンル**]：ジャンルから選曲できます。
- [**作曲者**]：作曲者名から選曲できます。

● ステアリングスイッチで操作する

▶ **A タイプ**



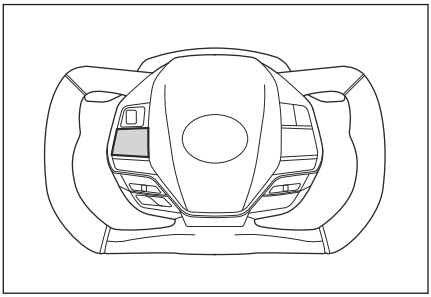
[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ファイル／トラックが切りかわります。

押し続けると、フォルダ／アルバムが切りかわります。

▶ **B タイプ**



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ファイル／トラックが切りかわります。

押し続けると、フォルダ／アルバムが切りかわります。

関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
USB 機器を接続する (P.40)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
各ソースの音を調整する (P.98)

USB メモリーの動画ファイルを再生する

USB Type-C 端子に接続した USB メモリー内の動画ファイルを再生して、音楽や映像を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

USB メモリーを接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **機器名称または[USB]にタッチします。**

4 **[ビデオ]にタッチします。**

5 **必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。**

● 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。



[ ]: 再生中のファイルの先頭から再生します。 ファイルの先頭のときは、前のファイルの先頭から再生します。

長押しすると、映像を早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: 映像の再生を一時停止します。

[ ]: 映像を再生します。

[ ]: ファイルが切りかわります。

長押しすると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中に長押しすると、スロー再生します。

[**移動**]: 操作ボタンが移動します。

操作ボタンが映像に重なって見づらいときに、操作ボタンを移動できます。

[ ]: 操作画面表示にします。

● 操作画面で操作する

操作画面を表示するときは、全画面で[ ]にタッチします。



[ ]: 再生中のファイルの先頭から再生します。 ファイルの先頭のときは、前のファイルの先頭から再生します。

長押しすると、映像を早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: 映像の再生を一時停止します。

[ ]: 映像を再生します。

[ ]: ファイルが切りかわります。

長押しすると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

一時停止中に長押しすると、スロー再生します。

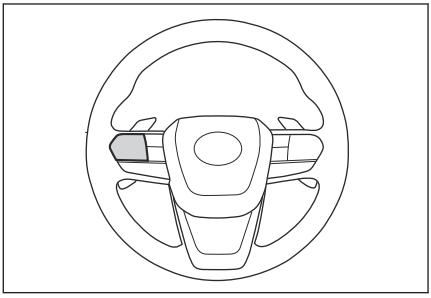
[ ]: 全画面表示にします。

[ ]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのフォルダ名／ファイル名: フォルダ名にタッチすると、フォルダ移動し、ファイル名にタッチすると、再生するファイルを変更できます。

- ステアリングスイッチで操作する

▶ **A タイプ**



[<]／[>]スイッチ

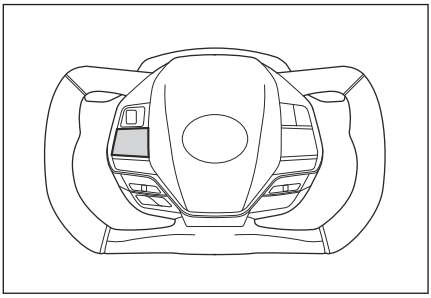
ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ファイルが切りかわります。

押し続けると、映像を早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

全画面の一時停止中に[>]スイッチを押し続けると、スロー再生します。

▶ B タイプ



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ファイルが切りかわります。

押し続けると、映像を早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

全画面の一時停止中に[>]スイッチを押し続けると、スロー再生します。

関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
USB 機器を接続する (P.40)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
画面モードを切りかえる (P.96)
画質を調整する (P.97)
各ソースの音を調整する (P.98)

iPod/iPhone の再生についての留意事項

iPod/iPhone を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

マルチメディアシステムで使用できる iPod/iPhone については、「iPhone/iPod についての情報」(→P.452)をご覧ください。

知識

- iPod/iPhone モード中に端子を抜いたり、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- iPod/iPhone を接続している状態で、他ソースから iPod/iPhone に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。*1

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPod/iPhone を操作しないでください。

⚠ 注意

- iPod/iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPod/iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPod/iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。

関連リンク

iPhone/iPod についての情報 (P.452)

*1: お使いの機器によっては、動作が異なる場合があります。

iPod/iPhone を再生する

USB Type-C 端子に接続した iPod/iPhone の音楽ファイルを再生できます。iPod/iPhone を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、カバーアートの画像が粗くなったり、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。
- 接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

iPod/iPhone を接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **機器名称または[USB]にタッチします。**

4 **必要に応じて、再生中の iPod/iPhone を操作します。**

- 画面で操作する



[ ]: シャッフル再生をします。

タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。*1

[ ]: 再生中のトラックの先頭から再生します。 トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: 再生を一時停止します。

[ ]: 再生します。

[ ]: トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

[ ]: リピート再生をします。

タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

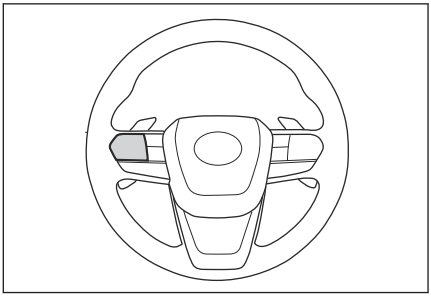
[ ]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのリスト: 次の条件から選曲できます。

- [**プレイリスト**]: プレイリストから選曲できます。
- [**アーティスト**]: アーティスト名から選曲できます。
- [**アルバム**]: アルバム名から選曲できます。
- [**曲**]: 曲名から選曲できます。
- [**ジャンル**]: ジャンルから選曲できます。
- [**作曲者**]: 作曲者名から選曲できます。
- [**ラジオ**]: ラジオから選曲できます。
- [**オーディオブック**]: オーディオブック名から選曲できます。
- [**Podcasts**]: Podcast 名から選曲できます。

● ステアリングスイッチで操作する

▶ **A タイプ**



[<]／[>]スイッチ

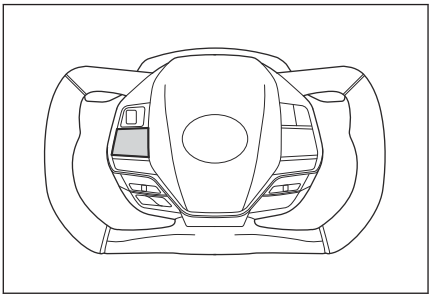
ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

▶ B タイプ



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
USB 機器を接続する (P.40)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
各ソースの音を調整する (P.98)

Apple CarPlay の再生についての留意事項

Apple CarPlay を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Apple CarPlay を USB で接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPhone が接続されている状態で、他ソースから Apple CarPlay に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPhone を操作しないでください。

⚠ 注意

- iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。

関連リンク

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 (P.123)

Apple CarPlay を再生する

USB Type-C 端子に接続した iPhone またはワイヤレス接続した iPhone の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Apple CarPlay に接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

- 接続する iPhone の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- 曲が正常に再生されない場合や音が途切れるなどの症状がある場合、iOS を最新のバージョンに更新してください。更新すると、問題が解消されることがあります。

Apple CarPlay を接続してください。

1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[Apple CarPlay]（機器名称）にタッチします。**

4 **必要に応じて、再生中の Apple CarPlay を操作します。**

- 画面で操作する



[⤮]: シャッフル再生をします。

タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。*1

[⏮]: 再生中のトラックの先頭から再生します。

トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[⏸]: 再生を一時停止します。

[▷]: 再生します。

[⏭]: トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

[ ]: リピート再生をします。

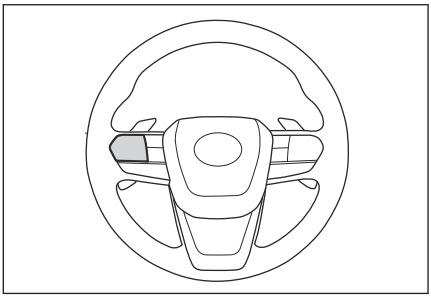
タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

[ ]: 設定可能な項目を表示します。

[Apple CarPlay]: Apple CarPlay の画面を表示します。

● ステアリングスイッチで操作する

▶ A タイプ



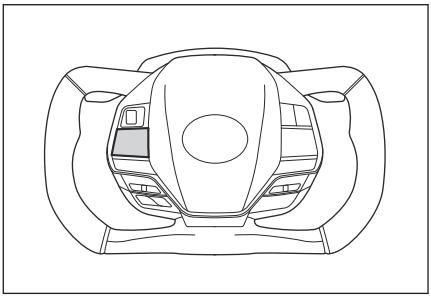
[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

▶ B タイプ



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

*1: シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
各ソースの音を調整する (P.98)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)
未登録のスマートフォンで Apple CarPlay を使用する (P.126)
登録済みスマートフォンで Apple CarPlay を使用する (P.129)

Android Auto の再生についての留意事項

Android Auto を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- Apple CarPlay を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Android Auto を接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- Android 機器を接続している状態で、他のソースから Android Auto に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に Android 機器を操作しないでください。

⚠ 注意

- Android 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに Android 機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に Android 機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。

関連リンク

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 (P.123)

Android Auto を再生する

USB Type-C 端子に接続した Android 機器の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Android 機器を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

Android Auto を接続してください。

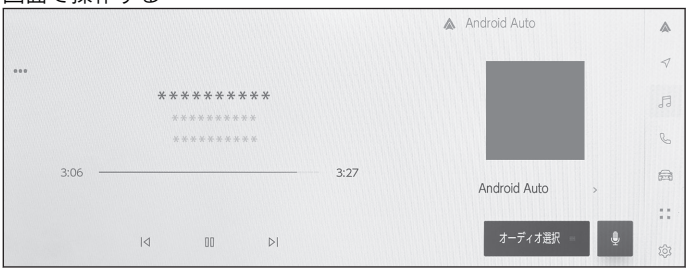
1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[Android Auto]（機器名称）にタッチします。**

4 **必要に応じて、再生中の Android Auto を操作します。**

● 画面で操作する



[⏮]：再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

[⏸]：再生を一時停止します。

[▷]：再生します。

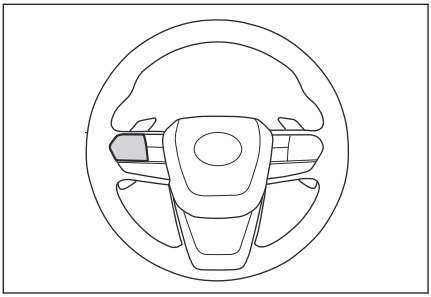
[⏭]：トラックが切りかわります。

[•••]：設定可能な項目を表示します。

[Android Auto]：Android Auto の画面を表示します。

● ステアリングスイッチで操作する

▶ **A タイプ**

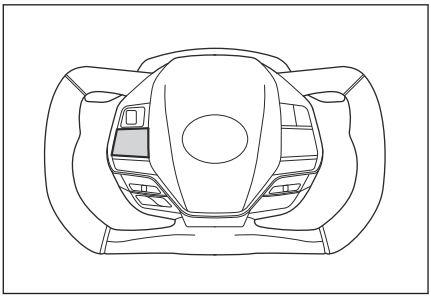


[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

トラックが切りかわります。

▶ **B タイプ**



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

トラックが切りかわります。

関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
各ソースの音を調整する (P.98)
Android Auto を使用する (P.132)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)

Bluetooth®オーディオの再生についての留意事項

Bluetooth®オーディオを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- 携帯電話を含む Bluetooth®ポータブルオーディオプレーヤー（以下ポータブル機）を使用するためには、まずマルチメディアシステムにポータブル機を登録する必要があります。
- Bluetooth®オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、レクサス販売店または https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/でご確認ください。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、この機能を使用できません。
- ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- マルチメディアシステムの設定で Wi-Fi®機能を ON にしているときは、Bluetooth®オーディオの音が途切れる場合があります。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。
- 電波がおよぼす影響について

  植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

⚠ 注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにポータブル機が故障するおそれがあります。
- ポータブル機をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化する場合があります。

関連リンク

Bluetooth®機器使用上の留意事項 (P.106)
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する (P.110)
Bluetooth®についての情報 (P.455)
Wi-Fi Hotspot を設定する (P.99)

Bluetooth®オーディオを再生する

ポータブル機を接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

知識

- 接続したポータブル機によっては、次の情報が表示されないことがあります。
  - フォルダタイトル
  - 曲名
  - アルバム名
  - アーティスト名
  - 再生時間
  - 合計時間
  - ランダム
  - リピート
  - 再生／一時停止
  - トラックアップ／ダウン
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
  - マルチメディアシステムで操作できない。
  - 動作や音量が異なる。
  - マルチメディアシステムとポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  - 再生を停止すると、接続が切断される。
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時の音量は、ポータブル機によって異なります。

ポータブル機をマルチメディアシステムに接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[オーディオ選択]にタッチします。**
3 **機器名称または[Bluetooth]にタッチします。**
4 **必要に応じて、再生中の Bluetooth®オーディオを操作します。**
   - 画面で操作する



[ ]: ランダム再生をします。

タッチするたびに、ランダムの設定が切りかわります。*1

[ ]: 再生中のトラックの先頭から再生します。 トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: 再生を一時停止します。

[ ]: 再生します。

[ ]: トラックが切りかわります。

長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: リピート再生をします。

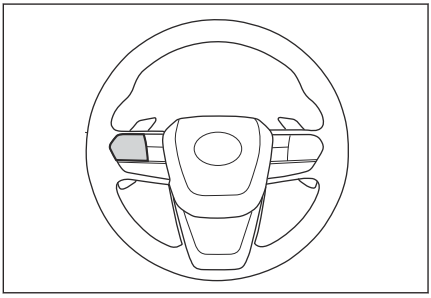
タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

[ ]: 設定可能な項目を表示します。

サブメニューのフォルダ名／曲名： フォルダ名にタッチすると、フォルダ移動し、曲名にタッチすると、再生するファイルを変更できます。

● ステアリングスイッチで操作する

▶ **A タイプ**



[<]／[>]スイッチ

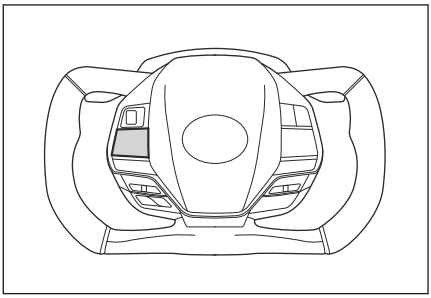
ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

*1: ランダム／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは機種によって異なります。

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

▶ B タイプ



[<]／[>]スイッチ

ステアリングスイッチのカスタマイズで機能を設定しているときに使用できます。カスタマイズ方法は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

トラックが切りかわります。

押し続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
各ソースの音を調整する (P.98)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)

HDMI の再生についての留意事項

HDMI を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- HDMI モード中に HDMI ケーブルを抜くと、オーディオが OFF になります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはレーダークルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。ただし、レーダークルーズコントロール機能作動時は、周囲の環境によっては視聴できない場合があります。

警告

安全のため、運転者は運転中に接続した機器を操作しないでください。

注意

- 外部機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに外部機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に外部機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。

HDMI を再生する

HDMI ケーブルを使用して、HDMI 端子に接続した外部機器を再生して、音楽や映像を楽しむことができます。

外部機器を接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[HDMI]にタッチします。**

4 **必要に応じて、HDMI を操作します。**

● 全画面表示中に操作する

画面にタッチすると、操作スイッチを表示します。



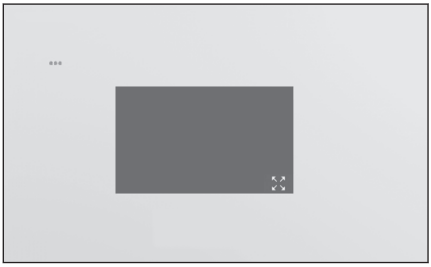
[ ]：操作画面表示にします。

知識

[ ]にタッチすると 2 画面表示に切りかえることができます。

● 操作画面で操作する

操作画面を表示するときは、全画面で[ ]にタッチします。



[ ]：設定可能な項目を表示します。

[ ]：全画面表示にします。

関連リンク

マルチメディア画面の概要 (P.16)
オーディオのソースを変更する (P.38)
HDMI 機器を接続する (P.41)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
画面モードを切りかえる (P.96)
画質を調整する (P.97)
各ソースの音を調整する (P.98)
HDMI についての情報 (P.457)

Miracast®の再生についての留意事項

Miracast®を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- 機器と Wi-Fi®接続（P2P モード）で通信します。
- Apple CarPlay を Wi-Fi®で接続しているときは、この機能を使用できません。
- Wi-Fi Hotspot を使用しているときは、この機能を使用できません。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- Miracast®は機器によって、表示される名称が異なる場合があります。
- マルチメディアシステムとの対応状況については、Miracast®機能動作確認済み携帯電話一覧（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）でご確認ください。
- 動作確認は、一定の条件下で確認したものであり、スマートフォン側の設定条件などにより、同じ機種であっても接続できないことがあるため、すべての端末について結果を保証するものではありません。予告なく情報が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本動作確認は一部のスマートフォンに対して行ったものであり、掲載されていないスマートフォンなど（格安 SIM 含む）については動作確認を行っておりません。本確認結果は特にマルチメディアシステムとスマートフォンの接続に関するものであり、通話品質、データの通信能力、アプリの動作など、携帯電話すべての機能を評価保証するものではありません。
- iPhone などの iOS 端末には対応していません。
- Miracast®は、接続する機器によって画面に表示される機能名称が異なる場合があります。お使いの機器の仕様に関しては、各機器メーカーへお問い合わせください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはレーダークルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。ただし、レーダークルーズコントロール機能作動時は、周囲の環境によっては視聴できない場合があります。

⚠ 警告

運転中はスマートフォンやタブレットを接続したり、操作をしないでください。

⚠ 注意

スマートフォンまたはタブレットを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンまたはタブレットが故障するおそれがあります。

関連リンク

サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
Wi-Fi Hotspot を設定する (P.99)
Wi-Fi®機器使用上の留意事項 (P.119)

Miracast®対応機器を接続する

Miracast®機能をサポートする Android スマートフォンやタブレットを接続できます。

ご利用の機器の Miracast®対応状況については、機器に添付の取扱説明書などをご覧ください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[Miracast®]にタッチします。**

4 **Miracast®対応機器を接続可能な状態にします。**

- 機器の操作については、機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 接続失敗画面が表示されたときは、接続操作を最初からやりなおしてください。



5 **機器名称を確認して、[はい]にタッチします。**

関連リンク

Wi-Fi Hotspot を設定する (P.99)

Miracast®を再生する

スマートフォンまたはタブレットの音声や映像を、マルチメディアシステムで再生して楽しむことができます。

知識

- Miracast®の音量は、接続する機器によって異なります。
- Wi-Fi®接続が切断されるとオーディオが OFF になります。

Miracast®対応機器を接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[オーディオ選択]にタッチします。**

3 **[Miracast®]にタッチします。**

4 **必要に応じて、再生中の Miracast®を操作します。**

- 全画面表示中に操作する

  画面にタッチすると、操作ボタンを表示します。



  [ ]：操作画面表示にします。

- 操作画面で操作する

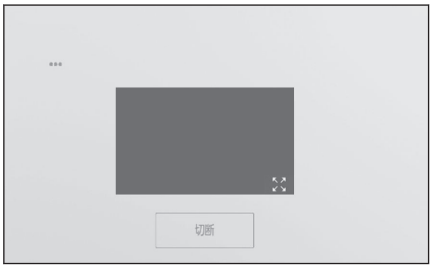
  操作画面を表示するときは、全画面で[ ]にタッチします。

  [ ]：設定可能な項目を表示します。

  [ ]：全画面表示にします。

  [**切断**]：Miracast®を切断します。

  オーディオが OFF になります。



関連リンク

オーディオのソースを変更する (P.38)
サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)

画面モードを切りかえる (P.96)
画質を調整する (P.97)
各ソースの音を調整する (P.98)

6 ハンズフリー電話

6-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

ハンズフリー電話についての留意事項 270

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に 274

6-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） 277

ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） 279

6-3. 電話のかけ方

履歴から電話をかける 281

ワンタッチダイヤルから電話をかける 282

連絡先から電話をかける 283

キーパッドから電話をかける . 284

交通情報から電話をかける 285

110 番／119 番にかける 286

ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける 287

6-4. 電話の受け方

電話に出る 288

着信を拒否する 290

6-5. 通話中の操作

通話画面で操作する 291

割込着信の電話に出る 293

通話中に別の通話相手へ電話をかける 294

グループ通話をする 295

電話を切る 296

6-6. ハンズフリー電話の変更

ハンズフリー電話を切りかえる 297

6-7. 連絡先データの編集

連絡先データの転送 298

ワンタッチダイヤルを登録する 302

連絡先に新規データを追加する 304

ハンズフリー電話についての留意事項

動作確認済みの Bluetooth®携帯電話*1（以下「携帯電話」）を接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー電話と呼びます。

接続する携帯電話は、マルチメディアシステムの仕様に対応している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Apple CarPlay/Android Auto 接続中でも、状況によっては Apple CarPlay/Android Auto のハンズフリー電話画面にならない場合があります。

知識

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点に注意してください。
  - 携帯電話は、マルチメディアシステムに登録して Bluetooth®接続しないとハンズフリー電話として使用できません。ハンズフリー電話を使用するときは、まず携帯電話の登録を行ってください。
  - 携帯電話は Bluetooth®機能を使用できる状態で使用してください。
  - Bluetooth®オーディオ再生中に発信／着信すると、画面の表示および発信音／着信音の鳴る動作が遅れる場合があります。
- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

  携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
  - ハンズフリー電話中にパワースイッチの操作をすると、通話が切断される場合があります。
  - 発信画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話画面が表示される場合があります。
  - 発信画面でキーパッドを使用して入力をしても、携帯電話会社のサービスによりトーン信号を送れない場合があります。
  - 発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。
- 次の場合は、ハンズフリー電話を使用できないことがあります。
  - 通話エリア外のとき
  - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
  - ヘルプネット動作中のとき
  - 携帯電話から連絡先データを転送中のとき
  - 携帯電話がダイヤルロックされているとき

*1: マルチメディアシステムで携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または Web サイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがあります、あらかじめご了承ください。

- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 携帯電話がハンズフリーを使用できない設定のとき
- マルチメディアシステムでデータ通信や連絡先転送からハンズフリー電話に切りかえているとき。（切りかえ中はマルチメディアシステムの Bluetooth®接続状態が表示されません）
- その他、携帯電話自体が使えないとき

● 応答保留操作は、マルチメディアシステムで操作できません。携帯電話で操作してください。

● 三者通話を契約しているときは、携帯電話で三者通話を解除してから使用してください。

● ヘルプネットを使用する場合は、次の制限があります。

- ヘルプネット動作中はハンズフリー電話を使用できません。また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作によるヘルプネット回線切断ができません。
- 着信中、保留中または通話画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリー電話は強制終了されて、ハンズフリー電話画面が解除されます。

● ハンズフリー電話と Wi-Fi®機能（Wi-Fi Hotspot、Miracast®）を同時に使用する場合、携帯電話の Bluetooth®接続が切断される場合があります。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

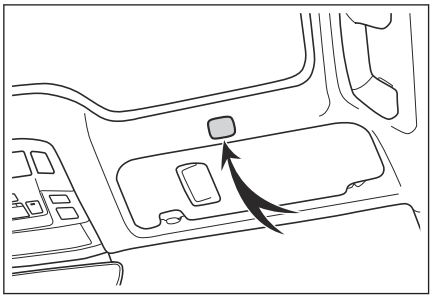
関連リンク

Bluetooth®機器使用上の留意事項 (P.106)
Bluetooth®の仕様、対応プロファイル (P.109)
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する (P.110)
ヘルプネットについて (P.318)

通話音声の留意事項

ハンズフリー電話では、車両側に装備されているマイクを通して通話ができます。ハンズフリー電話で通話するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

- 着信時や通話時などの音声は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリー電話で音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。



知識

- 通話時は通話相手と交互に話をしてください。通話相手と同時に話した場合、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。
- 受話音量が大きい場合、相手の音声が車外にもれたり、エコーが聞こえるおそれがあります。
- 音声は大きくはっきりと話してください。
- 次の場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
  - 悪路走行時
  - 高速走行時
  - 窓を開けているとき
  - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - エアコン送風の音が大きいとき
  - 携帯電話をマイクに近付けたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth®機器が同時に接続されている場合、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- マルチメディアシステムで Wi-Fi®機能（Wi-Fi Hotspot、Miracast®）を利用する設定にしていると、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することがあります。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

⚠ 注意

マイクにふれたり、先の尖ったものを入れないでください。故障の原因となります。

お車を手放すときの注意

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。お車を手放すときには、全ての情報を初期化してください。

全ての情報の初期化を行うと、マルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどります。初期化前の状態にもどすことはできません。

関連リンク

セキュリティ設定を変更する (P.71)

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に

次の症状で気になったりお困りになったときは、考えられることと処置を参考に、もう一度確認してください。

■ ハンズフリー電話を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー電話を使うことができない	携帯電話が Bluetooth® に対応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、レクサス販売店または Web サイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth®に適合していない。	Bluetooth® Core Specification Ver. 5.0 以上の携帯電話を使用してください。

■ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	マルチメディアシステム、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、再度登録操作を行ってください。
Bluetooth®接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth®接続状態にある。	お使いになる携帯電話をマルチメディアシステムから手動で Bluetooth®接続してください。
	携帯電話の Bluetooth® 機能が有効状態でない。	パワースイッチが ACC または ON のときに、携帯電話の Bluetooth®機能を有効にしてください。
	携帯電話の登録情報が削除されている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。

■ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外にいる	通話可能エリア内に移動してください。

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）がONになっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）をOFFにしてください。

■ 連絡先

症状	考えられること	処置
連絡先データの転送／自動転送ができない	携帯電話のProfileが連絡先データ転送に対応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、レクサス販売店またはWebサイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。
	マルチメディアシステムのBluetooth®設定で、[**自動転送**]がOFFになっている。	マルチメディアシステムのBluetooth®設定で、[**自動転送**]をONにしてください。
	携帯電話が連絡先転送の承認待ちになっている。	携帯電話で連絡先転送承認ボタンを選択してください。
携帯電話に承認の確認画面が表示される	携帯電話が常に承認する設定になっていない。	携帯電話を常に承認する設定にしてください。
連絡先データがその他に登録される	携帯電話の連絡先に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の連絡先にふりがなを登録してください。
	携帯電話に連絡先が登録されていない。	携帯電話に連絡先を登録してください。
連絡先データの編集ができない	マルチメディアシステムのBluetooth®設定で、[**自動転送**]がONになっている。	マルチメディアシステムのBluetooth®設定で、[**自動転送**]をOFFにしてください。

■ その他の状況

症状	考えられること	処置
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話とマルチメディアシステムの距離が離れすぎている。	携帯電話とマルチメディアシステムの距離を近付けてください。

症状	考えられること	処置
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	電波干渉が発生している。	Wi-Fi®機器など電波を発生する機器の電源を OFF にしてください。 マルチメディアシステムの Wi-Fi Hotspot 設定を OFF にしてください。
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。
		携帯電話の Bluetooth®接続を OFF から ON にしてください。
		携帯電話の Wi-Fi®接続を OFF にしてください。
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリケーションを停止してください。
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。

知識

詳細は、携帯電話に添付の取扱説明書で確認してください。

関連リンク

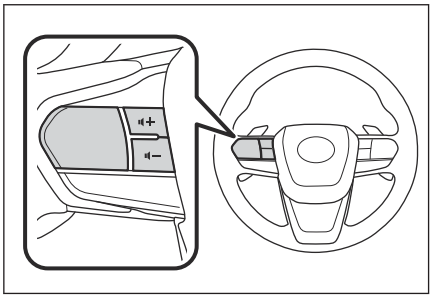
Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから登録する (P.110)
Bluetooth®機器の登録を削除する (P.113)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)
Wi-Fi Hotspot を切断する (P.122)

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ）

電話を受ける／かけるなど、一部のハンズフリー電話機能をステアリングスイッチから操作できます。マルチメディアシステムの状態によって、ステアリングスイッチの機能がかわります。

ステアリングスイッチは静電式です。スイッチにタッチすることでスイッチが機能します。表示されるスイッチやスイッチの位置は車両やマルチメディアシステムの状態によってかわります。

● **必要に応じて、各スイッチを操作します。**



[ ]スイッチ

着信音量／受話音量を大きくします。

タッチし続けると、連続して調整できます。

[ ]スイッチ

着信音量／受話音量を小さくします。

タッチし続けると、連続して調整できます。

[ ]スイッチ

エージェント（音声対話サービス）で電話をかけることができます。

エージェント（音声対話サービス）中にタッチし続けると、エージェント（音声対話サービス）を終了します。

[ ]スイッチ

- 電話をかけられない状態のとき、履歴画面を表示します。
- 電話画面で[ ]が表示されている場合に電話をかけることができます。
- 通話中は、通話相手を切りかえ／保留します。
- 着信中／割り込み着信中は、電話に出ます。

[ ]スイッチ

- 発信中／通話中は、電話を切ります。
- 着信中／割り込み着信中は、着信を拒否します。

知識

- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に[ ]を押すと、Apple CarPlay/Android Auto の電話画面がマルチメディアシステムに表示されます。
- Apple CarPlay とハンズフリー電話を接続中に[ ]を押すと、Apple CarPlay またはマルチメディアシステムの電話画面が表示されます。最後に使用した機

能が優先されます。どちらも使用していない場合は、メイン機器が優先されます。

- Android Auto とハンズフリー電話を接続中に[]を押すと、マルチメディアシステムの電話画面が表示されます。
- 着信時は携帯電話の着信画面（ハンズフリー電話／Apple CarPlay/Android Auto）が表示されます。

関連リンク

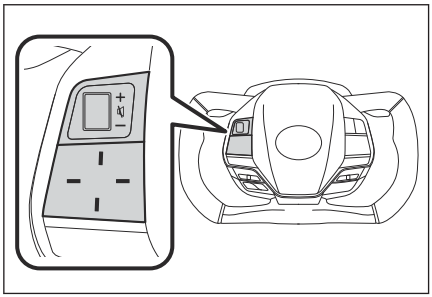
Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 (P.123)
音声操作を開始する (P.44)

ステアリングスイッチで操作する（B タイプ）

電話を受ける／かけるなど、一部のハンズフリー電話機能をステアリングスイッチから操作できます。マルチメディアシステムの状態によって、ステアリングスイッチの機能がかわります。

ステアリングスイッチは静電式です。スイッチにタッチすることでスイッチが機能します。表示されるスイッチやスイッチの位置は車両やマルチメディアシステムの状態によってかわります。

● **必要に応じて、各スイッチを操作します。**



Volume スイッチ

着信音量／受話音量を調整します。

押すと消音します。再度押すと解除します。

[ ]スイッチ

エージェント（音声対話サービス）で電話をかけることができます。

エージェント（音声対話サービス）中にタッチし続けると、エージェント（音声対話サービス）を終了します。

[ ]スイッチ

- 電話をかけられない状態のとき、履歴画面を表示します。
- 電話画面で[ ]が表示されている場合に電話をかけることができます。
- 通話中は、通話相手を切りかえ／保留します。
- 着信中／割り込み着信中は、電話に出ます。

[ ]スイッチ

- 発信中／通話中は、電話を切ります。
- 着信中／割り込み着信中は、着信を拒否します。

知識

- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に[ ]を押すと、Apple CarPlay/Android Auto の電話画面がマルチメディアシステムに表示されます。
- Apple CarPlay とハンズフリー電話を接続中に[ ]を押すと、Apple CarPlay またはマルチメディアシステムの電話画面が表示されます。最後に使用した機能が優先されます。どちらも使用していない場合は、メイン機器が優先されます。
- Android Auto とハンズフリー電話を接続中に[ ]を押すと、マルチメディアシステムの電話画面が表示されます。

- 着信時は携帯電話の着信画面（ハンズフリー電話／Apple CarPlay/Android Auto）が表示されます。

関連リンク

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項 (P.123)
音声操作を開始する (P.44)

履歴から電話をかける

発信または着信履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

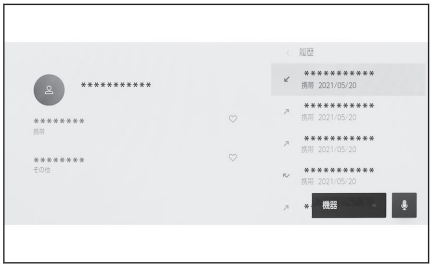
1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[履歴]にタッチします。**

3 **通話相手を選択します。**

連絡先に登録されていない電話番号は、電話番号のまま表示されます。

4 **希望の電話番号にタッチします。**



知識

- 最新の履歴 100 件を表示します。履歴が 100 件をこえると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 連絡先またはマルチメディアシステムに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
  - 同一電話番号に発信した場合は、発信先名称のあとに発信回数が表示されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 連絡先に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
  - 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
  - 不在着信および着信拒否も登録されます。
  - 相手先電話番号の通知がない場合は、**「非通知」**と登録されます。
- 保留した通話も履歴に登録されます。
- 携帯電話の機種によっては、国際電話がかけられない場合があります。

ワンタッチダイヤルから電話をかける

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録することで、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[ワンタッチダイヤル]にタッチします。

3 通話相手を選択します。



関連リンク

ワンタッチダイヤルを登録する (P.302)

連絡先から電話をかける

マルチメディアシステムに登録している連絡先から電話をかけることができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先]にタッチします。**

3 **通話相手を選択します。**

4 **希望の電話番号にタッチします。**



知識

- [**連絡先の転送**]が画面に表示されている場合、タッチすることで携帯電話の連絡先データをマルチメディアシステムへ転送します。
- 連絡先データが登録されていない場合、マルチメディアシステムに連絡先データを転送／追加する必要があります。
- マルチメディアシステムの連絡先データは、接続しているハンズフリー電話の連絡先データが表示されます。

  2 台接続などでハンズフリー電話を切りかえた場合、連絡先データも切りかわります。

関連リンク

連絡先に新規データを追加する (P.304)
連絡先データの転送 (P.298)

キーパッドから電話をかける

電話番号をキーパッドで入力し、電話をかけます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[キーパッド]にタッチします。**

3 **電話番号を入力します。**

4 **[ ]にタッチ、またはステアリングの[ ]スイッチを押します。**

サブメニューに表示された連絡先にタッチして発信することもできます。



知識

- 走行中はキーパッドが操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信できます。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話での操作が必要です。

関連リンク

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） (P.277)
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） (P.279)

交通情報から電話をかける

交通情報やナビゲーションシステムの登録先に電話をかけます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[交通情報]にタッチします。

3 希望の項目を選択します。

4 電話番号を選択します。



関連リンク

VICS・交通情報について (P.151)

110 番／119 番にかける

緊急時に 110 番／119 番へ通報できます。

知識

- 走行中も発信できます。
- ヘルプネットによる緊急通報中は本機能からは通報できません。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[110/119]にタッチします。

3 [110]または[119]にタッチすると発信します。



関連リンク

ヘルプネットについて (P.318)

ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける

ウェイト（w）／ポーズ（p）信号が含まれる番号に電話をかけることができます。ウェイト（w）／ポーズ（p）信号のあとに続く番号の送信を一時停止または 2 秒ほど停止できます。

- ウェイト（w）信号は番号の送信を一時停止させます。ユーザー操作後、次のウェイト（w）信号まで送信されます。途中にポーズ（p）信号が含まれる場合は 2 秒停止し、続く番号を送信します。
- ポーズ（p）信号は番号の送信を 2 秒停止させます。

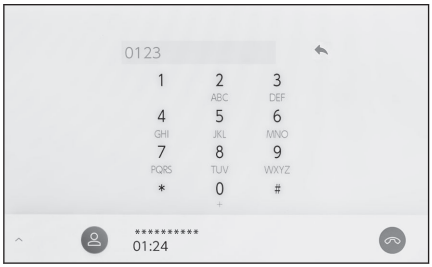
1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先]にタッチします。**

3 **連絡先を選択します。**

4 **ウェイト（w）／ポーズ（p）信号が含まれる電話番号を選択します。**

5 **電話番号にウェイト（w）信号が含まれている場合、[ ]を選択します。**



[ ]にタッチすると、ウェイト（w）信号で一時停止された番号が次のウェイト（w）信号まで送信されます。途中にポーズ（p）信号が含まれる場合は 2 秒停止し、続く番号を送信します。

知識

- 携帯電話の機種によっては、携帯電話の画面にウェイト信号はセミコロン（;）で、ポーズ信号はカンマ（,）で表示されます。
- 本機能は、国際電話などを利用するときに使用します。
- 本機能は、留守番電話や銀行の電話サービスなど、電話主体のサービスで自動操作が必要な場合に使用できます。 ウェイト（w）／ポーズ（p）信号を含んだ電話番号は連絡先リストに登録できます。

電話に出る

着信があると着信音が鳴り、着信画面もしくは着信通知が表示されます。音声操作の設定で、[**通知表示中の発話受付**]が ON の場合、着信したときにエージェント（音声対話サービス）が起動します。

● **次のいずれかの操作をして、電話に出ます。**

- [ ]にタッチします。
- ステアリングの[ ]スイッチを押します。
- エージェント（音声対話サービス）で電話に出るための音声コマンドを発話します。



知識

- 駐車支援システム画面表示中は、着信画面が表示されません。着信音のみで着信が通知されます。
- 着信中は、ハンズフリー電話以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリー電話より優先される音声案内は、ミュートされません。
- マルチメディアシステムで携帯電話の着信音を設定していても、携帯電話の設定によっては、マルチメディアシステムでは違う着信音が出力される場合があります。
- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
  - 着信音は、車両スピーカーと携帯電話の両方から聞こえる場合があります。
  - 着信時に相手の電話番号が表示されない場合があります。
  - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、携帯電話での通話になる場合があります。
  - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があったときは、着信画面がマルチメディアシステムに表示されず、着信音も鳴らない場合があります。
- 連絡先自動転送（PBAP）に対応している携帯電話で、連絡先の画像データが転送された場合、着信時に[**連絡先の画像表示**]が ON に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。
- マルチメディアシステムで着信音の設定を携帯電話の着信音以外に設定している場合、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、マルチメディアシステムで登録されている着信音が出力されます。
- 応答保留中の携帯電話をハンズフリー電話に切りかえると、携帯電話は応答保留中のまま、マルチメディアシステムの通話画面が表示されます。この場合、マルチメディアシステムで保留を解除すると、ハンズフリー電話で通話ができます。

- 携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

関連リンク

音声操作の設定を変更する (P.69)
ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） (P.277)
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） (P.279)
音声で操作する (P.42)
Bluetooth®機器を設定する (P.101)

着信を拒否する

マルチメディアシステムではいくつかの方法で着信を拒否できます。

- **着信中に、次のいずれかの操作をして、着信を拒否します。**
  - []にタッチします。
  - 電話機を直接操作します。
  - エージェント（音声対話サービス）で着信を拒否するための音声コマンドを発話します。

知識

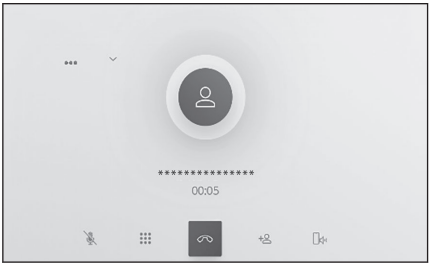
携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

関連リンク

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） (P.277)
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） (P.279)
音声で操作する (P.42)

通話画面で操作する

通話中は通話画面でいろいろな操作ができます。



[ ]: 通話相手に発話した声が聞こえないように、送話音をミュート（消音）します。ミュート（消音）中はボタンが青くなります。

解除するときは、再度ボタンにタッチします。

通話相手の声は聞くことができます。

[ ]: キーパッド画面を表示します。
キーパッド画面表示中は、通話画面が縮小されます。

走行中にキーパッドは操作できません。

[ ]: 通話中の電話を切ります。

[ ]: 別の通話相手に電話をかけるために、サブメニューに連絡先リストを表示します。通話中に電話番号をタッチして電話をかけることで、別の相手に電話をかけます。

- 表示された連絡先リスト以外からも電話できます。

[ ]: 携帯電話とマルチメディアシステムのあいだで、通話を切りかえることができます。携帯電話で通話中のときは、ボタンが青くなります。

[ ]: 保留中の通話を解除します。保留中のみ表示されます。

[ ]: 通話画面を縮小します。

[ ]: メインエリアに通話画面を表示します。

[ ]: オプション画面を表示します。

オプション画面では次のことができます。



- [**送話音量**]: 送話音量を調整できます。

  送話音量を変更すると、音質が悪くなることがあります。

- [**ナビ案内音声**]: 通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。
- [**保留切り替え**]: 通話を一時的に保留できます。

  解除するときは、[**保留切り替え**]を OFF にします。

携帯電話の機種によっては、保留できないことがあります。

- [×]: 通話画面にもどります。通話を保留したまま通話画面にもどった場合、再度オプション画面を表示して保留を解除できます。

知識

- マルチメディアシステムの状態によっては、通話画面が縮小されたり、表示されない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話を切りかえることができません。
- 走行中は、ハンズフリー電話での通話から携帯電話での通話に切りかえることはできません。
- 通話中の携帯電話がハンズフリー電話としてマルチメディアシステムに接続された場合、通話画面が表示されます。携帯電話の機種によって、携帯電話かマルチメディアシステムのどちらかの通話になります。
- ハンズフリー電話で通話中にパワースイッチを操作した場合、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、携帯電話で継続される場合があります。携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。

関連リンク

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） (P.277)
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） (P.279)

割込着信の電話に出る

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話できます。割込着信が入ると、画面上部に着信通知が表示されます。

知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

- **割込着信中に、[ ]にタッチ、またはステアリングの[ ]スイッチを押します。**

  割込着信に出ると、通話していた相手は保留中になります。

  [**通話切り替え**]にタッチするごとに通話相手が切りかわります。



関連リンク

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） (P.277)
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） (P.279)

割込着信を拒否する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込着信を拒否できます。

割込着信中に、[ ]にタッチします。

知識

携帯電話の機種によっては、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

関連リンク

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） (P.277)
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） (P.279)

通話中に別の通話相手へ電話をかける

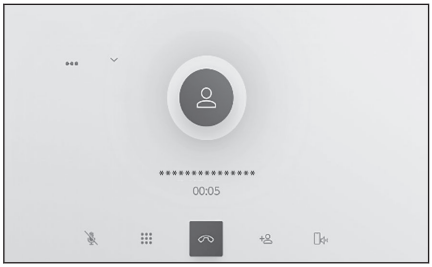
通話中に新たに第三者へ電話をかけることができます。

1 **通話画面で、[ ]にタッチします。**

2 **連絡先を選択します。**

3 **電話番号を選択します。**

本機能を利用すると、通話中の相手を保留します。



知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

グループ通話をする

通話相手と保留相手がいる場合に保留相手を通話に追加できます。

● **第三者と通話中に、[グループ通話]にタッチします。**

保留中の電話が保留解除され、グループ通話へ切りかわります。

知識

- 携帯電話会社とグループ通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。
- グループ通話を切ると、グループ全員との通話が終了します。

電話を切る

ハンズフリー電話を切るには、いくつかの方法があります。

● **通話中に、次のいずれかの操作をします。**

- ステアリングの[]スイッチを押します。
- 発信中または通話画面で、[]にタッチします。
- 携帯電話の操作で電話を切ります。

関連リンク

ステアリングスイッチで操作する（A タイプ） (P.277)
ステアリングスイッチで操作する（B タイプ） (P.279)

ハンズフリー電話を切りかえる

2 台の携帯電話をハンズフリー電話として接続している場合、それぞれの携帯電話を利用できます。ハンズフリー電話には、利用する携帯電話を切りかえる機能があります。ハンズフリー電話画面では、選択している携帯電話の連絡先や履歴などのデータが表示されます。着信などの機能は、選択されていない携帯電話も機能します。

ハンズフリー電話として 2 台接続するには、ドライバー設定を登録し、登録されたドライバーを設定している必要があります。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[機器]にタッチします。**

3 **使用したい携帯電話を選択します。**

通話中、着信中、発信中は他の携帯電話を選択できません。



知識

- ハンズフリー電話画面以外から電話をかける場合、メイン機器として発信されます。
- いずれかのハンズフリー電話で通話している場合、もう一方のハンズフリー電話からは発信できません。
- いずれかのハンズフリー電話で通話しているときに、もう一方のハンズフリー電話の着信に出た場合、最初の通話が切れます。
- 電話の着信機能は、選択されていない携帯電話の分も機能します。
- 携帯電話を切りかえても、メイン機器が変更されるわけではありません。

関連リンク

ドライバーを登録する (P.54)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する (P.117)

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台につき､5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、手動転送（OPP）か自動転送（PBAP）のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話がどちらに対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。

連絡先を自動転送（PBAP）するには、Bluetooth®設定で[**自動転送**]を ON にする必要があります。

知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - １つの連絡先に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、マルチメディアシステム側の連絡先には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - 電話番号と同時に名称も転送されます。機種によっては記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - 通常はシークレットメモリーの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります）
  - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報をもとにして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
  - 連絡先データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは「1234」 を入力してください。
  - 手動転送（OPP）に対応していない電話機は、連絡先を Bluetooth®で追加登録ができません。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
  - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
  - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先データ転送中は、次のように対応します。
  - 手動転送（OPP）中に着信を受けた場合は、携帯電話本体での通話になります。手動転送中はマルチメディアシステムから発信できません。
  - 携帯電話が自動転送（PBAP）にも手動転送（OPP）にも対応していない場合、Bluetooth®を使用して連絡先データを転送できません。 ただし、連絡先データは USB メモリーから転送できます。

  - 連絡先データ転送中にパワースイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、EV システムを始動して、再度転送操作をやりなおしてください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。（転送された一部のデータも保存されません。）
  - マルチメディアシステム側のメモリー容量により途中で自動転送（PBAP）が終了したとき。
  - 何らかの原因で自動転送（PBAP）が中断されたとき。
- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth®オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送（PBAP）機能により連絡先、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。
- 自動転送（PBAP）で連絡先データを転送したときに、機種によっては携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動転送（PBAP）で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動転送（PBAP）が開始されない場合、他の機能をすべて終了させると自動転送が開始されることがあります。
- 連絡先の画像を表示するには、Bluetooth®設定で[**連絡先の画像表示**]を ON にしてください。連絡先の画像データを転送するには、Bluetooth®設定で[**自動転送**]と[**連絡先の画像表示**]を ON にする必要があります。

関連リンク

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル (P.109)

Bluetooth®機器を設定する (P.101)

手動転送（OPP）を利用して携帯電話の連絡先データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（連絡先データ）を、手動転送（OPP）を利用してマルチメディアシステムへ転送できます。

- [**自動転送**]が ON に設定されている場合、電話帳転送完了時に[**自動転送**]が OFF になります。
- Apple CarPlay/AndroidAuto を使用している携帯電話では、手動転送（OPP）による連絡先データ転送はできません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先の更新]にタッチします。**

3 **次の転送方法を選択します。**

[**Bluetooth で上書き登録**]：現在の連絡先データ に上書きします。

[**Bluetooth で追加登録**]：現在の連絡先データ に追加します。

4 **携帯電話を操作して連絡先データを転送します。**

転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。



関連リンク

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル (P.109)

USB メモリーの連絡先データを転送する

USB メモリーに登録してある電話番号（連絡先データ）をマルチメディアシステムへ転送できます。

- [**自動転送**]が ON に設定されている場合、電話帳転送完了時に[**自動転送**]が OFF になります。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- USB メモリーの連絡先データは、vCard 形式（.vcf）のデータのみ転送可能です。
- USB メモリー単体では転送できません。携帯電話をマルチメディアシステムで使用できる状態にしてから操作してください。

1 **USB Type-C 端子に USB メモリーを接続します。**

2 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

3 **サブメニューの[連絡先の更新]にタッチします。**

4 **次の転送方法を選択します。**

[**USB で上書き登録**]：USB メモリーの連絡先データを現在の連絡先データ に上書きします。

[**USB で追加登録**]：USB メモリーの連絡先データを現在の連絡先データ に追加します。

5 **ファイルリストから、転送したいファイルを選択します。**

6 **[OK]にタッチします。**

転送失敗画面が表示されたときは、最初からやりなおしてください。



知識

携帯電話の機種によっては、USB 接続している携帯電話で vCard 形式のデータを連絡先として転送できます。携帯電話に接続している SD カードなどのデータからも転送できる場合があります。

関連リンク

USB 機器を接続する (P.40)

ワンタッチダイヤルを登録する

よく利用する電話番号を登録しておくことで、ワンタッチで呼び出すことができます。ワンタッチダイヤルは携帯電話ごとに登録が必要です。

関連リンク

ワンタッチダイヤルから電話をかける (P.282)

連絡先からワンタッチダイヤルを登録する

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先]にタッチします。**

3 **登録したいデータを選択します。**

4 **登録したい電話番号の[♡]にタッチします。**

5 **ワンタッチダイヤルリストのボタンを選択します。**

6 **[OK]にタッチします。**

ワンタッチダイヤルは選択したボタンの位置に登録されます。



履歴からワンタッチダイヤルを登録する

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[履歴]にタッチします。**

3 **登録したいデータを選択します。**

登録可能なデータは、連絡先に登録されているデータのみです。

4 **登録したい電話番号の[♡]にタッチします。**

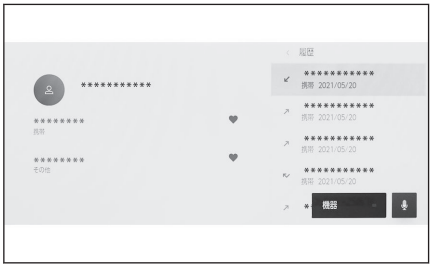
ワンタッチダイヤルは空いている登録先に登録されます。



ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの登録を削除できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[連絡先]または[履歴]にタッチします。
3 削除したいデータを選択します。
4 削除したい電話番号の[ ]にタッチします。



連絡先に新規データを追加する

マルチメディアシステムの連絡先に直接データを入力して連絡先を作ることができます。連絡先には、1 名のデータにつき、名称、電話番号（最大 4 件）、種別（自宅や携帯など、各電話番号にそれぞれ 1 つ）が登録できます。

- 履歴画面の[**連絡先を更新する**]からも、連絡先編集画面を呼び出して新規データを追加できます。
- [**自動転送**]が ON に設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先に新規で追加できません。[**自動転送**]を OFF にしてから行ってください。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先の更新]にタッチします。**

3 **[新規作成]にタッチします。**

4 **各項目を選択して入力します。**

- [**電話番号を追加**]にタッチすると、追加の電話番号を設定できます。

  電話番号が入力されていない場合、電話番号を追加することはできません。
- 電話番号の種別（自宅や携帯など）を選択できます。



5 **[保存]にタッチします。**

名前、読み仮名、電話番号のすべてが入力されていないと登録できません。

関連リンク

Bluetooth®機器を設定する (P.101)
履歴から電話をかける (P.281)

連絡先のデータを修正する

登録済みの連絡先データを修正できます。

- [**自動転送**]が ON に設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先を修正できません。[**自動転送**]を OFF にしてから行ってください。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

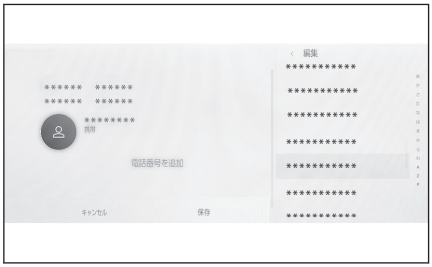
2 **サブメニューの[連絡先の更新]にタッチします。**

3 **[編集]にタッチします。**

4 **修正したい連絡先を選択します。**

5 **各項目を選択して入力します。**

- [**電話番号を追加**]にタッチすると、追加の電話番号を設定できます。
- 電話番号下部の種別（自宅や携帯など）にタッチすると、電話番号の種別（自宅や携帯など）を選択できます。



6 **[保存]にタッチします。**

名前、読み仮名、電話番号のすべてが入力されていないと登録できません。

関連リンク

Bluetooth®機器を設定する (P.101)

連絡先のデータを削除する

すでに登録済みの連絡先のデータを削除できます。

- [**自動転送**]が ON に設定されている場合、マルチメディアシステムの連絡先を修正できません。[**自動転送**]を OFF にしてから行ってください。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先の更新]にタッチします。**

3 **[削除]にタッチします。**

4 **削除したいデータを選択します。**

5 **サブメニュー下部の[削除]にタッチします。**



関連リンク

Bluetooth®機器を設定する (P.101)

7 G-Link

7-1. G-Link のサービス概要

G-Link とは 308
データ通信に関する留意事項 . 309

7-2. G-Link の利用手続き

G-Link を契約する 312
G-Link を利用する 313
G-Link を解約する 316

7-3. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネットについて 318
各部の名称とはたらき 320
安全のために 321
ヘルプネットをお使いになる前に 323
緊急通報をする 324
保守点検をする 328
表示灯について 331
緊急通報できない場合について 333
故障とお考えになる前に 335

7-4. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービスについて 336

7-5. Web ブラウザ

Web ブラウザ機能（インターネット）について 337
Web ブラウザ画面を表示する 338
Web ブラウザ画面を操作する 339

G-Link とは

G-Link は通信モジュール（DCM）を介してお車がお客様と常につながることにより、安心、安全、快適なカーライフをサポートするコネクティッドサービスです。



■ G-Link サービス

ご利用可能な G-Link サービスは、https://lexus.jp/total_care/をご覧ください。

――関連リンク――

コネクティッドナビ（車載ナビ装着車）（P.138）

データ通信に関する留意事項

G-Link を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

知識

G-Link は東京ガス株式会社の商標で使用許諾を受けて使用しています。

安全にご利用するため注意すること

G-Link をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

■ 走行中の操作、表示規制について

走行中に G-Link をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

■ 消耗品について

エアバッグ作動による自動通報を補助するため、ヘルプネット専用補助バッテリーを搭載しています。寿命による交換時期は、ヘルプネットスイッチの表示灯（赤点滅）でお知らせします。また、エアバッグ作動による自動通報を実施した際は、安全のため交換をお願いします。ヘルプネット専用補助バッテリーの交換についてはレクサス販売店にご相談ください。

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

通信機器について

G-Link は、通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

■ 通信モジュール（DCM）について

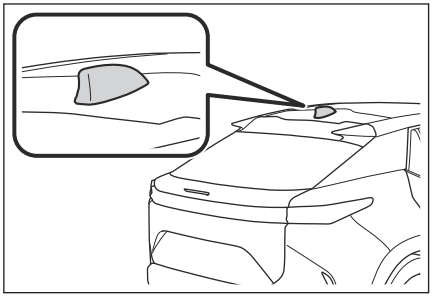
車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。ご利用には G-Link 利用申込みが必要です。通信費は G-Link 利用料金に含まれます。利用料金は、レクサス販売店または https://lexus.jp/total_care/でご確認ください。

リコール情報などのお車に関する大切なお知らせをトヨタ自動車㈱またはレクサス販売店からリモートメンテナンスメールによりお送りするため、G-Link の契約の有無にかかわらず、通信を行う場合があります。

通信モジュール（DCM）について

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。

通信アンテナは、ルーフ後部とインストルメントパネルに設置されています。



■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-Link をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

データ通信時の留意事項

G-Link は、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。LTE サービスエリアでは、最大 150 Mbps のデータ通信サービスがご利用いただけます。サービスエリアは同社サービスエリア図をご覧ください。なお、通信状況はさまざまな要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
  - トンネルの中にいるとき
  - 地下駐車場にいるとき
  - 山奥などの通信圏外にいるとき
  - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 通信モジュール(DCM)は、お客様に G-Link をご利用いただくため、トヨタ自動車㈱またはレクサス販売店よりお客様に対しリコールなどの大切なお知らせをお送りするためなどの目的で、G-Link を契約されない場合または解約された場合であっても、初度登録日から一定期間、通信事業者とのあいだで通信回線を維持します。

- 通信モジュール(DCM)の回線維持期間経過後に G-Link を新たにご契約いただく場合、通信モジュール(DCM)の回線を接続するための費用が必要になることがありますので、あらかじめご了承ください。
- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-Link が使用できなくなります。(その場合には事前にご連絡します。)

知識

- G-Link はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
- データ取得までの時間は、マルチメディアシステムの状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または補機バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動してください。
- 全ての情報を初期化したあとはしばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。

関連リンク

システムを再起動する (P.14)
セキュリティ設定を変更する (P.71)

受信レベルについて

画面左上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

レベル	表示
未接続時	
圏外	
弱	
強	

知識

受信レベル表示が「圏外」の場合でも、マルチメディアシステムはデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間はマルチメディアシステムの通信状態によって異なります。

G-Link を契約する

G-Link をご利用いただくには G-Link 契約が必要となります。

■ 新規契約を行う

- 新車購入時 : 購入時にレクサス販売店でお申し込み*1 いただけます。初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。
- 認定中古車購入時 : 購入時にレクサス販売店でお申し込み*1 いただけます。購入から 2 年間無料でご利用いただけます。
- 認定中古車以外の中古車購入時 : WEB サイトから G-Link Lite をお申込みいただけます。G-Link Lite については https://lexus.jp/total_care/g-link/g-book/lite/を参照ください。

■ 継続契約を行う

契約の更新月が近づくとトヨタコネクティッド株式会社よりお知らせが届きます。そちらに記載の手続き方法にしたがって契約の更新を行うことができます。

*1 : お申し込みの際に、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。

G-Link を利用する

ご利用の際には各サービスの使用方法、留意事項を確認のうえご利用ください。

ご利用の前に

ヘルプネットの手動保守点検を行ってください。手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

関連リンク

保守点検をする (P.328)

各サービスを使う

- ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）
- コネクティッドナビ
- エージェント
- マイセッティング
- デジタルキー*1（別冊「取扱説明書」をご覧ください。）
- リモートメンテナンスサービス
- 車内 Wi-Fi*2
  - Wi-Fi Hotspot 機能
  - インターネット

上記以外のサービスの使用方法はスマートフォンアプリ「MyLEXUS」のヘルプ、もしくは https://lexus.jp/total_care/をご確認ください。

関連リンク

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ） (P.318)
コネクティッドナビ（車載ナビ装着車） (P.138)
音声で操作する (P.42)
ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)
リモートメンテナンスサービスについて (P.336)
Wi-Fi Hotspot を設定する (P.99)
Web ブラウザ機能（インターネット）について (P.337)

WEB サイト

■ レクサス公式サイト

G-Link サービスの概要などを確認することができます。

*1: デジタルキーのオプション契約が必要です。初度登録から 3 年間無料でご利用いただけます。

*2: 車内 Wi-Fi のオプション契約が必要です。

● URL：https://lexus.jp/total_care/
● QR コード：

■ My LEXUS サイト

G-Link の契約情報の確認、オプションの契約などを行うことができます。

● URL：https://lexus.jp/member/mylexus/
● QR コード：

スマートフォンアプリ

■ My LEXUS アプリ

お車の走行距離の確認や G-Security の各サービスなどを利用することができます。

● URL：https://lexus.jp/total_care/app_mylexus/
● QR コード：

■ デジタルキーアプリ

オプションサービスのデジタルキーをご利用いただけます。デジタルキーの詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

- URL：https://lexus.jp/total_care/app_digitalkey/
- QR コード：



G-Link を解約する

お車を手放す場合など、G-Link を解約する際はマルチメディアシステムから行うことができます。

お車を手放す前に

マルチメディアシステムに保存したお客様の情報を消去するため、セキュリティ設定から[**全ての情報を初期化**]を必ず行ってください。

■ マイカー始動ロックをご利用のお客様へ

お車を手放す前に、スマートフォンアプリ「My LEXUS」から始動ロックの解除と予約の削除を必ず行ってください。車が動かなくなるおそれがあります。

関連リンク

セキュリティ設定を変更する (P.71)

マルチメディアシステムから解約する

G-Link の契約を解除するときは、次の手順で実施してください。

1. **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2. **[G-Link 設定]にタッチします。**
3. **[契約プランの確認/追加/解約]にタッチします。**
4. **基本サービスの[詳細]にタッチします。**
5. **画面の指示にしたがって操作します。**

知識

- G-Link を解約した場合であっても、トヨタ自動車㈱またはレクサス販売店からリコール情報などのお車に関する大切なお知らせを、通信モジュール(DCM)を利用し、お車にリモートメンテナンスメールでご連絡する場合があります。
- お車を手放す場合などは、G-Link サポートセンターでも解約できます。

  G-Link サポートセンター

  全国共通・フリーコール

  [フリーコール] 0800-300-3388

  受付時間　9：00～18：00

  年中無休

  自動車検査証（車検証）をご準備のうえ、必ずご契約者ご本人からご連絡ください。

⚠ 注意

- マルチメディアシステムに保存した情報は、マルチメディアシステムで解約したときのみ消去できます。
- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、マルチメディアシステムで解約手続きおよび初期化(→P.71)を必ず行ってください。

ヘルプネットについて

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話接続し、車内からの通報救援要請を補助支援するシステムです。

さらに、あおり運転などのトラブルのときでも、警察へ状況に応じて通報します。

また、交通事故発生時車両データの活用により、お客様の重症度を推定し、ドクターヘリなどの早期出動判断を行う D-Call Net 機能に対応しています。

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

知識

- いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用に関しての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。
- 事故発生時以外でも、エアバッグが作動したときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

注意

- ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

サービス開始と解約について

ヘルプネットは、G-Link 申込み後にヘルプネット手動保守点検を実施すると利用できます。EV システム始動後、しばらくすると緑の表示灯が点灯します。その後、ヘルプネット手動保守点検を必ず契約者本人で行うようにしてください。

ヘルプネットを解約したいときは、G-Link 契約を解約すると、同時に解約されます。

関連リンク

ヘルプネットをお使いになる前に (P.323)

緊急通報について

■ エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

■ ドライバー異常時停車支援システム（LTA 連動型）*1 作動による自動通報

ドライバー異常時停車支援システム（LTA 連動型）作動によってお車が自動停車すると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

■ ボタン操作による手動通報

乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

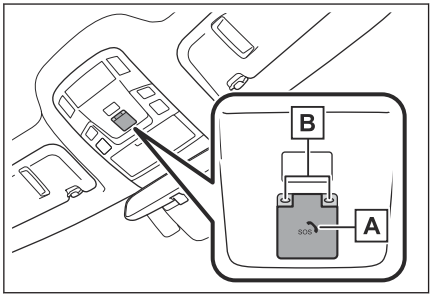
*1: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

各部の名称とはたらき

■ ヘルプネットスイッチパネル

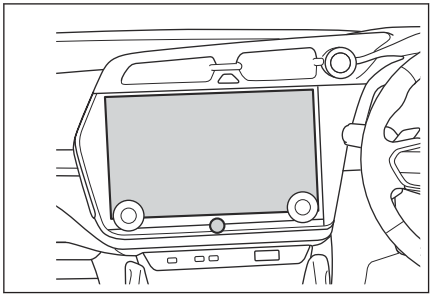
A ヘルプネットボタン：ボタン操作による手動通報をします。また、手動保守点検をするときに押します。

B 赤と緑の表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作を知らせます。



■ マルチメディアシステム

緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示します。



関連リンク

表示灯について (P.331)

安全のために

⚠ 警告

- 安全運転を心がけてください。ヘルプネットは、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- 手動保守点検は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。
- マルチメディアシステムは衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 補機バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。
- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外で使用している
  - 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
  - G-Link 契約が未契約、または契約期限が切れている
  - 手動保守点検を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない
- 緊急通報時に、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、緊急通報は終了せず電話接続できるまでヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。電波状態の良好な場所に移動するか、携帯電話/公衆電話などから直接通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

⚠ 警告

- G-Link 契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、レクサス販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してレクサス販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- マルチメディアシステム内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにレクサス販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。動作温度範囲：-20℃～＋ 60℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりかけて、パワースイッチを OFF にしてください。

ヘルプネットをお使いになる前に

ヘルプネットは、手動保守点検を実施してからご利用ください。

1 **手動保守点検を行い、以下の点を確かめる。**

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい。（ヘルプネットセンターとの通話で確認）

2 **手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。**

ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。

⚠ 警告

- 以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - 通信が始まらない。
  - 通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。
  - 通話できない。
- 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

関連リンク

手動保守点検を実施する (P.328)

緊急通報をする

エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

1 **エアバッグ作動時など、車に一定以上の衝撃が加わると、緊急通報が開始されます。**

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- エアバッグが作動しなくても、事故の形態によっては通知を開始する場合があります。

2 **ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信されます。**

3 **データ通信完了後、通話モードになります。**

4 **通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報の要・不要を伝えます。**

オペレーターからの呼びかけに応答がなくても、緊急車両などを手配することがあります。

5 **警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 に接続します。**

6 **通話終了後、通話画面が終了します。その後約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。**

⚠ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にパワースイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

7 **呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。**

8 **車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。**

知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

⚠ 警告

緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時に、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、緊急通報は終了せず電話接続できるまでヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。電波状態の良好な場所に移動するか、携帯電話/公衆電話などから直接通報してください。

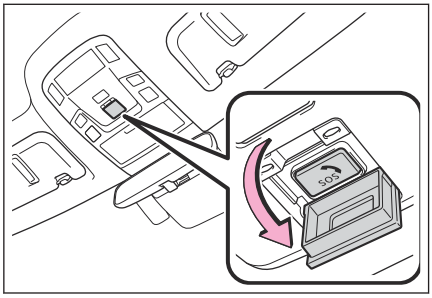
ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

パワースイッチが ACC または ON のとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

1 **ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめます。**

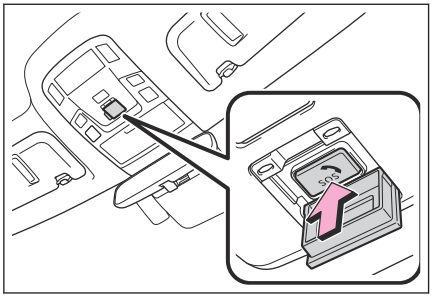
2 **ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。**



3 **ヘルプネットボタンを押します。**

4 **ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始されます。**

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。



5 **ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信されます。**

6 **データ通信完了後、通話モードになります。**

7 **通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報の要・不要を伝えます。**

手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

8 **警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 に接続します。**

9 **通話終了後、通話画面が終了します。その後約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。**

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にパワースイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

⚠ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

10 **呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。**

知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

⚠ 警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
  - 緊急通報時に、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、緊急通報は終了せず電話接続できるまでヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。電波状態の良好な場所に移動するか、携帯電話/公衆電話などから直接通報してください。

保守点検をする

自動保守点検について

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

- 点検時期：株式会社日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間：開始後 1～ 2 分で終了します。

⚠ 注意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にパワースイッチを OFF から ACC または ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

手動保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

- 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

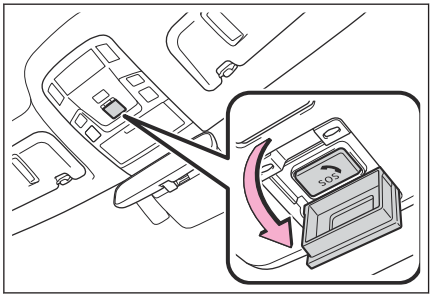
⚠ 警告

手動保守点検の途中で、パワースイッチを OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやりなおしてください。

1 **できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動します。**

ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

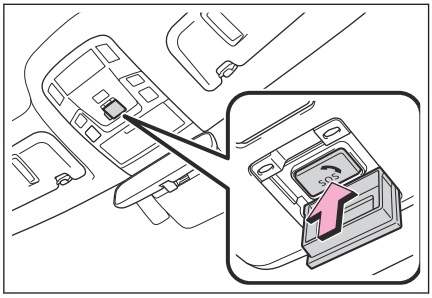
2 **ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。**



3 **パワースイッチを OFF にします。**

4 **パワースイッチを ACC または ON にします。**

5 **ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約 10 秒間押し続けます。**



6 **ヘルプネットセンターに接続を開始します。**

- 手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅しはじめます。ボタンから指を離してください。

7 **ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をします。**

- 車両の現在
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに会員登録されていること

8 **データ通信完了後、通話モードになります。**

9 **マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。**

ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前をくり返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

10 **通話の終了後に点検を終了します。**

緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

知識

- 手動保守点検開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

⚠ 警告

手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。手動保守点検が正常に終了しても緑の表示灯が点灯しない場合、緊急通報できない可能性があるため、レクサス販売店にご相談ください。

⚠ 注意

手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときはパワースイッチを一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやりなおしてください。携帯電話サービスエリア内でやりなおしても接続されないときには、レクサス販売店にご相談ください。

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき（携帯電話サービスエリア内）	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき（携帯電話サービスエリア外）	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき（携帯電話サービスエリア内）	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき(呼び返し待機状態を含む)	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき（携帯電話サービスエリア外）	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください。それでも表示が続く場合は、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
		ヘルプネット専用補助バッテリーの寿命が切れたとき	レクサス販売店で交換してください。
点灯	点灯	パワースイッチを ON にしたとき（約 5 秒間）	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	G-Link サービスを契約してください。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	消灯	関連機器が動作していないとき	パワースイッチを ACC または ON にしてもこの状態が続くときは、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検をしていないとき	手動保守点検を行います。

⚠ 警告

- 表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
  - EV システム始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。
  - EV システム始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。
  - 携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。
  - EV システム始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

関連リンク

手動保守点検を実施する (P.328)

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■ G-Link 契約の不成立または消滅

- 未契約のとき
- 契約が締結できないとき
- 契約の解除が実施されたとき
- 契約が終了したとき

■ ヘルプネット利用登録の不成立

- 未登録の場合
- 手動保守点検[*1] を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

■ 関連機器の異常による通信不能

- 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障
- 補機バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

■ 緊急通報センターシステムの位置評定エラー

GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知識
ヘルプネットは、GPS から位置情報を取得しています。

■ ヘルプネットセンター／G- Link センターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両” が位置するとき

*1: 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

■ 緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

■ その他の要因

手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

マルチメディアシステムが正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、レクサス販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずレクサス販売店に修理をご依頼ください。

症状	考えられること	処置
緑の表示灯が点灯しない	手動保守点検(1)が正常に完了していない。	手動保守点検(1)をする。
緊急通報できない	パワースイッチを ACC または ON にした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
パワースイッチを OFF にしても赤または緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を終了しました」という音声案内が流れてから約 60 分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
EV システム始動後、表示灯が両方共に点灯しない	G-Link 契約がされていますか。	G-Link 契約をする。

(1) 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

リモートメンテナンスサービスについて

お車の状態に関する情報を G-Link センターで取得し、カーライフに役立つ情報を提供するサービスです。

サービスのご利用には、リモートメンテナンス店の登録が必要です。リモートメンテナンス店の新規登録・変更時は、レクサス販売店にご連絡ください。

車両に OBD(On-Board Diagnostic) II 通信を行う機器を接続している場合、正しくサービスが行えない場合があります。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話や本機の画面から、その場でレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

また、リコール情報等、お車に関する大切なお知らせを、トヨタ自動車㈱またはレクサス販売店から通信モジュール（DCM）を利用し、お車にメールでご連絡する場合があります。

e ケア

走行アドバイス

お車に警告灯が点灯した場合、ディスプレイ画面より e ケアコールセンターに接続が可能です。e ケアコールセンターは、車両情報をもとに 24 時間 365 日、適切な対処方法をアドバイスいたします。また、あらかじめ登録しているレクサス販売店[*1]（リモートメンテナンス店）にも車両情報が連携され、点検や修理などをご案内させていただく場合があります。[*2]

ヘルスチェックレポート

電子キーの電池残量等についてスマートフォンアプリ「My LEXUS」で確認できます。また、レクサス販売店からはお車から発信される情報をもとに最適なメンテナンスのアドバイスが受けられます。

関連リンク

G-Link を利用する (P.313)

*1: 販売店での対応は、営業時間内に限ります。

*2: すべての警告灯点灯時に実施するものではありません。走行に支障が出る可能性が高いものに限ります。

Web ブラウザ機能（インターネット）について

インターネットへ接続し、Web サイト（ニュースやブログ、ストリーミング音楽、動画など）をご覧になることができます。

知識

- Web ブラウザ機能を使用するには、G-Link 契約と車内 Wi-Fi のオプション契約が必要です。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ Web サイトをご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはレーダークルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば Web サイトをご覧になることができるように設定できます。ただし、レーダークルーズコントロール機能作動時は、周囲の環境によっては Web サイトをご覧になることができない場合があります。

Web ブラウザ画面を表示する

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[インターネット]にタッチします。**

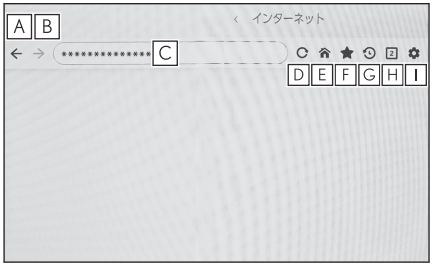
Web ブラウザ画面が表示されます。

知識

- 「HTTPS」（保護された接続）を使用しているウェブサイトのみアクセス可能です。
- Web サイトによっては正しく表示できない場合があります。
- Web サイトによっては、表示、または遷移できないページがあります。
- Web サイトによっては、表示できない文字があります。
- コンテンツによっては動画や音声を再生できない場合があります。
- 動画、画像の解像度や通信環境の状況によっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 著作権で保護された動画コンテンツの再生はできません。
- クレジットカード情報、銀行口座情報などの情報は入力しないでください。
- ファイルのダウンロードや Web サイトへのログインなど一部使用できない機能があります。
- Web サイト内での音声入力には対応しておりません。（音声での文字入力など）

Web ブラウザ画面を操作する

Web ブラウザ画面の操作は表示されているページ項目へのタッチ操作、または Web ブラウザ画面の上部にあるツールバーで行います。



A 1 つ前のページへ戻ります。

B 次のページへ進みます。

C ページの URL を表示します。

URL を入力すると、入力したページを表示します。

D 表示しているページを再読み込みします。

ページの読み込み中はボタンが[ ]に変わります。[ ]にタッチすると、ページの読み込みを中断します。

E ホームページを表示します。

F ブックマーク管理画面を表示します。

管理画面でブックマークの名称にタッチすると、タッチしたページを表示します。

G 閲覧履歴管理画面を表示します。

管理画面でページの名称にタッチすると、タッチしたページを表示します。

H タブ管理画面を表示します。

管理画面でタブ名称にタッチすると、タッチしたタブを表示します。

I 設定画面を表示します。

知識

- ページの読み込み状況は、ツールバー背景色の変化で確認することができます。
- ページ上のテキストを長押しするとコピー範囲を指定することができ、コピーボタンを押すとテキストがコピーされた状態になります。このときに URL 表示部にタッチすると、コピーしたテキストを貼り付けることができます。
- 全画面表示に対応した動画コンテンツは、画面を全画面化して視聴することができます。全画面表示中に画面をタッチすると[ ]と[ ]が約 3 秒表示されます。全画面表示中はコンテンツ内の全画面解除ボタン以外に、[ ]をタッチすること

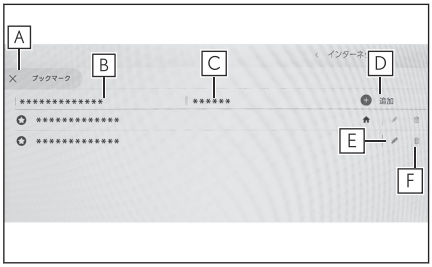
で全画面を解除することもできます。また[▶]をタッチすると[✕]の位置を移動できます。

ブックマークを管理する

ブックマーク管理画面ではブックマークの追加／編集／削除を行うことができます。

1 **ツールバーの[★]にタッチします。**

2 **希望の項目にタッチします。**



A ブックマーク管理画面を閉じます。

B 最後に表示されていたページのURL を表示します。

タッチすると URL を編集することができます。

C 最後に表示されていたページのブックマーク名を表示します。

タッチするとブックマーク名を編集することができます。

D **B**と**C**に入力されている内容でブックマークを追加します。

E ブックマークを編集します。

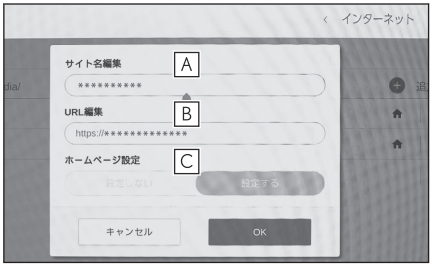
F ブックマークを削除します。

知識

ブックマークは最大 100 件まで保存できます。

ブックマークを編集する

ブックマークの名称と URL の編集、ホームページへの設定をすることができます。



A ブックマークの名称を編集します。

B ブックマークの URL を編集します。

C [**設定する**]にタッチすると、ブックマークに登録しているページをホームページに設定することができます。

ホームページとして設定されているブックマークには[ ]アイコンが表示されます。

編集完了後に[OK]にタッチすると、ブックマーク管理画面に戻ります。

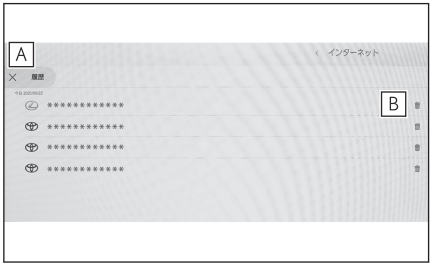
閲覧履歴を管理する

閲覧履歴管理画面では閲覧履歴の削除を行うことができます。

1 **ツールバーの[ ]にタッチします。**

2 **希望の項目にタッチします。**

A 閲覧履歴管理画面を閉じます。
B 閲覧履歴を削除します。



知識

閲覧履歴は最大 100 件まで保存できます。閲覧履歴が 100 件を超えたときは、古い履歴から自動的に削除されます。

タブを管理する

タブ管理画面ではタブの切り替え／追加／削除を行うことができます。

1 **ツールバーの[ ]にタッチします。**

[ ]に表示されている数字は、現在開いているタブの数です。

2 **希望の項目にタッチします。**

A タブ管理画面を閉じます。
B 新しいタブを追加します。追加したタブにタッチすると、ホームページが表示されます。
C タブを削除します。



知識

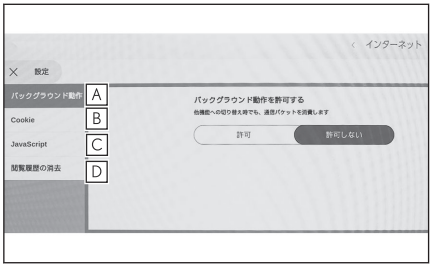
- タブは最大 10 件まで開くことができます。
- 新しいタブを開いた場合、再生している動画や音楽が停止する場合があります。

Web ブラウザ機能の設定をする

Web ブラウザ機能に関する設定を行うことができます。

1 **ツールバーの[ ]にタッチします。**

2 **希望の項目にタッチします。**



A 他の機能を使用しているときに、Web ブラウザのバックグラウンド動作を許可する／しないを設定します。

B Cookie のデータ保存と読み取りを許可する／しない、サードパーティーの Cookie をブロックする／しないを設定します。

C JavaScript の使用を許可する／しないを設定します。

D 閲覧履歴、Cookie と他のサイトのデータ、キャッシュされた画像とファイルを削除します。

知識

[**バックグラウンド動作**]を[**許可**]に設定した場合、他の機能を使用しているときにもデータ通信が行われます。

8 駐車支援システム

8-1.パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニターの機能とはたらき……344
シフトポジションがPのときの表示モード……349
シフトポジションがD、Nのときの表示モード……351
シフトポジションがRのときの表示モード……359
ドアミラー格納時の画面……367
画面を拡大表示する……368
床下透過映像を表示する……369
GPS連動View表示機能……371
移動物警報……373
パノラミックビューモニターの設定を変更する……375
パノラミックビューモニターの注意点……377
故障とお考えになる前に……393

パノラミックビューモニターの機能とはたらき

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

知識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。
- パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付き）のカメラは 120 万画素相当となります。

⚠ 警告

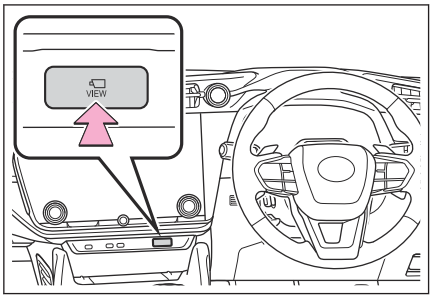
- パノラミックビューモニターは、車両周囲確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラスイッチについて

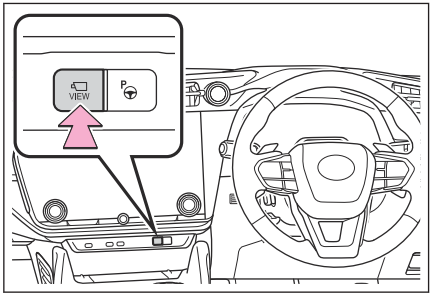
パノラミックビューモニターの表示や表示モードの切りかえをします。

車両カスタマイズ機能により、ステアリングスイッチを使用してパノラミックビューモニターの表示と画面の切りかえを行うことができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

▶ A タイプ



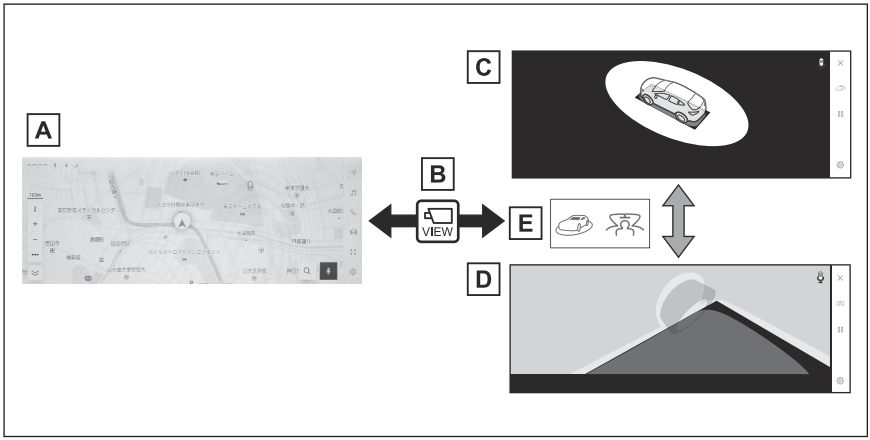
▶ B タイプ



パノラミックビューモニター画面を表示する

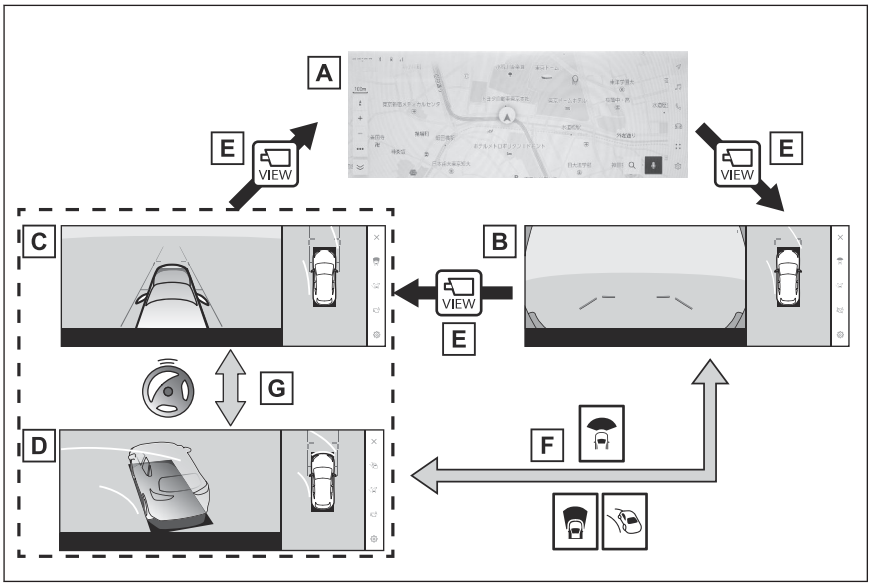
パワースイッチが ON の状態で、カメラスイッチを押すか、シフトポジションを R にすると、パノラミックビューモニターが表示されます。

■ シフトポジションが P のときの表示モード



A ナビゲーション画面、オーディオ画面など
B カメラスイッチを押す
C ムービングビュー
D シースルービュー
E 画面モード切りかえボタンをタッチ

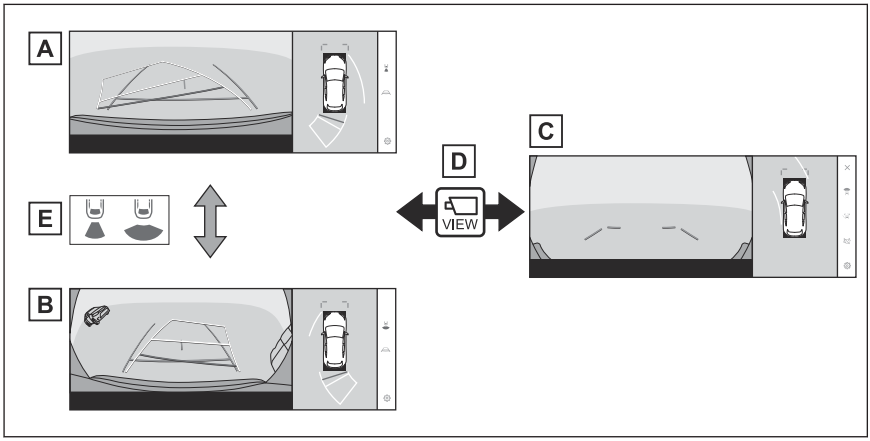
■ シフトポジションが D、N のときの表示モード



A ナビゲーション画面、オーディオ画面など
B パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー
C パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー
D パノラミックビュー＆コーナリングビュー
E カメラスイッチを押す
F 画面モード切りかえボタンをタッチ
G 直進状態から 180 度または 50 度*1 以上ハンドルを操作

*1: 異形ステアリング装着車

■ シフトポジションが R のときの表示モード



A パノラミックビュー＆バックビュー
B パノラミックビュー＆ワイドバックビュー
C パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー
D カメラスイッチを押す
E 画面モード切りかえボタンをタッチ

知識

- 車速が約 20km/h 以下でカメラスイッチを押した場合、約 8 秒間パノラミックビューモニター画面を表示します。車速が約 20km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。
- 車速が約 20km/h 以上でカメラスイッチを押した場合、車速が約 20km/h 以下にならないかぎり、約 5 分間はパノラミックビューモニター画面が表示されます。ただし、車速が約 20km/h 以下になった場合は、約 8 秒間はパノラミックビューモニター画面が表示され、車速が約 20km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。
- 画面表示タイマー（8 秒または 5 分）が作動していないとき、車速が 20km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えてもとの画面にもどります。
- 画面表示タイマー機能はカスタマイズ画面から無効にすることができます。
- ガイド線モードなどの表示設定は、ドライバー登録をすることでマイセッティングとして保存され、乗車時に呼び出すことができます。
- エージェント（音声対話サービス）を使用して、パノラミックビューモニター画面の表示、画面モードの切りかえなどの操作を行うことができます。

関連リンク

ドライバーを登録する (P.54)
音声操作を開始する (P.44)

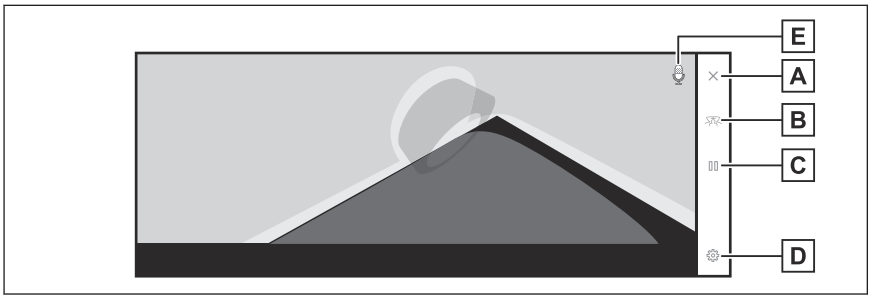
パノラミックビューモニターの設定を変更する (P.375)

シフトポジションが P のときの表示モード

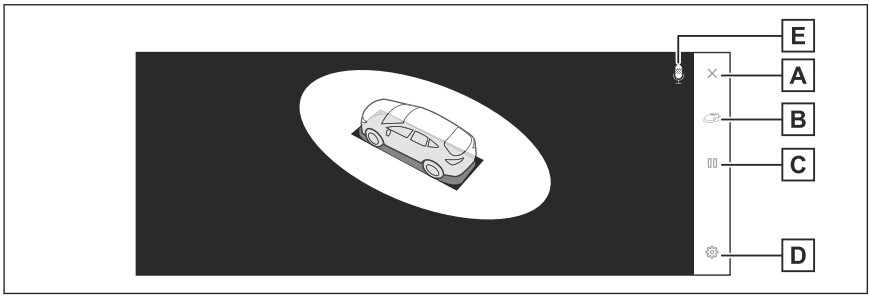
車両周辺の障害物を確認するため、各カメラから合成された映像を表示するモードです。運転席から見たような映像や、車両まわりの斜め上方から見たような映像を表示します。

1. シフトポジションを P にします。
2. カメラスイッチを押します。
   - 画面モード切りかえボタンをタッチするたびに、モードが切りかわります。
   - カメラスイッチをもう一度押すと、ナビゲーション画面など、以前表示していた画面にもどります。

■ シースルービュー



■ ムービングビュー



A 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。

B 画面モード切りかえボタン

シースルービュー／ムービングビューを切りかえます。

C 一時停止／再回転ボタン

回転表示を一時停止、再開します。

D カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

E 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

知識

- クリアランスソナーが ON のときのみ、シースルービュー／ムービングビューを表示できます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）
- シースルービュー／ムービングビュー画面の回転表示は、画面上の任意の場所をタッチしても一時停止／再開できます。

関連リンク

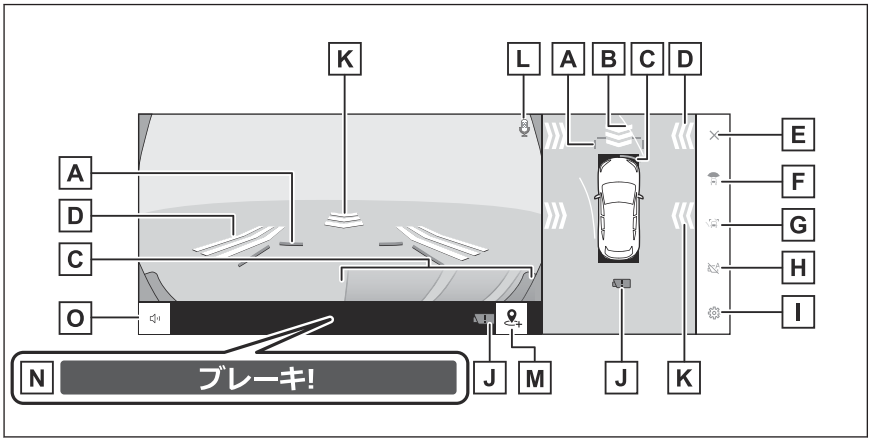
パノラミックビューモニターの設定を変更する (P.375)

シフトポジションが D、N のときの表示モード

見通しの悪い交差点やＴ字路などで、左右方向の状況を画面に映し、接近している車や自転車、通行人の確認を行うことができます。また、車両側方の安全確認や狭い道路での接触回避、路肩への幅寄せ運転などをサポートします。

1. シフトポジションを D または N にします。
2. カメラスイッチを押します。
   - カメラスイッチを押すたびにモードが切りかわります。
   - コーナリングビューモードが ON になっている場合、ハンドルを直進状態から 180 度または 50 度[*1] 以上回転させると、パノラミックビュー＆サイドクリアランスビューからパノラミックビュー＆コーナリングビューに切りかわります。

■ パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先を示します。

B 前進予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。（黄色）

直進状態から 90 度または 25 度[*1] 以上ハンドル操作をした場合に表示します。

C クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

D FCTA（フロントクロストラフィックアラート）& ITS Connect★ & 移動物警報

前方または側方からの接近車両や障害物を、FCTA もしくは ITS Connect、移動物警報が感知すると、画面にインジケーターが表示されます。

*1: 異形ステアリング装着車

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

E 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。

F 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。

G ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

H 自動表示モード切りかえボタン

自動表示モードの ON/OFF を切りかえます。シフトポジションが D または N とき、車速に応じて自動でパノラミックビュー＆ワイドフロントビューまたはパノラミックビュー＆クリアランスビュー／コーナリングビューが表示されます。

I カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

J カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

K 移動物警報

前方または側方からの接近車両や障害物を、移動物警報が感知すると、画面にインジケーターが表示されます。

L 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

M 地点登録スイッチ

GPS 連動 View 表示機能を作動させる地点を登録します。

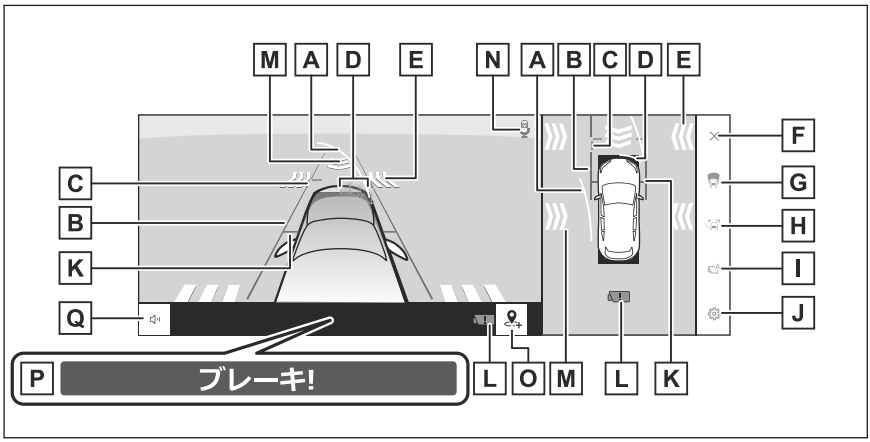
N PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示されます。(PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。)

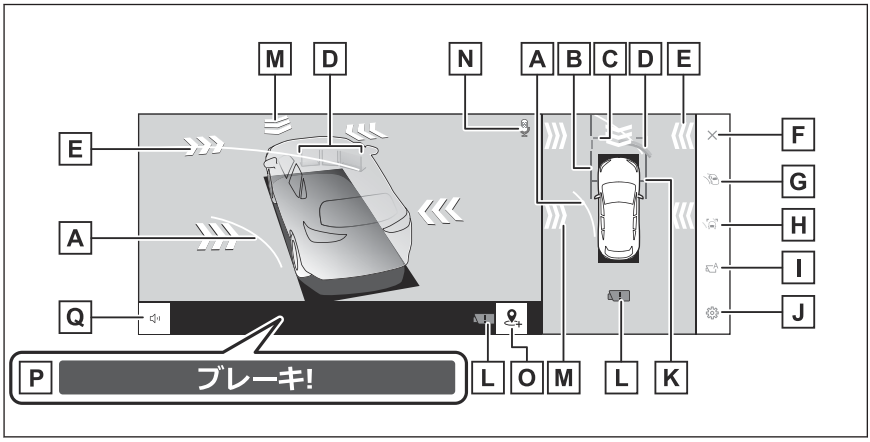
O ミュートボタン

クリアランスソナー／移動物警報の作動音を一時的にミュートします。

■ パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー



■ パノラミックビュー＆コーナリングビュー



A 前進予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。（黄色）

直進状態から 90 度または 25 度*1 以上ハンドル操作をした場合に表示します。

B 車幅平行線

ドアミラー分を含んだ車幅の目安を示します。

C 前方距離目安線

車両前端から約 1 m先を示します。

D クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

*1: 異形ステアリング装着車

E FCTA（フロントクロストラフィックアラート）& ITS Connect★ & 移動物警報

前方または側方からの接近車両や障害物を、FCTA もしくは ITS Connect、移動物警報が感知すると、画面にインジケーターが表示されます。

F 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、ナビゲーション画面など以前表示していた画面にもどります。

G 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。

H ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

I 自動表示モード切りかえボタン

自動表示モードの ON/OFF を切りかえます。シフトポジションが D または N とき、車速に応じて自動でパノラミックビュー＆ワイドフロントビューまたはパノラミックビュー＆クリアランスビュー／コーナリングビューが表示されます。

J カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

K 前輪接地線

前タイヤの位置を示します。

L カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

M 移動物警報

前方または側方からの接近車両や障害物を、移動物警報が感知すると、画面にインジケーターが表示されます。

N 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

O 地点登録スイッチ

GPS 連動 View 表示機能を作動させる地点を登録します。

P PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示されます。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

Q ミュートボタン

クリアランスソナー／移動物警報の作動音を一時的にミュートします。

知識

- クリアランスソナーが ON のときのみ、パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューを表示できます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

● クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

⚠ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、FCTA（フロントクロストラフィックアラート）、移動物警報の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

関連リンク

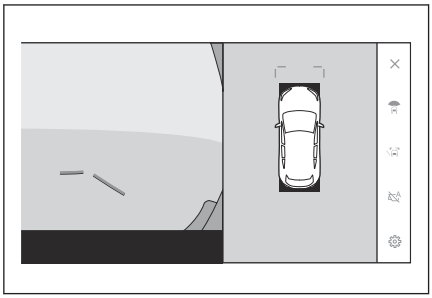
ガイド線表示モードの切りかえ (P.355)
自動表示モード (P.356)
パノラミックビューモニターの設定を変更する (P.375)
移動物警報 (P.373)
GPS 連動 View 表示機能 (P.371)

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイド線切りかえボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

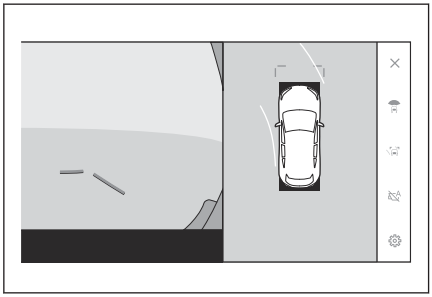
■ 距離目安線表示モード

車両前端から約 1m 先を示します。（青色）



■ 予想進路線表示モード

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。（黄色）直進状態から 90 度または 25 度*1 以上ハンドル操作をした場合に表示されます。



自動表示モード

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー＆ワイドフロントビュー、パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが表示される自動表示モードを設定できます。

- 自動表示モード切りかえボタン[ ]にタッチすると、自動表示モードが ON にかわります。
- 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示されます。
  - シフトポジションを D または N にしたとき
  - 車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトポジションが R 以外）

コーナリングビュー自動表示

ハンドル操作に応じて自動的にパノラミックビュー＆コーナリングビューが表示されるコーナリングビュー自動表示モードを設定できます。

- コーナリングビュー自動表示モードを ON にすると、直進状態から約 180 度または 50 度*1 以上ハンドル操作をしたとき、サイドクリアランスビューからコーナリングビューに自動的に切りかわります。
- 直進状態から約 90 度または 25 度*1 以下にハンドル操作するまで、コーナリングビューが表示されます。

知識

- コーナリングビュー自動表示モードはカスタマイズ設定で変更できます。
- 車速が約 12km/h 以上では、コーナリングビューは表示されません。

関連リンク

パノラミックビューモニターの設定を変更する (P.375)

*1: 異形ステアリング装着車

クリアランスソナー連動表示機能について

クリアランスソナーの感知状態に応じて、パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー、パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー／コーナリングビューが自動的に表示されます。

- クリアランスソナーが障害物を感知したとき（シフトポジションがDまたはNのとき）に、自動で表示されます。
- クリアランスソナーの感知が終了したときに、自動でもとの画面へもどります。

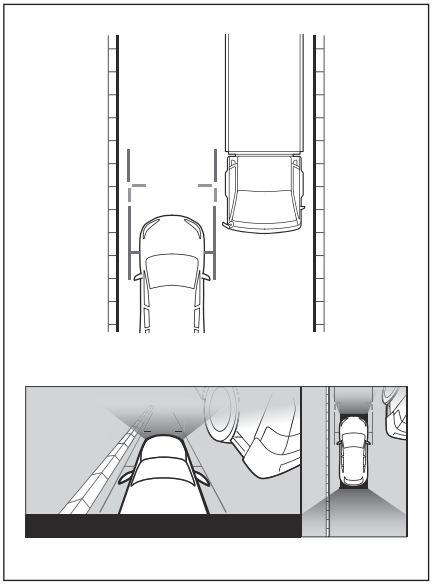
知識

- 画面表示中にカメラスイッチを押すと、もとの画面にもどることができます。
- クリアランスソナー感知状態でパノラミックビューモニター画面を解除した場合、マルチメディアシステム画面に表示されるクリアランスソナーマークにタッチすると、再度パノラミックビューモニター画面が表示されます。

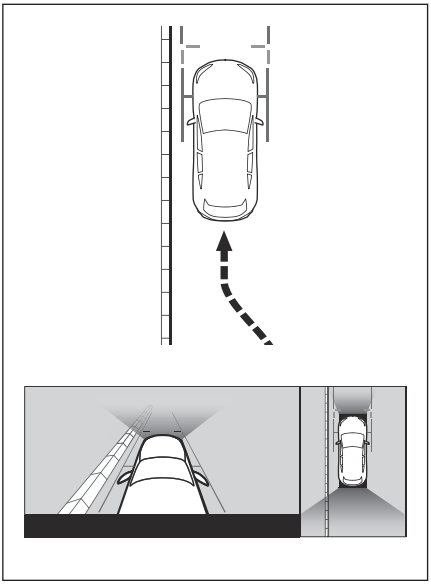
車幅平行線の使い方

■ パノラミックビュー＆サイドクリアランスビュー

- 車幅平行線と障害物との位置関係を確認します。
- 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドル操作をして前進します。



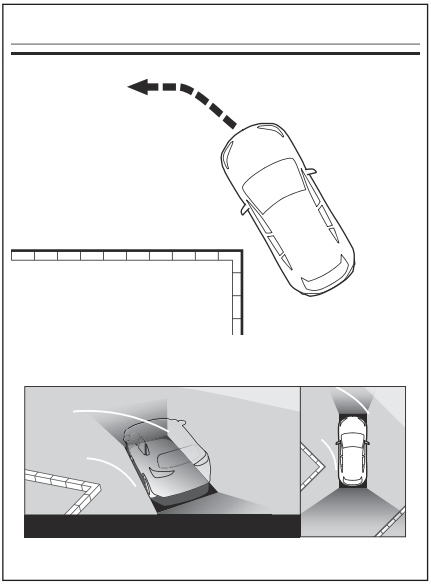
- 車両平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を確認します。
- 図のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車できます。



前進予想進路線の使い方

■ パノラミックビュー＆コーナリングビュー

- 前進予想進路線と障害物との位置関係を確認します。
- 前進予想進路線が実際の障害物と重ならないようにハンドル操作をして前進します。

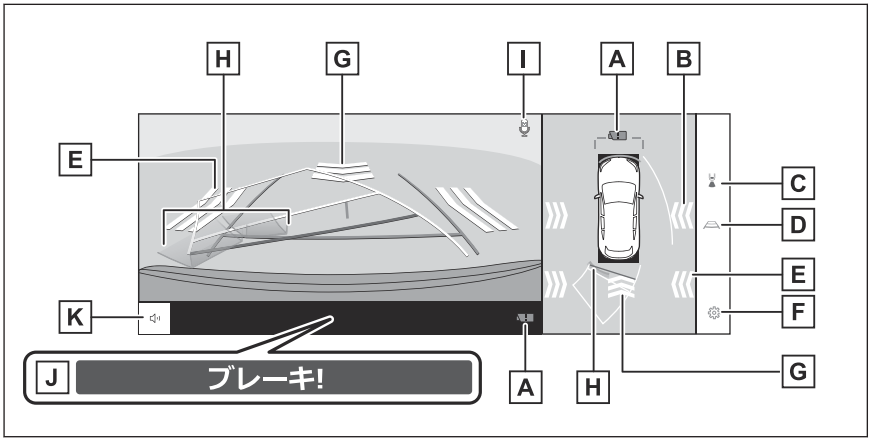


シフトポジションが R のときの表示モード

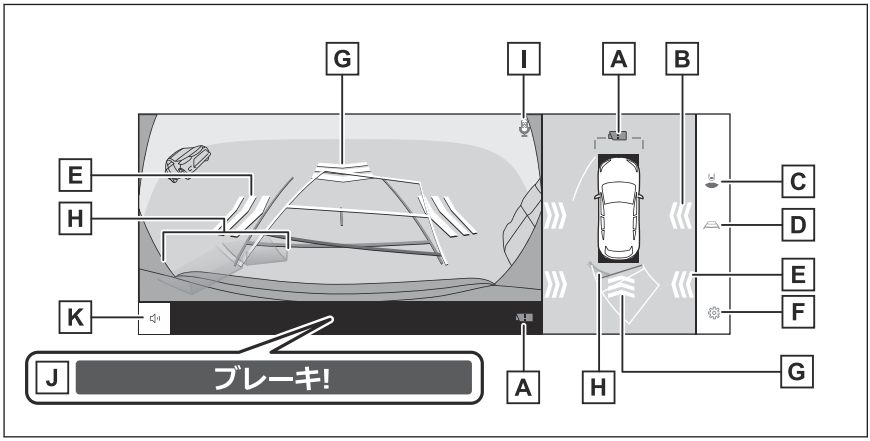
駐車時の安全確認を行うために、車両上方からの映像と後方カメラからの映像を表示します。

1. シフトポジションを R にします。
   - 画面モード切りかえボタンをタッチするたびに、モードが切りかわります。

■ パノラミックビュー&バックビュー



■ パノラミックビュー&ワイドバックビュー



A カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

B 移動物警報

側方からの接近車両や障害物を、移動物警報が感知すると、画面にインジケーターが表示されます。

C 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、バックビューとワイドバックビューが切りかわります。

D ガイド線切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、ガイド線表示モードが切りかわります。

E RCTA（リヤクロストラフィックアラート）／RCD（リヤカメラディテクション）／移動物警報

以下のときに画面にインジケーターが表示されます。

- 後側方レーダーが後側方からの接近車両や障害物を検知したとき
- リヤカメラが後方の歩行者を検知したとき
- カメラが移動物を検知したとき

（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）／RCD（リヤカメラディテクション）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

F カスタマイズ設定ボタン

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

G RCD（リヤカメラディテクション）& 移動物警報

以下のときに画面にインジケータが表示されます。

- リヤカメラが後方の歩行者を検知したとき
- カメラが移動物を検知したとき

（RCD（リヤカメラディテクション）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

H クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

I 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

J PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある対象物を検知すると、画面にインジケーターが表示されます。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

K ミュートボタン

クリアランスソナー／RCTA（リヤクロストラフィックアラート）／RCD（リヤカメラディテクション）／移動物警報の作動音を一時的にミュートします。シフト操作を行うとミュートは自動的に解除されます。

知識

- シフトポジションがRのときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューに切りかえできます。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

⚠ 警告

- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）、RCD（リヤカメラディテクション）、移動物警報の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

関連リンク

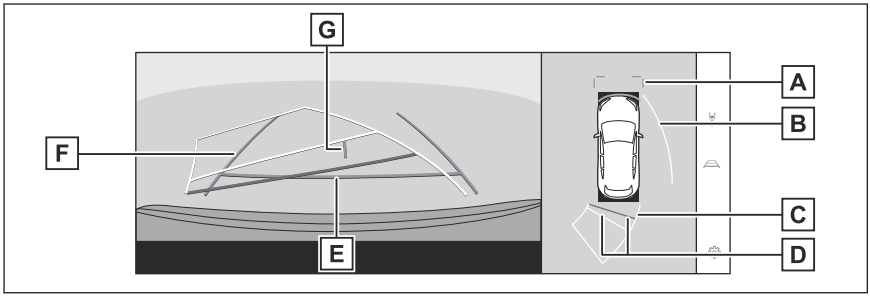
ガイド線表示モードの切りかえ (P.361)
自動表示モード (P.356)
パノラミックビューモニターの設定を変更する (P.375)
移動物警報 (P.373)

ガイド線表示モードの切りかえ

ガイド線切りかえボタンをタッチするごとに、表示モードが切りかわります。

■ 予想進路線モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 側方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

D 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 予想進路線と連動します。
- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

E 後方距離目安線

リヤバンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示します。

F 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

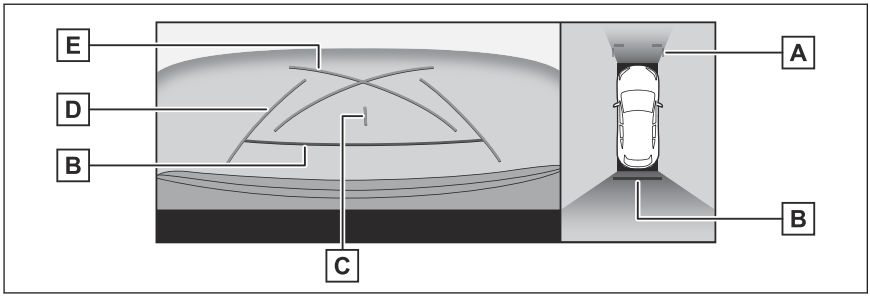
- 実際の車幅より広く表示します。
- 直進状態になっているときは、予想進路線と重なります。

G 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

■ 駐車ガイド線モード

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせずに駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

C 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示します。

D 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示されます。

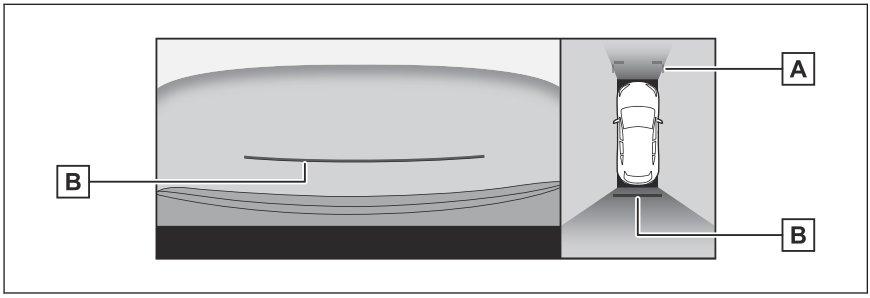
E 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示します。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安にしてください。

■ 距離目安線モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 後方距離目安線

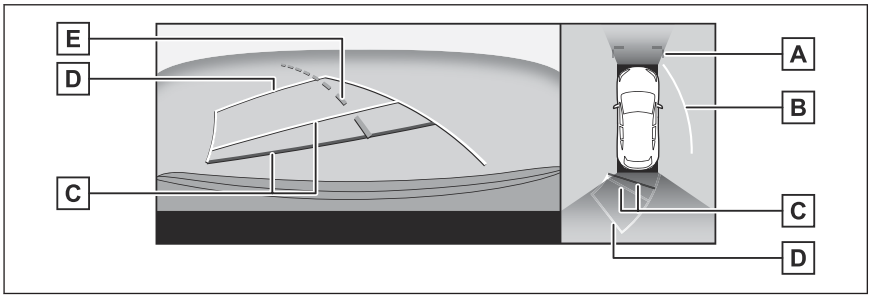
車の後方の距離を示します。

- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）を示します。

■ 車両中央予想進路線モード

ハンドル操作に連動して、予想進路線や車両中央線の目安などが表示されます。

またリヤバンパーの中心を、看板やポールなどの目印に寄せる場合に使用します。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1m 先（青色）を示します。

B 側方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示します。

- 予想進路線と連動します。
- リヤバンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）／約 1m 先（黄色）を示します。

D 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

E 車両中央予想進路線

ハンドル操作と連動して、車両中央線（緑色）の目安を示します。

知識

バックドアが閉じていないとガイド線は表示されません。バックドアを閉じてもガイド線が表示されない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。

⚠ 警告

後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

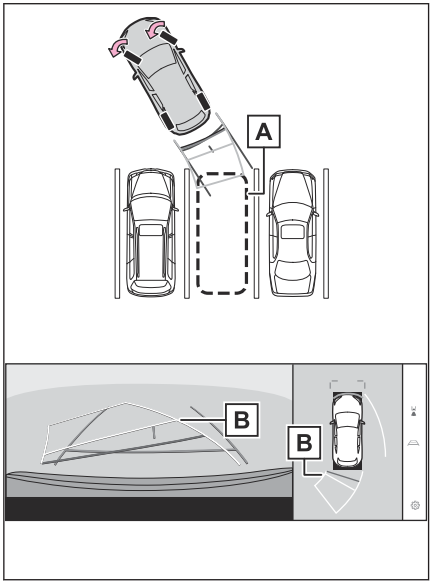
予想進路線モードを使用して駐車する

1 シフトポジションを R にします。

2 **予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。**

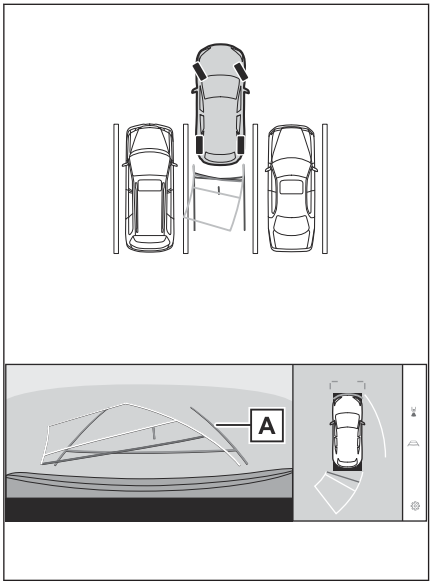
A 駐車スペース

B 予想進路線



3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線のあいだに入るようにハンドルを操作します。

A 車幅延長線



4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。

5 適切な位置で停車し、駐車を終えます。

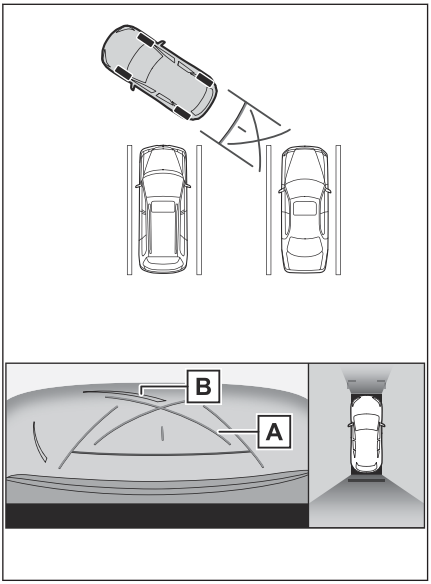
駐車ガイド線モードを使用して駐車する

1 シフトポジションを R にします。

2 **駐車ガイド線が駐車スペースの区画線に合うまで後退したら止まる。**

A 駐車ガイド線

B 駐車場の区画線



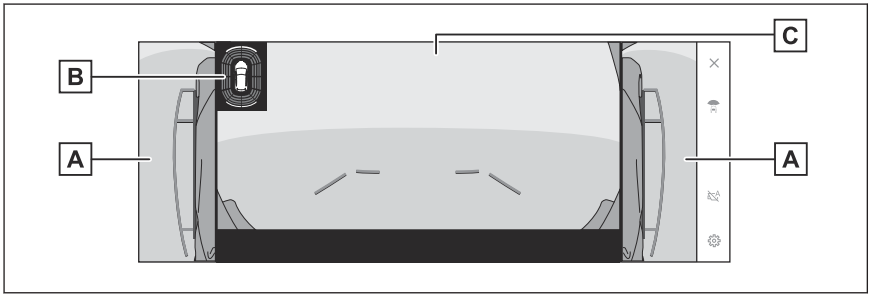
3 **ハンドルをいっぱいにまわして、ゆっくり後退します。**

4 **車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退します。**

5 **適切な位置で停車し、駐車を終えます。**

ドアミラー格納時の画面

ドアミラーを格納した場合、パノラミックビューのかわりにサイドカメラからの映像が表示されます。狭い場所での幅寄せ駐車の際などに、車両周辺の安全確認を補助します。



A サイドビュー

B クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

C ワイドフロントビュー／バックビュー／ワイドバックビュー

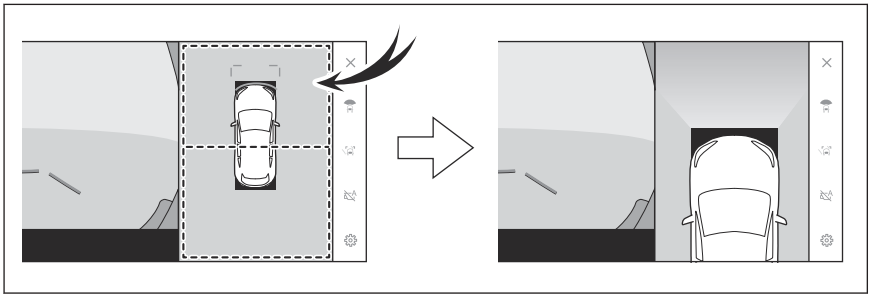
知識

- サイドビュー&ワイドフロントビュー表示中にカメラスイッチを押すと、もとの画面にもどります。
- シフトポジションがＲのときは、サイドビュー&ワイドフロントビューを使用できません。
- クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

画面を拡大表示する

画面に映っているものが小さく見えにくい場合に、画面を拡大して表示させることができます。

パノラミックビューの拡大させたいエリアをタッチします。



- 選択したエリアが拡大表示されます。
- パノラミックビューは、車両の前後 2 カ所のいずれかを拡大して表示させることができます。
- 拡大表示を解除するには、再度画面をタッチします。

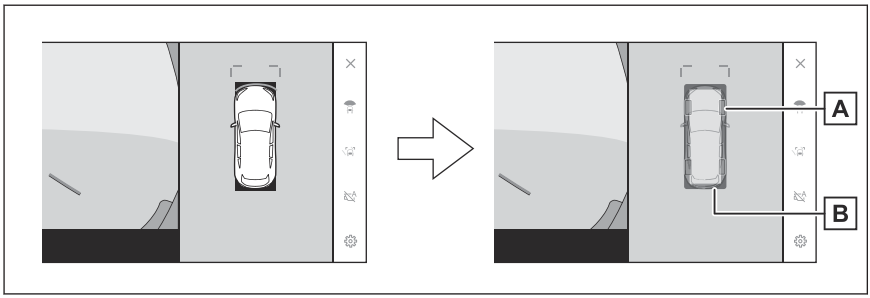
知識

- 次の条件をすべて満たすと拡大機能を使用できます。
  - 車速が 12km/h 以下
  - クリアランスソナーが ON になっている
- 次のいずれかの条件を満たすと拡大表示が自動的に解除されます。
  - 車速が 12km/h 以上になった
  - クリアランスソナーを OFF にした
- シフトポジションが R のときのパノラミックビュー＆ワイドフロントビューでは、拡大機能を使用できません。
- パノラミックビューの拡大表示は、ガイド線を表示しません。

床下透過映像を表示する

現在の車両位置から撮影された過去のカメラ映像が車両下に合成表示され、車両下の状況やタイヤ位置の把握などを補助できます。映像はパノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されます。

床下透過映像表示は、カスタマイズ設定画面の設定を ON にし、車両を前進もしくは後退すると表示されます。



A タイヤ形状線

ハンドルと連動してタイヤ位置の目安を示します。

B 車両形状目安線

車両の外形の目安を示します。

知識

- 次の場合は、床下透過映像が表示されません。
  - 車速が 20km/h 以上になったとき
  - 車両が停止し、一定時間が経過したとき
  - 車両始動後、一定以上の距離を走行していないとき
  - ドアミラーを格納しているとき
  - ABS が作動したとき
  - システムが正常に作動しないとき
- 次のような状況では、システムが正常に作動しない場合があります。
  - 積雪路
  - 照明などによる影があるとき
  - カメラレンズに汚れや異物が付着しているとき
  - 水面（川、海など）
  - オプション装備を取り付けたとき
  - カメラの前に障害物があるとき
  - タイヤを交換したとき
  - バックドアが開いて、カメラの位置が正しくない場合

- すべりやすい路面や車輪が空転したとき
- 坂道などの勾配があるとき

● 過去に撮影された映像を表示しているため、次のような場合は、画面と実際の状況が異なることがあります。

- 撮影後に障害物が現れたり動いたりしたとき
- 撮影後に砂や雪などが崩れて動いたとき
- 表示範囲に水たまりやぬかるみなどがあるとき
- 車両がスリップしたとき

● 次のような状況では、床下透過映像が一部、もしくはすべて黒映像で表示される場合があります。

- 撮影した映像がない状態で、発進したとき
- ハンドルを一定以上の角度まで回したとき
- 車両が停止し、一定時間が経過したとき
- ドアミラーを格納しているとき
- ABS が作動したとき
- システムが正常に作動しないとき

⚠ 警告

● 乗車人数、積載量、路面の勾配、路面状況、周囲の明るさ、オプションの装備、タイヤの交換などにより、タイヤ形状線や車両形状目安線と実際の車両位置がずれる場合があります。必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

● 表示される映像は、過去に撮影された映像です。そのため、撮影後に障害物が動くなど、床下透過映像表示と実際の状況とが必ずしも一致しない場合があります。

関連リンク

パノラミックビューモニターの設定を変更する (P.375)

GPS 連動 View 表示機能

あらかじめ地点登録することで、その地点付近に到達したときに自動的にパノラミックビュー＆ワイドフロントビューもしくはパノラミックビュー&サイドクリアランスビューを表示させることができます。

● 次の条件をすべて満たすと自動で表示します。
  - 登録地点の作動許可エリア内に入ったとき
  - 車速が 10km/h 以下のとき
  - シフトポジションが P または R ではないとき

● 次のいずれかの条件を満たすと GPS 連動 View 表示が終了します。
  - 登録地点の作動許可エリア外に出たとき
  - 車速が 12km/h を超えたとき
  - シフトポジションを P または R にしたとき
  - カメラスイッチを押すなど、パノラミックビューモニターを意図して終わらせる動作をしたとき

地点を登録する

1 **登録したい地点で停車します。**

2 **シフトポジションを P、R 以外にします。**

3 **カメラスイッチを押し､パノラミックビュー＆ワイドフロントビューもしくはパノラミックビュー&サイドクリアランスビューを表示します。**

4 **[ ]にタッチします。**

● メモリーに空きがない場合、メモリー上書き画面が表示されます。

上書きするメモリーを選択する画面で任意のメモリーを選択し、確認画面で[**はい**]にタッチします。

● 登録を中止する場合、[**中止**]にタッチします。

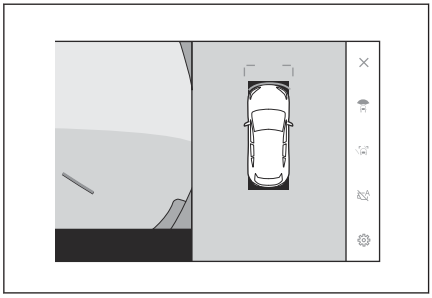
知識

● GPS 情報を利用できない場合、システムが正常に作動しないことがあります。
● 次の場合は、登録された地点からずれた位置で表示されることがあります。
  - 人工衛星からの電波の精度状態が良くないとき
  - ２個以下の人工衛星からの電波しか補足できないとき
● 次のような場合、地点登録ができません。
  - 車両が停止していないとき
  - 車速信号に異常が発生したとき
  - シフト信号に異常が発生したとき
  - GPS 信号に異常が発生したとき

● 登録地点は最大 9 メモリーまで保存できます。

登録した地点を消去する

1 [ ]にタッチします。



2 [登録した自動表示地点の消去]にタッチします。

3 消去するメモリーを選択します。

4 消去確認画面で[はい]にタッチします。

⚠ 注意

登録した地点のデータを完全に消去する場合は、レクサス販売店へお問い合わせください。

移動物警報

パノラミックビューを表示中に車両周囲の移動物を検知すると、警報が鳴り、画面にインジケーター―が表示されます。

次の条件をすべて満たすと移動物警報を使用できます。

- シフトポジションが D または R のとき
- 車速が約 15km/h 以下
- サイドミラーが開いているとき

知識

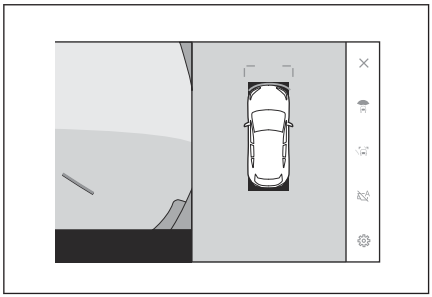
- 次のような場合、カメラが移動物を正しく検知できないことがあります。
  - 走っている人
  - 自車や建物の影から突然現れる人
  - スケートボード、その他の軽車両などに乗っている人
  - 周囲の色とよく似た色の服装の人
  - カートや荷物などにより体の一部が隠れている人
  - 夜間（日没後）
  - 悪天候（雨、雪、霧など）
  - レンズに汚れ（泥、融雪剤など）や傷があるとき
  - カメラレンズに水滴が流れているとき
  - 強い光がカメラに直接あたっているとき
  - 明暗差があるとき（ガレージや地下駐車場の開いたシャッター付近など）
- 次のようなものに対しては、衝突の可能性がなくてもシステムが作動することがあります。
  - 動いている物（旗、排気ガス、大粒の雨や雪、路面の雨水など）
  - 路面に模様があるとき（白線、横断歩道、石畳、路面電車のレール、補修痕、落ち葉、砂利、水たまりなど）
  - 金属のフタ（グレーチング）や側溝
  - 路肩や段差があるとき
  - 水たまりや濡れた路面への物体の映り込み
  - 影
  - 細長い構造物（柱、三角コーン、消火栓など）
  - 静止している歩行者、二輪車、自動車
- 次のような状況では、衝突の可能性がなくてもシステムが作動することがあります。
  - 段差に乗り上げたとき

- 勾配変化があるとき
- 車両姿勢が大きく傾いたとき（積載、急ブレーキ）
- ローダウンサスペンションや、純正と異なるサイズのタイヤを取り付けたとき
- 車高が極端に変化しているとき（ノーズアップ、ノーズダウン）
- カメラ付近に市販の電装部品（字光式ナンバープレート、フォグランプなど）を取り付けているとき
- バンパーに市販の保護パーツ（バンパートリムなど）を取り付けているとき
- 窓から手を出している
- カメラの位置や向きがずれているとき
- 牽引フックを取り付けたとき
- カメラが汚れているとき（泥、融雪剤など）
- カメラレンズに水滴が流れているとき
- 点滅する光源があるとき（ハザードランプなど）

パノラミックビューモニターの設定を変更する

コーナリングビュー自動表示や車両のボディカラー、クリアランスソナーの検知距離などの設定を変更できます。

1 [⚙]にタッチします。



2 [パノラミックビューモニター]にタッチします。

3 各項目を設定します。



- [**コーナリングビュー**]

  コーナリングビューの自動表示のON/OFFを設定できます。

- [**床下透過の映像表示**]

  床下透過映像表示の設定をON/OFFできます。設定をONにし、車両を前進もしくは後退すると、現在の車両位置から撮影された過去のカメラ映像が車両下に合成表示され、車両下の状況やフロントタイヤ位置の把握などを補助できます。映像はパノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されます。

- [**クリアランスソナー 3D 表示**]

  クリアランスソナー 3D 表示のON/OFFを設定できます。

- [**クリアランスソナー検知距離**]

  クリアランスソナーによる障害物検知の開始距離を切りかえることができます。

- [**ボディカラー**]

  画面に表示される車両のボディカラーを変更できます。

- [**カメラ映像自動オフ**]

  画面表示タイマー機能のON/OFFを設定できます。

- [**移動物警報**]

  移動物警報のON/OFFを設定できます。

- [**自動表示モード ON 時の警報**]

  自動表示モードがONのときの警報のON/OFFを設定できます。

- [**登録した自動表示地点の消去**]

  登録した地点を消去します。

知識

走行中は安全のため、カスタマイズ設定画面を表示できません。

関連リンク

ボディカラーを変更する (P.376)
クリアランスソナーの検知開始距離を切りかえる (P.376)
登録した地点を消去する (P.372)

ボディカラーを変更する

画面に表示される車両のボディカラーを変更できます。

1 [ボディカラー]にタッチします。
2 希望のボディカラーを選択します。
3 [OK]にタッチします。

クリアランスソナーの検知開始距離を切りかえる

クリアランスソナーによる障害物検知の開始距離を切りかえることができます。

1 [クリアランスソナー検知距離]にタッチします。
2 希望の検知開始距離を選択します。
3 [OK]にタッチします。



パノラミックビューモニターの注意点

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。パノラミックビューモニターを使用するときは次のことをお守りください。

⚠ 警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲はかぎられています。画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で運転してください。
- 乗車人数、積載量、路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 次のような状況では、使用しないでください。
  - 凍結、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - フロントドア、バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
  - タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
  - サスペンションを改造しているとき
  - 画面に映るエリアに社外品を装着しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像がうすれることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

⚠ 注意

- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、フロントカメラとバックカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解した上で使用してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に

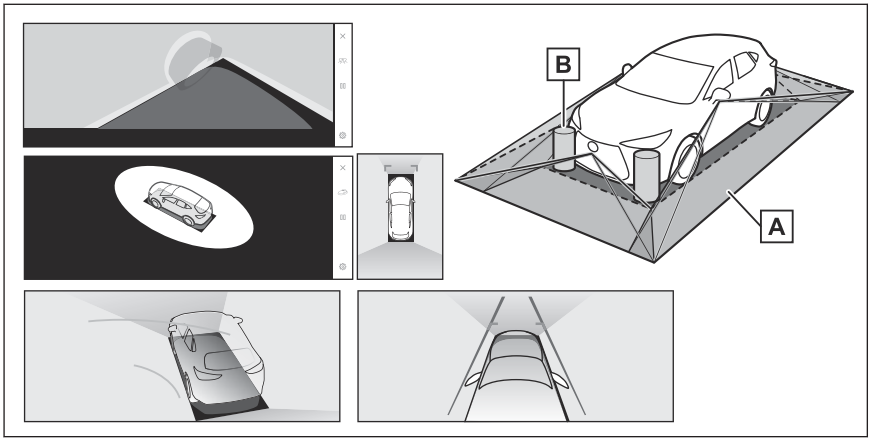
⚠ 注意

映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

- それぞれのカメラ付近の照度条件により、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに明暗ができる場合があります。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。
- 車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。
- ワイドフロントビューまたはバックビュー、ワイドバックビュー、サイドビューに表示されている立体物が、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューでは表示されない場合があります。
- パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。（倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど）
- バックカメラが取り付けられたバックドア、サイドカメラを内蔵したドアミラーが取り付けられたフロントドアが開いている場合、パノラミックビューモニターは正しく表示されません。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。
- カメラが正しく作動せず、画面が次のように表示されることがあります。
  - シフトポジションを R にしたときに、画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
  - シフトポジションを R にしたときに、カメラ映像に切りかわらない
  - シフトポジションを R 以外にしたときに、カメラ映像が表示されたままになる
  - カメラ映像にガイド線などが表示されず、着目マークや注意文が表示される

画面に映る範囲

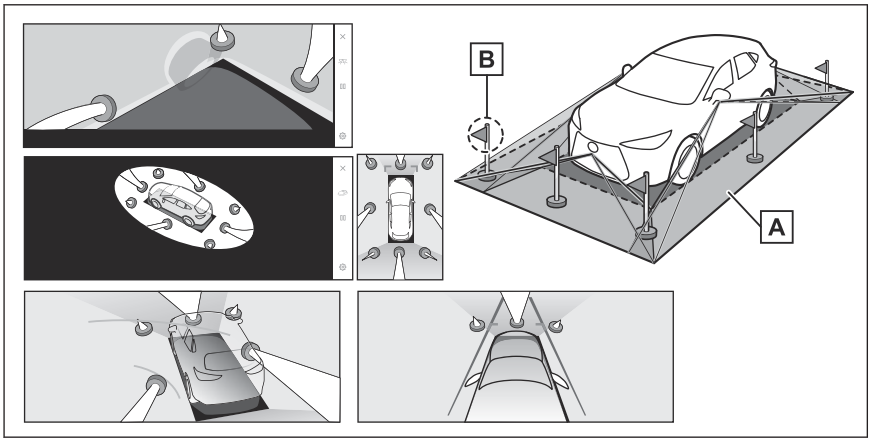
車両付近には死角があり、表示されない領域があります。画面では車両の周辺に何も表示されていなくても、実際には障害物が進路上にあるため、接触することがあります。必ず周囲の安全を直接確認してください。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

黒色部分内にある障害物は画面に表示されません。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない部分

路面より高い部分は画面に表示されません。

知識

- 車両アイコンまわりの黒色部分はカメラに映らない部分です。直接確認してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューは、4 つのカメラから得られた画像を平らな路面を基準に加工して表示しているため、次のように表示されることがあります。

- 立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
- 路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない。
- 高さのあるものが合成のつぎ目から現れてくるように見える場合がある。

● 照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。

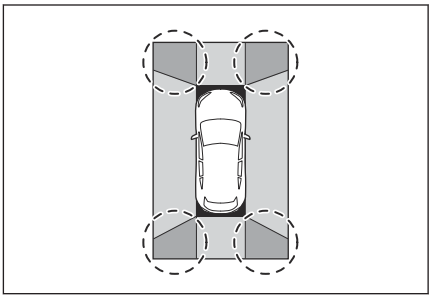
● 乗員人数、積載状況などによる車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。

● ドアが完全に閉まっていないと、表示映像やガイド線が正しく表示されない場合があります。

● シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューに表示されている車両アイコンと、路面や障害物との位置関係は実際の位置とは異なる場合があります。

● 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

● 図の○部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。

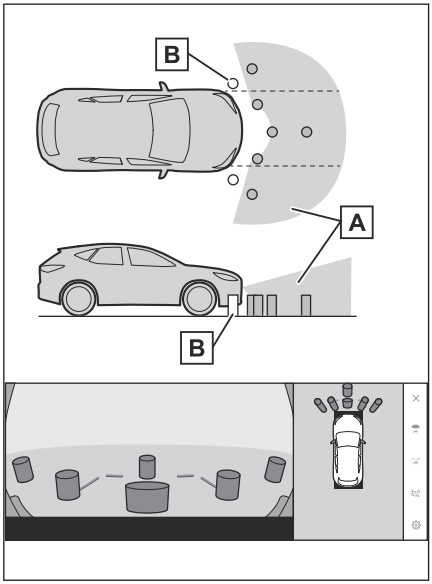


■ ワイドフロントビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

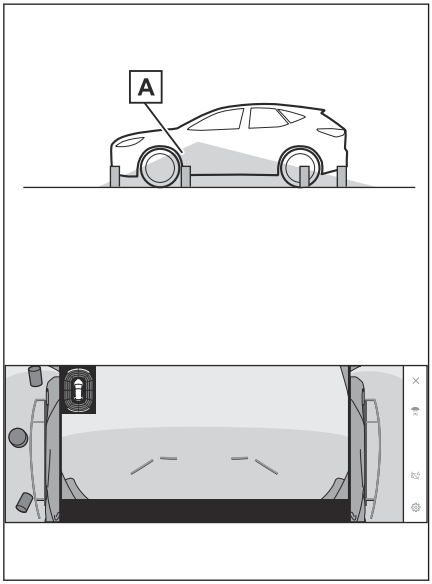


知識

- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ワイドフロントビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

■ 両サイドビュー（ドアミラー格納時）について

A 画面に映るエリア



知識

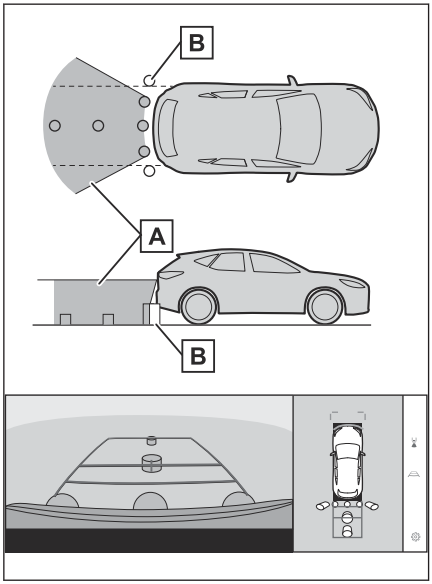
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、助手席側のバンパー付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 両サイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

■ バックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

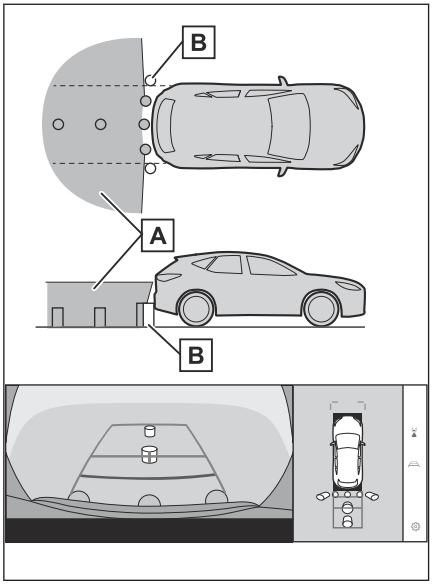


■ ワイドバックビュー

A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。



□ 知識

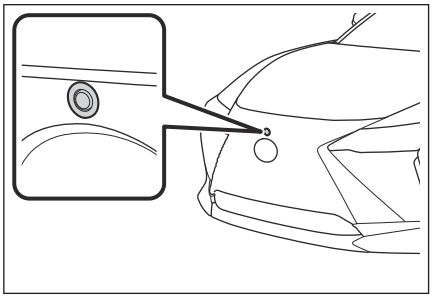
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。

- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にあるものは映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- バックビューやワイドバックビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。
- バックカメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

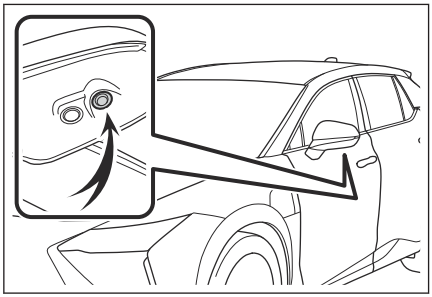
カメラの位置

パノラミックビューモニターの各カメラは図の位置にあります。

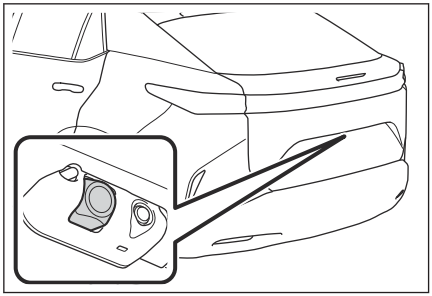
■ フロントカメラ



■ サイドカメラ



■ バックカメラ



カメラのお手入れ方法

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠ 注意

- パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。次のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっています。取りはずし、分解、改造をしないでください。
  - カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷付いて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
  - カメラのカバーは樹脂です。有機溶剤・ボデーワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにレクサス販売店で点検を受けてください。

■ ウォッシャー液によるカメラ洗浄について

リヤカメラレンズの汚れは、カメラ洗浄用のウォッシャーを作動させて洗浄することができます。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

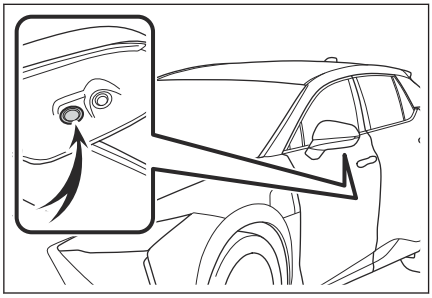
- カメラ洗浄中は、噴射されるウォッシャー液により、車両後方の状態が見えにくくなることがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意した上で運転してください。
- カメラ洗浄後にウォッシャー液がカメラレンズ面に残った場合、夜間に後方車両ヘッドランプの高さや傾きにより、車両後方の状態が見えにくくなることがあります。
- カメラ洗浄をしても、汚れによっては完全にきれいにならない場合があります。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズの水滴をふき取ってください。
- カメラ洗浄は、カメラレンズ面にウォッシャー液を噴射するため、カメラ周辺に付着した氷や雪などの映り込むものについては、洗浄することができません。

⚠ 注意

ノズル部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。ノズルの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。

パーキングアシストライト

パノラミックビューモニターのパーキングアシストライトは図の位置にあります。



⚠ 注意

- パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - ライト部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。ライトの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
  - ライト部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - ライト部を洗うときは、大量の水でライトの汚れを流したあと、水で湿らせた柔らかい布でライト部をふき取ってください。
  - ライトのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

⚠ 注意

- 洗車時に高圧洗浄機でライトやライト周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。

● ライト部をぶつけたときは、ライトの故障などのおそれがあります。早めにレクサス販売店で点検を受けてください。

画面と実際の路面との誤差

パノラミックビューモニターの合成映像やガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、次の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離や進路に誤差が生じます。

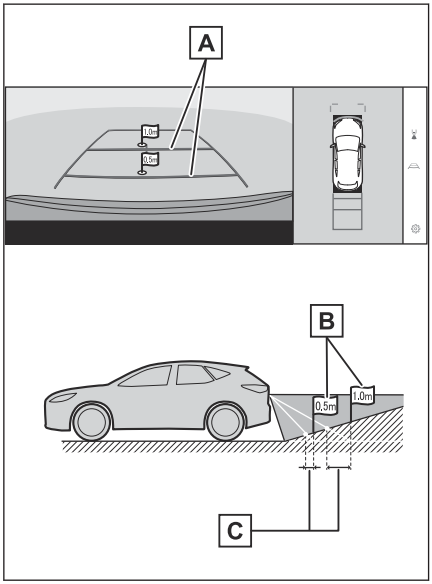
■ 急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

A 距離目安線

B 実際の距離

C 誤差



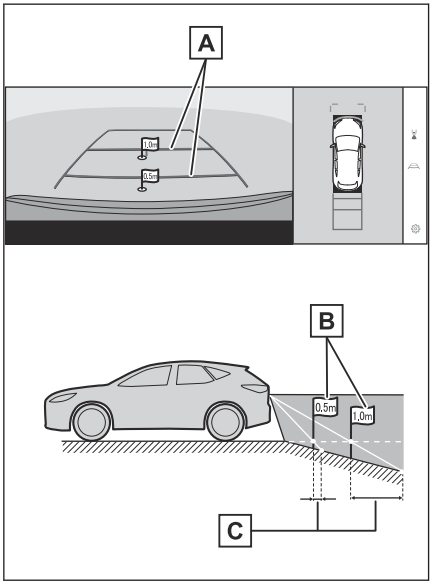
■ 急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

A 距離目安線

B 実際の距離

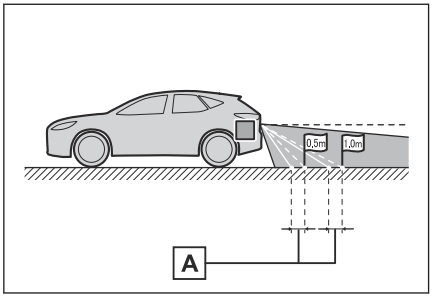
C 誤差



■ 車が傾いているとき

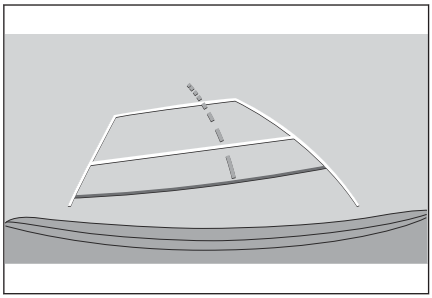
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

A 誤差



■ 車両中央予想進路線について

リヤバンパー付近の空中にガイド線が描かれているため、車両の中央からずれているように見えることがあります。



画面と実際の立体物との誤差

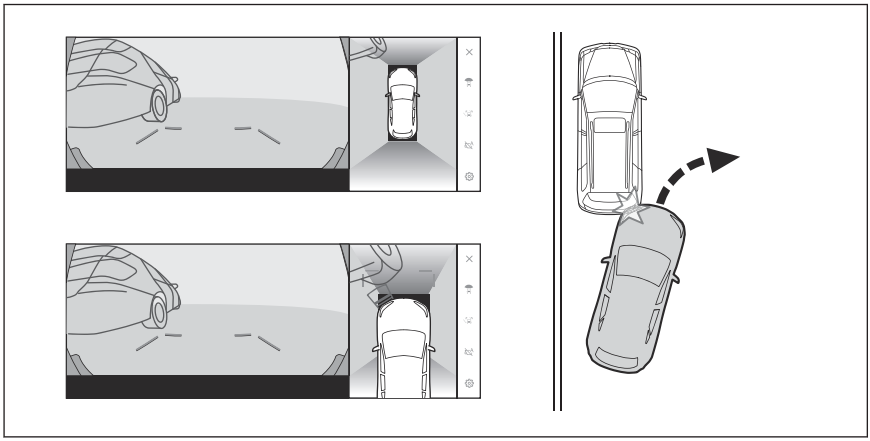
画面に表示されるガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断できません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、次のことにご注意ください。

⚠ 警告

クリアランスソナーの表示が赤色のときは、必ず直接確認して、それ以上進まないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

■ パノラミックビュー（拡大表示を含む）の表示

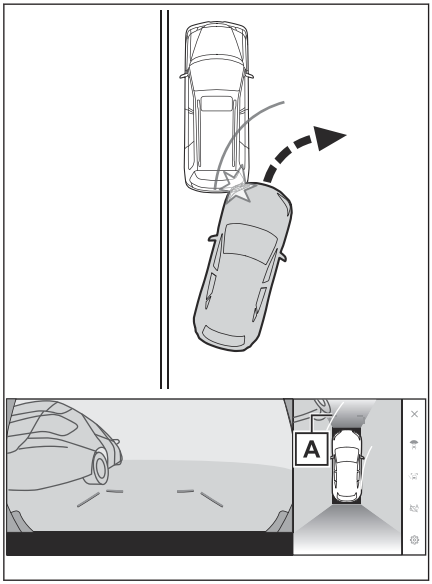
画面では車両のバンパーとのあいだに余裕があり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



■ 予想進路線について

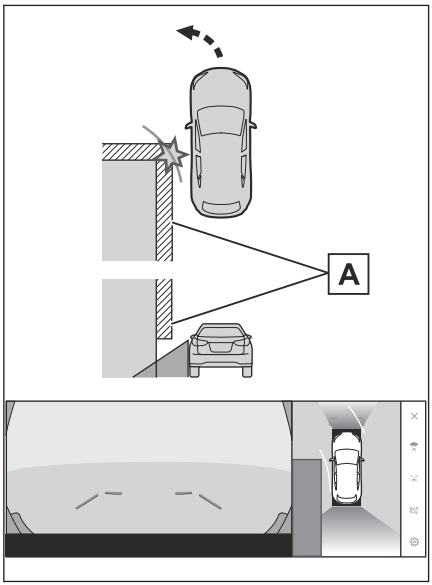
● 画面では車両のバンパーが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



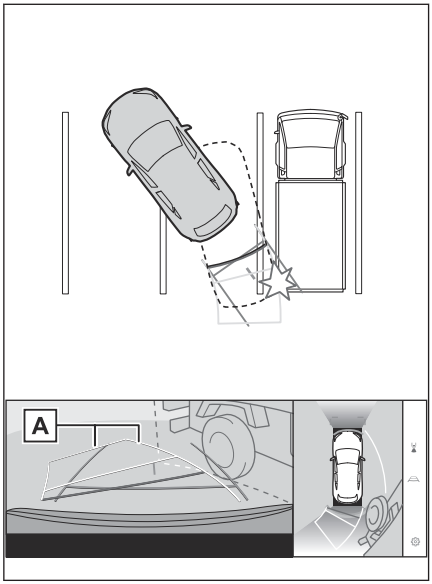
● 高い位置にある立体物（張り出しのある壁やトラックの荷台など）は、画面に映らない場合があります。周囲の安全を直接確認してください。

A 壁の張り出し部分



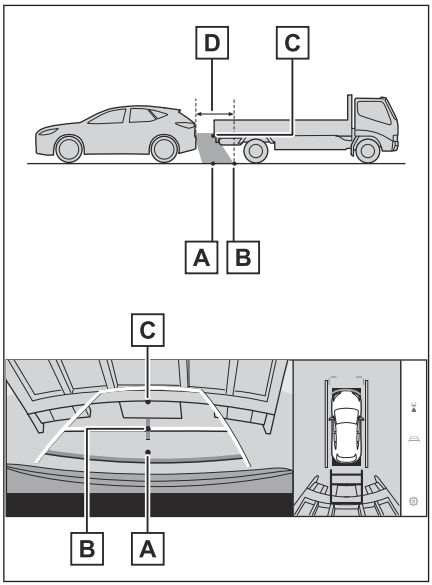
● 画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。

A 予想進路線



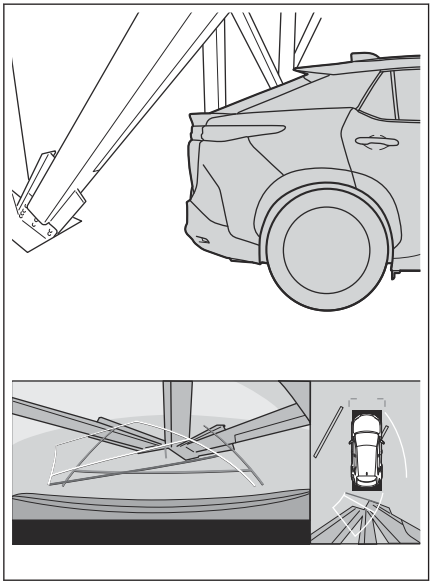
■ 距離目安線について

画面では、距離目安線により**B**の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には**A**の位置まで後退すると、ぶつかります。画面では**A**、**B**、**C**の順に近く見えますが、実際の距離は**A**と**C**は同じ距離で、**B**は**A**と**C**より遠い距離にあります。後方や周囲の安全を直接確認してください。**D**の距離は約 1m です。



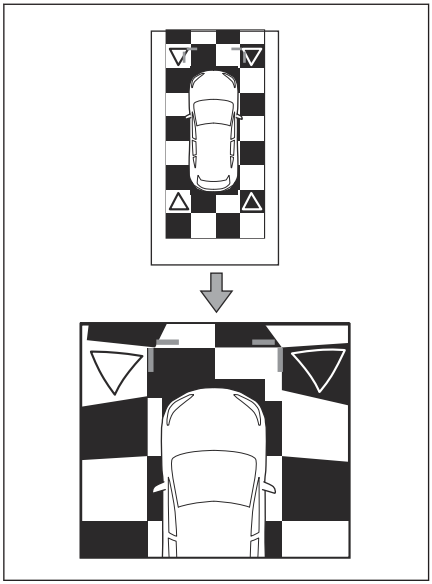
■ 斜めの柱の張り出し部について

パノラミックビューでは倒れた柱がまっすぐでぶつからないように見えても、実際は柱の上部が張り出しているため、ぶつかる可能性があります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



■ 拡大機能について

パノラミックビューの拡大機能は、通常のパノラミックビューとは違い、車両アイコンのほうへ映像を縮めています。そのため、路上の白線や壁などが曲がって見える場合があります。



故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	● 夜間など暗いところで使用。 ● レンズ付近の温度が高い、または低い。 ● 外気温が低いとき。 ● カメラに水滴がついた。 ● 雨天時など湿度が高い。 ● カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ● 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたった。 ● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びパノラミックビューモニターをご使用ください。 パノラミックビューモニターの画質調整の方法は、マルチメディア画面の調整と同じです。
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズをふき取ってください。 カメラ洗浄用のウォッシャーを作動させ、リヤカメラレンズの汚れを洗浄してください。詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	レクサス販売店で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	レクサス販売店で点検を受けてください。
	● 車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ● 傾斜地で使用するとき。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

症状	考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにもかかわらず予想進路線が曲がっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	レクサス販売店で点検を受けてください。
ガイド線が表示されない	バックドアが開いている。	バックドアを閉める。 直らない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。
パノラミックビューが拡大できない。シースルービュー／ムービングビュー、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューが表示されない	クリアランスソナーに異常（汚れや故障など）が発生した。	クリアランスソナー異常時の対処方法にしたがってください。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱説明書」をご覧ください。）

関連リンク

画面表示の設定を変更する (P.67)

フリー／オープンソースソフトウェア情報

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。

これらのフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方または片方については、次の URL から入手できます。

https://www.denso.com/global/en/opensource/svss/toyota

9 ETC の利用

9-1. ETC のサービス概要

ETC2.0 サービスについて 396

ETC サービスについて 398

9-2. ETC の操作

ETC2.0 ユニットの使い方 401

クリーニングについて 409

9-3. ETC の情報表示

ETC 画面の操作 410

ETC の設定 412

9-4. エラーコードについて

統一エラーコード一覧について 413

9-5. 道路事業者からのお願い

道路事業者からのお願い 416

9-6. お問合せ先一覧

お問合せ先一覧 422

9-7. ETC2.0 ユニットのフリー／オープンソースソフトウェア情報

ETC2.0 ユニットのフリー／オープンソースソフトウェア情報 424

ETC2.0 サービスについて

高速道路を中心に設置された「ITS スポット」と車に搭載された「ETC2.0 ユニット」とのあいだで双方向の高速・大容量通信を行うことにより、広域な道路交通情報や安全運転を支援する情報を、音声や画面への表示でリアルタイムに提供するサービスです。

- ITS スポット
  DSRC 通信を利用し、ETC2.0 サービスが行われる場所を「ITS スポット」と 呼びます。
- DSRC（Dedicated Short Range Communication：スポット通信）
  これまで ETC に用いられてきた通信方式で、高速で大容量の情報を送受信することが可能です。

[ETC2.0] は一般財団法人 ITS サービス高度化機構(ITS-TEA)の登録商標です。

提供サービス

ETC2.0 サービスでは、次のサービスが提供されます。

提供サービス	対応サービス
ETC	自動料金支払い機能 ETC 割引*1
ETC2.0	ETC2.0 割引*1
道路交通情報	前方状況情報提供（音声、図形表示、画像表示）
	施設情報提供
	長文（ハイウェイラジオ情報など）の読上げ
	渋滞、規制情報提供(地図表示・案内)
安全運転支援情報	前方障害物情報提供（音声、図形表示）

知識

- VICS サービス（FM 多重放送、光ビーコン）については、「VICS・交通情報を使う」をご覧ください。
- TSPS サービスについては、「TSPS サービスについて」をご覧ください。
- ETC2.0 ユニットは、今後のシステム変更や上記以外のサービスに対応できない場合があります。また、ITS スポットから提供される通信データが予告なく停止しサービスが受けられない場合があります。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店へお問い合わせください。

*1：割引サービス情報やその適用条件の詳細は、各道路事業者の HP 情報などでご確認ください。

関連リンク

ETC サービスについて (P.398)
道路交通情報提供サービス (P.162)
VICS・交通情報を使う (P.150)
割込情報（ETC2.0 サービス）の表示 (P.161)
TSPS サービスについて (P.168)

ETC サービスについて

ETC（Electronic Toll Collection）サービスは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。路側無線装置と車両の ETC2.0 ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

- 初めてお使いになる際は、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが完了しているかを確認してください。
- 「道路事業者からのお願い」をよくお読みください。特に、次の点に注意してください。

知識

お車のナンバープレートが変更になったときなど、ETC2.0 ユニットの再セットアップが必要です。詳しくは、「車載器の再セットアップ」をご覧ください。

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC2.0 ユニットの操作を極力しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

⚠ 注意

- ETC2.0 ユニットを用いたサービスには、さまざまな制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。
- 路側無線装置との通信のさまたげにならないよう、ETC アンテナ（インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。）の上方には物を置かないでください。
- ETC アンテナの近くに電波を発する電子機器を設置しないでください。電波干渉により、無線通信が正常に行われず、開閉バーが開かない、料金決済サービスが正しく受けられないなどの原因となる可能性があります。

  ＜干渉の可能性がある主な機器＞

  ・ Wi-Fi®を搭載した機器（モバイルルーター、携帯電話など）

  ・ レクサス純正品以外の無線機器

  ＜干渉が発生した場合の対処＞

  ・ ETC アンテナからできるだけ距離を離し設置するか、干渉する機器を取りはずしてください。

  ・ Wi-Fi®を搭載した機器は、2.4GHz ワイヤレスネットワークを選択してください。（可能であれば）
- フロントガラスの汚れや積雪がひどい場合は、それらを取り除いてください。
- 車両 1 台に対して複数の ETC ユニットまたは ETC2.0 ユニットを取り付けると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

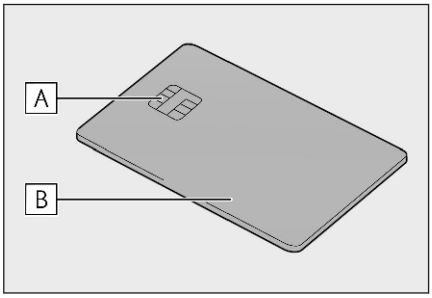
関連リンク

道路事業者からのお願い (P.416)
車載器の再セットアップ (P.419)
ETC2.0 ユニットについての情報 (P.458)

ETC カードについて

ETC カードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。

A 金属端子（IC チップ）
B ETC カード



⚠ 注意

- ETC カードの取り扱いについては､ETC カード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
- 変形、または破損した ETC カードは使用しないでください。
- セロハンテープ・シールなどが貼ってある ETC カードは使用しないでください。
- ETC カードの金属接点部に手で触ったり汚れた財布などに保管しないでください。
- 金属端子（IC チップ）が汚れている ETC カードは使用しないでください。

■ ETC カードを挿入する前

⚠ 注意

- ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC カードの有効期限案内は、補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。
- ETC カード接点に汚れが付着していないかを確認してください。汚れが付着していると、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなるおそれがあります。ETC カードは汚れの付きにくい場所に保管するとともに、ETC 接点部を定期的にクリーニングしてください。
- ETC カードは EV システム始動後に挿入してください。EV システム始動前に挿入されていると ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

■ ETC カードを挿入したあと

⚠ 注意

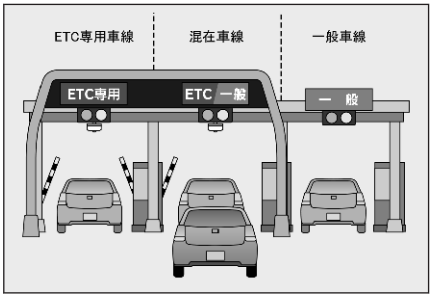
- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC2.0 ユニットに挿入されていることと、ETC2.0 ユニットが正常に作動していることを確認してください。
- ETC2.0 ユニットが ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前で ETC カードを挿入すると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ゲート手前、ETC ゲート、高速道路を走行中、ETC カードを抜いたり挿したりしないでください。ETC カード内のデータが破損したり、正しく料金清算が行われなくなるおそれがあります。

関連リンク

クリーニングについて (P.409)

ETC 料金所について

ETC 料金所には、料金支払い方法に応じて、ETC 専用車線、一般混在車線、一般車線、サポート混在車線またはサポート車線があります。ETC を利用する場合は、ETC 専用車線、一般混在車線またはサポート混在車線に進入してください。



スマート IC について

詳しくは「道路事業者からのお願い」をご覧ください。

関連リンク

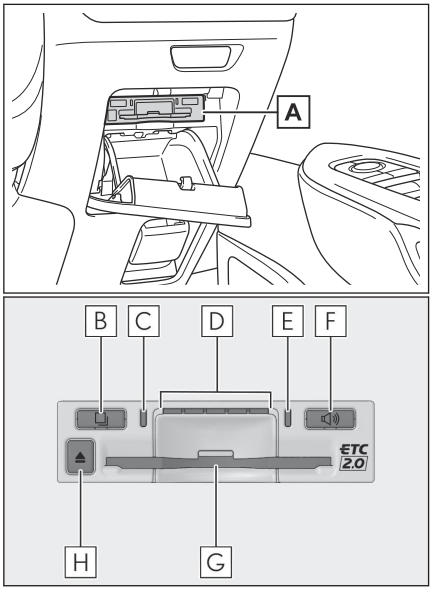
道路事業者からのお願い (P.416)

ETC2.0 ユニットの使い方

ETC2.0 ユニットについて

パワースイッチを ACC または ON にすると、ETC2.0 ユニットの電源が入ります。

A ETC2.0 ユニット
B 利用履歴確認スイッチ
C 緑ランプ
D スピーカー部
E 橙ランプ
F 音量調整スイッチ
G ETC カード挿入口
H イジェクトスイッチ



⚠ 注意

- ETC2.0 ユニットの内部に異物などを入れないでください。ETC2.0 ユニットが故障するおそれがあります。
- ETC2.0 ユニットに衝撃を与えないでください。ETC2.0 ユニットが、故障・破損するおそれがあります。
- ぬれた手で ETC2.0 ユニットにふれたり、水（液体など）を付着させないでください。ETC2.0 ユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。また、付着した液体の成分によっては、ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。
- 汚れたときは、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどの薬品は絶対に使用しないでください。ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。

ETC カードを挿入する

1 **EV システムを始動します。**

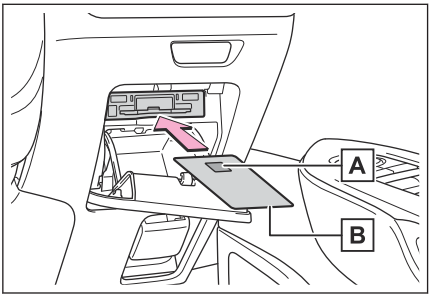
ETC2.0 ユニットの電源が入り、緑ランプと橙ランプが同時に点灯し、しばらくすると消灯します。

2 **図のように正しい挿入方向で、ETC カードを ETC2.0 ユニットにしっかり挿し込む。**

A 金属端子（IC チップ）

B ETC カード

「ピッ」とブザー音が出力され、緑ランプが点滅します。



3 **ETC カードが正しく認証されると、音声と画面表示で案内します。**

緑ランプは、点灯したままです。

知識

- ETC カードが正しく認識されなかった場合は、橙ランプが点滅し、エラー発話と統一エラーコードが画面に表示されます。一度、ETC カードを抜き、挿入方向を確認して再度差し込んでください。それでもエラーコードが通知された場合は、「統一エラーコード一覧」の対処方法にしたがってください。対処を実施してもエラーが続くときは、レクサス販売店に相談をしてください。
- EV システム始動前に ETC カードが挿入されている場合、音声案内と画面表示はされません。
- 橙ランプが点灯しているときは、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きができていないので使用できません。

注意

- 緑ランプが点灯した場合でも、解約済み、または有効期限が切れている、またはカード会社が使用無効とした ETC カードを使用した場合、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かないことがあります。
- 料金所のカードリーダでは正しく認証されないのに緑ランプが点灯する場合がありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。このようなときは、カード会社にカードの再発行を申し出てください。
- 緑ランプが点滅中は ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

関連リンク

統一エラーコード一覧について (P.413)

ETC2.0 マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部に ETC2.0 マークが表示されます。

知識

- ETC2.0 マーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC2.0 マークは表示されません。
- ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定を「OFF」とした場合、ETC マークが表示されます。
- マルチメディアシステムを補機バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は ETC2.0 マークが表示されないことがあります。

関連リンク

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする (P.166)

有効期限切れ通知について

ETC カードを挿入したとき、または ETC カード挿入状態でパワースイッチを ACC または ON にすると、音声と画面表示で有効期限切れ通知が行われます。

知識

- 有効期限切れ通知は、通知設定画面で ETC 音声案内や ETC 割込表示を「OFF」にした場合でも、音声案内と画面表示が行われます。
- ETC カード有効期限が当月のときの通知 ON/OFF 設定は、通知設定画面の ETC カード有効期限切れ事前通知で行えます。

注意

- GPS の受信状態により、ごく稀に誤って有効期限切れ通知をすることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。誤った通知が継続する場合は、レクサス販売店で点検を受けて相談してください。
- マルチメディアシステムを補機バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は有効期限切れ通知されないことがあります。

関連リンク

ETC の設定 (P.412)

ETC カードを抜く

1 **車を停車し、EV システムを停止させる前に ETC2.0 ユニットのイジェクトスイッチを押す。**

2 **ETC2.0 ユニットから ETC カードを抜く。**

知識

ETC 通信時にカード書き込みエラーが発生していた場合、書き込みエラー通知が ETC2.0 ユニットから出力されることがあります。

注意

ETC カードが取り出せなくなった場合。無理に取り出さず、レクサス販売店にお問い合わせください。

関連リンク

ETC2.0 ユニットの使い方 (P.401)
カード書込みエラー通知について (P.405)

カード抜き忘れ警告について

ETC カードを抜く前に、EV システムを停止すると、カード抜き忘れを音声で案内します。

■ 警告通知 ON/OFF の切り替え設定

1 **車を停車し、ETC2.0 ユニットに ETC カードを挿入します（緑ランプ点灯）。**

2 **利用履歴確認スイッチと音量調整スイッチを同時に約 2 秒間押し続けます。**

操作をするごとに ON/OFF が切りかわり（「ピッ」もしくは「ピッピッ」と音がします）、以後選択した設定が保持されます。

知識

- カード抜き忘れ警告の ON/OFF の設定は ETC の設定画面でも行えます。
- EV システムを停止したときに、クリーニングカード使用通知、またはカード書込みエラー通知があった場合には、カード抜き忘れ警告の音声は出力されません。

関連リンク

ETC の設定 (P.412)
クリーニングカード使用通知について (P.404)
カード書込みエラー通知について (P.405)

クリーニングカード使用通知について

ETC2.0 ユニット内部のカード接点部が汚れている可能性があった場合、EV システムを停止すると、ETC2.0 ユニットから「ピッピッ、ETC のカード接点が汚れている可能性があります。クリーニングカードを使用してください。」と音声が出力されます。この通知があった場合、クリーニングを実施してください。

関連リンク

ETC2.0 ユニット内部のカード接点のクリーニング (P.409)

カード書込みエラー通知について

ETC カードへのデータ書込みエラーがあった場合、カードを抜くか、または、EV システムを停止すると、ETC2.0 ユニットから「ピーッ、ETC 利用時にカードに書き込みできませんでした。高速道路をご利用中の方は、一般レーンを走行してください。コード 11。」と音声が出力されます。

知識

- 高速道路を降りたあとにカード書き込みエラーを通知した場合、その後の ETC ゲートでは正常にご利用できます。
- ETC2.0 ユニット内部のカード接点部が汚れている可能性があるため、高速道路をご利用後、クリーニングを実施してください。
- この通知は、ETC2.0 ユニットの故障を知らせる案内ではありません。クリーニング実施後、エラー通知が無ければ、ETC2.0 ユニットを交換せずご利用が可能です。エラー通知が継続するような場合には、レクサス販売店に相談をしてください。

注意

高速道路をご利用中の場合は、出口料金所での通行料金のお支払いは、係員のいる車線（「一般」、「ETC／一般」、「ETC／サポート」または「サポート」）で、いったん停車して、ETC カードを係員にお渡しください。料金精算機のある車線では、「係員呼出ボタン」を押して係員を呼び出してください。

関連リンク

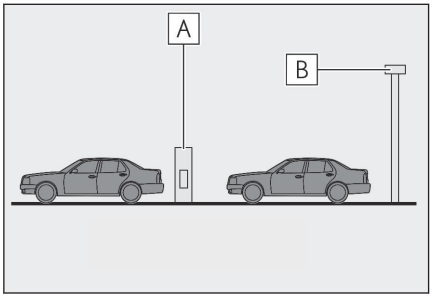
ETC2.0 ユニット内部のカード接点のクリーニング (P.409)

ETC ゲート（入口・出口／精算用）の通過について

通信が正常に行われた場合、通知音「ピンポン」で案内します。

A 開閉バー

B 予告アンテナ／ETC カード未挿入お知らせアンテナ



知識

- ETC ゲートの出入口を通過したとき、通信が正常に行われなかった場合、橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。
- ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したとき、通知音「ピンポン」は案内されません。
- 路側無線装置により通信が正常に行われた場合、1 つの ETC ゲートで「ピンポン」音が 2 回通知されることがあります。
- 予告アンテナ・ETC カード未挿入お知らせアンテナは、道路側のシステムにより、設置されている場合と設置されていない場合があります。
- 通行料金は、画面表示と音声で案内されます。ただし、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の画面表示・音声による案内は行われない場合があります。

⚠ 警告

運転者は走行中にランプ表示を見ないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

ETC ゲート通過時は、ETC ゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。ETC2.0 ユニットやマルチメディアシステムでは、エラーが案内されない場合があります。

関連リンク

統一エラーコード一覧について (P.413)
道路事業者からのお願い (P.416)

利用履歴を確認する

有料道路の利用日および通行料金を音声で確認できます。ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で停車中に利用できます。

利用履歴確認スイッチを押す。

- 最新の利用履歴が音声で案内されます。
- 押すごとに、古い利用履歴に切りかわります。なお、最も古い利用履歴の次は、最新の利用履歴に切りかわります。
- 利用履歴発話中は、緑ランプが点滅します。
- 案内終了後、約 1 秒以上たってからスイッチを押した場合は、最新の利用履歴から案内されます。
- 利用履歴は消去することができません。ただし、利用履歴の最大記録件数を超えた場合は、最も古い利用履歴が消去されます。

知識

- 利用履歴は ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 利用履歴は画面でも確認することができます。
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。
- カード接点の汚れなどにより料金所情報が ETC カードに書き込みできなかった場合、該当する料金所の料金履歴は案内されません。ただし、該当料金所を無線通行または ETC カードで料金清算された場合は、道路事業者のインターネットサービス（ETC 利用照会サービス）で料金履歴を確認できます。サービス詳細は道路事業者にお問い合わせください。

⚠ 警告

ETC ゲート付近では、利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるなど、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

関連リンク

ETC2.0 ユニットの使い方 (P.401)
ETC 利用履歴を表示する (P.410)

音量を調整する

ETC2.0 ユニットから出力される音声案内の音量を調整することができます。

音量調整スイッチを押す。

音量は、スイッチを押すごとに音量 0 から音量 4 まで 1 ずつ切りかわり、音量 4 の次は音量 0 になります。

知識

ETC2.0 ユニットの音量調整は以下のような案内に有効です。

- 未セットアップ状態（セットアップ手続きをしていない）の通知*1
- エラー発生時のブザー音*2
- カード抜き忘れ警告*2
- クリーニングカード使用通知*2
- カード書込みエラー通知*2
- ETC2.0 ユニットでの利用履歴の確認
- ETC2.0 ユニットの音量調整時の案内

*1: 音声案内を中止（音量 0）に設定すると、出力されません。

*2: 音声案内を中止（音量 0）、または音量 1 に設定してあっても、エラー発生時には音量 2 で出力されます。

関連リンク

ETC2.0 ユニットについて (P.401)

セットアップ情報を確認する

ETC2.0 ユニットでのセットアップ情報を音声で確認できます。

- カード未挿入状態で ETC2.0 ユニットの電源を入れ、緑ランプと橙ランプが点灯中に利用履歴確認スイッチを押し続けると、セットアップ情報通知モードが起動します。
- セットアップ情報通知モードに入ると、車載器管理番号を通知します。その後、利用履歴確認スイッチを押すごとに、型式登録番号、型式、ETC セットアップカード発行年月日、DSRC セットアップカード発行年月日の順に通知します。DSRC セットアップカード発行年月日の通知のあとに利用履歴確認スイッチを押すと、車載器管理番号の通知に戻ります。
- セットアップ情報通知モード起動後は、以下の操作を行うことによりモード状態を抜け、ETC2.0 ユニットは通常の動作となります。
  - ETC カード挿入
  - パワースイッチを ACC または ON から OFF にしたとき
  - セットアップ情報通知の発話終了から約 1 分後

クリーニングについて

ETC2.0 ユニット内部のカード接点のクリーニング*1

ETC2.0 ユニット内部のカード接点部をきれいに保つ必要があります。定期的にクリーニングカードでの清掃をおすすめします。以下のような症状がでた場合には、クリーニングカードでの ETC2.0 ユニットの清掃と、きれいで乾いた柔らかい布での ETC カードの金属端子部の清掃を実施してください。

クリーニングカードでの清掃について、詳しくはレクサス販売店にご相談ください。

- クリーニングカード使用通知の案内があった
- カード書込みエラー通知の案内があった
- ETC カード挿入時に認証エラーがでた
- ETC ゲートの出口で開閉バーが開かなかった
- 他車両のユニットでカード認証できて自車両のユニットで認証エラーが発生した

知識

- ETC カードの金属端子部はきれいに見えても手の脂や化粧品などで汚れている場合があります。このようなカードを使い続けると、ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写、堆積する場合があり、ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できずエラーが発生したり、ETC ゲートの開閉バーが開かなくなるおそれがあります。
- クリーニングカード使用通知は、ETC2.0 ユニットの故障を知らせる案内ではありません。クリーニング実施後、エラー通知が無ければ、ETC2.0 ユニットを交換せずご利用が可能です。エラー通知が継続するような場合には、レクサス販売店に相談をしてください。

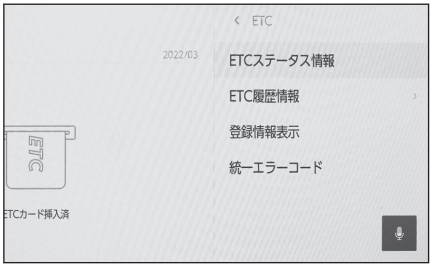
関連リンク

クリーニングカード使用通知について (P.404)
カード書込みエラー通知について (P.405)

*1: クリーニングカードはお車に付帯されておりません。

ETC 画面の操作

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [ETC]にタッチします。
3 希望の項目にタッチします。



ETC ステータス情報について

1 ETC 画面の[ETC ステータス情報]にタッチします。
2 現在の ETC2.0 ユニットの状態が表示されます。

ETC 利用履歴を表示する

1 ETC 画面の[ETC 履歴情報]にタッチします。
2 履歴情報リストが表示されます。

リストにタッチすると、タッチした履歴の利用区間が表示されます。

リストをフリック操作すると、他の履歴が表示されます。



関連リンク

利用履歴を確認する (P.406)

ETC2.0 登録情報を表示する

1 ETC 画面の[登録情報表示]にタッチします。
2 ETC2.0 ユニットに登録された情報が表示されます。

統一エラーコードを表示する

1 ETC 画面の[統一エラーコード]にタッチします。
2 最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

知識

現在のエラーを表示している訳ではありません。各エラーコードの対処方法については、画面上の[**エラー内容と対処**]、または「統一エラーコード一覧」の対処方法にしたがってください。対処を実施してもエラーが続くときは、レクサス販売店に相談をしてください。

関連リンク

統一エラーコード一覧について (P.413)

ETC 割込表示について

ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

ETC カードを ETC2.0 ユニットに挿入したときの認証状態や、ETC カードの有効期限が切れている、または当月末で切れるときは、表示とともに音声でも案内されます。

知識

表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

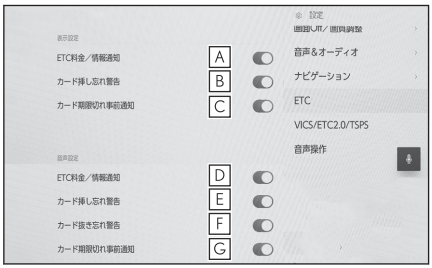
ETC の設定

ETC の通知設定をする

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [ETC]にタッチします。

3 設定したい項目にタッチします。



A ETC の通行料金などを画面に表示します。

B カードの挿し忘れなどを画面に表示して警告します。

C ETC カードの有効期限が当月であるときに、画面に通知を表示します。

D ETC の通行料金などを音声で案内します。

E カードの差し忘れなどを音声で警告します。

F ETC カード抜き忘れを ETC2.0 ユニットからの音声で警告します。

G ETC カードの有効期限が当月であるときに、音声で案内します。

知識

- 「カード挿し忘れ警告」は、パワースイッチを OFF から ACC または ON にしてから約 20 秒以上経過したあと、案内します。
- 補機バッテリーターミナルを脱着したあとにマルチメディアシステムを起動した場合、「カード挿し忘れ警告」の画面表示や音声案内がされないことがあります。また、ETC2.0 ユニットから音声案内がされることがあります。
- ETC カードを更新して新しいものに変更した場合、カード期限切れ事前通知を ON に設定してください。通知設定が OFF のままですと、事前通知がされません。

関連リンク

ETC 割込表示について (P.411)

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。

この場合は、次の表にもとづき、対処をしてください。

（例）エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。

音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」

画面表示：「ETC カードが挿入されていませんコード〔01〕」

統一エラーコード	エラー発生の主な原因	対処方法
01	料金所通過前： ETC カードを挿入していない	安全を確保して ETC カードを正しく入れなおすか、「一般」、「ETC／一般」、「ETC／サポート」または「サポート」車線に進入してください
	料金所通過時／高速道路走行時： ETC カードを挿入していない	● ETC カードを正しく入れなおしてください ● 料金所では係員の指示にしたがってください
02	ETC カード挿入時／利用履歴読出時： ETC カードのデータが読み出せない	● ETC カードを正しく入れなおしてください ● カード接点のクリーニングをしてください
03	ETC カード挿入時： ● ETC カード以外を挿入した ● 挿入する向き（前後表裏）が正しくない ● ETC カードが汚れている	● 挿入したカードが ETC カードかを確認ください ● ETC カードを正しい向きで入れてください ● カード接点のクリーニングをしてください
04	パワースイッチを ACC または ON 時： ETC2.0 ユニットの故障	● EV システムをかけなおす ● レクサス販売店に相談してください
05	ETC カード挿入時： ● ETC カード以外を挿入した ● ETC カード認証エラー	● 挿入したカードが ETC カードかを確認ください ● ETC カードを正しく入れなおしてください ● カード接点のクリーニングをしてください

統一エラーコード	エラー発生の主な原因	対処方法
06	料金所通過時／高速道路走行時： ETC2.0 ユニットと路側無線装置とのデータ処理エラー	料金所の係員の指示にしたがってください
07	料金所通過時／高速道路走行時： ETC2.0 ユニットと路側無線装置とのデータ処理エラー	料金所の係員の指示にしたがってください
11	料金所通過時： ETC カードにデータの書き込みができない	● 高速道路利用中、カード書込みエラー通知があったときは係員のいる車線に進入してください ● 高速道路を降りたあとにカード書込みエラー通知があったときは、その後の ETC ゲートでは正常にご利用できます ● カード接点のクリーニングをしてください
80	パワースイッチを ACC または ON 時／ETC カード挿入時： アンテナの接続がはずれている	レクサス販売店に相談してください

知識

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC2.0 ユニットからブザー音のみが出力されます。
  - ETC の設定画面で、音声設定の[**ETC 料金／情報通知**]を「OFF」に設定したとき
  - 音設定画面で、「システム音量」を「0」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔01〕と通知されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。
- ETC2.0 ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・[**登録情報表示**]で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。

関連リンク

サウンドやメディアの設定を変更する (P.92)
カード書込みエラー通知について (P.405)
ETC2.0 ユニット内部のカード接点のクリーニング (P.409)

記録されている統一エラーコードを確認する

ETC2.0 ユニットは、最後に発生した統一エラーコードを記録しています。

1 **ETC カードが挿入されている場合は、ETC カードを抜く。**

2 **利用履歴確認スイッチを約 2 秒以上押す。**

最後に案内された統一エラーコードが音声で案内されます。なお、統一エラーコードの確認は、ETC 画面でも行うことができます。

関連リンク

ETC2.0 ユニットについて (P.401)
ETC の設定 (P.412)

道路事業者からのお願い

はじめに

必ず、ETC システム利用規程などをお読みください

ETC システム利用規程、同実施細則（以下「利用規程など」という。）、ETC カードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。また、特にエラーや事故の発生原因になり得る重要な事項について、以下に記載しましたので、ETC のご利用前に、利用規程等と併せて必ずお読みください。

乗車前のご注意

■ 専門の取り付け店で車載器を取り付けてください

車両への車載器の取り付けは、専門の取り付け店などで確実に行ってください。車載器のアンテナユニット（一体型の場合は車載器本体）は、車両の中心付近に車載器メーカーの推奨する方法で取り付けてください。取り付け位置などが不適切な場合、正常に通信できず開閉バーが開かないことがあります。

車載器メーカーが販売する車載器を分解・改造することは、禁止されています。分解・改造された車載器で ETC 無線通行を行わないでください。

- 車載器の取り付けは、車載器メーカーの示す方法で行ってください。メーカーが示す方法以外（シガーソケットなどによる簡易取り付けなど）では、利用できません。
- 分解・改造された車載器は、利用規程などに違反するため、セットアップすることはできません。
- 二輪車用 ETC 車載器を四輪車に取り付けた場合も、利用規程などに違反するため、セットアップすることはできません。

■ ETC カードを車載器に確実に挿入し、エラーなどがないかの確認を!!

ご乗車時に、ETC カードを車載器へ確実に挿入し、エラーなどがないかを確認してご利用ください。ETC カードが確実に挿入されていても、車載器が正しく作動していない場合、開閉バーが開きません。車載器への ETC カードの挿し忘れ、挿し込み不良により、開閉バーが開かないケースが多発しています。

- ETC カードの挿し込み方向（前後・表裏）にご注意ください。
- ETC カードを車載器へ挿入し、ETC が利用可能である旨の音声案内などを確認してください。
- 料金所の手前などに、ETC カードが正常に挿入されていないことをお知らせするアンテナが設置されている箇所があります。ETC カードが正常に挿入されていないことのお知らせがあった場合には、ETC 無線通行はできませんので、一般車線、「ETC／一般」と表示している車線（以下、「一般混在車線」という。）、「ETC／サポート」と表示している車線（以下、「サポート混在車線」という。）又は「サポート」と表示している車線（以下、「サポート車線」という。）をご利用ください。
- 何らかの問題がある場合、車載器によっては、音声や画面によってエラーが表示されます。ETC カード挿入の際や、料金所通過の際にはご注意いただくようお願いいたします。

車載器が ETC カードを認証するまでには数秒かかります。料金所直前での ETC カードの挿入は、エラーの原因となる場合がありますのでご注意ください。

車載器のアンテナ周辺に物を置いたり、取り付け箇所の変更などをしないでください。アンテナの電波をさえぎるものがある場合正常に通信できず開閉バーが開かない場合があります。

ETC カードの有効期限のご注意

有効期限切れの ETC カードは、ご利用いただけません。車載器によっては、有効期限切れの ETC カードを挿入してもエラー表示がされない場合がありますので、お手持ちの ETC カードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

ETC カードの保管上のご注意

ETC カードを車載器へ挿入したまま車内に放置すると、カードが高温で変形し、車載器が正常に動作しなくなることがあります。また、ETC カードに強い力を加えることも変形の原因となりますので、取り扱いにはご注意ください。

盗難防止の観点から、車両から離れる際は ETC カードを車載器から抜いて、携行していただくことをお勧めします。なお、SA・PA などで休憩後、走行を再開される際には、同一の ETC カードを車載器へ確実に挿入してください。入口料金所を通過の際に挿入されていた ETC カードと異なる ETC カードを挿入した場合、出口料金所では開閉バーが開きません。

ETC カードにはデータを読み書きするための金属端子があります。この部分が汚損しますと、ETC 車線通行時、正常に通信ができず開閉バーが開かない可能性がありますので、取り扱いにご注意ください。清掃される場合には、市販の IC カードクリーナーをご利用ください。

ETC 車線通行時のご注意

■ 十分な車間距離を取り、20 km/h 以下に減速、徐行してください!!

ETC 車線に設置されている開閉バーは、車載器とアンテナとの間の通信等が正常に行われなかった場合には、開かないことがありますので、ご注意ください。また、前車に接近して通行しようとしたときにエラーが発生すると、前車通過後、開閉バーが閉まりますので、ご注意ください。

料金所では、案内板などにより ETC 無線通行が利用可能な車線（「ETC」「ETC 専用」「ETC／一般」「ETC／サポート」のいずれかの表示のある車線）であることを確認して、進入してください。

ETC 車線を通行する際は、前車と十分な車間距離をとった上で、開閉バーの手前で安全に停止できるよう十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認して、ご通行ください。

ETC 車線を通行する際は、20 km/h 以下に減速して進入し、徐行して通過していただくようお願いします。

● 利用規程などによらないご利用方法により、道路設備に損傷を与えた場合には、復旧に要する費用をご負担していただく場合がありますので、ご注意ください。

入口料金所の ETC 車線で通信エラーなどにより、通行券を受け取られた場合には、出口料金所では、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停止して、ETC カードと通行券を係員にお渡し又は料金精算機に挿入いただくか、係員に申し出てください。

入口料金所を ETC で通行した場合で、出口料金所で ETC 車線がご利用できない場合または設置されていない場合は、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停止して、ETC カードを係員にお渡し又は料金精算機に挿入いただくか、係員に申し出てください。なお、料金所の無い出口の場合は、入口で使用した ETC カードを抜かずにそのままご通行ください。

通行料金をお支払いいただく料金所で異常が発生した場合は、係員へお知らせいただき、係員の案内に従ってください。

機器の点検などにより、ETC 車線を閉鎖する場合がございます。通行料金をお支払いいただく料金所では、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停止して、ETC カードを係員にお渡し又は料金精算機に挿入いただくか、係員に申し出てください。 また、車載器が使用可能な状態であることをご確認させていただいた上で各種割引などもご利用いただけます。

有料道路への進入から退出までは、同一の ETC カードを継続してご使用ください。料金所以外にも ETC フリーフローアンテナが設置されている箇所があり、走行中、ETC カードには通行料金の計算に必要な情報が随時記録されます。途中で ETC カードを入れ替えたりむやみに抜き差しされますと、正しく通行料金が計算されない場合やエラーを引き起こす場合がありますのでご注意ください。

入口料金所で ETC が正常に通信できなかった場合（入口料金所通過直後の車載器のエラー音あるいは音声案内にご注意ください）は、出口料金所では、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停止して、係員に申し出てください。なお、料金所のない出口の場合は、ご走行後、当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）にお申し出ください。

■ スマート IC をご利用の場合は、次の事項にご注意ください

スマート IC は、ETC 専用のインターチェンジです。所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた車載器に、有効な ETC カードを確実に挿入し、ETC システムをご利用可能な場合に通行することができます。

営業時間、出入方向および対象車種などに制約がある場合がありますので、ご注意ください。

スマート IC では、その他の料金所の ETC システムとは異なり、車両が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっております

ので、必ず開閉バーの手前の停止線で一旦停止してください。停止位置が適切でない場合、通信できない場合があります。なお、一旦停止しても開閉バーが開かない場合には、車線に設置されたインターホンなどで係員に連絡し、係員の案内に従ってください。

通行止めなどを実施した場合や道路を管理する上で必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口を閉鎖することがあります。この場合、通行可能な最寄りの IC をご利用ください。

退出路が設置されているスマート IC においては、エラーなどで正常に ETC 通信ができない場合、直進せずに退出路へお進みいただくことが可能です。標識や路側表示をよくご確認の上、注意して走行いただきますようお願いいたします。

もしも、開閉バーが開かなかったら……

■ ETC 車線では、絶対に車をバックさせないで!!

ETC 車線で、開閉バーが開かなかった場合、危険ですので絶対に車をバックさせず、ハザードランプを点灯して停止し、係員の案内に従ってください。

- 高速道路上でのバックは後続車との接触事故の危険性が高く、重大事故に繋がります。
- バックして他の車線に入りなおすことは、お客さま及び後続車のエラー発生の原因となります。

■ ETC カードを挿入せずに（または通信できなかった状態で）ETC 車線を通過してしまったときは、速やかに道路事業者にご連絡を!!

うっかり ETC カードを車載器に挿し忘れて ETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）にご通行の状況を連絡してください。

車載器の再セットアップ

■ 車両ナンバー変更時（車載器付きの中古車購入など）、車載器の移しかえ時は再セットアップを!!

車載器付きの中古車を購入または譲渡を受ける場合・住所変更等により車両のナンバープレートが変更になる場合・車載器を他の車両に移す場合・けん引ができる構造に変更する場合などは、再セットアップが必要となりますので、車載器をお買い求めになった販売店または最寄りのセットアップ店にご相談ください。

- 「普通車⇒普通車」、「軽自動車⇒軽自動車」などの同じ料金設定車種の車両に移す場合においても再セットアップが必要です。
- 異なる車種区分でセットアップされた車載器を他の車両に載せ替えることにより、本来の通行料金の一部を免れる行為は、道路整備特別措置法第 24 条第 3 項に基づき各社が定めた通行方法に反する不正通行となり、同法第 26 条の規定により、免れた通行料金と割増金（免れた通行料金の 2 倍に相当する額）を請求し、徴収します。また、通行料金の支払いを繰り返し免れる行為に対しては同法第 59 条に基づき刑事罰（30 万円以下の罰金）が科されることがあります。

● 国土交通省が令和４年１月４日から運用している「個人が引越の際、オンラインにより自動車の変更登録申請を行う場合に、ナンバープレートの交換を次回の車検時まで猶予する特例」をご利用する場合は、新たなナンバープレートに交換する際に再セットアップが必要になります。

正しくセットアップおよび再セットアップを行っていない場合
● 正しい ETC のご利用とならず、開閉バーが開かない可能性があります。 ● 正しい通行料金が請求されない場合があります。 ● ETC 利用照会サービスなど、一部の ETC サービスがご利用いただけません。 ● 各種 ETC 割引などが適用されない場合があります。

車載器管理番号に関するお願い

■ 車載器管理番号は、ETC の各種登録型サービスのために必要な番号です。

車載器管理番号は、お持ちの車載器または車載器のパッケージに記載されている 19 桁の固有の番号で、ETC の各種登録型サービスを受ける場合又は今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。「ETC 車載器セットアップ申込書・証明書（お客さま保存用）」を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

障害者割引制度における ETC 利用について

障害者割引制度の最新情報については、有料道路事業者のホームページ等をご確認ください。

ETC 無線通行で障害者割引の適用を受けるには、身体障害者手帳又は療育手帳（以下、「手帳」といいます。）を管理している市区町村の福祉担当窓口又はオンライン申請受付サイト（https://www.expressway-discount.jp/）において事前に申請手続きが必要です。なお、福祉担当窓口での手続きの場合、併せて有料道路事業者が設置する窓口への登録が必要になります。両方の手続きがなされていない場合、ETC 無線通行での障害者割引が適用されません。

事前に登録された ETC カードを、登録された車載器（手帳に記載された車両に取り付けられ、当該車両でセットアップを行ったもの）に挿入し、ETC 車線を無線通行した場合のみ割引が適用されます。

事前に登録されていない車両で障害者割引をご利用いただく場合は、ETC 無線通行による障害者割引の適用は受けられませんので、必ず料金をお支払いいただく料金所の一般車線又は一般混在車線（ETC 車で ETC 専用料金所を利用する場合はサポート混在車線又はサポート車線）にて係員に手帳をご提示ください。

● 既に現金等でのお支払いによる障害者割引適用の手続きをしている場合でも、新たに ETC 無線通行で障害者割引の適用を受ける場合は、改めて同様の手続きと車両の登録を行う必要があります。

● 通行料金をお支払いいただく料金所で ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員等が応対する車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）で、

一旦停車して係員に ETC カードを渡し、手帳を提示して確認を受けてください。料金精算機のある車線では、「障がい者用係員呼出ボタン（レバー）」を操作して係員を呼び出してください。

- ETC 無線通行で障害者割引の適用を受けようとする場合でも、必ず手帳を携行してください。（ETC 車線が閉鎖されている等により ETC 無線通行ができない場合、手帳をご提示いただけないと割引が適用できません。）
- 障害者割引には有効期限があります。ご利用の前に有効期限を確認してください。なお、有効期限の更新手続きは市区町村の福祉担当窓口又はオンライン申請受付サイト（https://www.expressway-discount.jp/）で行ってください。
- 登録済の ETC カード、車載器、車両を変更される場合は、ETC のご利用前に市区町村の福祉担当窓口又はオンライン申請受付サイト（https://www.expressway-discount.jp/）で変更手続きを行ってください。

ETC セキュリティ規格の変更について

ETC において、お客さまの決済情報を将来にわたり安全に保護するため、昨今の情報機器の能力向上に伴うセキュリティ脅威の増大への備えとして、セキュリティ機能の向上を目的に、セキュリティ規格の変更を予定しています。なお ETC のセキュリティ規格の変更時期については、具体的な時期は未定ですが、現行（旧）のセキュリティ（車載器、ETC カード）に問題が発生しなければ最長で 2030 年頃までとなる予定です。ただし、セキュリティに問題が発生した場合は、変更時期が早まる可能性がありますのでご注意ください。

お問合せ先一覧

ETC のご利用に関して

■ 東日本高速道路株式会社

NEXCO 東日本お客さまセンター　0570-024-024 または 03-5308-2424

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 中日本高速道路株式会社

NEXCO 中日本お客さまセンター　0120-922-229（フリーダイヤルがご利用できないお客さまは　052-223-0333）

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 西日本高速道路株式会社

NEXCO 西日本お客さまセンター　0120-924-863（フリーダイヤルがご利用できないお客さまは　06-6876-9031）

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 本州四国連絡高速道路株式会社

本四高速お客さま窓口　078-291-1033

受付時間：9：00 ～ 17：30（年中無休）

■ 首都高速道路株式会社

首都高お客さまセンター　03-6667-5855

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 阪神高速道路株式会社

阪神高速お客さまセンター　06-6576-1484

受付時間：24 時間（年中無休）　※一部時間帯は WEB にてご案内しております

ETC カードおよび請求金額に関して

お手持ちの ETC カード発行元にご確認ください。

車載器に関して

車載器の購入先、または取扱説明書に記載されている連絡先にお問合せください。

セットアップに関して

一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）

ETC お問い合わせ窓口　03-5216-3856

受付時間：月～金 10：00 ～ 17：00（土日・祝日・年末年始を除く）

ETC2.0 ユニットのフリー／オープンソースソフトウェア情報

本製品は下記のフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。

本製品は、トロンフォーラム（www.tron.org）のT-License 2.1に基づきμT-Kernelソースコードを利用しています。

Copyright (c) 2010/2011, Xiph. Org Foundation (USA), 2008/2010/2011, Broadcom Corporation (USA), 2012, Microsoft Corporation (USA)
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Internet Society, IETF or IETF Trust, nor the names of specific contributors, may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

10 ドライブレコーダー

10-1. ドライブレコーダー

ドライブレコーダー（前後方）について 426
手動録画を開始する 433
録画映像を再生する 434
録画映像の画質を調整する 436
録画映像を外部メディアに転送する 437
複数の録画映像をまとめて選択する 439
ドライブレコーダーの設定を変更する 440
ドライブレコーダーアプリ 441
故障とお考えになる前に 443

ドライブレコーダー（前後方）について

車両前後のカメラで撮影した映像を車載機メモリー内に常時録画します。

- ドライブレコーダーの前方カメラは Lexus Safety System + のものを使用しています。詳細は別冊「取扱説明書」をご覧ください。
- ドライブレコーダーの後方カメラはデジタルインナーミラーのものを使用しています。詳細は別冊「取扱説明書」をご覧ください。

ドライブレコーダー使用上の留意事項

ドライブレコーダー機能を ON にしていても、セキュリティー設定の[**全ての情報を初期化**](→P.71)をしたときは OFF になります。ご使用の際は設定画面(→P.440)で ON にしてください。

以下のときは、ドライブレコーダー機能が OFF になっている場合があります。定期的に映像が記録されていることをご確認ください。(→P.434)

- 工場出荷時
- 修理後
- ソフトウェア更新後

録画状態を確認する

画面左上のステータスアイコン(→P.21)で確認できます。

	映像を記録中です。
	エラーが発生しています。 レクサス販売店にご相談ください。
	録画を停止しています。 以下のときに、録画を停止します。 ● ドライブレコーダー機能が OFF になっているとき(→P.440) ● パワースイッチが ACC のとき ● メインメニューの[ ]、[**ドライブレコーダー**]の順にタッチして表示される画面で[**録画映像**]にタッチしたとき 上記以外で表示される場合は、レクサス販売店にご相談ください。

知識

[**録画映像**]にタッチして録画が停止した際、以下のいずれかの操作をすると、録画が再開されます。

- [**録画映像**]にタッチする画面に戻る
- 他のモードに切り替える
- パーキングブレーキを解除する

お使いになる前に

- ドライブレコーダーはパワースイッチが ON のあいだ常時映像を録画する装置*1 ですが、すべての状況において録画することを保証したものではありません。正常に録画できなかった場合や録画データが破損していた場合による損害については、トヨタ自動車㈱は一切の責任を負いません。
- ドライブレコーダーは、事故などの検証時に役立つことを目的の一つとしていますが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 車載機メモリーの録画領域がいっぱいになると自動的に古い映像を削除し、新しい映像を録画（上書き）します。事故などで映像が必要な場合は、速やかに外部メディアにデータを転送してください。
- ドライブレコーダーで録画した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。いたずらなどの目的のためには使用しないでください。これらの場合についてはトヨタ自動車㈱は一切責任を負いません。
- 録画した映像から信号機の状態が必ず確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号機の状態が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況からご判断ください。信号機の状態が確認できない場合があっても、トヨタ自動車㈱は一切の責任を負いません。
- 補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際は、録画時刻が初期値の 2019/1/1 の 9:00:00 (JST) となるため、現在時刻へ戻す必要があります。GPS 信号が受信できるエリアでパワースイッチを ON にし、90 秒待機します。その後、パワースイッチを OFF にし、さらに 90 秒待機してください。
- 補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際は、初回の起動は車両を水平な場所に停止させて実施してください（衝撃検知センサの補正を行います）。水平な場所でない場合、衝撃を正しく検知できず、イベントを検知しやすくなる、または検知しにくくなることがあります。
- 事故等により補機バッテリー接続が切断された場合は、補機バッテリー切断時点までの映像が記録されます。
- ソフトウェア更新中は映像記録はできません。
- 免責事項について

  お客様または第三者が、ドライブレコーダーの誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはドライブレコーダーの使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、トヨタ自動車㈱は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 著作権について
  - 録画・撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

*1: 駐車時イベント録画はパワースイッチが OFF または ACC でも作動します。

- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

関連リンク

ドライブレコーダーの設定を変更する (P.440)
録画映像を再生する (P.434)
録画映像を外部メディアに転送する (P.437)
ソフトウェア情報の確認や更新をする (P.73)

前後方録画機能について

車両の前後に装着されているカメラで撮影した映像が車載機メモリー内に録画されます。ドライブレコーダーは、次の 4 種類の録画機能を備えています。

■ 常時録画

パワースイッチが ON のあいだ常時録画されます。

■ 手動録画

手動操作により、任意のタイミングで録画できます。

■ イベント検知録画

一定以上の衝撃を検知したとき、自動的に録画されます。

■ 駐車時イベント録画

駐車時に一定以上の衝撃を検知したとき、自動的に録画されます。

● 次の場合などは、適切に映像が録画されないことがあります。

- 街灯などの光源が無く、暗い道路を夜間走行するとき
- 夜間、後続車が接近しているときや、後続車のヘッドライトが上向きになっているとき
- 朝日や夕日など、太陽の光がカメラに入るとき
- 降雨・降雪時や、雨上がりなど路面が濡れて光っていたり、水たまりがあるとき
- トンネルの出入口など明るさが急激に変化するとき
- カメラの前に物を置くなどして、カメラの視野が遮断されるとき
- 停車中などマフラーからの煙がカメラの視野に入ってくるとき
- カメラのレンズが汚れたり、水滴が付着していたり、曇っているとき
- 乗員人数、積載状況などによる車高の変化などにより、カメラの位置や方向がずれたとき
- 車両後部をぶつけるなどにより、カメラの位置や方向がずれたとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- ガードレール・街路樹など、道路構造物により前方・後方車両が隠れてしまうとき

- デジタルインナーミラーのデジタル防眩モードを ON にすると、夜間の後方映像も暗くなります。
- [**全ての情報を初期化**]を行うと、録画した映像や音声が削除され、ドライブレコーダーの設定も初期化されます。初期化前の状態にもどすことはできません。
- ワイパーを使用した際は、録画映像にワイパーが映り込み、映像がちらつくように見えることがありますが異常ではありません。

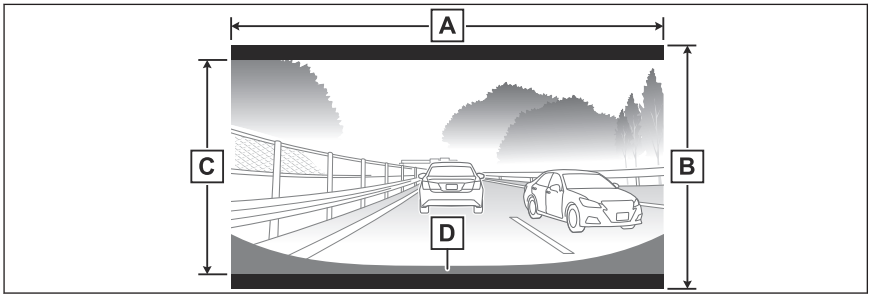
▶ **録画映像の画質／フレームレートは次のとおりです。**

	前方カメラ	後方カメラ
画質	1920×1080px (1920×958px(1))	1920×1080px (1920×712px(2))
フレームレート	10fps	30fps

(1) 上下に黒帯が記録されるため、実映像は 1920×958px となります。
(2) 上下に黒帯が記録されるため、実映像は 1920×712px となります。

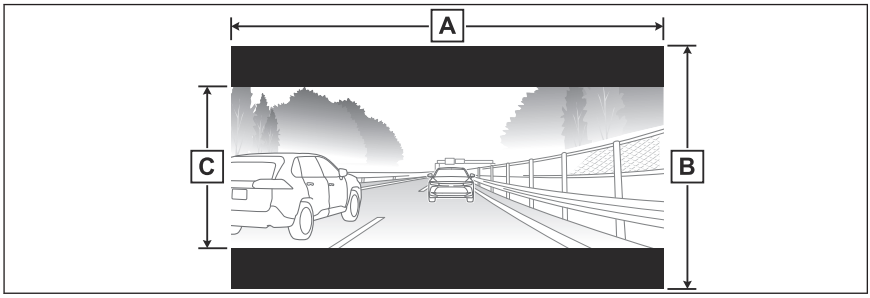
▶ **前方録画映像**

前方録画映像には一部カメラカバーが映り込みます。



A 1920px
B 1080px
C 958px
D カメラカバー

▶ **後方録画映像**



A 1920px
B 1080px
C 712px

関連リンク

セキュリティ設定を変更する (P.71)

録画映像の種類

■ 常時録画

パワースイッチを ON にすると、自動的に録画が開始されます。

パワースイッチを OFF にすると、録画が停止されます。

- 常時録画の録画時間は、約 100 分です。

  録画状態によっては、録画時間が短くなったり長くなったりする場合があります。
- 録画データは、前方映像と後方映像が別ファイルとしてそれぞれ 1 ファイル約 30 秒の長さで保存されます。
- 車載機メモリーの録画領域がなくなると古い日時のファイルから順に消去され、録画が継続されます。録画した映像を残しておきたい場合は、外部メディアにデータを転送し、保存してください。
- 常時録画中はマルチメディアシステムに表示される手動録画画面の[

]ボタン上に[● REC]が表示されます。
- 必要に応じて、録画機能を停止することもできます。

■ 手動録画

常時録画中に画面上のスイッチを押す、または音声操作によって、任意のタイミングで録画できます。

- 手動録画を受け付けた時点から前後 10 秒間（合計 20 秒間）の映像が録画されます。手動録画のタイミングによっては、録画時間が最大約 60 秒になる場合があります。

- 手動録画を受け付けた後、10 秒間は追加の操作を受け付けません。
- ユーザ用メモリーの保護領域が上限（前方／後方映像でそれぞれ 10 件）を超える場合は、本操作を受け付けません。
- パワースイッチが ON のときのみ使用可能です（ACC では使用できません）
- 機器の異常により、手動録画ができない場合があります。

■ イベント録画

常時録画中に、一定以上の衝撃や衝撃に近い状態（SRS エアバッグの作動および急ブレーキ、急ハンドルなど）が発生したとき、または車両後側方レーダーにより自車後方の極端に接近した車両を検知したとき（周辺車両接近時サポート（録画機能, 通報提案機能）機能が ON になっている場合のみ）に録画が開始されます。

- イベントを検知した時点から前後 10 秒間（合計 20 秒間）の映像が録画されます。イベント録画のタイミングによっては、録画時間が最大約 60 秒になる場合があります。
- イベント録画用メモリーの保護領域が上限（前方／後方映像でそれぞれ 10 件）を超える場合は、撮影時刻の古いものから上書きされてしまうことがあります。
- 衝撃を感知するかを確かめるために、故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 次の場合などは、衝撃によるイベント検知ができず、適切に映像が録画・保護されないことがあります。
  - 低速で衝突、または相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
  - 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
  - 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合
  - 相手車両の側面をこするように衝突した場合
  - 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

    雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく小さい衝撃でもスリップし、G センサーでの検知が困難になるため
  - 衝撃が弱く、ドライブレコーダーが検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
- 急斜面を走行しているときはイベントを検知しやすい、または検知しにくいことがあります。

■ 駐車時イベント録画

駐車時に一定以上の衝撃を検知した場合、数秒後に自動的に録画が開始されます。

- 録画を開始した時点から 60 秒間の映像が録画されます。
- 衝撃発生時の映像は撮影できません。衝撃発生後のみの映像を撮影します。

- 衝撃発生後、録画開始まで数秒かかるため、自車両に衝撃を加えた相手車両が撮影されていない場合があります。
- 駐車時イベント録画を受け付けた後、約 1 分間は追加の駐車時イベント録画を受け付けません。
- 駐車時イベント用メモリーの保護領域が上限（前方／後方映像でそれぞれ 10 件）を超える場合は、撮影時刻の古いものから上書きされてしまうことがあります。
- パワースイッチを OFF にしてから約 1 分間は、誤検知防止のため駐車時イベント録画を受け付けません。
- 駐車中のドアの開閉などによる振動で駐車時イベント録画が作動することがあります。
- 補機バッテリーあがり防止のため、駐車時イベント検知はパワースイッチを OFF にしてから約 12 時間で停止します。また、次回パワースイッチを ON にするまでの間、最大 3 回まで駐車時イベントを検知します。
- 補機バッテリーの電圧が低下している場合は駐車時イベント録画は作動しません。
- 次の場合などは、衝撃による駐車時イベントが検知できず、適切に映像が録画・保護されないことがあります。
  - 低速で衝突、または相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
  - 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
  - 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車等の場合
  - 相手車両の側面をこするように衝突した場合
  - 衝撃が弱く、ドライブレコーダーが検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

関連リンク

録画映像を外部メディアに転送する (P.437)
ドライブレコーダーの設定を変更する (P.440)
音声操作を開始する (P.44)

お車を手放すときの注意

ドライブレコーダーを使用すると、多数の個人情報が記録されます。お車を手放すときには、全ての情報を初期化してください。

全ての情報の初期化を行うと、録画した映像や音声が削除され、ドライブレコーダーの設定も初期化されます。初期化前の状態にもどすことはできません。

関連リンク

セキュリティ設定を変更する (P.71)

手動録画を開始する

任意のタイミングで録画を開始できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。

3 [

]にタッチします。



知識

手動録画は音声操作、またはショートカット画面[*1] の手動録画スイッチで開始することもできます。

関連リンク

音声操作を開始する (P.44)

*1: 詳細は、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

録画映像を再生する

録画された映像を再生することができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。**

3 **[録画映像]にタッチします。**

4 **再生したい映像種別にタッチします。**

5 **[常時録画]を選択した場合、サムネイル一覧から再生したい映像にタッチします。**

6 **[手動録画]、[イベント録画]または[駐車中の録画]を選択した場合、[映像一覧] 、[録画地点]のいずれかにタッチします。**

[**映像一覧**]：録画された日付・時刻の新しい順（1 分単位）に表示されます。サムネイル一覧から再生したい映像にタッチします。

[**録画地点**]：撮影された地点が地図上にアイコン表示されます。再生したい地図上のアイコンにタッチします。

- アイコンにタッチすると、該当アイコンが地図中心に表示されます。再度タッチすると映像が再生されます。

7 **必要に応じて、再生中の映像を操作します。**



[ ] ：映像を保護します。[ ]にタッチすると、保護を解除します。

[ ]：映像を削除します。

[ ]：映像を外部メディアへ転送します。

[ ]：映像の画質を調整します。

[ ]：映像を最大化します。[ ]にタッチすると映像を縮小します。

[ ]／[ ]：ファイルが切りかわります。

[ ]：映像を早もどしします。

[ ]：再生します。

[ ]：再生を一時停止します。

[ ]：映像を早送りします。

知識

- サムネイル一覧では、[**前方**]または[**後方**]をタッチすることで、前方カメラと後方カメラの映像を切りかえることができます。
- 保護（[ ]）された映像は上書きされなくなります。
- 常時／イベント／駐車時録画映像を保護した場合、手動録画一覧にも映像が追加されます。（手動録画で撮影可能な残り件数も減少します。）
- 映像再生時は映像録画ができません。
- 雪、雨天時、カメラレンズの雨滴、汚れ等により映像が見づらくなる場合があります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。

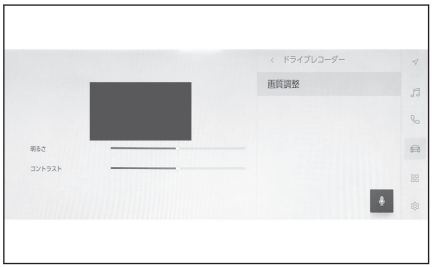
録画映像の画質を調整する

再生する録画映像の画質を調整できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。
3 [録画映像]にタッチします。
4 希望の映像種別にタッチします。
5 希望の映像にタッチします。
6 [ ] にタッチします。
7 各項目を設定します。

[**明るさ**]：明るさを調整できます。

[**コントラスト**]：コントラストを調整できます。



録画映像を外部メディアに転送する

録画された映像を外部メディアに転送できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。

3 [録画映像]にタッチします。

4 希望の映像種別にタッチします。

5 転送したい映像にタッチします。

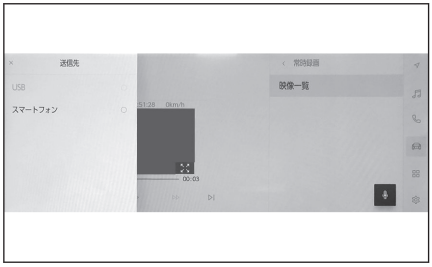
6 [ ]にタッチします。

7 希望の転送先にタッチします。

[USB]：USB Type-C 端子に接続した USB メモリーに転送されます。

[スマートフォン]：スマートフォンなどのスマートデバイスに転送されます。

- 転送先のスマートデバイスに専用アプリケーションがインストールされている必要があります。



8 [OK]にタッチします。

知識

- データ転送中に USB メモリーを抜かないでください。USB メモリーが破損し、映像を録画できなくなったり、録画映像ファイルが破損や消失するおそれがあります。
- データ転送中に接続エラー等により転送がキャンセルされた場合、転送中及び転送予定のファイル転送は中止されます。
- USB メモリーの容量に空きがないとデータを転送できません。容量に余裕がある USB メモリーをご使用ください。
- 転送されたデータは最大 30 秒単位のファイルで生成されます。
- フォルダ構成とファイル名について

  撮影された各映像データ（.MP4）の保存先は、「REC_SERVICE」フォルダ内の「映像が撮影された日付（YYMMDD)」フォルダです。

  各映像データのファイル名は、撮影時刻と撮影種類にもとづき、次のように命名されます。

  「撮影日時_ 撮影種類.MP4」
- 撮影日時は西暦の下二桁に続き、年、月、日、時、分、秒がそれぞれ二桁で表示されます。
- 撮影種類は次のとおりです。

- CF：常時録画の前方カメラ
- CB：常時録画の後方カメラ
- UF：手動録画の前方カメラ
- UB：手動録画の後方カメラ
- EF：イベント録画の前方カメラ
- EB：イベント録画の後方カメラ
- PF：駐車時イベント録画の前方カメラ
- PB：駐車時イベント録画の後方カメラ

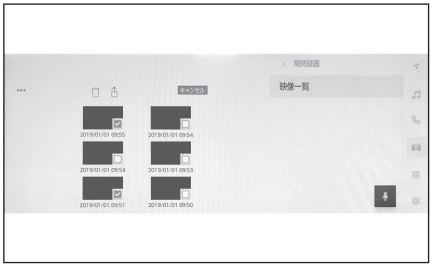
関連リンク

USB 機器を接続する (P.40)
ドライブレコーダーアプリ (P.441)

複数の録画映像をまとめて選択する

複数の録画映像をまとめて選択することで、一括で削除や外部メディアへの転送ができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。
3 [録画映像]にタッチします。
4 お好みの映像種別にタッチします。
5 [イベント録画]、[手動録画]、[駐車中の録画]を選択した場合、[映像一覧]にタッチします。
6 [選択]にタッチします。
7 まとめて選択したい映像のチェックボックスにタッチします。



[ ]：映像を削除します。

[ ]：映像を外部メディアへ転送します。

[USB]：USB Type-C 端子に接続したUSB メモリーに転送されます。

[スマートフォン]：スマートフォンなどのスマートデバイスに転送されます。

- 転送先のスマートデバイスに専用アプリケーションがインストールされている必要があります。

関連リンク

USB 機器を接続する (P.40)
ドライブレコーダーアプリ (P.441)

ドライブレコーダーの設定を変更する

録画された映像の各種設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。

3 [カスタマイズ]にタッチします。

4 各項目を設定します。



[**ドライブレコーダー**]：ドライブレコーダー機能の ON/OFF を設定できます。

[**音声録音**]*1：音声録音の ON/OFF を設定できます。

[**イベント検知感度**]*1：イベント検知の感度を設定できます。

高、標準（初期値）、Off から選択できます。

- [**高**]：約 0.45G 以上の G を検知すると映像を撮影します。
- [**標準**]：約 0.5G 以上の G を検知すると映像を撮影します。
- [**Off**]：イベント録画を行いません。

[**駐車時録画の衝撃感度**]：駐車時イベント検知の感度を設定できます。

高感度、標準、低感度、Off（初期値）から選択できます。

- 感度が高いほど、より小さい衝撃を検知します。駐車時イベント検知が多い、または少ないと感じる場合は、感度を調節してください。

[**駐車中の録画通知**]：駐車時イベント録画が行われた際の通知の ON/OFF を設定できます。

知識

- 各種設定を変更した場合、地図画面などその他画面へ遷移しないと、変更内容が反映されません。
- G-Link 契約を解約された場合、以下の項目は初期設定値になります。

  [**音声録音**]：OFF

  [**イベント検知感度**]：標準

関連リンク

ドライバーの切りかえや登録をする (P.60)

*1：ドライバー登録ごとに設定を変更できます。

ドライブレコーダーアプリ

スマートフォンに専用のドライブレコーダーアプリをインストールすることで、撮影した映像を車両からスマートフォンに転送し、閲覧することができます。

本書では、ドライブレコーダーアプリについての基本的な情報のみを記載しています。

アプリをお使いいただく上での注意事項や、アプリの操作方法などについては、ドライブレコーダーアプリ内のヘルプを必ずご覧の上、正しくご使用ください。
ドライブレコーダーアプリは次の URL からダウンロードできます。

▶ iOS

- URL：
  https://itunes.apple.com/jp/app/id1575315167?mt=8
- QR コード：

▶ Android OS

- URL：
  https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.toyota.driverecorderviewer
- QR コード：

ドライブレコーダーアプリの使用条件

ダウンロードにかかるパケット通信料はお客様のご負担となります。

すべてのスマートフォンでの使用を保証している訳ではありません。

対応機種、OS バージョンについては、次の Web サイトをご覧ください。

https://toyota.jp/pages/contents/owner/pdf/mydriverecorderviewer.pdf

故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
「映像を録画できません」という表示が出る	ドライブレコーダーまたはカメラの故障	レクサス販売店にご相談ください。
「一時的に映像を録画できません」という表示が出る	高温等によるカメラの一時的な機能停止	しばらく時間をおいても解消しない場合はレクサス販売店にご相談ください。
「音声を記録できません」という表示が出る	マイクの故障	レクサス販売店にご相談ください。
「駐車時録画記録に異常がありました」という表示が出る	ドライブレコーダー、カメラまたはマイクの故障	レクサス販売店にご相談ください。
「データが壊れています」という表示が出る	ドライブレコーダー内の記録メディアの異常	レクサス販売店にご相談ください。
事故の映像が保護されていない	事故時の衝撃が小さい	事故時の衝撃によってはイベント録画がされない場合があります。 常時録画映像が保存されていないかご確認ください。
	イベント録画が OFF になっている	設定画面から[**イベント検知感度**]を OFF 以外にしてください。
	衝撃検知センサの調整不足	レクサス販売店にて衝撃検知センサの調整をご相談ください。
常時録画映像が記録されていない	ドライブレコーダーが OFF になっている	設定画面から[**ドライブレコーダー**]を ON にしてください。
	時刻情報を受信できていない	GPS 信号が受信できるエリアに移動してください。それでも症状が直らない場合は、レクサス販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
常時録画映像が記録されていない	時刻情報を受信できていない	補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際は、録画時刻が初期値の 2019/1/1 の 9:00:00 (JST) となるため、現在時刻へ戻す必要があります。 GPS 信号が受信できるエリアでパワースイッチを ON にし、90 秒待機します。その後、パワースイッチを OFF にし、さらに 90 秒待機してください。
音声が記録されていない	録音が OFF になっている	設定画面から[**音声録音**]を ON にしてください。
[ ]が暗く表示され、押しても反応しない	記録保護件数が上限になっている	保護した映像を削除するか保護を解除してください。
	ドライブレコーダーが OFF になっている	設定画面から[**ドライブレコーダー**]を ON にしてください。
衝突がないのに頻繁に「衝撃を検知・録画しました」という表示が出る	段差や悪路の走行等により衝撃を検知した	設定画面から[**イベント検知感度**]を調整してください。
	衝撃検知センサの調整不足	レクサス販売店にて衝撃検知センサの調整をご相談ください。
駐車時イベント録画がされない	補機バッテリー電圧が低下している	補機バッテリーの点検を受けてください。
	パワースイッチを OFF にしたあと、12 時間以上が経過している	正常な動作です。 補機バッテリー電圧低下防止のため、駐車時イベント録画は動作しません。
	パワースイッチを OFF にしたあと、3 回駐車時イベント録画が動作した	
	検知した衝撃が小さい	設定画面から[**駐車時録画の衝撃感度**]を調整してください。
録画映像の地図表示が正しい位置に表示されない	GPS の受信状態が良くなかった	見晴らしのいい場所でも発生している場合は、レクサス販売店にご相談ください。
前方録画映像が見にくい／不鮮明	前方カメラの詳細は、別冊「取扱説明書」の「Lexus Safety System +」をご覧ください。	
後方録画映像が見にくい／不鮮明	後方カメラの詳細は、別冊「取扱説明書」の「デジタルインナーミラー」をご覧ください。	

関連リンク

ドライブレコーダーの設定を変更する (P.440)
録画映像を再生する (P.434)

フリー／オープンソースソフトウェア情報

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。

このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。

https://www.denso-ten.com/support/source/oem/dvrecu/

11 付録

11-1. 付録

メディア／データについての情報 448
認証・商標についての情報 458

メディア／データについての情報

使用できるメディアについての情報

使用できるメディアなどの仕様は、次のとおりです。

■ USB メモリーのフォーマット、仕様

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB 2.0 HS（480MBPS）
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大フォルダ階層数	8
最大ファイル数	9999（1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）
メモリ容量	～32GB
1 ファイルの最大サイズ	2GB

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USB メモリーによっては、再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンを使用して USB メモリーにファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。再生時に不可視ファイルが悪影響をおよぼし、正常にファイルを切りかえられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

フォーマットについての情報

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

■ MP3

対応規格	MP3（MPEG1 LAYER 3、MPEG2 LSF LAYER 3）
対応サンプリング周波数（kHz）	MPEG1 LAYER 3：32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER 3：16、22.05、24
対応ビットレート（kbps）(1)	MPEG1 LAYER 3：32～320 MPEG2 LSF LAYER 3：8～160

対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各 Ver.に準拠）

(1) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

■ WMA

対応規格	WMA Ver.7、8、9（9.1、9.2）
対応サンプリング周波数（kHz）	32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）(1)(2)	Ver.7、8：CBR（Constant Bit Rate）48～192 Ver.9（9.1/9.2）：CBR 48～320

(1) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ AAC

対応規格(1)	MPEG4 AAC-LC
対応サンプリング周波数（kHz）	11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）(2)	8～320
対応チャンネルモード(3)	1ch（1/0）、2ch（2/0）

(1) ADIF には対応していません。
(2) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
(3) デュアルチャンネルには対応していません。

■ WAV（LPCM）

対応サンプリング周波数（kHz）(1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
対応量子化 bit 数（bit）(2)	16/24
対応チャンネルモード	1ch（1/0）、2ch（2/0）

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ FLAC

対応サンプリング周波数（kHz）(1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
対応量子化 bit 数（bit）(2)	16/24

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

対応サンプリング周波数（kHz）(1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96
対応量子化 bit 数（bit）(2)	16/24

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ Ogg Vorbis

対応サンプリング周波数（kHz）(1)	8、11.025、16、22.05、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）(2)	32～500

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
(2) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

■ ファイル名

MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis の拡張子「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」がついたものだけです。MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC/Ogg Vorbis ファイルには、「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」/「.ogg」/「.ogx」/「.oga」の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3 タグ／WMA タグ／AAC タグ／タグ／Vorbis comment

- MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

- WAV（LPCM）ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- FLAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- ALAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- Ogg Vorbis ファイルには、Vorbis comment と呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

■ ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源

マルチメディアシステムはハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾ音源の定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。対応フォーマットと再生可能メディアについては、次のとおりです。

対応フォーマット

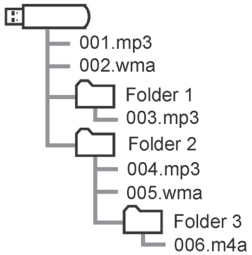
WAV、FLAC、ALAC、Ogg Vorbis

再生可能メディア

USB メモリー

■ 音楽データの再生

8 階層までの MP3/WMA/AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、さまざまな階層のフォルダを含む場合、再生の開始が遅れることがあります。メディア作成時には階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。



オーディオソースや再生モードによって再生順序が異なります。

USB メモリーから再生できる動画データについての情報

パソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
MPEG4 拡張子：「.mp4」「.m4v」	● 動画コーデック：H.264、MPEG-4 AVC、MPEG-4 ● オーディオコーデック：MP3、AAC

フォーマット	コーデック
AVI コンテナ拡張子：「.avi」	● 動画コーデック：H.264、MPEG-4、MPEG-4 AVC、WMV9、WMV9 Advanced Profile ● オーディオコーデック：MP3、AAC、WMA9.2（7、8、9.1、9.2）
Windows Media Video 拡張子：「.wmv」	● 動画コーデック：WMV9、WMV9 Advanced Plofile ● オーディオコーデック：WMA9.2（7、8、9.1、9.2）

- 対応画像サイズは、最大 1920×1080 ピクセルです。
- 対応フレームレートは最大 60i/30p です。
- 録画機器の種類や記録条件、使用する USB メモリーによっては、動画を再生できない場合があります。

iPhone/iPod についての情報

■ 商標・設計認証情報

Made for iPhone | iPad | iPod

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod touch, iPad, iPad mini, iPad Pro, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Made for

- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)

- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPad Pro 12.9-inch (5th generation)
- iPad Pro 12.9-inch (4th generation)
- iPad Pro 12.9-inch (3rd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (2nd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (1st generation)
- iPad Pro 11-inch (3rd generation)
- iPad Pro 11-inch (2nd generation)
- iPad Pro 11-inch (1st generation)
- iPad Pro 10.5-inch
- iPad Pro 9.7-inch
- iPad Air (3rd generation)
- iPad Air 2
- iPad Air
- iPad mini (5th generation)
- iPad mini 4
- iPad mini 3
- iPad mini 2

- iPad (8th generation)
- iPad (7th generation)
- iPad (6th generation)
- iPad (5th generation)
- iPod touch (7th generation)
- iPod touch (6th generation)

Apple CarPlay についての情報

■ 商標・設計認証情報

Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.

Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.

Android Auto についての情報

■ 商標・設計認証情報

Android and Android Auto are trademarks of Google LLC.

USB メモリーについての情報

■ パソコンで記録した音楽ファイル

次の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

MP3/WMA/AAC の仕様

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

MP3

MP3（MPEG Audio LAYER 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮できます。

WMA

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮できます。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

AAC

AAC（Advanced Audio Coding）は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

Bluetooth®についての情報

使用できる Bluetooth®の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth®オーディオ
対応 Bluetooth®仕様	Bluetooth® Core Specification Ver.5.0 以上
対応プロファイル	● A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver. 1.3.2 以上 ● AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）マルチメディアシステムからポータブルオーディオなどをコントロール（再生や停止など）するためのプロファイル：Ver. 1.6.2 以上

項目	Bluetooth®オーディオ
対応コーデック	LDAC™/AAC/SBC

知識

マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®機器との接続性を保証するものではありません。

■ 商標・設計認証情報



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、「株式会社デンソーテン」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

■ LDAC



LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

Gracenote®についての情報

音楽を再生した場合、マルチメディアシステムのデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。マルチメディアシステムに収録されているデータベース情報は、Gracenote®メディアデータベースを使用しています。

■ Gracenote®メディアデータベース

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。

- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

Gracenote, the Gracenote logo and logotype, “Powered by Gracenote” and Gracenote MusicID are either registered trademarks or trademarks of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.

文字情報の表示についての情報

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

HDMI についての情報

使用できる HDMI 機器の映像および音声信号の規格は次の通りです。

映像が表示されない場合は、HDMI 機器の出力設定をご確認ください。

項目	規格
対応映像信号	480p、720p、1080i、VGA
対応音声信号	LPCM 2ch

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

Wi-Fi®についての情報

- Wi-Fi®、Miracast®、Wi-Fi Direct®と WMM®は Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi CERTIFIED™、WPA2™、WPA3™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。

認証・商標についての情報

Dolby, Dolby Audio, Pro Logic, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

通信モジュール（DCM）についての情報

- 通信モジュール（DCM）は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品本体のネームプレートはその証明ですので、ネームプレートの記載を削除しないでください。
- 通信モジュール（DCM）を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- フリー／オープンソースソフトウェア情報について
  - 本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。
    https://www.denso.com/global/en/opensource/dcm/toyota/

ETC2.0 ユニットについての情報

ETC2.0 ユニットは電波法の基準に適合しています。製品上の記載を削除しないでください。また、ETC2.0 ユニットを分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

車載器管理番号について



- 車載器管理番号シールを貼って大切に保管してください。
- 本書がお車に付帯されない車両は、車載器管理番号シールを車検証入れなどに保管してください。

QR コードについての情報

QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

A

AM ラジオ..... 222
Android Auto を再生する..... 255
Android Auto を使用する..... 132
Apple CarPlay を再生する..... 251
Apple CarPlay を使用する
登録済みスマートフォン..... 129
未登録のスマートフォン..... 126
ASL..... 92

B

Bluetooth®オーディオを再生する... 258
Bluetooth®機器
削除する..... 113
サブ機器に設定する..... 118
接続する..... 114
登録する..... 110
メイン機器に設定する..... 117

E

EPG..... 230
ETC2.0 ユニット..... 401
ETC カード..... 396,401,416
ETC 専用料金所利用の ON/OFF 205
ETC／ETC2.0 サービス..... 396

F

FM ラジオ..... 222

G

G-Link..... 308
Gracenote®..... 448

H

HDMI 機器を接続する..... 41
HDMI を再生する..... 262

I

iPod/iPhone を再生する..... 247

M

Miracast®対応機器を接続する..... 266
Miracast®を再生する..... 267

N

NaviCon..... 199

T

TOYOTA アカウント..... 54
TSPS サービス 168

U

USB 機器を接続する..... 40
USB ハブ..... 40
USB メモリーを再生する..... 240,243

V

VICS・交通情報を使う..... 150

W

Web ブラウザ 337
画面 338
操作 339
Wi-Fi Hotspot..... 121
Wi-Fi Hotspot の設定..... 99

あ

明るさを調整する..... 67
アンテナ
地上デジタルテレビ用..... 237
ラジオ用..... 226

い

一時停止案内の ON/OFF..... 88
インターチェンジを指定する 207

インターネット 337
画面 338
操作 339

う

迂回する.....79

え

エアコン操作ボタン.....16
エージェント（音声対話サービス） ...42

お

お気に入り地点.....83,139,201
音質を調整する.....98
音声コマンド.....47
音声多重放送.....233
音声で操作する.....42
音量調整ツマミ 36
音量を調整する
ETC.....401
オーディオ 36
システム音声の音量..... 92
電話（着信／受話） 101,277,279
ナビゲーション音声案内の音量.....92
オーディオ.....222
オーディオシステムの ON/OFF 36

か

画質調整.....97
カメラのお手入れ方法..... 377
画面表示の ON/OFF..... 67
画面モードを切りかえる..... 96

き

気象、災害情報のエリア表示（VICS）159
共通設定.....65
居住地域設定.....92
緊急警報放送（EWS）..... 228
緊急時 110 番／119 番へ通報..... 286
緊急情報（VICS）.....158
緊急通報をする 324
キーボード
文字や数字の入力..... 28

く

クリーニングカードについて（ETC2.0）
.....409
グループ通話をする..... 295

け

携帯電話
削除する..... 113
接続する..... 114
登録する..... 110
経由地の編集 210
経由地を追加する..... 197
言語を切り替える..... 65
現在地
修正する..... 83
表示する 32
検索キーワード.....51

こ

更新する
ソフトウェア情報..... 73
交通情報を聴く.....225
交通ナビ関連情報 189
故障したとお考えになる前に
Apple CarPlay/Android Auto..... 133
ETC 413
地上デジタルテレビ..... 228
ドライブレコーダー..... 443
パノラミックビューモニター.....393
ハンズフリー（電話） 274
コネクティッドナビ..... 138

さ

再起動する.....14
再生する
Android Auto.....255
Apple CarPlay..... 251
Bluetooth®オーディオ..... 258
HDMI.....262
iPod/iPhone.....247
Miracast®..... 267
USB メモリー..... 240,243
録画映像（ドライブレコーダー）..434
削除する
Bluetooth®機器.....113
Web ブラウザの閲覧履歴..... 341
ドライバー設定..... 62
ブックマーク..... 340
マイセッティング..... 62
目的地 211
連絡先データ（電話番号）.....305
ワンタッチダイヤル..... 302
サブメニューについて
サブメニューを表示する 14
サラウンド.....92

し

市街図の表示 33
時刻設定.....65
施設記号を表示する..... 141
自宅
登録する 192
目的地に設定する 192
縮尺を切りかえる.....33
消音..... 38
消去する
ETC2.0 の個人･プライバシー情報 167
目的地履歴.....83

す

数字の入力.....28
スケールを切りかえる..... 33
ステアリングスイッチ
音声操作.....44
オーディオ..... 36
ハンズフリー（電話）.....277,279
ステータスアイコン..... 21
スマートフォン
削除する..... 113
接続する..... 114
登録する..... 110
目的地を設定する（NaviCon） 199
3D 表示..... 34

せ

セキュリティ設定..... 71
セキュリティロック..... 71
接続する
Bluetooth®機器.....114
HDMI 端子..... 41
iPod..... 40
Miracast®対応機器.....266
USB Type-C 端子..... 40
Wi-Fi Hotspot.....121
設定
Bluetooth®機器の設定 101
ETC の設定 412
VICS・交通情報を表示する種類の設定 156
Wi-Fi Hotspot の設定..... 99
案内設定 82
音声操作の設定..... 69
各種設定.....58
画面表示の設定..... 67
共通設定.....65
サウンドやメディアの設定.....92

セキュリティ設定..... 71
走行支援の設定 88
地図表示設定..... 77,143
テレビの設定..... 92,236
ドライバー設定..... 62
ドライブレコーダーの設定 440
ナビゲーションの設定 76
パノラミックビューモニターの設定.....
.....375
プライバシー設定..... 71
マイセッティング..... 62
ラジオの設定..... 92
ルート設定..... 79

そ

走行軌跡.....143
ソフトウェア情報を更新する..... 73

た

対応プロファイル..... 109
タッチスクリーンの操作 23,26

ち

地上デジタル TV を視聴する.....230
地図..... 216
VICS 記号 174
色を変更する..... 77
動かす 35
拡大／縮小..... 33
角度を変更する..... 77
記号 144
データベースの情報..... 218
向きを切りかえる..... 34
文字サイズを変更する.....77
地図画面の表示 30
着信拒否.....290
割込着信..... 293
駐車場情報の表示の ON/OFF.....77
調整する
明るさ.....67
音質.....98
画質.....97
コントラスト..... 67
時計.....65
ナビゲーション音声案内の音量.....92

つ

通過地点の設定 209
通信モジュール（DCM）について .. 310
通話中の操作.....291

て

ディスプレイと操作スイッチ
インストルメントパネル 11
デジタルキー.....71
手続きをする
G-Link の解約手続き 316
G-Link の継続手続き..... 313
G-Link の利用手続き 312
テレビを視聴する..... 230
電子番組表（EPG）を見る..... 235
転送する
連絡先データ（電話番号）.....298
録画映像（ドライブレコーダー）..437
電話に出る／電話を受ける..... 288
割込着信..... 293
電話をかける
110 番／119 番..... 286
一括トーン送出..... 287
キーパッド入力..... 284
交通情報..... 285
通話中..... 294
登録している連絡先..... 283
発信または着信の履歴.....281
ワンタッチダイヤル..... 282

電話を切りかえる.....297
電話を切る.....296
データ通信に関する留意事項 309
データの更新方法 216
データ放送の情報を見る..... 233

と

到着予想時刻 201
登録する
Bluetooth®機器.....110
顔認証.....63
ドライバー設定..... 54,60
マイセッティング..... 60
ワンタッチダイヤル..... 302
道路事業者からのお願い..... 416
時計を調整する.....65
ドライバー設定
切りかえや登録をする.....60
登録する.....54
ドライブサポート.....308
ドライブレコーダー 426

な

ナビゲーション.....138
ナビゲーションシステムについて 138

の

ノースアップ表示.....34

は

ハイウェイモード 148
ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源..
.....448
パノラミックビューモニター 344
ハンズフリー（電話）..... 270

ひ

日付設定.....65

ふ

フォーマット情報.....448
ブラウザ 337
画面 338
操作 339

へ

ヘディングアップ表示..... 34
ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）.
.....318

ほ

保守点検をする（ヘルプネット）.....328

ま

マイセッティング.....54
切りかえや登録をする.....60

め

メインメニュー..... 19

も

目的地
検索する 190
削除する 211
詳細情報 208
追加する.....197
履歴を消去する..... 83
目的地案内のデモを見る 203
目的地の検索 150,190,201,211
目的地を検索する
お気に入り地点 193
自宅 192
住所 193
スマートフォン連携 194,198,199
電話番号 193
マップコード 194
文字入力 191
履歴 193

文字サイズを変更する（地図）.....77
文字の入力.....28

ら

ラジオを聴く.....222

り

リモートメンテナンスサービス.....336
e ケア.....336
リモートメンテナンスメール.....336

る

ルート案内.....211
ルート情報の表示 204
ルートを再探索する 215
ルートを選択する 206

れ

レクサスオーナーズデスク..... 308
レクサス緊急サポート 24..... 308
連絡先データ（電話番号）
削除する.....305
削除する（ワンタッチダイヤル）..302
修正する.....304
追加する.....304
転送する.....298
登録する（ワンタッチダイヤル）..302
レーン表示画面 212

ろ

録画する
ドライブレコーダー 426

わ

ワンタッチダイヤルを登録する／削除する.....302

「個人情報保護方針」については、https://lexus.jp にて掲載しております。



Publication No.M46139N
01-2611
RZ550e / RZ500e / RZ350e